DocuPrint M200 fw

ユーザーズガイド

目次

はじめに

このたびは DocuPrint M200 fw をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。DocuPrint M200 fw の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に必ず最初に本書をお読みのうえ、正しくご利用ください。

本書は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に記載しています。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

画面例は 2011 年 6 月現在のもので、今後、予告なく変更される場合があります。

富士ゼロックス株式会社

DocuPrint M200 fw ユーザーズガイドヘルプ

著作者：富士ゼロックス株式会社

発行者：富士ゼロックス株式会社

発行年月：2012 年 3 月 第 1 版

管理番号：ME5312J1-2

商標および免責事項

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Bonjour、ColorSync、Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意：

1. 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
4. 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。

   万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
5. 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
   また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。
6. このヘルプを逆コンパイルすることを禁止します。

本製品は、外国為替及び外国貿易法および / または、米国輸出管理規則に定める「輸出規制貨物」に該当します。つきましては、本品を外国へ輸出する場合には、日本国政府の輸出許可および / または、米国政府の再輸出許可を受ける必要があります。

XEROX、そのロゴと“コネクティング・シンボル”のマーク、DocuPrint、および CentreWare は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

マニュアル体系

安全にご利用いただくために	本機を安全に使用するために、本機を使用する前に理解しておく必要のある情報について説明しています。
セットアップガイド	本機の設置手順や、ファクスおよびスキャン機能の初期設定などを説明しています。 また、ワイヤレス設定の手順についても説明しています。
ユーザーズガイド（HTML ファイル） （本書）	本機の設置が終わってから印刷、コピー、スキャン、ファクスするまでの準備、各機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、および日常の管理について説明しています。 このマニュアルは、ソフトウエアパック CD-ROM 内に収録されています。
かんたんインストールナビ（ビデオ）	本機の設置手順をビデオで説明しています。このマニュアルは、ソフトウエアパック CD-ROM 内に収録されています。

本書の使い方

ここには下記の項目を記載します：

■本書の構成

本書は、次のような章で構成されています。各章の概要を説明します。

1 主な仕様	本機の仕様について説明しています。
2 本機の基本操作	各部の名称、節電モード、本機の起動方法について説明しています。
3 本機の管理ソフトウエア	本機で利用可能なソフトウエアについて説明しています。
4 本機の接続とソフトウエアのインストール	コンピューターへの基本的な接続方法、プリンタードライバーのインストール方法について説明しています。
5 印刷の基本操作	使用できる用紙や用紙のセット方法、各種印刷機能を用いた印刷方法について説明しています。
6 コピーする	文書をコピーする方法、およびコピーオプションの設定について説明しています。
7 スキャンする	スキャン機能の設定および使用方法について説明しています。
8 ファクスを使用する	ファクス機能の設定および使用方法について説明しています。
9 操作パネルメニューとテンキーの使い方	操作パネルで使用できる設定項目、設定手順、テンキーの使用方法について説明しています。
10 困ったときには	紙づまりなどのトラブルへの対処方法について説明しています。
11 日常管理	本機の清掃方法、トナーカートリッジの交換方法、本機の状態の確認方法について説明しています。
12 弊社へのお問い合わせ	サポート情報について説明しています。

■本書の表記

1 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記：

- 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足：

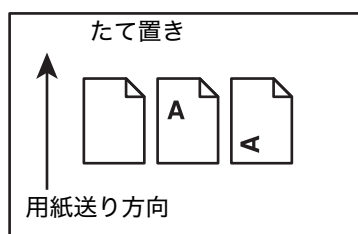
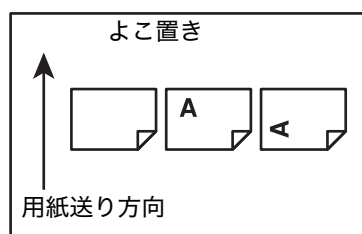
- 補足事項を記述しています。

参照：

- 本書内の参照先です。

3 本文中では、用紙の向きを次のように表しています。

、、よこ置き：本機の正面からみて、用紙を横長にセットした状態です。

、、たて置き：本機の正面からみて、用紙を縦長にセットした状態です。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

 警告：

- **新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店へお問い合わせください。**

各警告図記号は以下のような意味を表しています

⚠ 危 険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

静電気破損注意　注意　発火注意　破裂注意　感電注意　高温注意　回転物注意　指挟み注意

⃠ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁止　火気禁止　接触禁止　風呂等での使用禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止

● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指示　電源プラグを抜け　アース線を接続せよ

■電源およびアース接続時の注意

⚠ 警告

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 850mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事 (D 種) を行っている接地端子

アース接続は必ず、「電源プラグを電源につなぐ前に」行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、「電源プラグを電源から切り離してから」行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管 （引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針 （落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口 （配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械には D 種以上の接地工事を必ず実施してください。

電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。

電源コードにものを載せないでください。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。

また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

	機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
	機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。
	連休などで長期間、機械（ファクシミリ機能など）をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。なお電源スイッチを切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。
	1 か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。 • 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。 • 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。 • 電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。 • 電源コードにきれつや擦り傷などがないか。 異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

■無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

■電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解／改造すること

次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。

- ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。

コンクリートや金属製の障害物がない場所で使用してください。

通信する機器の間に鉄筋やコンクリートの壁などがあると、無線通信が妨害され、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。

■設置時の注意

⚠ 警告

機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

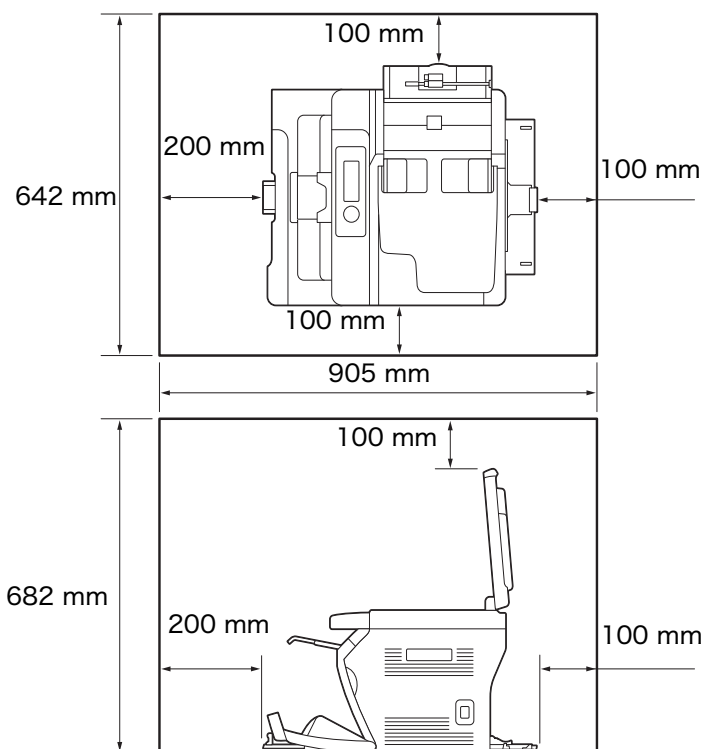
⚠ 注意

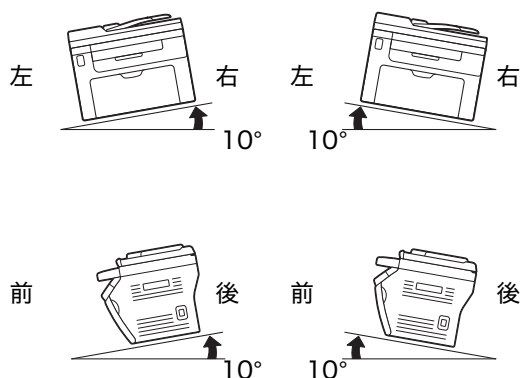
以下のような場所には機械を設置しないでください。

- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど

機械は、付属製品を含めた総質量 9.9kg に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

機械を 10 度以上に傾けないでください。

転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。　弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

その他

本機器の使用環境は次のとおりです。

- 温度：10 ～ 32 ℃
- 湿度：10 ～ 85％

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

■機械使用上の注意

⚠ 警告

この説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 機械の内部に水が入ったとき
- 機械が水をかぶったとき
- 機械の部品に損傷があったとき

機械の隙間や通気口に物を入れないでください。

また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

付属の CD-ROM を CD-ROM 対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

⚠ 注意

	機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。 特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。
	機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。
	機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。 特に、定着装置やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。
	長時間機械を使用するときは、1 時間ごとに 10 〜 15 分の休憩をとり、目および手を休めてください。
	換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

■消耗品取り扱い上の注意

⚠ 警告

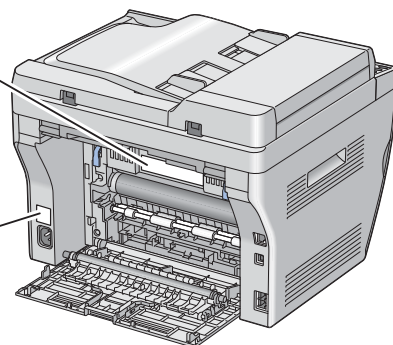
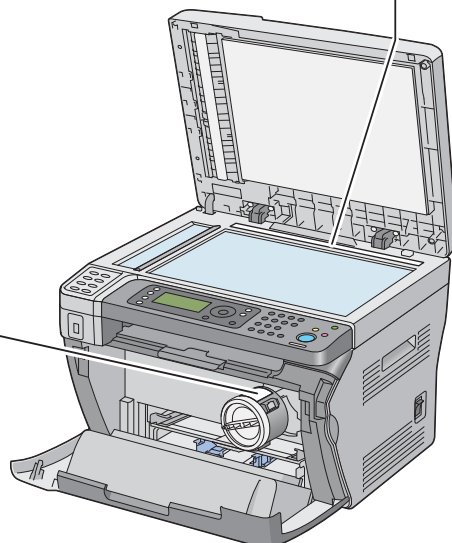
	消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。
	こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。 本製品内およびトナーカートリッジ等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。 掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。 大量にこぼれた場合、弊社商品センター（回収受付：TEL0120-04-0692）にご連絡ください。
	トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社商品センター（回収受付：TEL0120-04-0692）にて回収いたしますので、必ず弊社商品センター（回収受付：TEL0120-04-0692）にご連絡ください。

⚠ 注意

	トナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
	トナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
	次の事項に従って、応急処置をしてください。 • トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。 • トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。 • トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。 • トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

■警告および注意ラベルの貼り付け位置

機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

環境について

- サポートについて
  弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。
- 回収したトナーカートリッジおよびドラム（感光体）は、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったトナーカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。
- 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマーク複写機の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております DocuPrint M200 fw トナーを使用し、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2009 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

規制について

■電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。

電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

■高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

■電波法について

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の設置および使用は許されません。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本装置を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本装置（DocuPrint M200 fw）を使用しないでください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本装置（DocuPrint M200 fw）を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本装置（DocuPrint M200 fw）の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

法律上の注意事項

1 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。

- 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
  これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
- 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。

- 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
- 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
- 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
- 役所または公務員の印影、署名、記名。
- 私人の印影または署名。

3 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

(1) 複製

紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

(2) 改変

紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

(3) 送信

電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

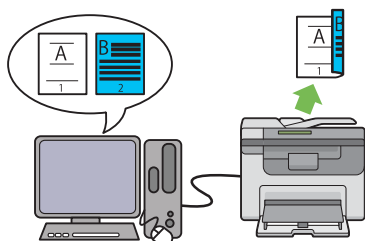
権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

- 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
- 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
- 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
- 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
  ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
- 学校教科書への掲載。
  ただし、権利者への補償金が必要です。

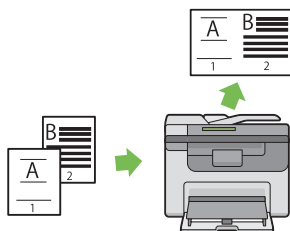
- 学校その他教育機関における複製。
  ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
- 試験問題としての複製。
  ただし、権利者への補償金が必要です。

本機の主な特長

ここでは、本機の主な特長とその参照先について説明します。

手動両面印刷

両面印刷は、2 ページ以上の文書を手動で用紙の両面に印刷する機能です。使用する用紙を節約することができます。

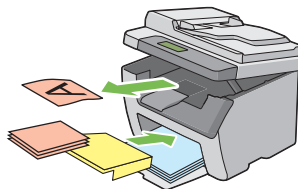
詳細については「手動両面印刷（Windows 版プリンタードライバーのみ）」（163 ページ）を参照してください。

2 アップ（まとめて 1 枚コピー）

2 アップコピーを使用すれば、1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。使用する用紙を節約することができます。

詳細については「2 アップ」（209 ページ）を参照してください。

USB 記憶デバイスにスキャンする

USB 記憶デバイスをコンピューターに接続してスキャンしたデータを保存する必要はありません。USB 記憶デバイスを本機の USB 差込口に挿入して、スキャンしたデータを USB 記憶デバイスに直接保存できます。

詳細については「USB 記憶デバイスにスキャンする」（248 ページ）を参照してください。

用紙トレイ (PSI)

用紙トレイ (PSI) にセットされた用紙は、用紙トレイ (MPF) にセットされた用紙よりも優先されます。用紙トレイ (PSI) を使用すれば、用紙トレイ (MPF) にセットした通常の用紙とは異なる種類、サイズの用紙を優先的に使用することができます。

詳細については「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」（158 ページ）を参照してください。

ワイヤレス接続による印刷（ワイヤレス印刷）

ワイヤレス LAN 機能を使用すれば本機の設置場所を選ばず、コンピューターとの配線なしで印刷ができます。

詳細については「ワイヤレス設定を行う」（84 ページ）を参照してください。

1

主な仕様

本章では、本機の主な仕様を記載しています。製品仕様は将来予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

本章には下記の項目を記載します：

基本機能 / コピー機能

形式	デスクトップ
メモリー容量	128 MB
ハードディスク容量	—
読み取り解像度	原稿ガラス：600 × 600 dpi 自動原稿送り装置：600 × 300 dpi
書き込み解像度	標準：600 × 600 dpi 高解像度：1200 × 1200 dpi* *: 高解像度モードでは、画質調整のために印刷速度が低下することがあります。印刷速度は、文書によっても低下する場合があります。
階調	256 階調（グレースケール）
ウォームアップ・タイム	36 秒以下（室温 22 ℃、工場出荷設定時） **注記：** • 画質調整のために長くなることがあります。
複写原稿	原稿ガラス：シート、ブックともに最大 215.9 × 297 mm 自動原稿送り装置：最大 215.9 × 355.6 mm
複写（用紙）サイズ	用紙トレイ (MPF)： 最大：リーガル 最小：76.2 × 148.5mm（3 × 5.85 インチ） 用紙トレイ (PSI)： 最大：リーガル 最小：76.2 × 190.5mm（3 × 7.5 インチ） 画像欠け幅：先端 4 mm 以内、後端 4 mm 以内、両端 4 mm 以内
複写用紙	用紙トレイ (MPF)： 60 ～ 163 g/m^2(はがきの場合、60 ～ 190g/m^2) 用紙トレイ (PSI)： 60 ～ 163 g/m^2 **注記：** • 当社推奨紙の使用をお勧めします。使用条件によっては正しく印刷できない場合があります。
ファーストコピー・タイム	24 秒（A4 ／通常モード時）
複写倍率	等倍：1:1±1.3% 固定倍率：1:0.500、1:0.707、1:0.816、1:1.225、1:1.414、1:2.000 任意倍率：1:0.25 ～ 1:4.00（1% きざみ）

連続複写速度	原稿ガラス： モノクロ： A4：24 ページ／分 自動原稿送り装置： モノクロ： A4：8.5 ページ／分 **注記：** • 画質調整のために速度が低下することがあります。 • 用紙種類や用紙トレイによってパフォーマンスが低下することがあります。
給紙方式 / 給紙容量	150 枚（用紙トレイ (MPF)）+10 枚（用紙トレイ (PSI)） 最大給紙容量：160 枚 **注記：** • 当社 P 紙
連続複写枚数	99 ページ **補足：** • 画質安定化処理のため、機械の動作を一時的に中断することがあります。
出力トレイ容量	排出トレイ： 約 100 枚（A4 ） 原稿受け： 約 15 枚（A4 ） **注記：** • 当社 P 紙
電源	AC100 ～ 127V ± 10%、8.6A、50/60Hz 共用
最大消費電力	950 W スリープモード時：3.5W 以下 低電力モード時：8.5W 以下 待機モード時：58W 以下
大きさ	幅 410 × 奥行 389* × 高さ 318 mm *: フロントカバーは閉じた状態
質量	9.9 kg **注記：** • 用紙の重量は含みません。 • トナーカートリッジの重量を含みます。
機械占有寸法	幅 642 × 奥行 905 mm* *: フロントカバーおよび背面カバーが開いている状態。

プリント機能

形式	内蔵型
連続プリント速度	基本機能／コピー機能に準ずる
解像度	標準：600 × 600 dpi 高解像度：1200 × 1200 dpi* *: 高解像度モードでは、画質調整のためにプリント速度が低下することがあります。プリント速度は、文書によっても低下する場合があります。
ページ記述言語	—（ホストベース）
対応プロトコル	Ethernet（標準）：TCP/IP（lpd、Port9100、WSD） IEEE802.11b/g（標準） **補足：** • WSD は、Web Services on Devices の略称です。 • WSD は Windows Vista® または Windows® 7 でのみ利用できます。
対応 OS	標準：GDI ドライバー Microsoft® Windows® XP、 Microsoft® Windows Server® 2003、 Microsoft® Windows Server® 2008、 Microsoft® Windows Vista®、 Microsoft® Windows® 7、 Microsoft® Windows® XP x64、 Microsoft® Windows Server® 2003 x64、 Microsoft® Windows Server® 2008 x64、 Microsoft® Windows Vista® x64、 Microsoft® Windows Server® 2008 R2 x64、 Microsoft® Windows® 7 x64、 Mac OS® X 10.4.11/10.5.8 - 10.6 **注記：** • 最新の対応 OS については、当社ホームページをご覧ください。
インターフェイス	標準：Ethernet 100BASE-TX/10BASE-T、USB 2.0*、IEEE802.11b/g *: USB 2.0 は下記の OS に対応しています。 Windows® XP、Windows Server® 2003、Windows Vista®、Windows Server® 2008、Windows® 7、Windows® XP x64、Windows Server® 2003 x64、Windows Vista® x64、Windows Server® 2008 x64、Windows Server® 2008 R2 x64、Windows® 7 x64 および Mac OS® X 10.4.11/10.5.8 - 10.6

スキャン機能

形式	カラースキャナー
最大読み取りサイズ	基本機能／コピー機能に準ずる
読み取り解像度	1200 × 1200 dpi、600 × 600 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi
読み取り階調	モノクロ：8 ビット カラー：24 ビット
原稿読み取り速度	モノクロ：8.5 ページ／分 カラー：2 ページ／分 **注記：** • 原稿によって読み取り速度は異なります。
インターフェイス	標準：Ethernet (100BASE-TX/10BASE-T)、USB 2.0*、IEEE802.11b/g *: USB 2.0 は下記の OS に対応しています。 Windows® XP、Windows Server® 2003、Windows Vista®、Windows Server® 2008、Windows® 7、Windows® XP x64、Windows Server® 2003 x64、Windows Vista® x64、Windows Server® 2008 x64、Windows Server® 2008 R2 x64、Windows® 7 x64 および Mac OS® X 10.4.11/10.5.8 - 10.6
PC 保存	対応プロトコル：TCP/IP（SMB、FTP） 対応 OS： Microsoft® Windows® XP、 Microsoft® Windows Vista®、 Microsoft® Windows Server® 2003、 Microsoft® Windows Server® 2008、 Microsoft® Windows® 7、 Microsoft® Windows® XP x64、 Microsoft® Windows Vista® x64、 Microsoft® Windows Server® 2003 x64、 Microsoft® Windows Server® 2008 x64、 Microsoft® Windows Server® 2008 R2 x64、 Microsoft® Windows® 7 x64、 Mac OS® X 10.4.11/10.5.8 - 10.6 **注記：** • 最新対応 OS については当社ホームページを参照してください。 出力フォーマット： TIFF JPEG PDF (v 1.3)
メール送信	対応プロトコル：TCP/IP（SMTP、POP3） 出力フォーマット： モノクロ 2 値： TIFF、PDF グレースケール／フルカラー： TIFF、JPEG、PDF

ファクス機能

送信原稿サイズ	原稿ガラス： 最大：A4/ レター 自動原稿送り装置： 最大：リーガル
記録紙サイズ	最大：リーガル 最小：A4/ レター
電送時間	3 秒台 **注記：** • A4 サイズの 700 文字程度の文書を標準画質（8 × 3.85 行／mm）、高速モード（28.8 kbps 以上：JBIG）送信時。画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
通信モード	ITU-T Super G3/G3 ECM/G3
走査線密度	標準： 203 × 98 dpi (8 × 3.85 ドット /mm) 高画質： 203 × 196 dpi (8 × 7.7 ドット /mm) 超高画質： 203 × 392 dpi (8 × 15.4 ドット /mm) 超高画質： 406 × 392 dpi (16 × 15.4 ドット /mm)
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	G3： 33.6/31.2/28.8/26.4/24.0/21.6/19.2/16.8/14.4/12.0/9.6/7.2/4.8/2.4kbps
適用回線	RJ-11、1 回線

ダイレクトファクス機能

送信原稿サイズ	A4、レター、フォリオ（8 × 13 インチ）、リーガル
通信速度	ファクス機能に準ずる
通信解像度	標準： 203 × 98 dpi (8 × 3.85 ドット /mm) 高画質： 203 × 196 dpi (8 × 7.7 ドット /mm) 超高画質： 203 × 392 dpi (8 × 15.4 ドット /mm) 超高画質： 406 × 392 dpi (16 × 15.4 ドット /mm)
適用回線	ファクス機能に準ずる
対応 OS	Microsoft® Windows® XP、 Microsoft® Windows Vista®、 Microsoft® Windows Server® 2003、 Microsoft® Windows Server® 2008、 Microsoft® Windows® 7、 Microsoft® Windows® XP x64、 Microsoft® Windows Vista® x64、 Microsoft® Windows Server® 2003 x64、 Microsoft® Windows Server® 2008 x64、 Microsoft® Windows Server® 2008 R2 x64、 Microsoft® Windows® 7 x64、 Mac OS® X 10.4.11/10.5.8 - 10.6 **注記：** • 最新対応 OS については当社ホームページを参照してください。

2

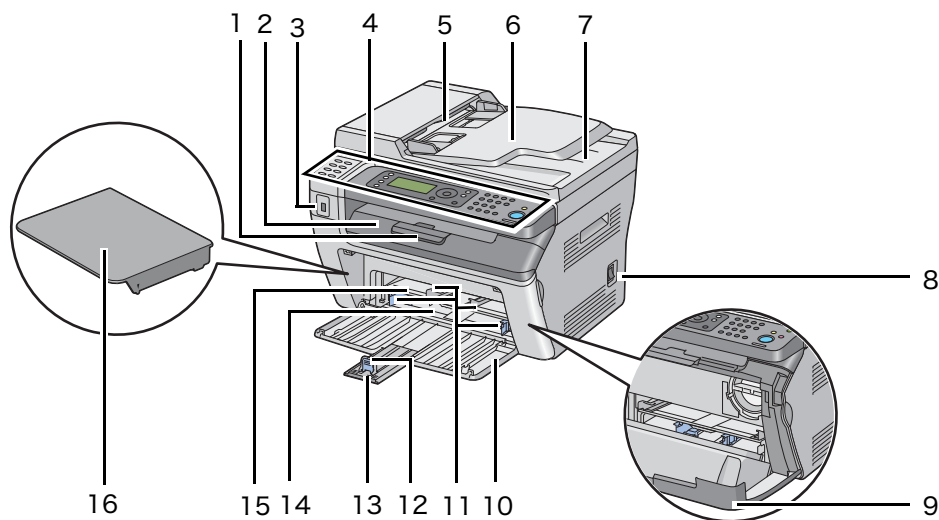
本機の基本操作

本章には下記の項目を記載します：

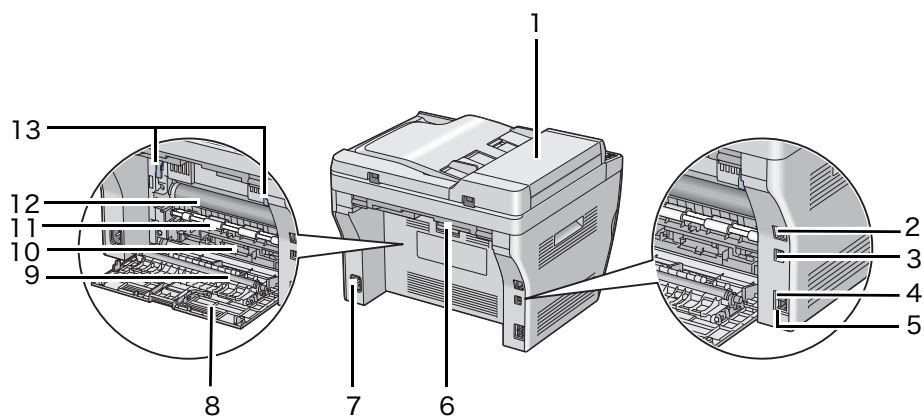
各部の名称

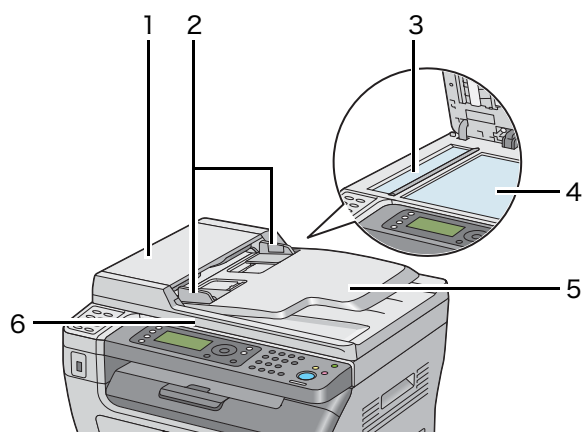
ここでは本機の概要を示します。

ここには下記の項目を記載します：

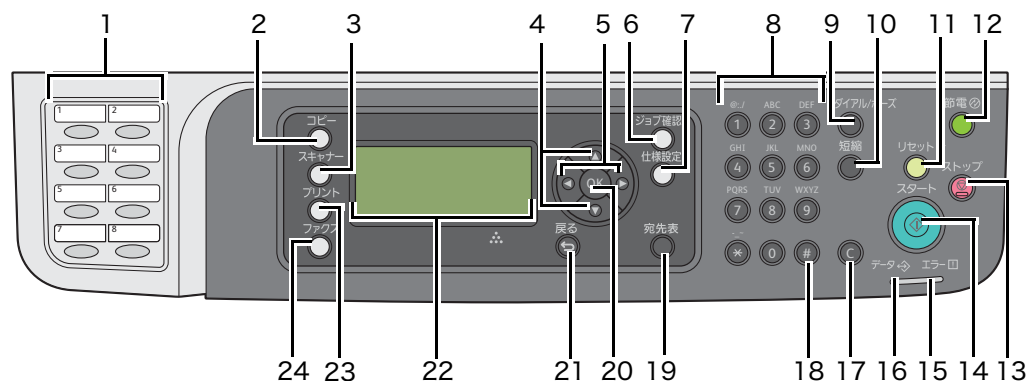
■前面

1	排出延長トレイ	2	排出トレイ
3	USB 差込口	4	操作パネル
5	自動原稿送り装置	6	原稿送りトレイ
7	原稿受け	8	電源スイッチ
9	トナーカバー	10	フロントカバー
11	用紙ガイド（サイドガイド）	12	用紙ガイド（エンドガイド）
13	用紙セットバー	14	用紙トレイ (MPF)
15	用紙トレイ (PSI)	16	用紙カバー *

* 用紙カバーは、用紙トレイ (PSI) に給紙するためのトレイとしてのほか、用紙トレイ (MPF) にセットされている用紙を保護するカバーとしても使用されます。

■背面

1	トップカバー	2	ネットワークコネクター
3	USB コネクター	4	モジュラージャック
5	外部機器接続コネクター	6	背面カバーのハンドル
7	電源コネクター	8	背面カバー
9	転写ロール	10	用紙送りガイド
11	用紙送りローラー	12	転写ドラム
13	レバー		

■自動原稿送り装置

1	トップカバー
2	原稿ガイド
3	原稿読み取りガラス
4	原稿ガラス
5	原稿送りトレイ
6	原稿カバー

■ 操作パネル

操作パネルには、4 行 28 文字を表示する LCD ディスプレイ (液晶パネル)、発光ダイオード (LED)、操作ボタン、ワンタッチボタン、テンキーが搭載されており、これらを使用することで本機を操作することができます。

1	ワンタッチボタン	宛先表に登録されているファクス番号を呼び出します。宛先表の最初の 8 つのファクス番号は、番号順にボタンに割り当てられています。
2	**コピー**ボタン／ランプ	コピーメニューのトップに移動します。
3	**スキャナー**ボタン／ランプ	スキャナーメニューのトップに移動します。
4	▲ ▼ボタン	カーソルまたはハイライトを上下に移動します。
5	◀ ▶ボタン	カーソルまたはハイライトを左右に移動します。
6	**ジョブ確認**ボタン／ランプ	ジョブ確認メニューのトップに移動します。
7	**仕様設定**ボタン／ランプ	仕様設定メニューのトップに移動します。
8	テンキー	文字と数値を入力します。
9	**リダイアル／ポーズ**ボタン	• ファクス番号をリダイヤルします。 • ダイヤルを一時停止します。
10	**短縮**ボタン	保存したファクス番号を呼び出します。
11	**リセット**ボタン	現在の設定をリセットし、各サービスメニューのトップに戻ります。
12	**節電**ボタン／ランプ	スリープモードで点灯します。スリープモードを解除する場合にこのボタンを押します。
13	(**ストップ**) ボタン	現在の処理中または保留中のジョブを中止します。
14	(**スタート**) ボタン	ジョブを開始します。
15	**エラー**ランプ	本機にエラーが発生した場合に点灯します。
16	**データ**ランプ	ジョブの受信、送信、保留時に点灯します。
17	**C** (**クリア**) ボタン	文字と数値を削除します。
18	**#** ボタン	「(空白) **&** **( )**」の文字を入力します。
19	**宛先表**ボタン	ファクスメニューでこのボタンを押すと、宛先表メニューのトップに移動します。
20	OK ボタン	入力した値を確定します。
21	(**戻る**) ボタン	前の画面に戻ります。
22	LCD ディスプレイ	各種設定、指示、エラーメッセージを表示します。

23	**プリント**ボタン／ランプ	プリントメニューのトップに移動します。
24	**ファクス**ボタン／ランプ	ファクスメニューのトップに移動します。

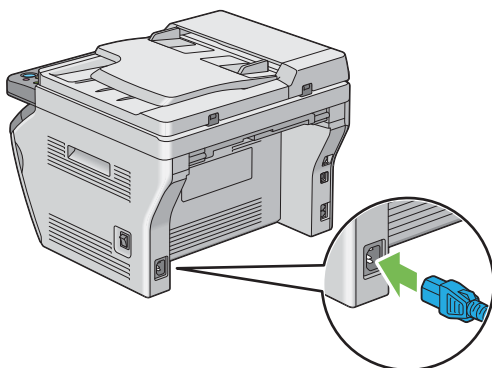
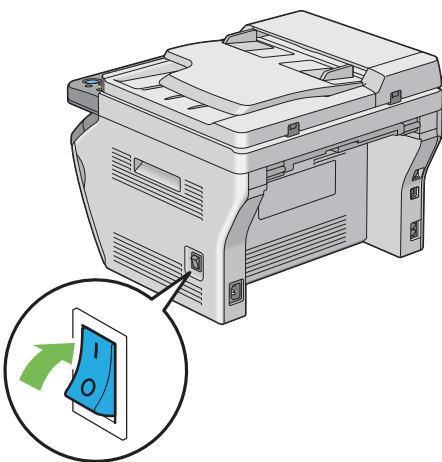
補足：

- 別のメニューに移動したり前の画面に戻ったりすると、現在の入力または設定は失われます。現在の入力または設定を保存する場合は必ず(OK)ボタンを押してください。
- テンキーを使用して英数字を入力する方法の詳細については、「テンキーの使い方」（354 ページ）を参照してください。

電源を入れる

注記：

- 延長コードやタップは使用しないでください。
- 本機を無停電電源装置 (UPS) システムに接続しないでください。

1. 電源コードを本機背面の電源コネクターに接続します。(「背面」(42 ページ) を参照してください。)

2. コードを電源に接続します。
3. 本機の電源を入れます。

パネル設定リストを印刷する

パネル設定リストには、現在の操作パネルメニューの設定が表示されます。

ここには下記の項目を記載します：

- 「操作パネル」(48 ページ)
- 「設定管理ツール」(49 ページ)

■ 操作パネル

補足：

- レポート / リストは、英語で印刷されます。

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **レポート / リスト**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **パネル設定リスト**を選択し、(OK)ボタンを押します。
   パネル設定リストが印刷されます。

■設定管理ツール

ここでは、Microsoft® Windows® XP を例に説明します。

補足：

- レポート / リストは、英語で印刷されます。

1 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ ご使用の機種 →［**設定管理ツール**］をクリックします。

   補足：

   - 複数のプリンタードライバーがコンピューターにインストールされている場合は、プリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合、［**プリンター名**］に一覧表示されているプリンターから任意の名称をクリックしてください。

   設定管理ツールが表示されます。

2 ［**設定 / レポート**］タブをクリックします。

3 ページ左側の一覧から［**レポート / リスト**］を選択します。

   ［**レポート / リスト**］ページが表示されます。

4 ［**パネル設定リスト**］ボタンをクリックします。

   パネル設定リストが印刷されます。

節電モード

本機は、待機しているときの電力の消費を抑える、節電モードを搭載しています。節電モードには、低電力モードとスリープモードの 2 種類があります。工場出荷時は、最後のジョブが完了してから 1 分後に低電力モードに移行し、さらに本機を使用しない状態が、10 分経過すると、スリープモードに移行する設定になっています。本機が低電力モードの場合は LCD ディスプレイのバックライトは消灯します。スリープモード中は**節電**ボタンが点灯します。LCD ディスプレイは消灯し、何も表示されません。

工場出荷時の設定の 1 分（低電力モード）、10 分（スリープモード）は、1 ～ 30 分（低電力モード）、6 ～ 11 分（スリープモード）の範囲で変更可能です。本機は再起動後 25 秒程度でプリント可能状態に復帰します。

補足：

- 低電力モードおよびスリープモードを無効にすることはできません。

参照：

- 「節電モードの移行時間を設定する」（352 ページ）

■節電状態を解除する

節電モードは、コンピューターからジョブを受信すると、自動的に解除されます。手動で低電力モードを解除する場合は、操作パネルのボタンのどれかを押してください。スリープモードを解除する場合は、**節電**ボタンを押してください。

補足：

- 本機がスリープモードのときは、**節電**ボタンを除くすべての操作パネル上のボタンは無効化されます。操作パネルのボタンを使用するには、**節電**ボタンを押して節電モードを解除してください。

参照：

- 「節電モードの移行時間を設定する」（352 ページ）

3

本機の管理ソフトウエア

本機に付属のソフトウエアパック CD-ROM を使用して、ご使用の OS に対応したソフトウエアをインストールしてください。

本章には下記の項目を記載します：

- 「プリンタードライバーとスキャナードライバー」（54 ページ）
- 「CentreWare Internet Services」（55 ページ）
- 「ランチャー（Windows のみ）」（57 ページ）
- 「設定管理ツール（Windows のみ）」（59 ページ）
- 「SimpleMonitor（Windows のみ）」（60 ページ）
- 「宛先表ツール」（61 ページ）
- 「スキャンボタンマネージャー」（62 ページ）

プリンタードライバーとスキャナードライバー

ソフトウエアパック CD-ROM からプリンタードライバーとスキャナードライバーをインストールしてください。

- プリンタードライバーをインストールすれば、コンピューターと本機の通信が可能となりプリンターの機能が利用できるようになります。
- スキャナードライバーをインストールすれば、ご使用のコンピューターに直接画像をスキャンしたり、スキャンした画像を USB またはネットワークから直接アプリケーションで利用することができるようになります。

スキャナードライバーはプリンタードライバーと一緒にインストールされます。Microsoft® Windows® および Mac OS® X でご利用いただけます。

参照：

- 「プリンタードライバーをインストールする（Windows)」（79 ページ）
- 「プリンタードライバーをインストールする（Mac OS X)」（126 ページ）

CentreWare Internet Services

ここでは、CentreWare Internet Services について説明します。

CentreWare Internet Services とは、ウェブブラウザーからアクセスすることができるハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) ベースの、ウェブページサービスです。

CentreWare Internet Services からは、本機の状態の確認、設定オプションの変更が簡単にできます。ネットワーク上のユーザーは誰でも CentreWare Internet Services を使用して本機にアクセスすることができます。管理者モードでは、コンピューターから離れずに本機の構成の変更、ファクス宛先のセットアップ、本機の設定の管理ができます。

補足：

- 管理者からパスワードを付与されていないユーザーでも、ユーザーモードで本機の設定を閲覧することができます。現在の構成、設定への変更を保存、適用することはできません。
- CentreWare Internet Services のメニュー項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

■管理者パスワードを作成する

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

3 [**プロパティ**] タブをクリックします。

4 左のナビゲーションパネルで [**セキュリティー**] までスクロールし、[**機械管理者の設定**] を選択します。

5 [**機械管理者モード**] から [**有効**] を選択します。

6 [**機械管理者 ID**] フィールドに管理者の名前を入力します。

7 [**機械管理者のパスワード**] および [**パスワードの確認**] フィールドに管理者パスワードを入力します。

8 [**機械管理者 ID の認証失敗によるアクセス拒否**] フィールドに許可するログイン試行回数を入力します。

9 [**新しい設定を適用**] をクリックします。

新しいパスワードがセットされました。管理者名とパスワードを持つユーザーは、ログインして本機の構成、設定を変更できます。

ランチャー（Windows のみ）

［**ランチャー**］ウィンドウから、［**ステータスウィンドウ**］、［**設定管理ツール**］、［**トラブルシューティング**］、［**宛先表ツール**］、［**スキャンボタンマネージャー**］を開くことができます。

ここでは、Windows XP を例に説明します。

［**ランチャー**］ウィンドウを開くには：

1 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ ご使用の機種 →［**ランチャー**］をクリックします。

［**ランチャー**］ウィンドウが表示されます。

2 ［**ランチャー**］ウィンドウには、［**ステータスウィンドウ**］、［**設定管理ツール**］、［**トラブルシューティング**］、［**宛先表ツール**］、［**スキャンボタンマネージャー**］のボタンがあります。

終了するときは、ウィンドウ右上の **X** をクリックしてください。

詳細については、各アプリケーションの［**ヘルプ**］ボタン／アイコンをクリックしてください。

ステータスウィンドウ	［**プリンターの状態**］ウィンドウが表示されます。 **参照：** • 「SimpleMonitor（Windows のみ）」（60 ページ）
設定管理ツール	設定管理ツールが起動します。 **参照：** • 「設定管理ツール（Windows のみ）」（59 ページ）
トラブルシューティング	ユーザーズガイドが表示されます。「困ったときには」の章で、問題を解決する方法を確認できます。

宛先表ツール	宛先表ツールが表示され、宛先表の宛先を追加・編集できます。 **参照：** • 「宛先表ツール」(61 ページ)
スキャンボタンマネージャー	スキャンボタンマネージャーが起動します。 **参照：** • 「スキャンボタンマネージャー」(62 ページ)

ランチャーはソフトウエアパック CD-ROM からインストールできます。

設定管理ツール（Windows のみ）

設定管理ツールでは、システム設定の閲覧、指定ができます。設定管理ツールを使用してシステム設定の診断を行うこともできます。

設定管理ツールは、［**設定 / レポート**］、［**メンテナンス**］、［**診断**］の各タブで構成されています。

設定管理ツールはソフトウエアパック CD-ROM からインストールできます。

補足：

- **操作制限設定**を**有効**に設定している場合、設定管理ツールの設定をはじめて変更する際に［**パスワード**］ダイアログボックスが表示されます。この場合、指定したパスワードを入力して［**OK**］をクリックすると設定が適用されます。

SimpleMonitor（Windows のみ）

SimpleMonitor で本機の状態を確認することができます。画面右下のタスクバーで SimpleMonitor アイコン（ ）をダブルクリックしてください。［**プリンター選択**］ウィンドウが表示され、プリンター名、接続ポート、ステータス、機種名が表示されます。［**ステータス**］欄で本機の現在の状態を確認できます。

［**設定**］ボタン：［**設定**］ウィンドウを表示し、SimpleMonitor の設定を変更することができます。

［**プリンター選択**］ウィンドウの一覧から任意のプリンター名をクリックしてください。［**プリンターの状態**］ウィンドウが表示されます。

紙づまり、トナー残量低下など、警告またはエラーが発生している場合、［**プリンターの状態**］ウィンドウに通知されます。

工場出荷時の設定では、エラーが発生すると自動的に［**プリンターの状態**］ウィンドウが表示されます。［**プリンターの状態**］ウィンドウの起動条件は［**ステータスウィンドウのプロパティ**］で指定できます。

［**プリンターの状態**］ウィンドウのポップアップ設定を変更するには：

1. 画面右下のタスクバーで SimpleMonitor アイコンを右クリックします。
2. ［**ステータスウィンドウのプロパティ**］を選択します。
   ［**ステータスウィンドウのプロパティ**］ウィンドウが表示されます。
3. ポップアップの起動条件を選択してから、［**OK**］をクリックします。

［**プリンターの状態**］ウィンドウでは本機のトナー残量とジョブ情報を確認することもできます。

SimpleMonitor はソフトウエアパック CD-ROM からインストールできます。

宛先表ツール

宛先表ツールでは下記のことができます。

- 本機からファクス / 電子メール宛先表およびサーバー宛先表のデータを読み取り、編集します。
- コンピューター上の **My ファクス宛先表**（ファクスドライバー）の宛先を編集します。
- スキャナー（メール送信）機能を使用する際に、電子メールの件名と本文を編集します。

変更を行った宛先表は、本機またはコンピューターに保存できます。

宛先表ツールはソフトウエアパック CD-ROM からインストールできます。Windows および Mac OS X でご利用いただけます。

スキャンボタンマネージャー

スキャンボタンマネージャーは、USB で本機からコンピューターに送られたスキャンジョブを管理します。本機からコンピューターにスキャンジョブが送信されると、スキャンボタンマネージャーが自動的にスキャンジョブを管理します。

コンピューターにスキャンする前に、スキャンボタンマネージャーを起動してスキャンされた画像ファイルの出力先を設定してください。

スキャン後に指定出力先に保存したスキャンファイルを表示するには、[**イメージファイルを表示する**]を選択してください。

スキャンボタンマネージャーはソフトウエアパック CD-ROM からインストールできます。Windows および Mac OS X でご利用いただけます。

補足：

- スキャンボタンマネージャーをインストールする場合は、必ずスキャナードライバーもインストールしてください。スキャナードライバーは、プリンタードライバーと同時にインストールされます。

参照：

- 「操作パネルからスキャンを行う」(218 ページ)

4

本機の接続とソフトウエアのインストール

本章には下記の項目を記載します：

ネットワークのセットアップの概要

ネットワークをセットアップするには：

1 推奨ハードウェア、ケーブルを使用して本機をネットワークに接続します。

2 本機とコンピューターの電源を入れます。

3 システム設定リストを印刷し、ネットワーク設定参照用に保管しておきます。

4 ソフトウエアパックCD-ROMからコンピューターにドライバーソフトウエアをインストールします。ご使用の OS へのドライバーインストールに関する詳細は、本章の該当部分を参照してください。

補足：

- ソフトウエアパック CD-ROM がない場合は、弊社のウェブサイト (http://www.fujixerox.co.jp/) から最新ドライバーをダウンロードしてください。

5 ネットワーク上で本機を識別するために必要となる IP アドレスを設定します。

- Microsoft® Windows® OS：本機を TCP/IP ネットワークに接続する場合、ソフトウエアパック CD-ROM からインストーラーを実行すれば、本機のインターネットプロトコル (IP) アドレスが自動的に設定されます。IP アドレスは操作パネルで手動設定することも可能です。
- Mac OS® X：IP アドレスを操作パネルで手動設定してください。ワイヤレス接続を使用する場合も、操作パネルでワイヤレス設定を行ってください。

参照：

- 「IP アドレスを設定する」（69 ページ）

6 システム設定リストを印刷して新しい設定を確認します。

補足：

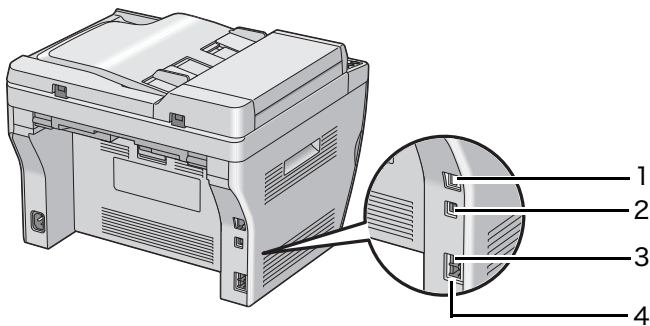
- レポート / リストは、英語で印刷されます。

参照：

- 「システム設定リストを印刷する」（185 ページ）

本機を接続する

以下の要件を満たしている接続ケーブルを必ず使用してください。

接続タイプ	接続仕様
イーサネット	10 Base-T/100 Base-TX 対応
USB	USB2.0 対応
ワイヤレス	IEEE 802.11b/802.11g
モジュラージャック	RJ11
外部機器接続コネクター	RJ11

1 ネットワークコネクター	
2 USB コネクター	
3 モジュラージャック	LINE
4 外部機器接続コネクター	PHONE

■本機をコンピューターまたはネットワークに接続する

本機をイーサネットまたは USB で接続します。ハードウェアおよび配線に関する設定は接続方法によって異なります。イーサネットケーブルおよびハードウェアは別売りとなります。

接続タイプごとに利用可能な機能は以下の表に記載しています。

接続タイプ	利用可能な機能
USB	USB 接続の場合は以下のことが可能です。 • コンピューターから印刷する。 • 画像をアプリケーションにスキャンおよび印刷する。 • 画像をコンピューター上のフォルダーにスキャンおよび印刷する。 • 宛先表ツールを使用して宛先表の宛先を管理する。 • 設定管理ツールを使用してシステム設定の閲覧、指定をする。 • SimpleMonitor を使用して本機の状態を確認する。 • スキャンボタンマネージャーを使用して本機からコンピューターに送信されたスキャンジョブを管理する。
イーサネット	イーサネット接続の場合は以下のことが可能です。 • ネットワーク上のコンピューターから印刷する。 • 画像をネットワーク上のコンピューターにスキャンする。 • 画像を FTP サーバーにスキャンする。 • 電子メールでスキャン画像を送信する。 • 宛先表ツールを使用して宛先表の宛先を管理する。 • CentreWare Internet Services を使用して宛先表の宛先を管理する。 • 設定管理ツールを使用してシステム設定の閲覧、指定をする。 • SimpleMonitor を使用して本機の状態を確認する。

USB 接続

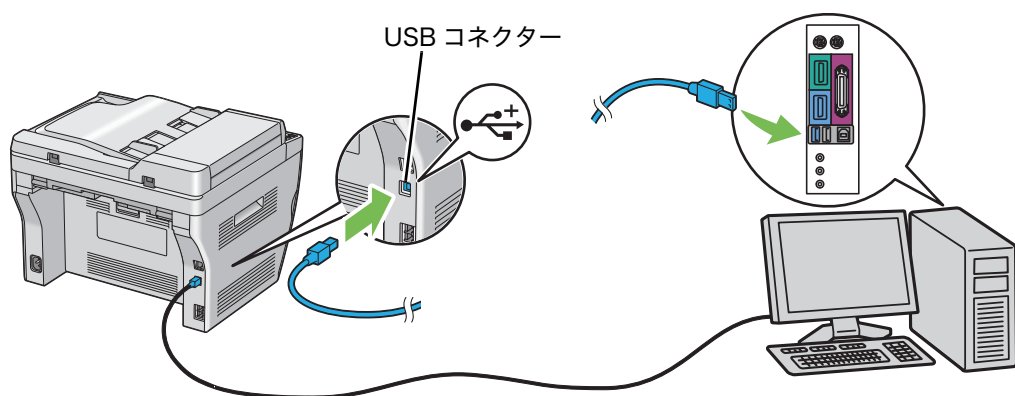
本機をコンピューターではなくネットワークに接続する場合は、このセクションはスキップして「ネットワーク接続」（68 ページ）に進んでください。

USB 接続に対応している OS は次のとおりです。

- Windows XP
- Windows XP 64-bit Edition
- Windows Server® 2003
- Windows Server 2003 x64 Edition
- Windows Server 2008
- Windows Server 2008 64-bit Edition
- Windows Server 2008 R2
- Windows Vista®
- Windows Vista 64-bit Edition
- Windows 7
- Windows 7 64-bit Edition
- Mac OS X 10.4.11/10.5.8 - 10.6

本機をコンピューターに接続するには：

1 本機の電源を切ります。

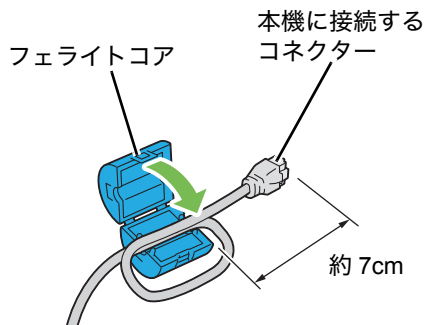
2 USB ケーブルを本機背面の USB コネクターとコンピューターの USB ポートに接続します。

補足：

- 本機の USB ケーブルをキーボードの USB コネクターに接続しないでください。

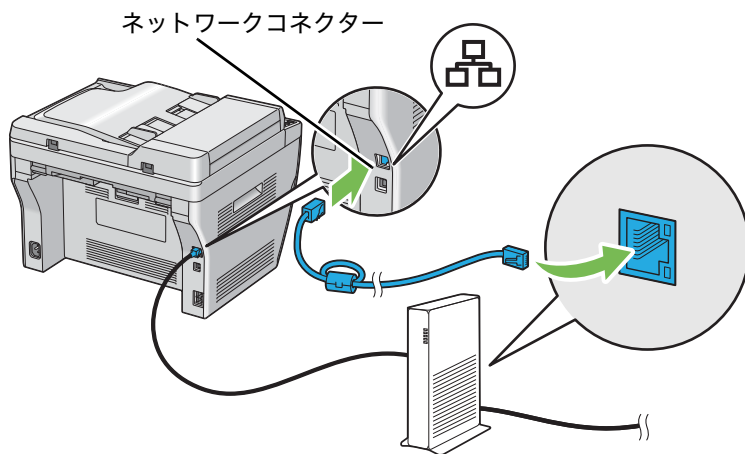
ネットワーク接続

本機をネットワークに接続するには：

1 本機の電源を切り、配線を抜いておいてください。

2 同梱されているフェライトコアにイーサネットケーブルを巻きつけ、フェライトコアを閉じます。

注記：

- 断線のおそれがありますので、きつく巻かないでください。

3 イーサネットケーブルを、本機背面のネットワークコネクターと LAN ポートまたはハブに接続します。

補足：

- イーサネットケーブルの接続が必要なのは有線接続の場合のみです。

参照：

- 「ワイヤレス設定を行う」（84 ページ）

IP アドレスを設定する

ここには下記の項目を記載します：

■TCP/IP プロトコルと IP アドレス

コンピューターを大規模なネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者に問い合わせて IP アドレスおよび、その他のシステム設定情報を取得してください。

自宅などで小規模なローカルエリアネットワークを作成する場合、またはイーサネットを使用して本機を直接コンピューターに接続する場合は、本機の IP アドレスの自動設定手順に従ってください。

コンピューターとプリンターは、イーサネット上のネットワーク通信では、主に TCP/IP プロトコルを使用します。TCP/IP プロトコルを使用する場合は、プリンターおよびコンピューターそれぞれに一意の IP アドレスが必要です。アドレスは同じではいけませんが、最後の 1 桁のみを変更するなど、類似したものとすることが重要です。例えば、プリンターのアドレスを 192.168.1.2、コンピューターのアドレスを 192.168.1.3 とします。別のデバイスには 192.168.1.4 と設定することができます。

多くのネットワークでは動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバーが使用されています。DHCP サーバーは、DHCP を使用するよう設定されているネットワーク上の各コンピューターおよびプリンターに対して自動的に IP アドレスを付与します。DHCP サーバーは、ほとんどのケーブルおよびデジタル加入者回線 (DSL) ルーターに組み込まれています。ケーブルまたは DSL ルーターを使用する場合は、ご使用のルーターの説明書で IP アドレス付与の方法について確認してください。

■本機の IP アドレスを自動で設定する

DHCP サーバーを使用せずに本機を小規模 TCP/IP ネットワークに接続する場合は、ソフトウエアパック CD-ROM のインストーラーを使用して本機の IP アドレスの検出、または割り当てをしてください。詳細については、ソフトウエアパック CD-ROM をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入し、インストーラー起動後に指示に従ってください。

補足：

- 自動インストーラーを使用する場合は、本機を TCP/IP ネットワークに接続しておく必要があります。

■本機の IP アドレスの動的設定方法

IP アドレスの動的設定には下記の 2 つのプロトコルが利用可能です。

- DHCP（工場出荷時の設定で有効）
- Auto IP

両方のプロトコルのオン／オフには操作パネルを、DHCP のオン／オフには CentreWare Internet Services を使用してください。

補足：

- 本機の IP アドレスが記載されたレポートを印刷することができます。操作パネルで**仕様設定**ボタンを押し、**レポート / リスト**を選択、OK ボタンを押して**システム設定リスト**を選択し、最後に OK ボタンを押してください。システム設定リストに IP アドレスが記載されています。

操作パネル

DHCP または Auto IP プロトコルをオン／オフするには：

1. 操作パネルで**仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、OK ボタンを押します。
3. **ネットワーク設定**を選択し、OK ボタンを押します。
4. **TCP/IP** を選択し、OK ボタンを押します。
5. **IPv4** を選択し、OK ボタンを押します。
6. **アドレス取得方法**を選択し、OK ボタンを押します。
7. **DHCP/Auto IP** を選択し、OK ボタンを押します。

CentreWare Internet Services

DHCP プロトコルをオン／オフするには：

1. ウェブブラウザーを起動します。
2. アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。
3. ［**プロパティ**］を選択します。
4. 左側ナビゲーションパネルの［**プロトコル設定**］フォルダーから［**TCP/IP**］を選択します。
5. ［**IP アドレス取得方法**］フィールドで［**DHCP/AutoIP**］オプションを選択します。
6. ［**新しい設定を適用する**］ボタンをクリックします。

■IP アドレスを割り当てる（IPv4 モードの場合）

IP アドレスは操作パネルまたは設定管理ツールから割り当てることができます。

補足：

- IPv6 モードで手動で IP アドレスを割り当てる場合は、CentreWare Internet Services を使用します。CentreWare Internet Services を表示するには、リンクローカルアドレスを使用してください。リンクローカルアドレスを確認するには「システム設定リストを印刷・確認する」（77 ページ）を参照してください。
- IP アドレスの割り当ては高度な機能ですので、システム管理者が作業を行うことをお勧めします。
- アドレスクラスによって、割り当てられる IP アドレスの範囲は異なることがあります。例えば、クラス A の場合は、**0.0.0.0** から **127.255.255.255** の範囲の IP アドレスが割り当てられます。IP アドレスの割り当てについては、システム管理者に問い合わせてください。

操作パネル

1 本機の電源を入れます。
LCD ディスプレイに**機能を選択してください**が表示されていることを確認してください。

2 操作パネルで**仕様設定**ボタンを押します。

3 **仕様設定**を選択し、OKボタンを押します。

4 **ネットワーク設定**を選択し、OKボタンを押します。

5 **TCP/IP** を選択し、OKボタンを押します。

6 **IPv4** を選択し、OKボタンを押します。

7 **アドレス取得方法**を選択し、OKボタンを押します。

8 **パネル**が選択されていることを確認してから ⮌ (**戻る**) ボタンを押します。

9 **アドレス取得方法**が選択されていることを確認します。

10 **IP アドレス**を選択し、OKボタンを押します。
カーソルは IP アドレスの最初の 3 桁に合わされます。

11 テンキーを使用して IP アドレスの値を入力します。

12 ▶ボタンを押します。
次の 3 桁がハイライト表示されます。

13 手順 11 ～ 12 を繰り返して IP アドレスをすべて入力し、OKボタンを押します。

14 ⮌ (**戻る**) ボタンを押し、**IP アドレス**が選択されていることを確認します。

15 **サブネットマスク**を選択し、OKボタンを押します。
カーソルはサブネットマスクの最初の 3 桁に合わされます。

16 テンキーを使用してサブネットマスクの値を入力します。

17 ▶ボタンを押します。
次の 3 桁がハイライト表示されます。

18 手順 16 ～ 17 を繰り返してサブネットマスクを設定し、OKボタンを押します。

19 ⮌ (**戻る**) ボタンを押し、**サブネットマスク**が選択されていることを確認します。

20 **ゲートウェイアドレス**を選択し、OKボタンを押します。
カーソルはゲートウェイアドレスの最初の 3 桁に合わされます。

21 テンキーを使用してゲートウェイアドレスの値を入力します。

22 ▶ボタンを押します。
次の 3 桁がハイライト表示されます。

23 手順 21 ～ 22 を繰り返してゲートウェイアドレスを設定し、OKボタンを押します。

24 本機の電源を入れ直します。

参照：
- 「操作パネル」（44 ページ）

設定管理ツール

ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足：
- ネットワーク印刷に IPv6 を使用する場合は、設定管理ツールで IP アドレスを設定することはできません。

1 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ ご使用の機種 →［**設定管理ツール**］をクリックします。

補足：
- 複数のプリンタードライバーがコンピューターにインストールされている場合は、プリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合、［**プリンター名**］に一覧表示されているプリンターから任意の名称をクリックしてください。

設定管理ツールが表示されます。

2 ［**メンテナンス**］タブをクリックします。

3 ページ左側の一覧から［**TCP/IP 設定**］を選択します。

［**TCP/IP 設定**］ページが表示されます。

4 ［**IP アドレス取得方法**］から［**手動で設定**］を選択し、［**IP アドレス**］、［**サブネットマスク**］、［**ゲートウェイアドレス**］に値を入力します。

5 ［**新しい設定を適用して本体を再起動**］ボタンをクリックして設定を有効にします。

IP アドレスが本機に割り当てられます。設定を検証するため、ネットワークに接続されたコンピューターでウェブブラウザーを立ち上げ、ブラウザーのアドレスバーに IP アドレスを入力してください。IP アドレスが正しく設定されていれば、CentreWare Internet Services がブラウザーに表示されます。

インストーラーでプリンタードライバーをインストールする際に、本機に IP アドレスを割り当てることもできます。ネットワークインストール機能を使用し、操作パネルのメニューで **IP アドレス取得方法**が **DHCP/Auto IP** に設定されている場合、IP アドレスに、**0.0.0.0** からの任意の IP アドレスを、プリンターを選択するウィンドウで設定することができます。

■IP 設定を検証する

ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足：

- レポート / リストは、英語で印刷されます。

1 システム設定リストを印刷します。

2 システム設定リストの［**IPv4**］の見出しで IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しいことを確認します。

ネットワーク上で本機がアクティブになっているかを確認するには、コンピューターで ping コマンドを実行してください。

1 ［**スタート**］をクリックして［**ファイル名を指定して実行**］を選択します。

2 ［**cmd**］と入力して［**OK**］をクリックします。

 黒いウィンドウが表示されます。

3 「**ping xx.xx.xx.xx**」（**xx.xx.xx.xx** はコンピューターの IP アドレス）と入力し、**Enter** キーを押します。

4 IP アドレスから反応があると、本機がネットワーク上でアクティブになっていることを示します。

参照：

- 「システム設定リストを印刷・確認する」（77 ページ）

■ システム設定リストを印刷・確認する

システム設定リストを印刷し、本機の IP アドレスを確認してください。

ここには下記の項目を記載します：

- 「操作パネル」（77 ページ）
- 「設定管理ツール」（78 ページ）

操作パネル

補足：

- レポート / リストは、英語で印刷されます。

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **レポート / リスト**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 **システム設定リスト**を選択し、(OK)ボタンを押します。
システム設定リストが印刷されます。

4 システム設定リストの［**Wired Network**］/［**Wireless Network**］に記載されている IP アドレスを確認してください。IP アドレスが **0.0.0.0** の場合、自動で IP アドレスが解決されるまで数分待機し、再度システム設定リストを印刷してください。
IP アドレスが自動で解決されない場合は「IP アドレスを割り当てる（IPv4 モードの場合）」（73 ページ）を参照してください。

設定管理ツール

ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足：

- レポート / リストは、英語で印刷されます。

1 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ご使用の機種→［**設定管理ツール**］をクリックします。

   補足：

   - 複数のプリンタードライバーがコンピューターにインストールされている場合は、プリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合、［**プリンター名**］に一覧表示されているプリンターから任意の名称をクリックしてください。

   設定管理ツールが表示されます。

2 ［**設定 / レポート**］タブをクリックします。

3 ページ左側の一覧から［**レポート / リスト**］を選択します。

   ［**レポート / リスト**］ページが表示されます。

4 ［**システム設定リスト**］ボタンをクリックします。

   システム設定リストが印刷されます。

   IP アドレスが **0.0.0.0**（工場出荷時の設定）または **169.254.xx.xx** の場合、IP アドレスが割り当てられていません。

参照：

- 「IP アドレスを割り当てる（IPv4 モードの場合）」（73 ページ）

プリンタードライバーをインストールする（Windows）

ここには下記の項目を記載します：

- 「プリンタードライバーをインストールする前に（ネットワーク接続セットアップの場合）」（80 ページ）
- 「ソフトウエアパック CD-ROM を挿入する」（81 ページ）
- 「USB 接続セットアップ」（82 ページ）
- 「ネットワーク接続セットアップ」（83 ページ）
- 「ワイヤレス設定を行う」（84 ページ）
- 「共有印刷を設定する」（117 ページ）

補足：

- スキャナードライバーおよびファクスドライバーはプリンタードライバーと一緒にインストールされます。

■ プリンタードライバーをインストールする前に（ネットワーク接続セットアップの場合）

ここには下記の項目を記載します：

- 「IP アドレスを確認する」（80 ページ）

IP アドレスを確認する

コンピューターにプリンタードライバーをインストールする前に、システム設定リストを印刷して本機の IP アドレスを確認してください。

参照：

- 「システム設定リストを印刷・確認する」（77 ページ）

■ソフトウエアパック CD-ROM を挿入する

1 ソフトウエアパック CD-ROM をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入して、かんたんインストールナビ（ビデオ）を起動します。

補足：

- CD が自動的に起動しない場合は、［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］（Windows Vista および Windows 7 の場合）→［**アクセサリ**］（Windows Vista および Windows 7 の場合）→［**ファイル名を指定して実行**］をクリックし、「**D:¥setup.exe**」（D はお使いのコンピューターの CD/DVD ドライブのドライブ名）と入力して［**OK**］をクリックしてください。

ファイアウォールの例外に追加する（ネットワーク接続セットアップの場合）

次の OS のいずれかをご使用の場合、本機付属のソフトウエアをインストールする前にファイアウォールの設定を変更する必要があります。

- Windows 7
- Windows Vista
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008
- Windows XP

補足：

- Windows XP の場合は必ず Service Pack2 または 3 をインストールしてください。

ここでは、Windows XP を例に説明します。

1 ソフトウエアパック CD-ROM をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入します。

2 ［**スタート**］→［**コントロールパネル**］をクリックします。

3 ［**セキュリティセンター**］をクリックします。

4 ［**Windows ファイアウォール**］をクリックします。

5 ［**例外を許可しない**］チェックボックスの選択を解除します。

6 ［**例外**］タブをクリックします。

7 ［**プログラムの追加**］をクリックします。

8 ［**参照**］をクリックします。

9 ［**ファイル名**］テキストボックスに「**D:¥Install¥setup.exe**」（D はお使いのコンピューターの CD/DVD ドライブのドライブ名）と入力し、［**開く**］をクリックします。

10 ［**OK**］を二回クリックします。

■USB 接続セットアップ

ここでは、Windows XP を例に説明します。

1 コンピューターと本機を USB ケーブルで接続します。

2 本機の電源を入れます。

補足：

- ［**新しいハードウェアの検出ウィザード**］が表示された場合は［**キャンセル**］をクリックしてください。

3 かんたんインストールナビ（ビデオ）で、［**ドライバーおよびソフトウェアのインストール**］をクリックします。

4 ［**USB 接続用インストール**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

5 ［**使用許諾契約**］の内容に同意する場合は、［**使用許諾契約の条項に同意します**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

6 ［**完了**］をクリックしてウィザードを終了します。

●USB 印刷

パーソナルプリンターとは、USB ケーブルを使用してコンピューターまたはプリントサーバーに接続されたプリンターです。本機をコンピューターではなくネットワークに接続する場合は、「ネットワーク接続セットアップ」（83 ページ）に進んでください。

■ネットワーク接続セットアップ

ここでは、Windows XP を例に説明します。

1. かんたんインストールナビ（ビデオ）で、［**ドライバーおよびソフトウェアのインストール**］をクリックします。
2. ［**ネットワーク接続用インストール**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。
3. ［**使用許諾契約**］の内容に同意する場合は、［**使用許諾契約の条項に同意します**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。
4. プリンターの一覧から、本機を選択して［**次へ**］をクリックします。本機が一覧に表示されていない場合は、［**最新の情報に更新**］をクリックして一覧を更新するか、［**プリンターの追加**］をクリックして手動で一覧に追加してください。ここで、IP アドレスおよびポート名を指定できます。

   本機がサーバーコンピューター上にインストールされている場合は、［**サーバーにプリンターを作成します**］チェックボックスを選択してください。

   補足：

   - Auto IP を使用している場合はインストーラーには **0.0.0.0** と表示されます。続行するには有効な IP アドレスを入力しなければなりません。

5. 本機の設定を行い、［**次へ**］をクリックします。
   a. 本機の名称を入力します。
   b. ネットワーク上のその他のユーザーに本機へのアクセスを許可する場合は、［**このプリンターをネットワーク上のほかのコンピューターと共有する**］を選択してユーザーが識別できる共有名を入力します。
   c. 本機を印刷に通常使うプリンターとして設定する場合は、［**通常使用するプリンターとして設定**］チェックボックスを選択します。
   d. 本機をスキャンに通常使うスキャナーとして設定する場合は、［**通常使用するスキャナーとして設定**］チェックボックスを選択します。
   e. ファクスドライバーをインストールする場合は、［**ファクスドライバー**］チェックボックスを選択します。
6. インストールするソフトウエアとファイルを選択し、［**インストール**］をクリックします。ソフトウエアとファイルをインストールするフォルダーを指定することができます。フォルダーを変更する場合は［**参照**］をクリックしてください。
7. ［**完了**］をクリックしてウィザードを終了します。

■ワイヤレス設定を行う

ここでは、かんたんインストールナビ（ビデオ）からワイヤレス設定を行う方法について説明します。

注記：

- ワイヤレス設定の際に WPS 以外を用いる場合は、あらかじめ、システム管理者に SSID とワイヤレス通信の暗号設定の情報を確認しておいてください。
- ワイヤレス設定を行う前に、本機からイーサネットケーブルが抜かれていることを確認してください。

ワイヤレス設定機能の仕様は次のとおりです。

項目	仕様
接続形態	ワイヤレス
接続規格	IEEE 802.11b/g 対応
帯域幅	2.4 GHz
データ転送速度	IEEE 802.11b モード：11、5.5、2、1Mbps
	IEEE 802.11g モード：54、48、36、24、18、12、9、6Mbps
セキュリティー	64（40 ビットキー）／ 128（104 ビットキー）WEP、WPA-PSK（TKIP、AES）、WPA2-PSK(AES)（IEEE802.1x 認証機能 WPA 1x 非対応）
認証	Wi-Fi、WPA2.0（パーソナル）
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	PBC (Push Button Configuration)、PIN (Personal Identification Number)

ワイヤレス設定を構成する方法は下記から選択できます。

USB 接続によるウィザードセットアップ	
詳細セットアップ方法	Ethernet ケーブル
	操作パネル
	CentreWare Internet Services
	WPS-PIN*1
	WPS-PBC*2

*1 WPS-PIN (Wi-Fi® Protected Setup-Personal Identification Number) は、コンピューターやプリンターなどに割り当てられた PIN を入力してワイヤレス設定に必要なデバイスを認証、登録する方法です。この設定（アクセスポイントから実行）は、ご使用のワイヤレスルーターのアクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。

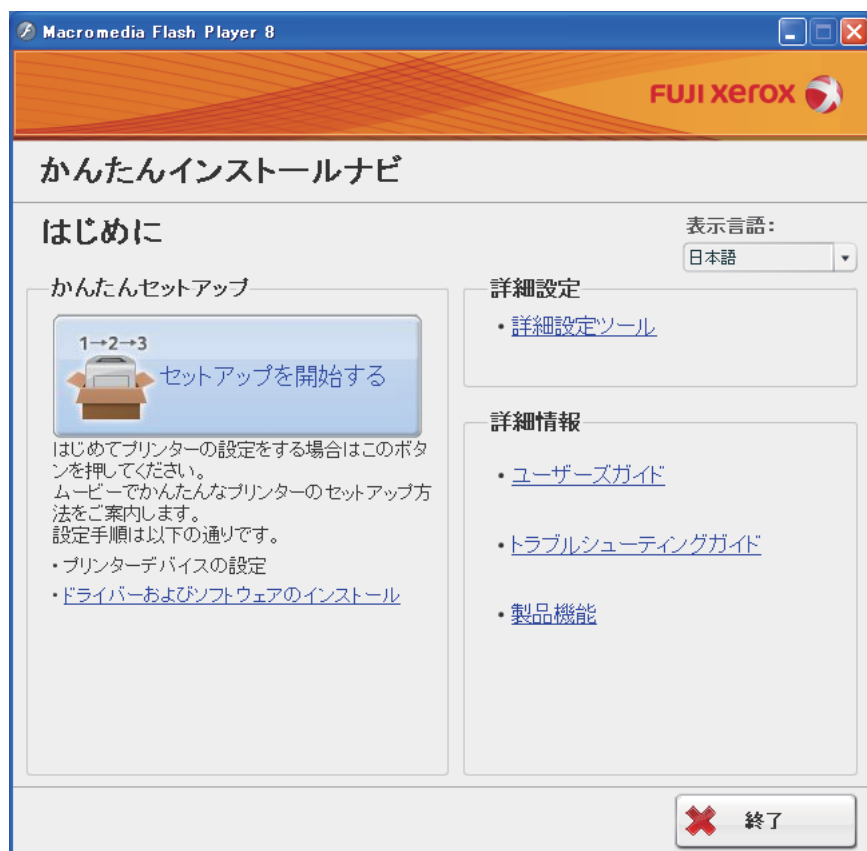
*2 WPS-PBC (Wi-Fi Protected Setup-Push Button Configuration) は、ワイヤレスルーターからアクセスポイントのボタンを押し、操作パネル上で WPS-PBC 設定を実行することによってワイヤレス設定に必要なデバイスを認証、登録する方法です。この設定は、アクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。

ここには下記の項目を記載します：

- 「ウィザードセットアップを使用してワイヤレス設定を構成する」（85 ページ）
- 「詳細セットアップを使用してワイヤレス設定を構成する」（91 ページ）
- 「コンピューターに新規ワイヤレスネットワーク環境をセットアップする（コンピューターにワイヤレス接続をセットアップする必要がある場合）」（108 ページ）

ウィザードセットアップを使用してワイヤレス設定を構成する

ここでは、Windows XP を例に説明します。

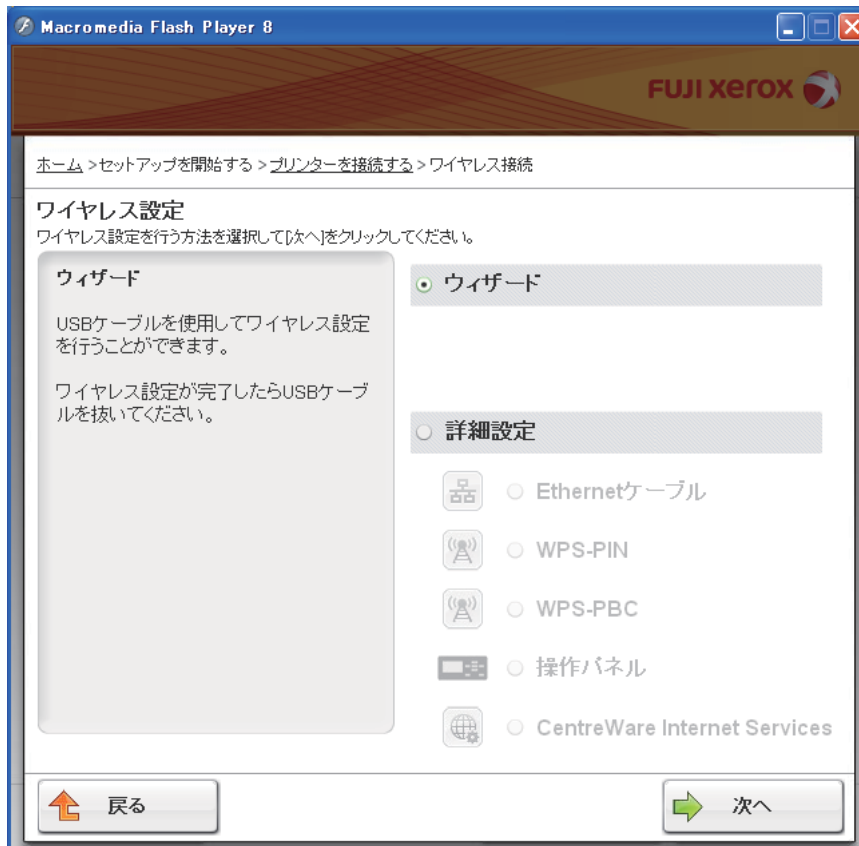
1 ソフトウエアパック CD-ROM をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入すると、かんたんインストールナビ（ビデオ）が自動的に起動します。

2 ［**セットアップを開始する**］をクリックします。

3 ［**プリンターを接続する**］をクリックします。

接続タイプの選択画面が表示されます。

4 ［**ワイヤレス接続**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

設定方法の選択画面が表示されます。

5 ［**ウィザード**］が選択されていることを確認してから［**次へ**］をクリックします。

6 画面に表示される指示に従って USB ケーブルを接続し、［**設定管理ツール**］画面が表示されるまで設定を行います。

補足：

- ［**新しいハードウェアの検出ウィザード**］が表示された場合は［**キャンセル**］をクリックしてください。

7 SSID を入力します。

補足：

- SSID の記載場所については、アクセスポイントの説明書を参照してください。アドホック接続の場合は、コンピューターのアドホック接続を設定したときに指定した SSID を使用してください。

8 ［**ネットワークタイプ**］を選択します。

9 セキュリティー設定を行い、［**次へ**］をクリックします。
［IP アドレスの設定］画面が表示されます。

10 ネットワーク環境に応じて［**IP 動作モード**］を選択します。
［**IPv4**］を選択した場合は、下記の設定を行います。

a ［**種類**］を選択します。

b ［**種類**］で［**手動で設定**］を選択した場合は、下記の項目を入力します。

- 本機の［**IP アドレス**］
- ［**サブネットマスク**］
- ［**ゲートウェイアドレス**］

［**デュアルスタック**］を選択した場合は、下記の設定を行います。

a ［**IPv4 の設定**］の設定を行います。

b ［**IPv6 の設定**］で［**手動で設定**］チェックボックスを選択した場合は、下記の項目を入力します。

- 本機の［**IP アドレス**］

- ［**ゲートウェイアドレス**］

補足：

- IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方をインターネット通信用に使用する場合に、［**デュアルスタック**］を選択します。

11 ［**次へ**］をクリックします。

［ファクスの設定］画面が表示されます。

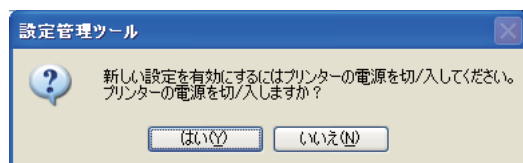
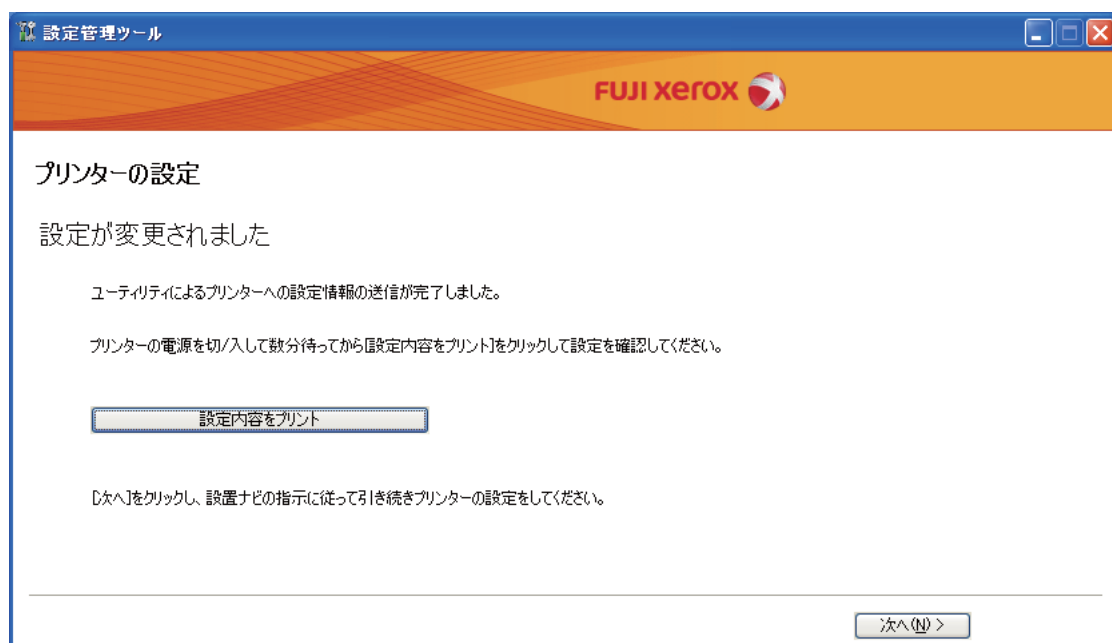
12 必要に応じてファクス設定を設定します。

補足：

- ファクス機能を使用しない場合は、［**ファクス機能を使用しない**］チェックボックスを選択します。

13 ［**次へ**］をクリックします。

14 ワイヤレス設定を確認して、［**適用**］をクリックします。

15 ［**はい**］をクリックして本機を再起動します。

［設定が変更されました］画面が表示されます。

16 本機が再起動し、ワイヤレスネットワークが確立するまで数分待ちます。

補足：

- ［**新しいハードウェアの検出ウィザード**］が表示された場合は［**キャンセル**］をクリックしてください。

17 ［**設定内容をプリント**］をクリックします。

18 システム設定リストで「Link Quality」に「Good」、「Acceptable」または「Low」と表示されていることを確認します。

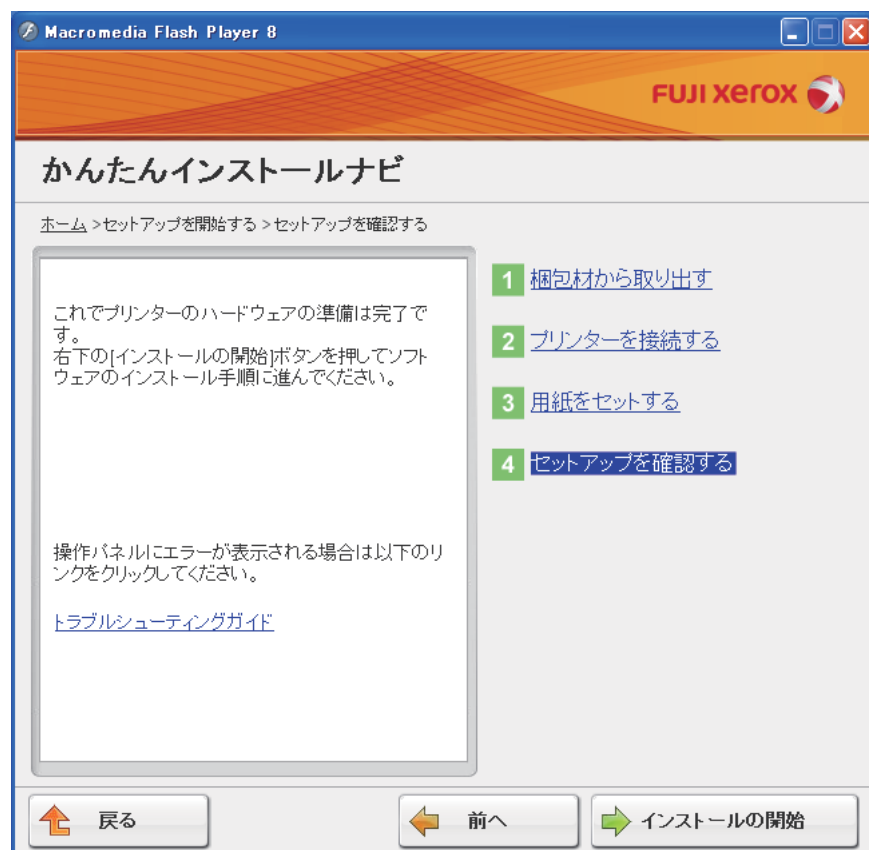
補足：

- 「Link Quality」が「No Reception」の場合、ワイヤレス設定が正しく構成されているか確認してください。ワイヤレス設定を再設定するには、「設定が変更されました」画面で［**次へ**］をクリックし、その後［**戻る**］をクリックします。

19 ［**次へ**］をクリックします。

20 「セットアップを確認する」画面が表示されるまで指示に従います。

21 LCD ディスプレイにエラーが表示されていないことを確認し、［**インストールの開始**］をクリックします。

エラーが発生した場合は、［**トラブルシューティングガイド**］をクリックして指示に従ってください。

22 ［**使用許諾契約**］の内容に同意する場合は、［**使用許諾契約の条項に同意します**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

23 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていることを確認してから、[**次へ**] をクリックします。

補足：
- 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていない場合は、次の手順を行ってください。
  - [**最新の情報に更新**] をクリックして情報を更新する。
  - [**プリンターの追加**] をクリックして本機の詳細を手入力する。

24 「プリンター情報の入力」画面で必要な項目を選択し、[**次へ**] をクリックします。

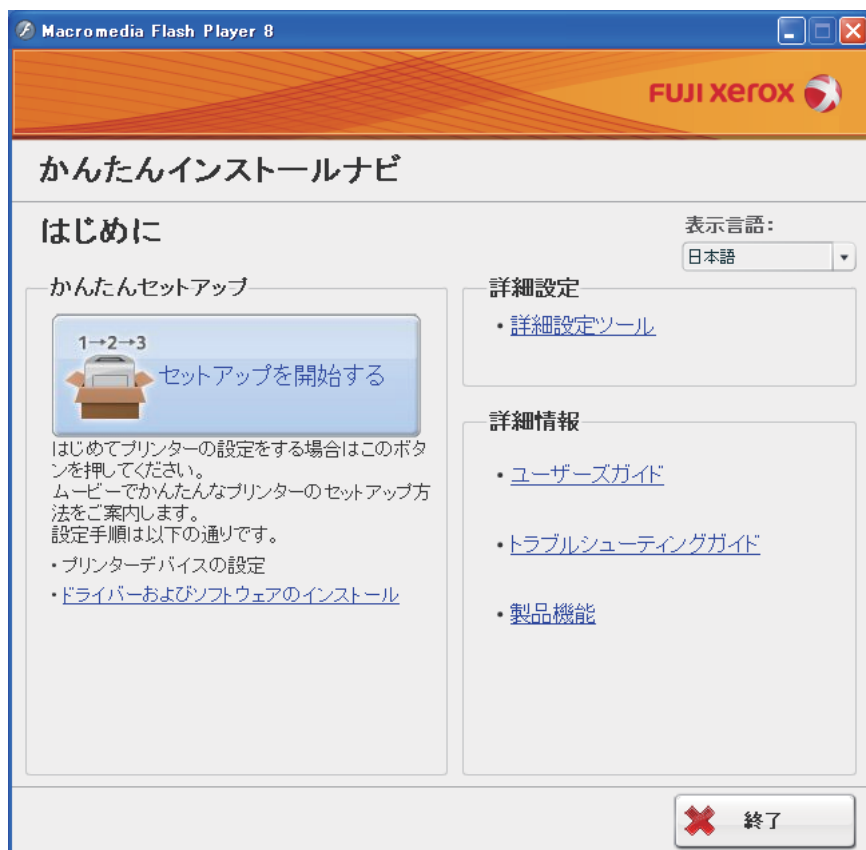
25 インストールするソフトウエアを選択し、[**インストール**] をクリックします。

26 [**完了**] をクリックしてこのツールを終了します。
ワイヤレス接続の設定はこれで完了です。

詳細セットアップを使用してワイヤレス設定を構成する

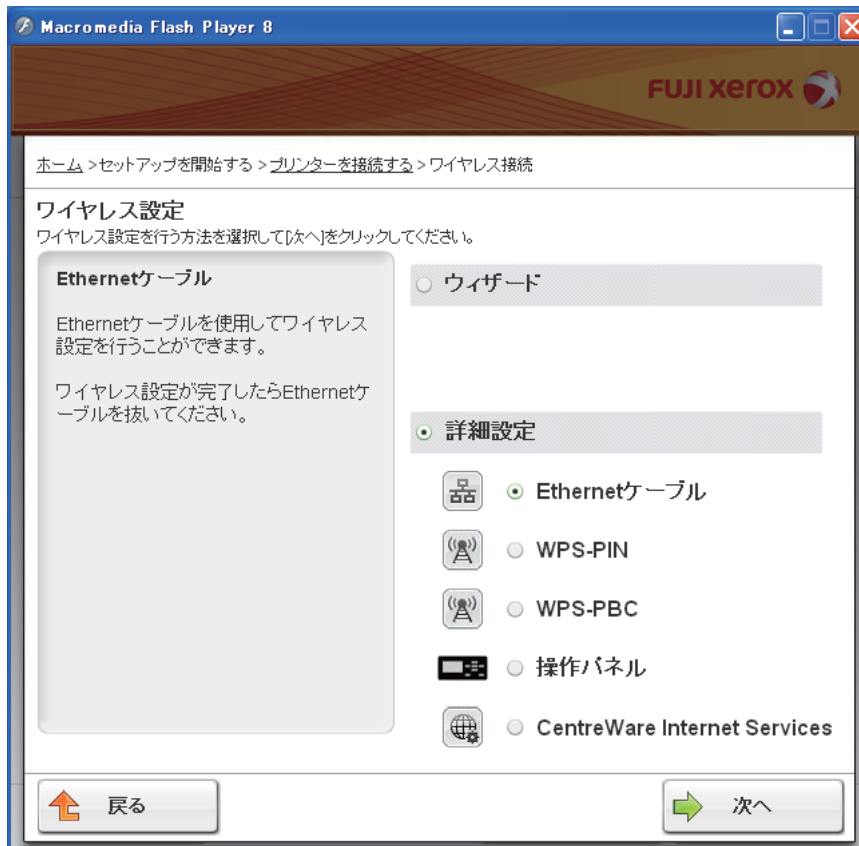
詳細セットアップを行うために、**「ワイヤレス設定」**画面を表示します。
ここでは、Windows XP を例に説明します。

●「ワイヤレス設定」画面を表示する

1 ソフトウエアパック CD-ROM をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入すると、かんたんインストールナビ（ビデオ）が自動的に起動します。

2 ［**セットアップを開始する**］をクリックします。

3 ［**プリンターを接続する**］をクリックします。

4 ［**ワイヤレス接続**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。
設定方法の選択画面が表示されます。

5 ［**詳細設定**］を選択します。

●次の項目から接続方法を選択します

- 「Ethernet ケーブル」（94 ページ）
- 「WPS-PIN」（100 ページ）
- 「WPS-PBC」（102 ページ）
- 「操作パネル」（104 ページ）
- 「CentreWare Internet Services」（106 ページ）

●Ethernet ケーブル

1 ［**Ethernet ケーブル**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

2 指示に従い、［**次へ**］をクリックします。
［**設定管理ツール**］画面が表示されます。

3 本機を「プリンターを選択」画面で選択してから、［**次へ**］をクリックします。

補足：

- 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていない場合、次の手順を行ってください。
  - ［**最新情報に更新**］をクリックして情報を更新する。
  - ［**IP アドレスを入力**］をクリックして本機の詳細を手入力する。

4 SSID を入力します。

補足：

- SSID の記載場所については、アクセスポイントの説明書を参照してください。アドホック接続の場合は、コンピューターのアドホック接続を設定したときに指定した SSID を使用してください。

5 ［**ネットワークタイプ**］を選択します。

6 セキュリティー設定を行い、［**次へ**］をクリックします。
［IP アドレスの設定］画面が表示されます。

7 ネットワーク環境に応じて［**IP 動作モード**］を選択します。
［**IPv4**］を選択した場合は、下記の設定を行います。

a ［**種類**］を選択します。

b ［**種類**］で［**手動で設定**］を選択した場合は、下記の項目を入力します。

- 本機の［**IP アドレス**］
- ［**サブネットマスク**］

- ［**ゲートウェイアドレス**］

［**デュアルスタック**］を選択した場合、下記の設定を行います。

a ［**IPv4 の設定**］の設定を行います。

b ［**IPv6 の設定**］で［**手動で設定**］チェックボックスを選択した場合は、下記の項目を入力します。

  - 本機の［**IP アドレス**］

- ［**ゲートウェイアドレス**］

補足：

- IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方をインターネット通信用に使用する場合に、［**デュアルスタック**］を選択します。

8 ［**次へ**］をクリックします。

「ファクスの設定」画面が表示されます。

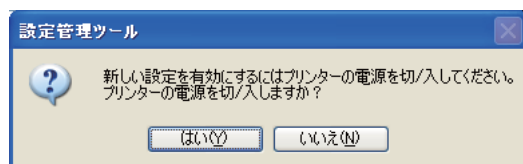
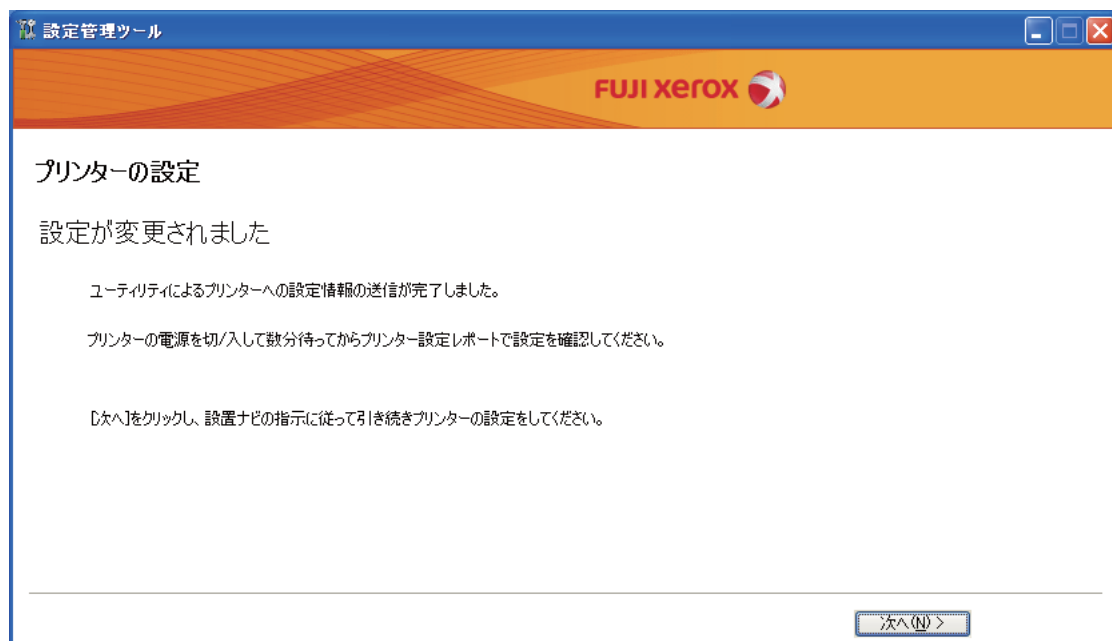
9 必要に応じてファクス設定を行います。

補足：

- ファクス機能を使用しない場合は、［**ファクス機能を使用しない**］チェックボックスを選択します。

10 ［**次へ**］をクリックします。

11 ワイヤレス設定を確認して［**適用**］をクリックします。

12 ［**はい**］をクリックして本機を再起動します。

「設定が変更されました」画面が表示されます。

13 本機が再起動し、ワイヤレスネットワークが確立するまで数分待ちます。

14 ［**次へ**］をクリックします。

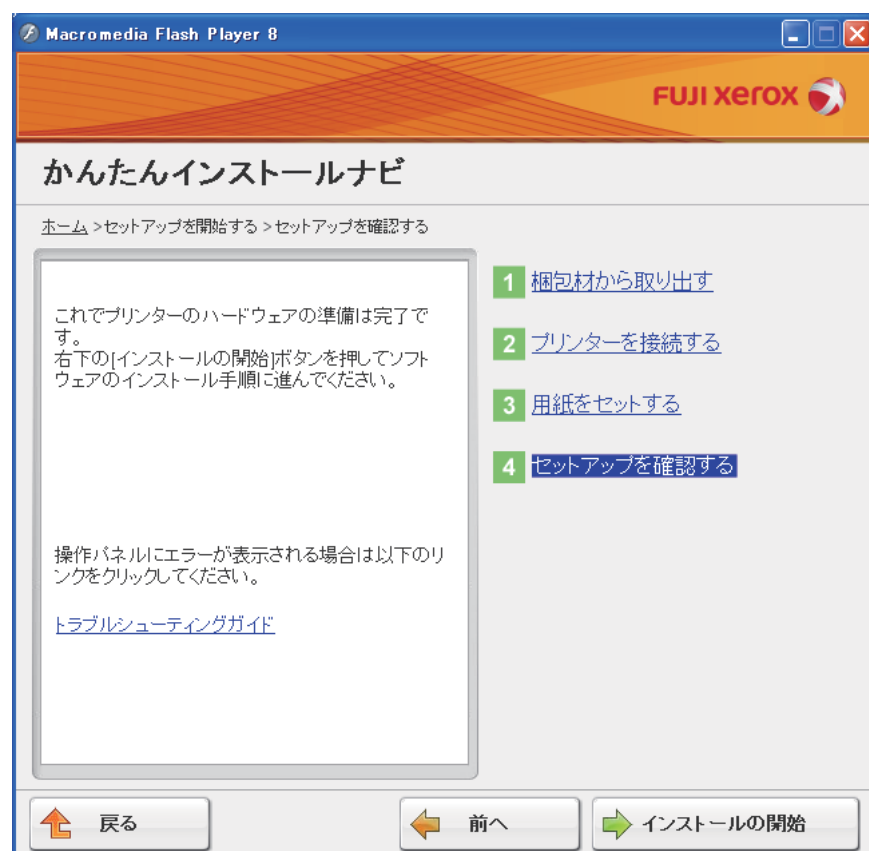
15 「**セットアップを確認する**」画面が表示されるまで指示に従います。

16 操作パネルからシステム設定リストを印刷します。
「システム設定リストを印刷する」（185 ページ）を参照してください。

17 システム設定リストで「Link Quality」に「Good」、「Acceptable」または「Low」と表示されていることを確認します。

補足：

- 「Link Quality」が「No Reception」の場合、ワイヤレス設定が正しく構成されているか確認してください。ワイヤレス設定を再設定するには、［**戻る**］をクリックします。

18 LCD ディスプレイにエラーが表示されていないことを確認し、［**インストールの開始**］をクリックします。
エラーが発生した場合は、［**トラブルシューティングガイド**］をクリックして指示に従ってください。

19 ［**使用許諾契約**］の内容に同意する場合は、［**使用許諾契約の条項に同意します**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

20 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていることを確認してから、［**次へ**］をクリックします。

補足：

- 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていない場合、次の手順を行ってください。
  - ［**最新の情報に更新**］をクリックしてして情報を更新する。
  - ［**プリンターの追加**］をクリックして本機の詳細を手入力する。

21 「プリンター情報の入力」画面で必要な項目を設定し、［**次へ**］をクリックします。

22 インストールするソフトウエアを選択し、［**インストール**］をクリックします。

23 ［**完了**］をクリックしてこのツールを終了します。
ワイヤレス接続の設定はこれで完了です。

●WPS-PIN

補足：

- WPS-PIN (Wi-Fi Protected Setup-Personal Identification Number) は、コンピューターやプリンターなどに割り当てられた PIN を入力してワイヤレス設定に必要なデバイスを認証、登録する方法です。この設定（アクセスポイントから実行）は、ご使用のワイヤレスルーターのアクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。
- WPS-PIN を始める前に、ワイヤレスアクセスポイントのウェブページで PIN を入力する必要があります。詳細についてはアクセスポイントの説明書を参照してください。

1 ［**WPS-PIN**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

2 「セットアップを確認する」画面が表示されるまで指示に従います。

3 LCD ディスプレイにエラーが表示されていないことを確認し、［**インストールの開始**］をクリックします。

エラーが発生した場合は、［**トラブルシューティングガイド**］をクリックして指示に従ってください。

4 ［**使用許諾契約**］の内容に同意する場合は、［**使用許諾契約の条項に同意します**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

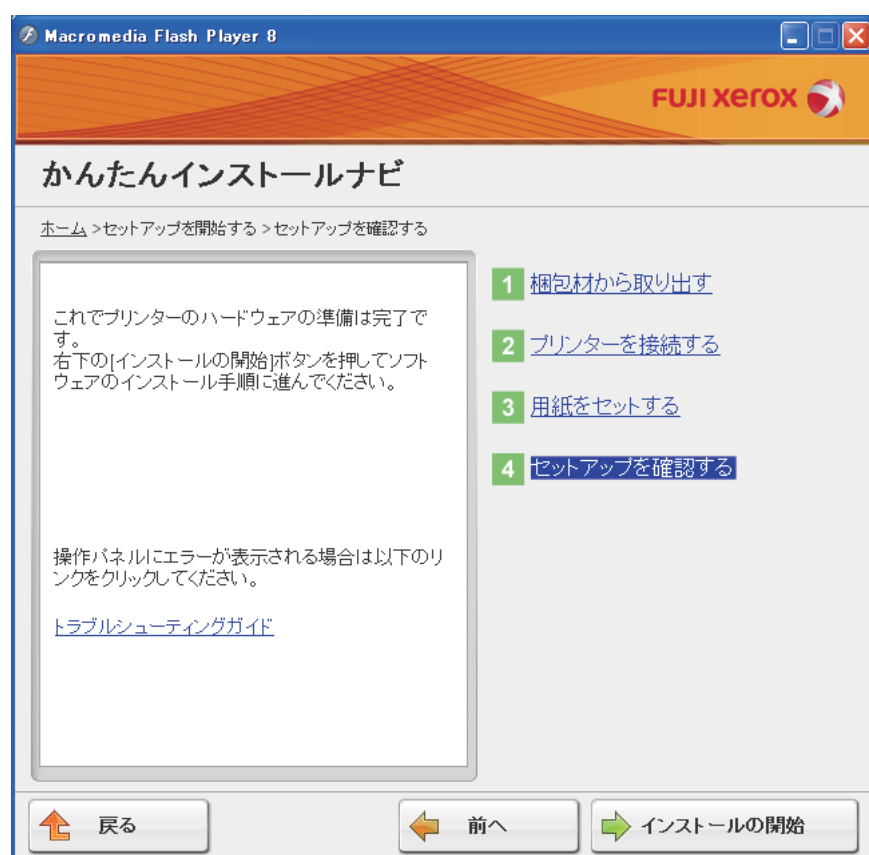
5 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていることを確認してから、［**次へ**］をクリックします。

補足：

- 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていない場合、次の手順を行ってください。
  - ［**最新情報に更新**］をクリックして情報を更新する。

- ［**プリンターの追加**］をクリックして本機の詳細を手入力する。

6 「プリンター情報の入力」画面で必要な項目を設定し、［**次へ**］をクリックします。

7 インストールするソフトウエアを選択し、［**インストール**］をクリックします。

8 ［**完了**］をクリックしてこのツールを終了します。
ワイヤレス接続の設定はこれで完了です。

WPS-PIN の操作を完了し、本機を再起動したら、ワイヤレス LAN 接続は完了です。

●WPS-PBC

補足：

- WPS-PBC (Wi-Fi Protected Setup-Push Button Configuration) は、ワイヤレスルーターからアクセスポイントのボタンを押し、操作パネル上で WPS-PBC 設定を実行することによってワイヤレス設定に必要なデバイスを認証、登録する方法です。この設定は、アクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。

1. ［**WPS-PBC**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。
2. 「セットアップを確認する」画面が表示されるまで指示に従います。
3. LCD ディスプレイにエラーが表示されていないことを確認し、［**インストールの開始**］をクリックします。

   エラーが発生した場合は、［**トラブルシューティングガイド**］をクリックして指示に従ってください。

4. ［**使用許諾契約**］の内容に同意する場合は、［**使用許諾契約の条項に同意します**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。
5. 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていることを確認してから、［**次へ**］をクリックします。

   補足：

   - 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていない場合、次の手順を行ってください。
     - ［**最新情報に更新**］をクリックして情報を更新する。
     - ［**プリンターの追加**］をクリックして本機の詳細を手入力する。

6 「プリンター情報の入力」画面で必要な項目を設定し、[**次へ**]をクリックします。

7 インストールするソフトウエアを選択し、[**インストール**]をクリックします。

8 [**完了**]をクリックしてこのツールを終了します。

ワイヤレス接続の設定はこれで完了です。

補足：

- ワイヤレス LAN アクセスポイントでの WPS-PBC の操作については、ワイヤレス LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

WPS-PBC の操作を完了し、本機を再起動したら、ワイヤレス LAN 接続は完了です。

●操作パネル

1 ［**操作パネル**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

2 「セットアップを確認する」画面が表示されるまで指示に従います。

3 LCD ディスプレイにエラーが表示されていないことを確認し、［**インストールの開始**］をクリックします。

エラーが発生した場合は、［**トラブルシューティングガイド**］をクリックして指示に従ってください。

4 ［**使用許諾契約**］の内容に同意する場合は、［**使用許諾契約の条項に同意します**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

5 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていることを確認してから、［**次へ**］をクリックします。

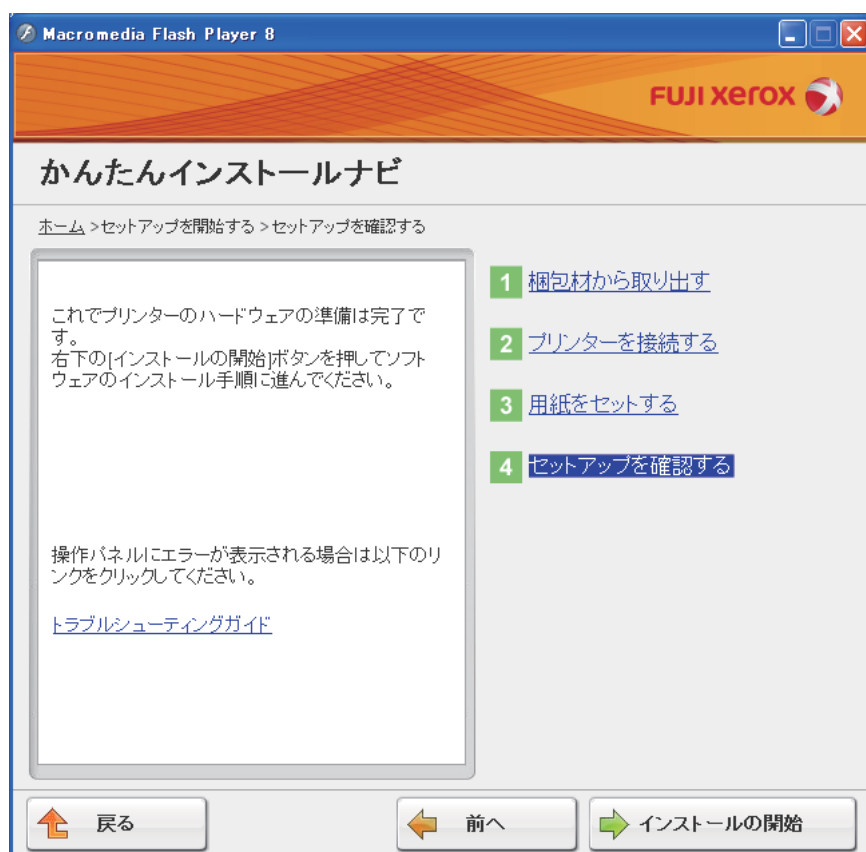
補足：

- 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていない場合、次の手順を行ってください。
  - ［**最新情報に更新**］をクリックして情報を更新する。
  - ［**プリンターの追加**］をクリックして本機の詳細を手入力する。

6 「プリンター情報の入力」画面で必要な項目を設定し、［**次へ**］をクリックします。

7 インストールするソフトウエアを選択し、［**インストール**］をクリックします。

8 ［**完了**］をクリックしてこのツールを終了します。

ワイヤレス接続の設定はこれで完了です。

●CentreWare Internet Services

1 ［**CentreWare Internet Services**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

2 「セットアップを確認する」画面が表示されるまで画面上の指示に従います。

3 LCD ディスプレイにエラーが表示されていないことを確認し、［**インストールの開始**］をクリックします。

エラーが発生した場合は、［**トラブルシューティングガイド**］をクリックして指示に従ってください。

4 ［**使用許諾契約**］の内容に同意する場合は、［**使用許諾契約の条項に同意します**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

5 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていることを確認してから、［**次へ**］をクリックします。

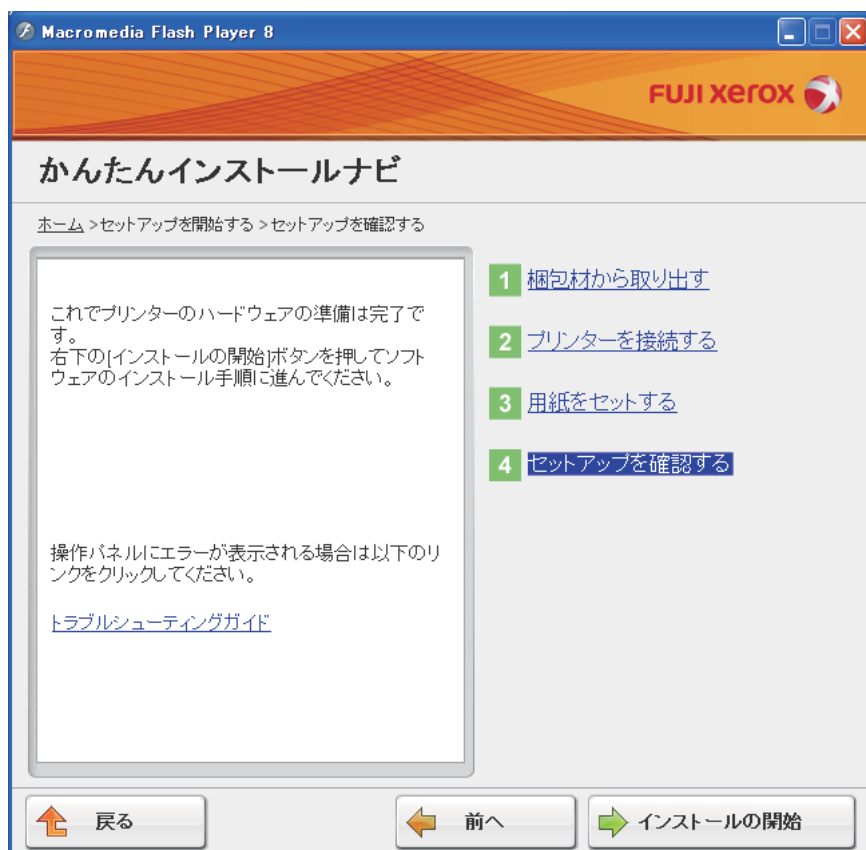
補足：

- 本機が「プリンターを選択」画面に表示されていない場合、次の手順を行ってください。
  - ［**最新情報に更新**］をクリックして情報を更新する。
  - ［**プリンターの追加**］をクリックして本機の詳細を手入力する。

6 「プリンター情報の入力」画面で必要な項目を設定し、［**次へ**］をクリックします。

7 インストールするソフトウエアを選択し、［**インストール**］をクリックします。

8 ［**完了**］をクリックしてこのツールを終了します。

ワイヤレス接続の設定はこれで完了です。

CentreWare Internet Services の操作を完了し、本機を再起動したら、ワイヤレス LAN 接続は完了です。

コンピューターに新規ワイヤレスネットワーク環境をセットアップする（コンピューターにワイヤレス接続をセットアップする必要がある場合）

●DHCP ネットワークの場合：

1 コンピューターのワイヤレス接続設定を行います。

補足：

- コンピューターにインストール可能なワイヤレスアプリケーションを使用してワイヤレス設定を変更することも可能です。

Windows XP および Windows Server 2003 の場合：

a ［**コントロール パネル**］から［**ネットワーク接続**］を選択します。

b ［**ワイヤレス ネットワーク接続**］を右クリックして［**プロパティ**］を選択します。

c ［**ワイヤレス ネットワーク**］タブを選択します。

d ［**Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する**］のチェックボックスが選択されていることを確認します。

補足：

- ［**詳細設定**］ウィンドウ（手順 f）および［**ワイヤレス ネットワークのプロパティ**］ウィンドウ（手順 h）のワイヤレス設定を控えておいてください。あとでこれらの設定が必要になる場合があります。

e ［**詳細設定**］ボタンをクリックします。

f ［**コンピュータ相互 （ad hoc）のネットワークのみ**］を選択して［**詳細設定**］ダイアログボックスを閉じます。

g ［**追加**］ボタンをクリックして［**ワイヤレス ネットワークのプロパティ**］を表示します。

h ［**アソシエーション**］タブで次の情報を入力して［**OK**］をクリックします。

［**ネットワーク名 (SSID)**］：「**xxxxxxxx**」（xxxxxxxx は使用するワイヤレスデバイスの SSID を示します。）

［ネットワーク認証］：［オープン システム］

［データの暗号化］：［無効］

i　［上へ］ボタンをクリックして、新しく追加した SSID を一覧の最上部に移動します。

j　［**OK**］をクリックして［**ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ**］ダイアログボックスを閉じます。

Windows Vista の場合：

a　［**コントロール パネル**］を表示します。

b　［**ネットワークとインターネット**］を選択します。

c　［**ネットワークと共有センター**］を選択します。

d　［**ネットワークに接続**］を選択します。

e　利用可能なネットワークの一覧に表示されているネットワーク項目から［**xxxxxxxx**］（xxxxxxxx は使用するワイヤレスデバイスの SSID を示します。）を選択して、［**接続**］をクリックします。

f　接続に問題がないことを確認してからダイアログボックスの［**閉じる**］をクリックします。

Windows Server 2008 の場合：

a　［**コントロール パネル**］を表示します。

b　［**ネットワークとインターネット**］を選択します。

c　［**ネットワークと共有センター**］を選択します。

d　［**ネットワークに接続**］を選択します。

e　利用可能なネットワークの一覧に表示されているネットワーク項目から［**xxxxxxxx**］（xxxxxxxx は使用するワイヤレスデバイスの SSID を示します。）を選択して、［**接続**］をクリックします。

f　接続に問題がないことを確認してからダイアログボックスの［**閉じる**］をクリックします。

Windows Server 2008 R2 および Windows 7 の場合：

a　［**コントロール パネル**］を表示します。

b　［**ネットワークとインターネット**］を選択します。

c　［**ネットワークと共有センター**］を選択します。

d　［**ネットワークに接続**］を選択します。

e　利用可能なネットワークの一覧に表示されているネットワーク項目から［**xxxxxxxx**］（xxxxxxxx は使用するワイヤレスデバイスの SSID を示します。）を選択して、［**接続**］を

クリックします。

2 Auto IP によって割り当てられた本機の IP アドレスを確認します。

a 操作パネルで**仕様設定**ボタンを押します。

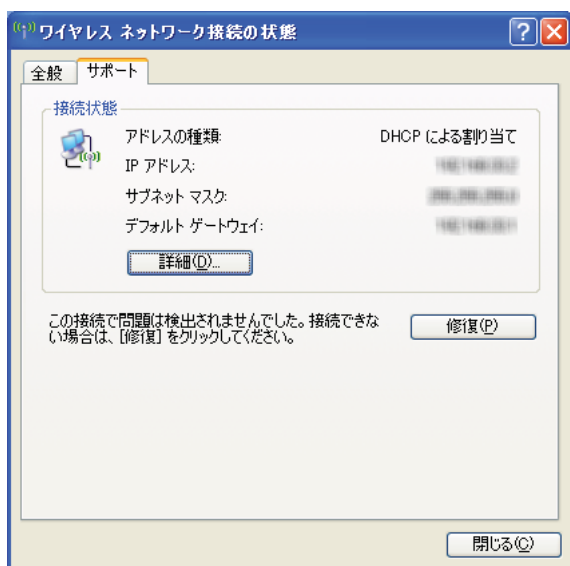
b **仕様設定**を選択し、OK ボタンを押します。

c **ネットワーク設定**を選択し、OK ボタンを押します。

d **TCP/IP** を選択し、OK ボタンを押します。

e **IPv4** を選択し、OK ボタンを押します。

f **IP アドレス**を選択し、OK ボタンを押します。
（規定の IP アドレス範囲：169.254.xxx.yyy）

3 コンピューターの IP アドレスが DHCP から割り当てられたものであることを確認します。

4 ウェブブラウザーを起動します。

5 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。
CentreWare Internet Services が表示されます。

6 CentreWare Internet Services で本機のワイヤレス設定を行います。

7 本機を再起動します。

8 コンピューターのワイヤレス設定を復元します。

補足：

- コンピューターの OS にワイヤレス設定ソフトウエアが含まれている場合は、それを使用してワイヤレス設定を変更してください。下記の指示を参照してください。

Windows XP および Windows Server 2003 の場合：

a ［**コントロール パネル**］から［**ネットワーク接続**］を選択します。

b ［**ワイヤレス ネットワーク接続**］を右クリックして［**プロパティ**］を選択します。

c ［**ワイヤレス ネットワーク**］タブを選択します。

d ［**Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する**］のチェックボックスが選択されていることを確認します。

e ［**詳細設定**］をクリックします。

f 本機はアドホックモードまたはインフラモードのいずれかに設定できます。

- アドホックモードの場合：

  ［**コンピュータ相互 （ad hoc）のネットワークのみ**］を選択してダイアログボックスを閉じます。

- インフラモードの場合：

  ［**アクセス ポイント （インフラストラクチャ）のネットワークのみ**］を選択してダイアログボックスを閉じます。

g ［**追加**］をクリックして［**ワイヤレス ネットワークのプロパティ**］を表示します。

h 本機に送信する設定を入力して［OK］をクリックします。

i ［**上へ**］ボタンをクリックして、設定を一覧の最上部に移動します。

j ［OK］をクリックして［**ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ**］ダイアログボックスを閉じます。

Windows Vista の場合：

a ［**コントロール パネル**］を表示します。

b ［**ネットワークとインターネット**］を選択します。

c ［**ネットワークと共有センター**］を選択します。

d ［**ネットワークに接続**］を選択します。

e ネットワークを選択して［**接続**］をクリックします。

f 接続に問題がないことを確認してからダイアログボックスの［**閉じる**］をクリックします。

Windows Server 2008 の場合：

a ［**コントロール パネル**］を表示します。

b ［**ネットワークとインターネット**］を選択します。

c ［**ネットワークと共有センター**］を選択します。

d ［**ネットワークに接続**］を選択します。

e ネットワークを選択して［**接続**］をクリックします。

f 接続に問題がないことを確認してからダイアログボックスの［**閉じる**］をクリックします。

Windows Server 2008 R2 および Windows 7 の場合：

a ［**コントロール パネル**］を表示します。

b ［**ネットワークとインターネット**］を選択します。

c ［**ネットワークと共有センター**］を選択します。

d ［**ネットワークに接続**］を選択します。

e ネットワークを選択して［**接続**］をクリックします。

●固定 IP ネットワークの場合：

1 コンピューターのワイヤレス接続設定を行います。

補足：

- コンピューターの OS にワイヤレス設定ソフトウエアが含まれている場合は、それを使用してワイヤレス設定を変更してください。下記の指示を参照してください。

Windows XP および Windows Server 2003 の場合：

a ［**コントロール パネル**］から［**ネットワーク接続**］を選択します。

b ［**ワイヤレス ネットワーク接続**］を右クリックして［**プロパティ**］を選択します。

c ［**ワイヤレス ネットワーク**］タブを選択します。

d ［**Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する**］のチェックボックスが選択されていることを確認します。

補足：

- 手順 f、手順 h では、あとで復元できるよう必ず現在のワイヤレスコンピューター設定をメモしておいてください。

e ［**詳細設定**］ボタンをクリックします。

f ［**コンピュータ相互 （ad hoc）のネットワークのみ**］を選択して［**詳細設定**］ダイアログボックスを閉じます。

g ［**追加**］ボタンをクリックして［**ワイヤレス ネットワークのプロパティ**］を表示します。

h ［**アソシエーション**］タブで次の情報を入力して［**OK**］をクリックします。

［**ネットワーク名 (SSID)**］：「**xxxxxxxx**」（xxxxxxxx は使用するワイヤレスデバイスの SSID を示します。）

［ネットワーク認証］：［オープン システム］

［データの暗号化］：［無効］

i ［**上へ**］ボタンをクリックして、新しく追加した SSID を一覧の最上部に移動します。

j ［**OK**］をクリックして［**ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ**］ダイアログボックスを閉じます。

Windows Vista の場合：

a ［**コントロール パネル**］を表示します。

b ［**ネットワークとインターネット**］を選択します。

c ［**ネットワークと共有センター**］を選択します。

d ［**ネットワークに接続**］を選択します。

e 利用可能なネットワークの一覧に表示されているネットワーク項目から［**xxxxxxxx**］（xxxxxxxx は使用するワイヤレスデバイスの SSID を示します。）を選択して、［**接続**］をクリックします。

f 接続に問題がないことを確認してからダイアログボックスの［**閉じる**］をクリックします。

Windows Server 2008 の場合：

a ［**コントロール パネル**］を表示します。

b ［**ネットワークとインターネット**］を選択します。

c ［**ネットワークと共有センター**］を選択します。

d ［**ネットワークに接続**］を選択します。

e 利用可能なネットワークの一覧に表示されているネットワーク項目から［**xxxxxxxx**］（xxxxxxxx は使用するワイヤレスデバイスの SSID を示します。）を選択して、［**接続**］をクリックします。

f 接続に問題がないことを確認してからダイアログボックスの［**閉じる**］をクリックします。

Windows Server 2008 R2 および Windows 7 の場合：

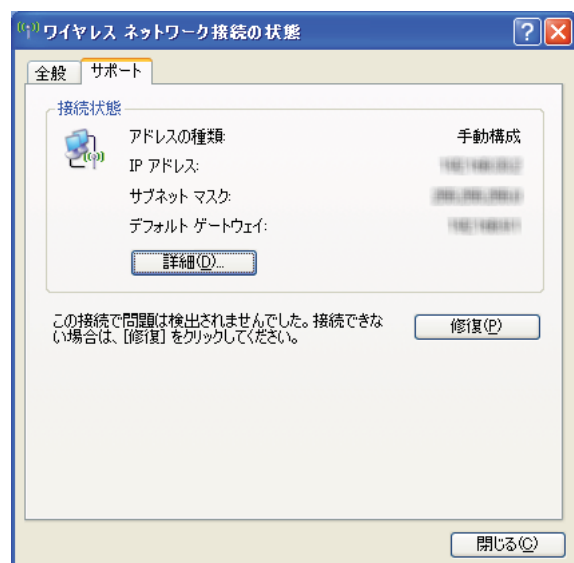
a ［**コントロール パネル**］を表示します。

b ［**ネットワークとインターネット**］を選択します。

c ［**ネットワークと共有センター**］を選択します。

d ［**ネットワークに接続**］を選択します。

e 利用可能なネットワークの一覧に表示されているネットワーク項目から［**xxxxxxxx**］（xxxxxxxx は使用するワイヤレスデバイスの SSID を示します。）を選択して、［**接続**］をクリックします。

2 コンピューターの IP アドレスを確認します。

3 本機の IP アドレスを設定します。

「IP アドレスを割り当てる（IPv4 モードの場合）」（73 ページ）を参照してください。

4 ウェブブラウザーを起動します。

5 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。
CentreWare Internet Services が表示されます。

6 CentreWare Internet Services で本機のワイヤレス設定を変更します。

7 本機を再起動します。

8 コンピューターのワイヤレス設定を復元します。

補足：

- コンピューターの OS にワイヤレス設定ソフトウエアが含まれている場合は、それを使用してワイヤレス設定を変更してください。OS に搭載されているツールでワイヤレス設定を変更することも可能です。下記の指示を参照してください。

Windows XP および Windows Server 2003 の場合：

a ［**コントロール パネル**］から［**ネットワーク接続**］を選択します。

b ［**ワイヤレス ネットワーク接続**］を右クリックして［**プロパティ**］を選択します。

c ［**ワイヤレス ネットワーク**］タブを選択します。

d ［**Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する**］のチェックボックスが選択されていることを確認します。

e ［**詳細設定**］をクリックします。

f 本機はアドホックモードまたはインフラモードのいずれかに設定できます。

- アドホックモードの場合：

［**コンピュータ相互 （ad hoc）のネットワークのみ**］を選択してダイアログボックスを閉じます。

- インフラモードの場合：

［**アクセス ポイント （インフラストラクチャ）のネットワークのみ**］を選択してダイアログボックスを閉じます。

g ［**追加**］をクリックして［**ワイヤレス ネットワークのプロパティ**］を表示します。

h 本機に送信する設定を入力して［**OK**］をクリックします。

i ［**上へ**］ボタンをクリックして、設定を一覧の最上部に移動します。

j ［**OK**］をクリックして［**ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ**］ダイアログボックス

を閉じます。

Windows Vista の場合：

a ［**コントロール パネル**］を表示します。
b ［**ネットワークとインターネット**］を選択します。
c ［**ネットワークと共有センター**］を選択します。
d ［**ネットワークに接続**］を選択します。
e ネットワークを選択して［**接続**］をクリックします。
f 接続に問題がないことを確認してからダイアログボックスの［**閉じる**］をクリックします。

Windows Server 2008 の場合：

a ［**コントロール パネル**］を表示します。
b ［**ネットワークとインターネット**］を選択します。
c ［**ネットワークと共有センター**］を選択します。
d ［**ネットワークに接続**］を選択します。
e ネットワークを選択して［**接続**］をクリックします。
f 接続に問題がないことを確認してからダイアログボックスの［**閉じる**］をクリックします。

Windows Server 2008 R2 および Windows 7 の場合：

a ［**コントロール パネル**］を表示します。
b ［**ネットワークとインターネット**］を選択します。
c ［**ネットワークと共有センター**］を選択します。
d ［**ネットワークに接続**］を選択します。
e ネットワークを選択して［**接続**］をクリックします。

■共有印刷を設定する

本機に付属しているソフトウエアパック CD-ROM または Windows Point and Print やピアツーピアを使用して、ネットワーク上で本機を共有することができます。ただし、Microsoft が提供する方法を使用した場合は、ソフトウエアパック CD-ROM と一緒にインストールされる SimpleMonitor やその他のユーティリティは使用できません。

ネットワーク上で本機を使用するには、本機を共有して、ネットワーク上のすべてのコンピューターに対応ドライバーをインストールしてください。

補足：

- 共有印刷を行う場合は別途イーサネットケーブルをお買い求めください。

●Windows XP、Windows XP 64-bit Edition、Windows Server 2003、Windows Server 2003 x64 Edition の場合

1 ［**スタート**］→［**プリンタと FAX**］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして［**プロパティ**］を選択します。

3 ［**共有**］タブから［**このプリンタを共有する**］を選択して、［**共有名**］テキストボックスに名前を入力します。

4 ［**追加ドライバ**］をクリックして、本機を使用するすべてのネットワーククライアントの OS を選択します。

5 ［**OK**］をクリックします。

ご使用のコンピューターにファイルがない場合は、サーバー OS の CD を挿入するよう求められます。

6 ［**適用**］をクリックしてから、［**OK**］をクリックします。

●Windows Vista および Windows Vista 64-bit Edition の場合

1 ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**プリンタ**］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして［**共有**］を選択します。

3 ［**共有オプションの変更**］ボタンをクリックします。

4 「**続行するにはあなたの許可が必要です**」と表示されます。

5 ［**続行**］ボタンをクリックします。

6 ［**このプリンタを共有する**］チェックボックスを選択して、［**共有名**］テキストボックスに名前を入力します。

7 ［**追加ドライバ**］を選択して、本機を使用するすべてのネットワーククライアントの OS を選択します。

8 ［**OK**］をクリックします。

9 ［**適用**］をクリックしてから、［**OK**］をクリックします。

●Windows Server 2008 および Windows Server 2008 64-bit Edition の場合

1 ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**プリンタ**］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして［**共有**］を選択します。

3 ［**このプリンタを共有する**］チェックボックスを選択して、［**共有名**］テキストボックスに名前を入力します。

4 ［**追加ドライバー**］をクリックして、本機を使用するすべてのネットワーククライアントの OS を選択します。

5 ［**OK**］をクリックします。

6 ［**適用**］をクリックしてから、［**OK**］をクリックします。

●Windows 7、Windows 7 64-bit Edition、Windows Server 2008 R2 の場合

1 ［**スタート**］→［**デバイスとプリンター**］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして［**プリンターのプロパティ**］を選択します。

3 ［**共有**］タブで［**このプリンタを共有する**］チェックボックスを選択して、［**共有名**］テキストボックスに名前を入力します。

4 ［**追加ドライバー**］をクリックして、本機を使用するすべてのネットワーククライアントの OS を選択します。

5 ［**OK**］をクリックします。

6 ［**適用**］をクリックしてから、［**OK**］をクリックします。

本機が共有されていることを確認するには：

- ［**プリンタ**］、［**プリンタと FAX**］または［**デバイスとプリンター**］フォルダーで本機が共有されていることを確認します。本機のアイコンの下に共有アイコンが表示されていれば共有されています。
- ［**ネットワーク**］または［**マイ ネットワーク**］を開き、サーバーのホスト名を確認して本機に割り当てた共有名が表示されているかどうかを確認します。

これで本機が共有されました。Point and Print またはピアツーピアを用いてネットワーククライアントに本機をインストールすることができます。

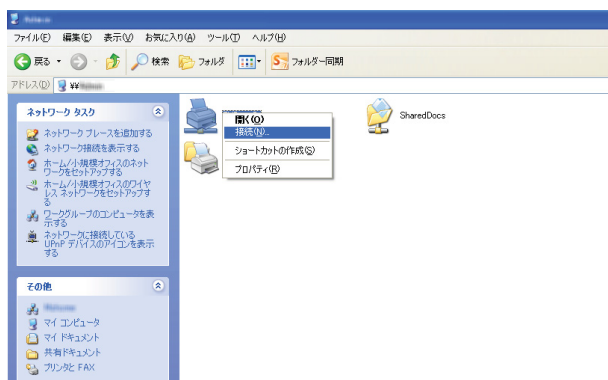
Point and Print

Point and Print は、リモートプリンターへの接続を可能にする Microsoft Windows のテクノロジーです。自動的にプリンタードライバーをダウンロードしてインストールします。

●Windows XP、Windows XP 64-bit Edition、Windows Server 2003、Windows Server 2003 x64 Edition の場合

1　クライアントコンピューターの Windows デスクトップ上で［**マイ ネットワーク**］をダブルクリックします。

2　サーバーコンピューターのホスト名を探し、ホスト名をダブルクリックします。

3　本機の名前を右クリックして［**接続**］をクリックします。

サーバーコンピューターからクライアントコンピューターに、ドライバー情報がコピーされ、本機が［**プリンタと FAX**］に追加されるのを待ちます。コピーにかかる時間はネットワークのトラフィック量によって異なります。

［**マイ ネットワーク**］を閉じます。

4　テストページを印刷してインストールを検証します。

a　［**スタート**］→［**プリンタと FAX**］をクリックします。

b　本機を選択します。

c　［**ファイル**］→［**プロパティ**］をクリックします。

d　［**全般**］タブで［**テスト ページの印刷**］をクリックします。

テストページが問題なく印刷されていればインストールは完了です。

●Windows Vista および Windows Vista 64-bit Edition の場合

1 ［**スタート**］→［**ネットワーク**］をクリックします。

2 サーバーコンピューターのホスト名を探してダブルクリックします。

3 本機の名前を右クリックして［**接続**］をクリックします。

4 ［**インストール**］をクリックします。

5 ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログボックスで［**続行**］をクリックします。

サーバーからクライアントコンピューターにドライバーがコピーされるまで待ってください。本機が［**プリンタ**］フォルダーに追加されます。この作業にかかる時間はネットワークのトラフィック量によって異なります。

6 テストページを印刷してインストールを検証します。

a ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］をクリックします。

b ［**プリンタ**］を選択します。

c 本機を右クリックして［**プロパティ**］を選択します。

d ［**全般**］タブで［**テスト ページの印刷**］をクリックします。

テストページが問題なく印刷されていればインストールは完了です。

●Windows Server 2008 および Windows Server 2008 64-bit Edition の場合

1 ［**スタート**］→［**ネットワーク**］をクリックします。

2 サーバーコンピューターのホスト名を探し、ホスト名をダブルクリックします。

3 本機の名前を右クリックして［**接続**］をクリックします。

4 ［**インストール**］をクリックします。

5 サーバーからクライアントコンピューターにドライバーがコピーされるまで待ってください。本機が［**プリンタ**］フォルダーに追加されます。この作業にかかる時間はネットワークのトラフィック量によって異なります。

6 テストページを印刷してインストールを検証します。

a ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］をクリックします。

b ［**ハードウェアとサウンド**］を選択します。

c ［**プリンタ**］を選択します。

d 本機を右クリックして［**プロパティ**］を選択します。

e ［**全般**］タブで［**テスト ページの印刷**］をクリックします。

テストページが問題なく印刷されていればインストールは完了です。

●Windows 7、Windows 7 64-bit Edition、Windows Server 2008 R2 の場合

1 ［**スタート**］→［**ネットワーク**］をクリックします。

2 サーバーコンピューターのホスト名を探し、ホスト名をダブルクリックします。

3 本機の名前を右クリックして［**接続**］をクリックします。

4 ［**インストール**］をクリックします。

5 サーバーからクライアントコンピューターにドライバーがコピーされるまで待ってください。本機が［**デバイスとプリンター**］フォルダーに追加されます。この作業にかかる時間はネットワークのトラフィック量によって異なります。

6 テストページを印刷してインストールを検証します。

  a ［**スタート**］→［**デバイスとプリンター**］をクリックします。

  b 本機を右クリックして［**プリンターのプロパティ**］を選択します。

  c ［**全般**］タブで［**テスト ページの印刷**］をクリックします。

  テストページが問題なく印刷されていればインストールは完了です。

ピアツーピア

ピアツーピアを用いる場合は、プリンタードライバーを各クライアントコンピューターにインストールします。クライアントコンピューターでは、このドライバーに変更を行ったり印刷ジョブの操作ができます。

●Windows XP、Windows XP 64-bit Edition、Windows Server 2003、Windows Server 2003 x64 Edition の場合

1 ［**スタート**］→［**プリンタと FAX**］をクリックします。

2 ［**プリンタのインストール**］（Windows Server 2003/Windows Server 2003 x64 Edition の場合は［**プリンタの追加**］）をクリックして［**プリンタの追加ウィザード**］を起動します。

3 ［**次へ**］をクリックします。

4 ［**ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

5 ［**プリンタを参照する**］をクリックしてから、［**次へ**］をクリックします。

6 本機を選択して、［**次へ**］をクリックします。本機が一覧に表示されない場合は、［**戻る**］をクリックしてテキストボックスに本機のパスを入力します。

例：¥¥<サーバーホスト名>¥<共有プリンター名>

サーバーホスト名とは、ネットワークに識別されるサーバーコンピューターの名前です。共有プリンター名とは、サーバーのインストールプロセスで割り当てられた名前です。

補足：

- プリンタードライバーのインストールを求められることがあります。利用可能なシステムドライバーがない場合は、ドライバーがある場所を指定してください。

7 本機を通常使うプリンターとして設定する場合は［**はい**］を選択し、次に［**次へ**］をクリックします。

8 ［**完了**］をクリックします。

●Windows Vista および Windows Vista 64-bit Edition の場合

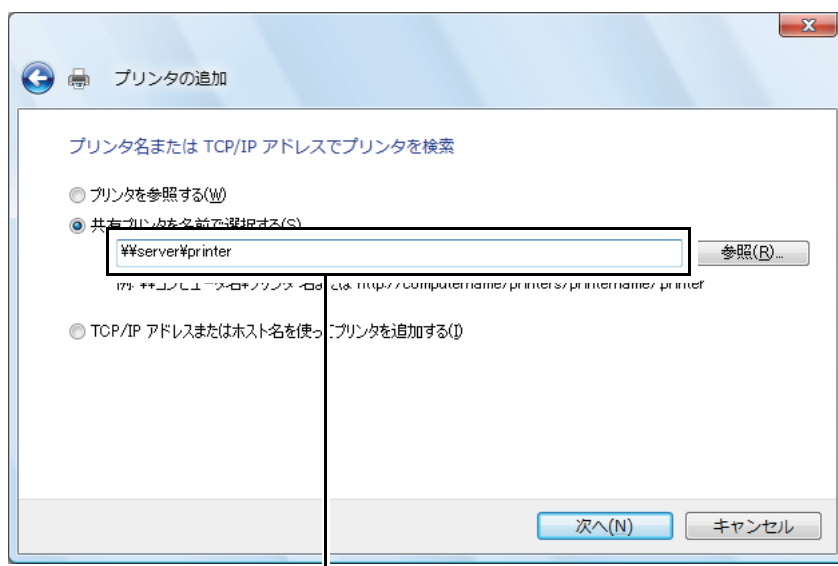
1 ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**プリンタ**］をクリックします。

2 ［**プリンターの追加**］をクリックして［**プリンターの追加**］ウィザードを起動します。

3 ［**ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します**］を選択します。本機が一覧に表示されていれば、本機を選択して［**次へ**］をクリックします。一覧に表示されていない場合、［**探しているプリンタはこの一覧にはありません**］を選択して［**共有プリンタを名前で選択する**］テキストボックスに本機のパスを入力し、［**次へ**］をクリックしてください。

例：¥¥<サーバーホスト名>¥<共有プリンター名>

サーバーホスト名とは、ネットワーク上で識別されるサーバーコンピューターの名前です。共有プリンター名とは、サーバーのインストールプロセスで割り当てられた名前です。

補足：

- プリンタードライバーのインストールを求められることがあります。利用可能なシステムドライバーがない場合は、ドライバーがある場所を指定してください。

4 名称を確認してから、本機を通常使うプリンターとして使用するかどうかを選択し、［**次へ**］をクリックします。

5 インストールを検証する場合は［**テスト ページの印刷**］をクリックします。

6 ［**完了**］をクリックします。

テストページが問題なく印刷されていればインストールは完了です。

●Windows Server 2008 および Windows Server 2008 64-bit Edition の場合

1 ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**プリンタ**］をクリックします。

2 ［**プリンターの追加**］をクリックして［**プリンターの追加**］ウィザードを起動します。

3 ［**ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します**］を選択します。本機が一覧に表示されていれば、本機を選択して［**次へ**］をクリックします。一覧に表示されていない場合、［**探しているプリンタはこの一覧にはありません**］を選択して［**共有プリンタを名前で選択する**］テキストボックスに本機のパスを入力し、［**次へ**］をクリックしてください。

例：¥¥< サーバーホスト名 >¥< 共有プリンター名 >

サーバーホスト名とは、ネットワーク上で識別されるサーバーコンピューターの名前です。共有プリンター名とは、サーバーのインストールプロセスで割り当てられた名前です。

補足：

- プリンタードライバーのインストールを求められることがあります。利用可能なシステムドライバーがない場合は、ドライバーがある場所を指定してください。

4 名称を確認してから、本機を通常使うプリンターとして使用するかどうかを選択し、［**次へ**］をクリックします。

5 本機を共有するかどうかを選択します。

6 インストールを検証する場合は［**テスト ページの印刷**］をクリックします。

7 ［**完了**］をクリックします。

テストページが問題なく印刷されていればインストールは完了です。

●Windows 7、Windows 7 64-bit Edition、Windows Server 2008 R2 の場合

1 ［**スタート**］→［**デバイスとプリンター**］をクリックします。

2 ［**プリンターの追加**］をクリックして［**プリンターの追加**］ウィザードを起動します。

3 ［**ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します**］を選択します。本機が一覧に表示されていれば、本機を選択して［**次へ**］をクリックします。一覧に表示されていない場合、［**探しているプリンタはこの一覧にはありません**］を選択してください。［**共有プリンターを名前で選択する**］をクリックしてテキストボックスに本機のパスを入力し、［**次へ**］をクリックしてください。

例：¥¥< サーバーホスト名 >¥< 共有プリンター名 >

サーバーホスト名とは、ネットワークに識別されるサーバーコンピューターの名前です。共有プリンター名とは、サーバーのインストールプロセスで割り当てられた名前です。

補足：

- プリンタードライバーのインストールを求められることがあります。利用可能なシステムドライバーがない場合は、ドライバーがある場所を指定してください。

4 名称を確認して、［**次へ**］をクリックします。

5 本機を通常使うプリンターとして使用するかどうかを選択します。

6 インストールを検証する場合は［**テスト ページの印刷**］をクリックします。

7 ［**完了**］をクリックします。

テストページが問題なく印刷されていればインストールは完了です。

プリンタードライバーをインストールする（Mac OS X）

ここには下記の項目を記載します：

- 「操作パネルでワイヤレス設定を行う」（127 ページ）
- 「ドライバーおよびソフトウエアをインストールする」（132 ページ）

■操作パネルでワイヤレス設定を行う

操作パネル上でワイヤレス設定を構成できます。

注記：

- ワイヤレス設定の際に WPS 以外を用いる場合は、あらかじめ、システム管理者に SSID とワイヤレス通信の暗号設定の情報を確認しておいてください。
- ワイヤレス設定を行う前に、本機からイーサネットケーブルが抜かれていることを確認してください。

補足：

- 操作パネルでワイヤレス設定を構成する前に、コンピューター上でワイヤレス設定を行ってください。詳細についてはセットアップガイドを参照してください。
- ワイヤレス LAN 機能の仕様の詳細については、「ワイヤレス設定を行う」(84 ページ) を参照してください。

ワイヤレス設定を構成する方法は下記から選択できます。

手動で設定可能なネットワーク	アクセスポイント（インフラストラクチャ）を使用したネットワーク
	コンピューター相互 (アドホック) のネットワーク
自動セットアップで使用する方法	WPS-PIN[*1]
	WPS-PBC[*2]

[*1] WPS-PIN は、コンピューターやプリンターなどに割り当てられた PIN を入力してワイヤレス設定に必要なデバイスを認証、登録する方法です。この設定（アクセスポイントから実行）は、ご使用のワイヤレスルーターのアクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。

[*2] WPS-PBC (Wi-Fi Protected Setup-Push Button Configuration) は、ワイヤレスルーターからアクセスポイントのボタンを押し、操作パネル上で WPS-PBC 設定を実行することによってワイヤレス設定に必要なデバイスを認証、登録する方法です。この設定は、アクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。

ここには下記の項目を記載します：

- 「手動セットアップ」（127 ページ）
- 「アクセスポイントを使用して自動セットアップする」（129 ページ）

手動セットアップ

ワイヤレス設定を手動で構成し、アクセスポイント（インフラストラクチャー）を使用したネットワークまたはコンピューター相互（アドホック）のネットワークに本機を接続できます。

●アクセスポイントネットワークに接続する

ワイヤレスルーターなどのアクセスポイントからワイヤレス設定を行うには：

1 操作パネルで**仕様設定**ボタンを押します。

2 **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 **ネットワーク設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **無線 LAN 設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 **手動設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

6 SSID を入力し、(OK)ボタンを押します。
テンキーを使用して任意の値を入力し、◀または▶ボタンを押してカーソルを移動します。

7 **Infrastructure** を選択し、(OK)ボタンを押します。

8 暗号化のタイプを選択し、(OK)ボタンを押します。

注記：

- ネットワークトラフィックを保護するため、必ずサポートされている暗号化方式を使用してください。

9 WEP キーまたはパスフレーズを入力して(OK)ボタンを押します。
テンキーを使用して任意の値を入力し、◀または▶ボタンを押してカーソルを移動します。
手順 8 で暗号化のタイプに **WEP(64Bit)** または **WEP(128Bit)** を選択した場合は、WEP キーの入力後に送信キーを選択してください。

10 本機が再起動し、ワイヤレスネットワークが確立するまで数分待ちます。

11 操作パネルからシステム設定リストを印刷します。
「システム設定リストを印刷する」（185 ページ）を参照してください。

12 システム設定リストで「Link Quality」に「Good」、「Acceptable」または「Low」と表示されていることを確認します。

補足：

- 「Link Quality」が「No Reception」の場合、ワイヤレス設定が正しく構成されているか確認してください。

●アドホック接続の使い方

アクセスポイントを介さず、本機とコンピューターを直接ワイヤレス通信させるアドホック接続のワイヤレス設定を行うには：

1. 操作パネルで**仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、OKボタンを押します。
3. **ネットワーク設定**を選択し、OKボタンを押します。
4. **無線 LAN 設定**を選択し、OKボタンを押します。
5. **手動設定**を選択し、OKボタンを押します。
6. SSID を入力し、OKボタンを押します。
   テンキーを使用して任意の値を入力し、◀または▶ボタンを押してカーソルを移動します。
7. Ad-hoc を選択し、OKボタンを押します。
8. 暗号化のタイプを選択し、OKボタンを押します。

   注記：
   - ネットワークトラフィックを保護するため、必ずサポートされている暗号化方式を使用してください。
9. WEP キーを入力してOKボタンを押します。
   テンキーを使用して任意の値を入力し、◀または▶ボタンを押してカーソルを移動します。
10. 送信キーを選択します。
11. 本機が再起動し、ワイヤレスネットワークが確立するまで数分待ちます。
12. 操作パネルからシステム設定リストを印刷します。
    「システム設定リストを印刷する」（185 ページ）を参照してください。
13. システム設定リストで「Link Quality」に「Good」、「Acceptable」または「Low」と表示されていることを確認します。

    補足：
    - 「Link Quality」が「No Reception」の場合、ワイヤレス設定が正しく構成されているか確認してください。

アクセスポイントを使用して自動セットアップする

ワイヤレスルーターなどのアクセスポイントが WPS をサポートしている場合は、セキュリティー設定を自動的にすることができます。

●WPS-PBC

補足：

- WPS-PBC は、ワイヤレスルーターからアクセスポイントのボタンを押し、操作パネル上で WPS-PBC 設定を実行することによってワイヤレス設定に必要なデバイスを認証、登録する方法です。この設定は、アクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。

1. 操作パネルで**仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **ネットワーク設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **無線 LAN 設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. **WPS 設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
6. **プッシュボタン**を選択し、(OK)ボタンを押します。
7. **はい**を選択し、(OK)ボタンを押します。
8. アクセスポイントの WPS ボタンを数秒間押したままにします。
9. 本機が再起動し、ワイヤレスネットワークが確立するのを待ちます。
10. 操作パネルからシステム設定リストを印刷します。
    「システム設定リストを印刷する」（185 ページ）を参照してください。
11. システム設定リストで「Link Quality」に「Good」、「Acceptable」または「Low」と表示されていることを確認します。

    補足：

    - 「Link Quality」が「No Reception」の場合、ワイヤレス設定が正しく構成されているか確認してください。

●WPS-PIN

補足：

- WPS-PIN は、コンピューターやプリンターなどに割り当てられた PIN を入力してワイヤレス設定に必要なデバイスを認証、登録する方法です。この設定（アクセスポイントから実行）は、ご使用のワイヤレスルーターのアクセスポイントが WPS に対応している場合にのみ利用できます。
- WPS-PIN を始める前に、ワイヤレスアクセスポイントのウェブページで PIN を入力する必要があります。詳細については、アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

1 操作パネルで**仕様設定**ボタンを押します。

2 **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 **ネットワーク設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **無線 LAN 設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 **WPS 設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

6 **PIN コード**を選択し、(OK)ボタンを押します。

7 操作パネルに表示された PIN を書きとどめます。

8 **PIN コード設定開始**を選択し、(OK)ボタンを押します。

9 SSID 選択画面が表示されたら、SSID を選択し、(OK)ボタンを押します。

10 ワイヤレスアクセスポイントのウェブページに PIN を入力します。

11 本機が再起動し、ワイヤレスネットワークが確立するのを待ちます。

12 操作パネルからシステム設定リストを印刷します。
「システム設定リストを印刷する」（185 ページ）を参照してください。

13 システム設定リストで「Link Quality」に「Good」、「Acceptable」または「Low」と表示されていることを確認します。

補足：

- 「Link Quality」が「No Reception」の場合、ワイヤレス設定が正しく構成されているか確認してください。

■ドライバーおよびソフトウエアをインストールする

ここでは、Mac OS X 10.6 を例に説明します。

1 Mac OS X でソフトウエアパック CD-ROM を起動します。

2 インストーラーアイコンをダブルクリックします。

3 ［**はじめに**］画面の［**続ける**］をクリックします。

4 ［**使用許諾契約**］の表示言語を選択します。

5 ［**使用許諾契約**］を読んでから、［**続ける**］をクリックします。

6 ［**使用許諾契約**］の内容に同意する場合は、［**同意する**］をクリックしてインストールを続行します。

7 ［**インストール先の選択**］画面が表示された場合は［**続ける**］をクリックします。

8 ［**インストール**］をクリックして標準インストールを実行します。

9 管理者の名前とパスワードを入力して、［**OK**］をクリックします。

10 ［**インストールを続ける**］をクリックします。

11 ［**再起動**］をクリックしてインストールを完了します。

本機を追加する（Mac OS X 10.5/10.6 の場合）

●USB 接続を使用する場合

1 本機とコンピューターの電源を切ります。

2 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

3 本機とコンピューターの電源を入れます。

4 ［**システム環境設定**］を表示して［**プリントとファクス**］をクリックします。

5 本機が［**プリントとファクス**］に追加されていることを確認します。
本機が表示されていない場合は、次の手順を実行してください。

6 プラス (+) サインをクリックしてから、［**デフォルト**］をクリックします。

7 ［**プリンタ名**］の一覧から本機を選択します。
［**名前**］、［**場所**］、［**ドライバ**］は自動で入力されます。

8 ［**追加**］をクリックします。

●Bonjour を使用する場合

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。

有線接続を使用する場合は、本機がイーサネットケーブルでネットワークに接続されていることを確認してください。

ワイヤレス接続を使用する場合は、コンピューターと本機がワイヤレス接続されていることを確認してください。

3 [**システム環境設定**] を表示して [**プリントとファクス**] をクリックします。

4 プラス (+) サインをクリックしてから、[**デフォルト**] をクリックします。

5 [**プリンタ名**] の一覧から本機を選択します。

[**名前**]、[**ドライバ**] は自動で入力されます。

6 [**追加**] をクリックします。

●IP 印刷を使用する場合

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。

有線接続を使用する場合は、本機がイーサネットケーブルでネットワークに接続されていることを確認してください。

ワイヤレス接続を使用する場合は、コンピューターと本機がワイヤレス接続されていることを確認してください。

3 [**システム環境設定**] を表示して [**プリントとファクス**] をクリックします。

4 プラス (+) サインをクリックしてから、[**IP**] をクリックします。

5 [**プロトコル**] に [**LPD (Line Printer Daemon)**] を選択します。

6 本機の IP アドレスを [**アドレス**] に入力します。

[**名前**]、[**ドライバ**] は自動で入力されます。

補足：

- IP 印刷を使用する印刷設定の場合は、キュー名は空白表示となり、指定する必要はありません。

7 [**追加**] をクリックします。

本機を追加する（Mac OS X 10.4 の場合）

●USB 接続を使用する場合

1 本機とコンピューターの電源を切ります。

2 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

3 本機とコンピューターの電源を入れます。

4 ［**プリンタ設定ユーティリティ**］を開始します。

補足：
- ［**プリンタ設定ユーティリティ**］は［**アプリケーション**］の［**ユーティリティ**］フォルダーにあります。

5 本機が［**プリンタリスト**］に追加されていることを確認します。
本機が表示されていない場合は、次の手順を実行してください。

6 ［**追加**］をクリックします。

7 ［**プリンタブラウザ**］ダイアログボックスで［**デフォルトブラウザ**］をクリックします。

8 ［**プリンタ名**］の一覧から本機を選択します。
［**名前**］、［**場所**］、［**使用するドライバ**］は自動で入力されます。

9 ［**追加**］をクリックします。

●Bonjour を使用する場合

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。
有線接続を使用する場合は、本機がイーサネットケーブルでネットワークに接続されていることを確認してください。
ワイヤレス接続を使用する場合は、コンピューターと本機がワイヤレス接続されていることを確認してください。

3 ［**プリンタ設定ユーティリティ**］を開始します。

補足：
- ［**プリンタ設定ユーティリティ**］は［**アプリケーション**］の［**ユーティリティ**］フォルダーにあります。

4 ［**追加**］をクリックします。

5 ［**プリンタブラウザ**］ダイアログボックスで［**デフォルトブラウザ**］をクリックします。

6 ［**プリンタ名**］の一覧から本機を選択します。
［**名前**］、［**使用するドライバ**］は自動で入力されます。

7 ［**追加**］をクリックします。

●IP 印刷を使用する場合

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。

有線接続を使用する場合は、本機がイーサネットケーブルでネットワークに接続されていることを確認してください。

ワイヤレス接続を使用する場合は、コンピューターと本機がワイヤレス接続されていることを確認してください。

3 ［**プリンタ設定ユーティリティ**］を開始します。

補足：

- ［**プリンタ設定ユーティリティ**］は［**アプリケーション**］の［**ユーティリティ**］フォルダーにあります。

4 ［**追加**］をクリックします。

5 ［**プリンタブラウザ**］ダイアログボックスで［**IP プリンタ**］をクリックします。

6 ［**プロトコル**］に［**LPD (Line Printer Daemon)**］を選択します。

7 本機の IP アドレスを［**アドレス**］に入力します。

［**名前**］、［**使用するドライバ**］は自動で入力されます。

補足：

- IP 印刷を使用する印刷設定の場合は、キュー名は空白表示となり、指定する必要はありません。

8 ［**追加**］をクリックします。

5

印刷の基本操作

本章には下記の項目を記載します：

用紙について

ここには下記の項目を記載します：

- 「用紙の使用ガイドライン」（139 ページ）
- 「使用できない用紙」（140 ページ）
- 「用紙の保管ガイドライン」（141 ページ）
- 「自動原稿送り装置ガイドライン」（142 ページ）

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機に適した用紙を使用してください。

推奨用紙以外の用紙を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■用紙の使用ガイドライン

本機のトレイはさまざまな用紙サイズ、用紙種類、特殊用紙に対応しています。用紙をセットする際は次のガイドラインに従ってください。

- 大量の用紙を購入する前にサンプルを試してみることをお勧めします。
- 60 〜 135 g/m^2 の用紙の場合は、紙の繊維が用紙のたて方向に走っているたて目の用紙をお勧めします。135 g/m^2 を超える用紙の場合は、紙繊維が用紙のよこ方向に走っているよこ目の用紙の使用をお勧めします。
- 封筒は用紙トレイ (MPF) および用紙トレイ (PSI) から印刷できます。
- 用紙トレイにセットする前に用紙や特殊用紙をよくさばいてください。
- 台紙からラベルをはがした状態のラベル紙に印刷しないでください。
- 必ず紙の封筒を使用し、窓、金属クリップのついた封筒は使用しないでください。
- 封筒は必ず片面印刷してください。
- 封筒印刷時にしわやエンボスができることがあります。
- 用紙ガイド（サイドガイド）にある用紙上限線を越える量の用紙をセットしないでください。
- 用紙サイズに合わせて用紙ガイド（サイドガイド）を調整してください。
- 紙づまりや折れが頻発する場合、新しい用紙を使用してください。

 警告：

- **電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。**

参照：

- 「用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする」（151 ページ）
- 「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」（158 ページ）
- 「用紙トレイ (MPF) に封筒をセットする」（154 ページ）
- 「用紙トレイ (PSI) に封筒をセットする」（160 ページ）
- 「ユーザー定義の用紙に印刷する」（182 ページ）

■使用できない用紙

本機は、さまざまな種類の用紙に対応しています。ただし、用紙によっては印刷品質の低下や紙づまり、本機の損傷の原因となるものがあります。

使用できない用紙は次のとおりです。

- 厚すぎるまたは薄すぎる用紙（坪量が 60 g/m^2 未満または 190 g/m^2 を超える）
- OHP フィルム
- フォトペーパー／コート紙
- トレーシングペーパー
- 電飾フィルム
- インクジェット専用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用郵便はがき
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、のり付けされた用紙
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 感熱紙
- 感光紙
- カーボン紙またはノンカーボン紙
- 和紙、ざら紙、繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 凹凸や止め金、窓、剥離紙つきののりのある封筒
- 中身が封入された封筒またはクッション入りの封筒
- タックフィルム
- 水転写紙
- 布地転写紙
- ミシン目のある紙
- レザック紙（凹凸処理を施した紙）
- 折り紙やカーボン含有紙などの導電性をもつ紙
- しわや折れ、破れのある用紙
- 湿った、または濡れた用紙
- 波打っている用紙、反っている（カールしている）用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどがついた用紙
- 一度使用した後（一部のラベルを剥がした後）のラベル紙
- 他のプリンターやコピー機で一度印刷された用紙
- ベタのうら紙（うら面全体に印刷されている用紙）

警告：

- **電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。**

■用紙の保管ガイドライン

いつもきれいな印刷ができるようにするため、良好な用紙保管条件を確保してください。

- 用紙は比較的湿度が少ない冷暗所に保管してください。一般的に、用紙は紫外線（UV）や可視光線により傷みやすいため、太陽や蛍光灯の光にあたらない場所に保管してください。
- 温度および相対湿度を一定に保ってください。
- 屋根裏、キッチン、ガレージ、地下室は印刷用紙の保管場所に適しません。
- 用紙は棚、キャビネットなどに平らに置いて保管してください。
- 用紙を保管、取り扱いする場所では飲食を控えてください。
- 用紙は本機にセットするときまで開封せず、開封後に余った用紙は、もとの包装紙に包んで保管してください。一般に市販されている用紙は、用紙を温度変化から守るために包装紙に内張りが施されています。特殊用紙には、ジッパーの付いたビニール袋に入っているものがあります。

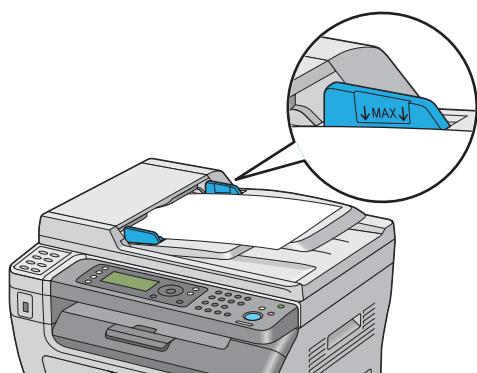
■自動原稿送り装置ガイドライン

自動原稿送り装置は下記の原稿サイズに対応しています。

- 幅：148 ～ 215.9mm（5.83 ～ 8.50 インチ）
- 長さ：210 ～ 355.6mm（8.27 ～ 14.00 インチ）

重量の範囲は 60 ～ 105g/m^2 です。

自動原稿送り装置に原稿をセットする際は次のガイドラインに従ってください。

- 原稿の上側が先に本機に入るように上向きに原稿をセットしてください。
- 原稿は必ずほぐしてから自動原稿送り装置にセットしてください。
- 原稿に合わせて原稿ガイドを調整してください。
- 原稿送りトレイには必ずインクが完全に乾いた状態の原稿を挿入してください。
- 用紙上限線を超える量の原稿をセットしないでください。64g/m^2 の原稿は最大で 15 枚までセットできます。

補足：

- 自動原稿送り装置には下記のような原稿はセットできません。これらは必ず原稿ガラスにセットしてください。

カールした紙	穴のあいた紙
厚紙	折り目、折れ、破けのある紙
切り貼りした紙	カーボン紙

対応用紙

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。

本機に適した用紙を使用してください。

注記：

- 水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にお問い合わせください。

■使用できる用紙

本機でご利用いただける用紙種類は次のとおりです。

補足：

- 用紙トレイ (PSI) については「本機の主な特長」（29 ページ）を参照してください。

用紙トレイ (MPF)

用紙サイズ	A4 たて (210 × 297 mm) B5 たて (182 × 257 mm) A5 たて (148 × 210 mm) 封筒 C5 たて (162×229mm) 封筒モナーク たて (98×191mm) 封筒モナーク よこ (191×98mm)* 封筒 #10 たて (105×241mm) 封筒 DL たて (110×220mm) 封筒 DL よこ (220×110mm)* レター たて (8.5x11") リーガル たて (8.5x14") 8.5x13" たて 7.25x10.5" たて 5.5x8.5" たて はがき たて (100×148mm) 往復はがき たて (148×200mm) 封筒洋形 2 号 たて (114×162mm) 封筒洋形 2 号 よこ (162×114mm)* 封筒洋形 3 号 たて (98×148mm) 封筒洋形 3 号 よこ (148×98mm)* 封筒洋形 4 号 たて (105×235mm) 封筒洋形 6 号 たて (98×190mm) 封筒洋長形 3 号 たて (120×235mm) 封筒長形 3 号 たて (120×235mm) 封筒長形 4 号 たて (90×205mm) 封筒角形 3 号 たて (216×277mm) ユーザー定義： 幅：76.2 ～ 215.9mm（3 ～ 8.5 インチ） 長さ：148.5 ～ 355.6mm（5.85 ～ 14 インチ）
用紙種類（質量）	普通紙 (60 ～ 105 g/m^2) 厚紙 (106 ～ 163 g/m^2) ラベル紙 封筒 再生紙 (60 ～ 105 g/m^2) 郵便はがき（日本郵政製）(190 g/m^2)

用紙容量	標準紙 150 枚
* フラップが開いた状態でよこ置きに対応します。	

用紙トレイ (PSI)

用紙サイズ	A4 たて (210 × 297 mm) B5 たて (182 × 257 mm) A5 たて (148 × 210 mm) 封筒 C5 たて (162×229 mm) 封筒モナーク たて (98×191 mm) 封筒 #10 たて (105×241 mm) 封筒 DL たて (110×220mm) レター たて (8.5x11") リーガル たて (8.5x14") 8.5x13" たて 7.25x10.5" たて 5.5x8.5" たて 封筒洋形 4 号 たて (105×235mm) 封筒洋形 6 号 たて (98×190mm) 封筒洋長形 3 号 たて (120×235mm) 封筒長形 3 号 たて (120×235mm) 封筒長形 4 号 たて (90×205mm) 封筒角形 3 号 たて (216×277mm) ユーザー定義： 幅：76.2 ～ 215.9mm（3 ～ 8.5 インチ） 長さ：190.5 ～ 355.6mm（7.5 ～ 14 インチ）
用紙種類（質量）	普通紙 (60 ～ 105 g/m^2) 厚紙 (106 ～ 163 g/m^2) ラベル紙 封筒 再生紙 (60 ～ 105 g/m^2)
用紙容量	標準紙 10 枚

補足：

- たて、よこは用紙送り方向を示し、たては短辺方向送り、よこは長辺方向送りを意味します。
- 本機ではインクジェットプリント用紙は使用しないでください。

参照：

- 「用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする」（151 ページ）
- 「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」（158 ページ）
- 「用紙トレイ (MPF) に封筒をセットする」（154 ページ）
- 「用紙トレイ (PSI) に封筒をセットする」（160 ページ）
- 「用紙トレイ (MPF) にはがきをセットする」（156 ページ）

プリンタードライバーで選択した用紙サイズ、用紙種類と異なる用紙を使用すると、紙づまりの原因となります。印刷が正しく行われるよう、正しい用紙サイズ、用紙種類を選択してください。

■ 標準紙または使用確認済みの用紙

本機の標準紙、または使用できることを確認している用紙の一部を紹介します。

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷をする場合は、規格に合った用紙を使用してください。より鮮明に印刷するために弊社では、次の表に標準紙として記載している用紙を推奨しています。

これ以外の用紙については、弊社プリンターサポートデスク、または販売店へお問い合わせください。

商品名	メートル坪量	用紙種類の設定	用紙の特長と使用上の注意
P 紙 • 標準紙	64 g/m^2	普通紙	社内配布資料や一般オフィス用の中厚口用紙
FR 紙	64 g/m^2	再生紙	環境配慮型パルプ（植林木パルプ 50% ＋古紙パルプ 50%）を原料とした用紙
V-Paper MG	67 g/m^2	再生紙	古紙パルプを配合し、上質紙の白色度を維持した用紙
G70	67 g/m^2	再生紙	古紙パルプを 70% と多く配合したリサイクルコピー / プリンター用紙
GR100	67 g/m^2	再生紙	古紙パルプ 100%配合のリサイクルコピー / プリンター用紙
C2r （シー・ツー・アール）紙	70 g/m^2	再生紙	古紙パルプ 70%配合の再生紙
C2 (シー・ツー) 紙	70 g/m^2	普通紙	一般オフィス用で、うら写りが少ない用紙
JD 紙	98 g/m^2	普通紙	カタログや冊子などに幅広く活用できる両面用紙
ラベル用紙 V860（20 面耳なし）	-	ラベル紙	20 面タイプのシール用紙です。用紙をさばいてからセットしてください。一度使用したあと（一部のラベルを剥がした後）の用紙を使用しないでください。
ラベル用紙 GAAA4435（1 面）	-	ラベル紙	1 面タイプのシール用紙です。用紙をさばいてからセットしてください。
郵便はがき（日本郵便製）	190 g/m^2	郵便はがき	用紙トレイ (MPF) にセットできます。 **注記：** • 故障の原因になりますので、インクジェット用郵便はがきは、使用しないでください。
郵便往復はがき（日本郵便製）	190 g/m^2	郵便はがき	用紙トレイ (MPF) にセットできます。 **注記：** • 故障の原因になりますので、インクジェット用郵便はがきは、使用しないでください。
OK プリンス 上質 127	128 g/m^2	厚紙	適度な白色度と不透明度がある上質紙
OK プリンス 上質 157	157 g/m^2	厚紙	適度な白色度と不透明度がある上質紙

Ncolor 封筒 洋長形 3 号 (120 × 235mm) GAAA4244	-	封筒	高白色、高画質を実現します。 プリンター内部でしわや折れが発生することが少ない封筒です。
Ncolor 封筒 長形 3 号 (120 × 235mm) GAAA4245	-	封筒	高白色、高画質を実現します。 プリンター内部でしわや折れが発生することが少ない封筒です。

用紙のセットのしかた

用紙を正しくセットすることは紙づまりの防止につながります。

用紙をセットする前に、用紙の推奨印刷面を確認してください。通常、この情報は用紙のパッケージに記載されています。

補足：

- トレイに用紙をセットしたら、プリンタードライバーまたは操作パネルで同じ用紙種類を指定してください。
- プリンタードライバーでの用紙サイズ、種類の設定の詳細についてはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照：

- 「用紙のサイズと種類を設定する」（170 ページ）

■容量

用紙トレイ (MPF) の容量は次のとおりです。

- 標準紙 150 枚
- 厚紙 16.2mm（0.64 インチ）の高さまで
- はがき 30 枚
- 封筒 5 枚
- ラベル紙 16.2mm（0.64 インチ）の高さまで

用紙トレイ (PSI) の容量は次のとおりです。

- 標準紙 10 枚またはその他の用紙 1 枚

■用紙の寸法

用紙トレイ (MPF) では、下記寸法におさまる用紙が利用可能です。

- 幅：76.2 ～ 215.9mm（3.00 ～ 8.50 インチ）
- 長さ：148.5 ～ 355.6mm（5.85 ～ 14.00 インチ）

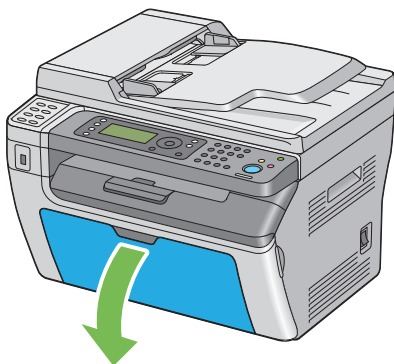
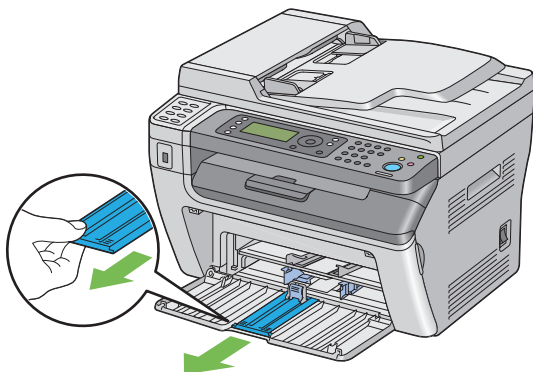
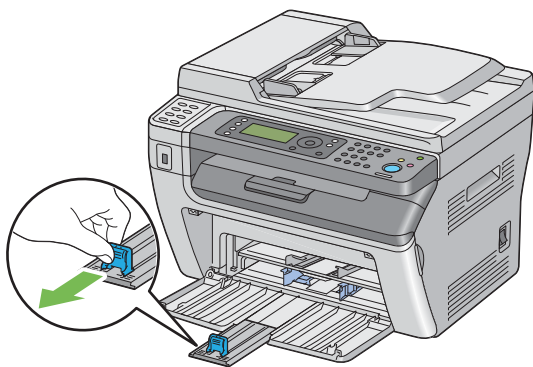
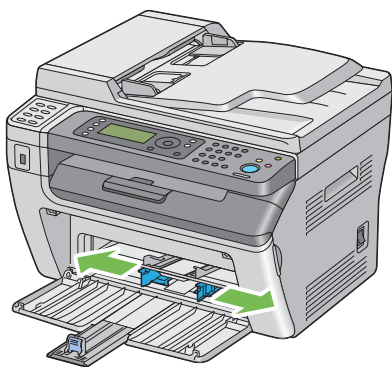
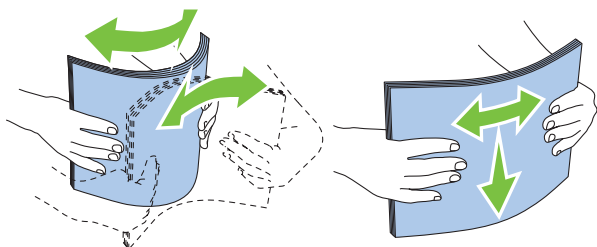
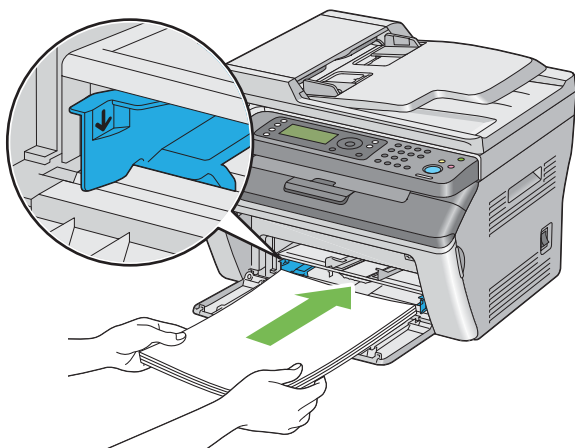
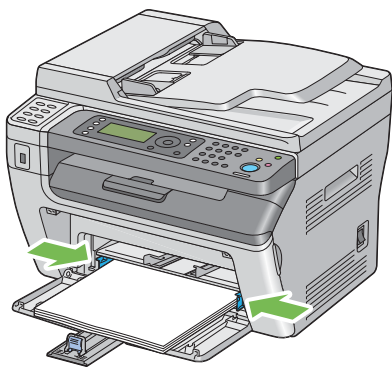
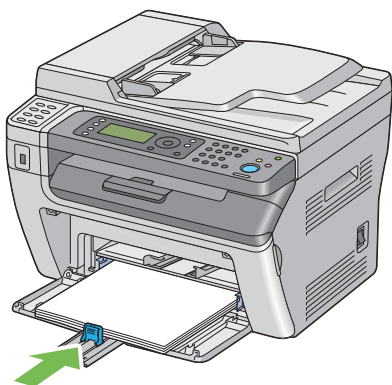
用紙トレイ (PSI) では、下記寸法におさまる用紙が利用可能です。

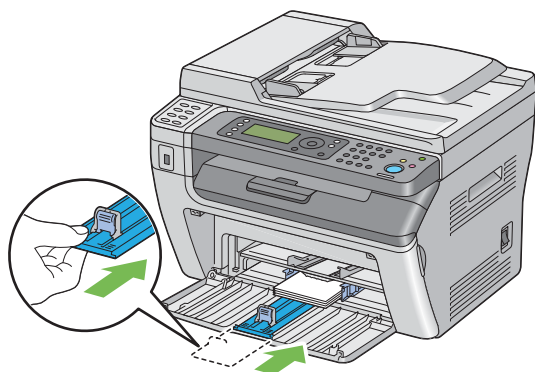
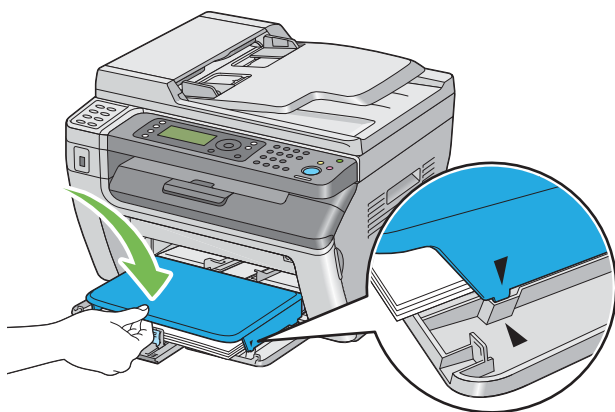
- 幅：76.2 ～ 215.9mm（3.00 ～ 8.50 インチ）
- 長さ：190.5 ～ 355.6mm（7.50 ～ 14.00 インチ）

■用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする

補足：

- 紙づまり防止のため、印刷中には用紙カバーを取り外さないでください。
- 本機ではインクジェットプリント用紙は使用しないでください。

1 フロントカバーを開きます。

2 用紙セットバーを手前に最後まで引き出します。

3 用紙ガイド（エンドガイド）を手前に最後まで引き出します。

4 最大幅に合わせて用紙ガイド（サイドガイド）を調整します。

5　用紙をセットする前に、用紙を前後にほぐし、よくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。

6　用紙は、推奨印刷面を上にした状態で上辺から先に用紙トレイ (MPF) にセットします。

7　用紙の辺にあわせて用紙ガイド（サイドガイド）が軽く当たるよう、調節します。

8 用紙ガイド（エンドガイド）が用紙に当たるまで奥にスライドさせます。

補足：

- 用紙のサイズによっては、まず用紙セットバーを奥に最後までスライドさせてから、用紙ガイド（エンドガイド）をつまみ用紙に当たるまで奥にスライドさせます。

9 用紙トレイ (MPF) 上の印に合わせて、用紙カバーを本機にセットします。

10 セットした用紙が普通紙ではない場合は、プリンタードライバーまたは操作パネルで用紙種類を選択します。ユーザー定義用紙を用紙トレイ (MPF) にセットした場合は、プリンタードライバーまたは操作パネルを使用して用紙サイズ設定を指定する必要があります。

補足：

- プリンタードライバーでの用紙サイズ、種類の設定の詳細についてはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照：

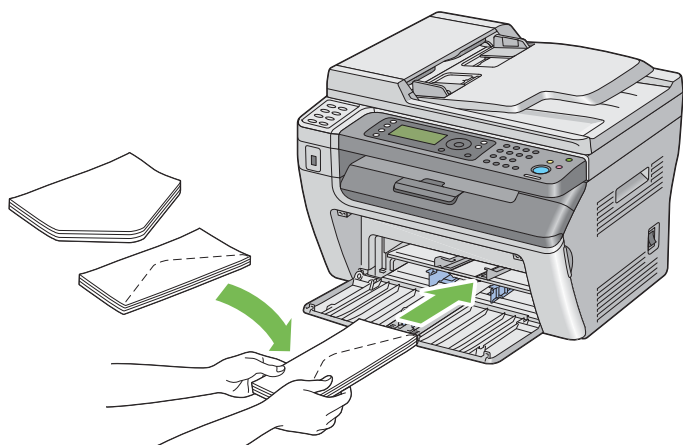
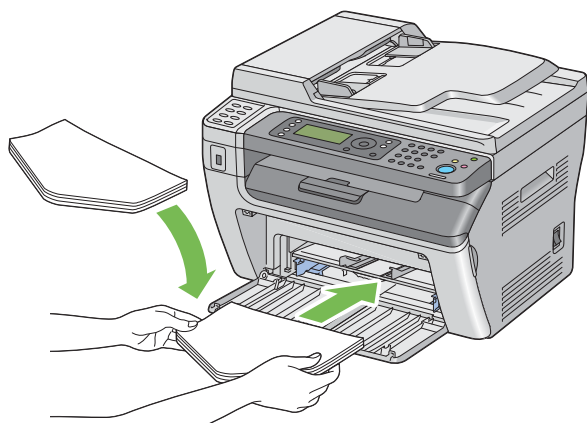
- 「用紙のサイズと種類を設定する」（170 ページ）
- 「ユーザー定義の用紙に印刷する」（182 ページ）

用紙トレイ (MPF) に封筒をセットする

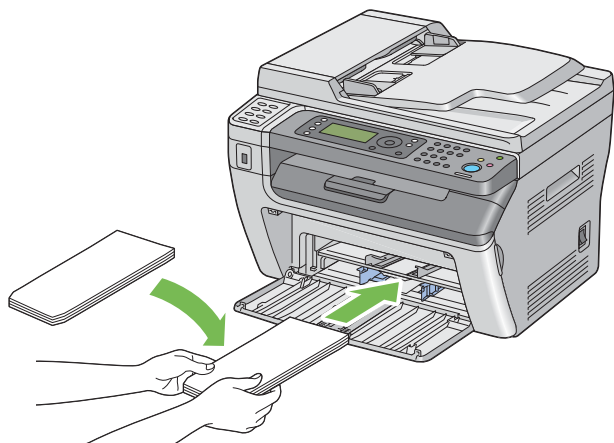
補足：

- 封筒に印刷する場合は、必ずプリンタードライバーで封筒設定を指定してください。指定しないと、印刷画像が 180 度回転します。

●封筒 #10、封筒 DL、封筒モナーク、封筒洋形 2/3/4/6 号、封筒洋長形 3 号をセットする場合

フラップを折り、印刷面が上、封筒のフラップ側が下を向き、フラップが右側になるよう封筒をセットします。

しわが付かないようにするため、封筒 DL、封筒モナーク、封筒洋形 2 号、封筒洋形 3 号は印刷面を上にし、フラップは開いた状態で自分の方を向くようにセットすることをお勧めします。

補足：

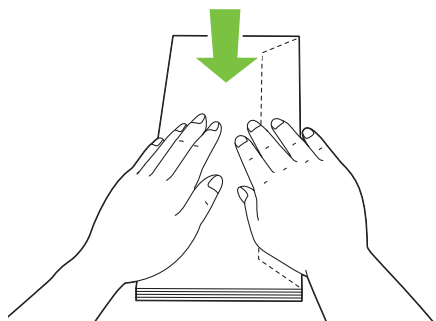
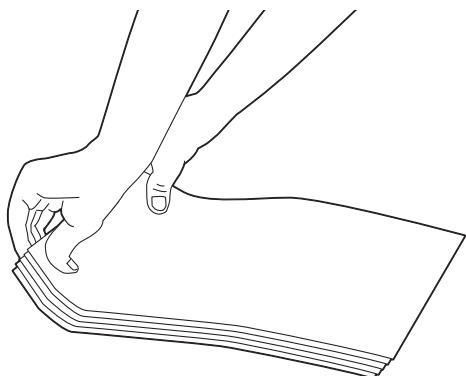
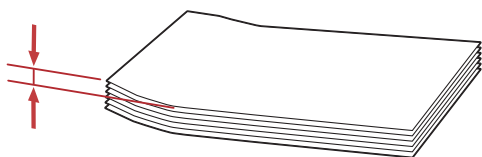
- 封筒を長辺送り (よこ) 方向にセットする場合は､必ずプリンタードライバーまたは操作パネルでよこ置きを指定してください。

●封筒 C5、封筒長形 3/4 号、封筒角形 3 号をセットする場合

印刷面が上、フラップは開いた状態で手前を向くように封筒をセットします。

注記：

- 窓付きの封筒や裏地がコーティングされた封筒は使用しないでください。紙づまりや本機の損傷の原因となる恐れがあります。
- 糊つきの封筒は印刷面を上にし、フラップは閉じた状態で奥を向くようにセットします。

補足：

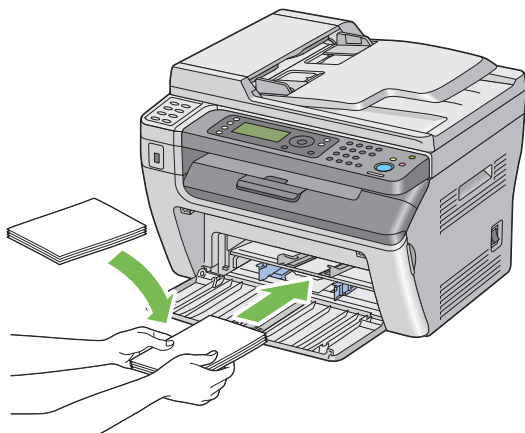
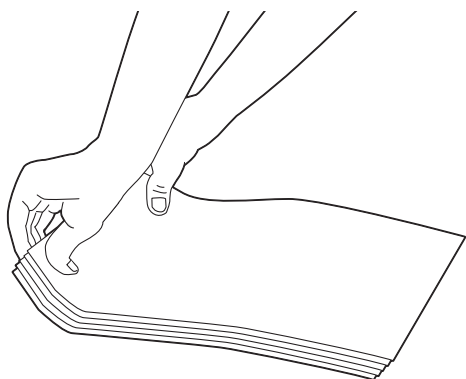
- 封筒をパッケージから取り出してすぐに用紙トレイ (MPF) にセットしないと、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙づまりを防止するため、用紙トレイ (MPF) にセットする際には、次のように封筒を平らにしてください。

- それでも封筒が正しく給紙されない場合は、下図のように封筒のフラップを少し曲げてみてください。曲げる量は 5mm（0.20 インチ）以内とします。

- 封筒などの正しい給紙方向を確認するには、プリンタードライバーの封筒 / 用紙セットナビを参照してください。

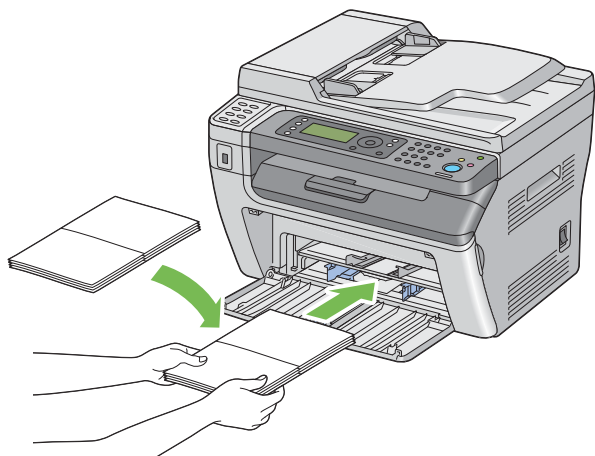
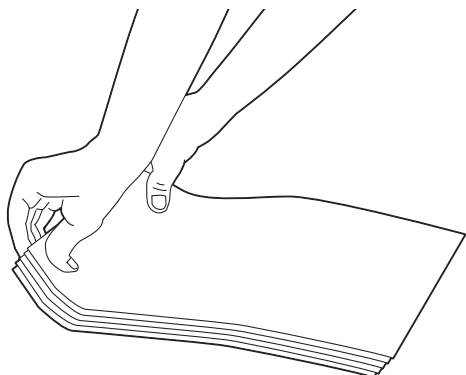
用紙トレイ (MPF) にはがきをセットする

補足：

- はがきに印刷する場合は、最適な印刷結果を得るため、必ずプリンタードライバーではがき設定を指定してください。

●はがきをセットする場合

はがきをさばいてから印刷面を上にして、上辺が先に入るようにはがきをセットします。

はがきが下向きにカールしている場合は、平らになるように矯正し、セット枚数を 5 枚以下にしてください。

●往復はがきをセットする場合

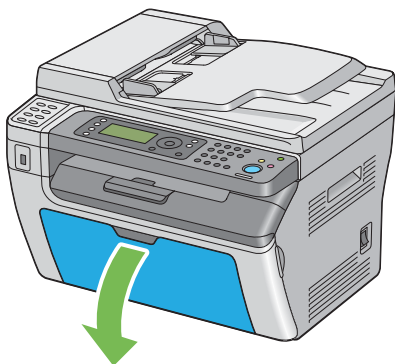
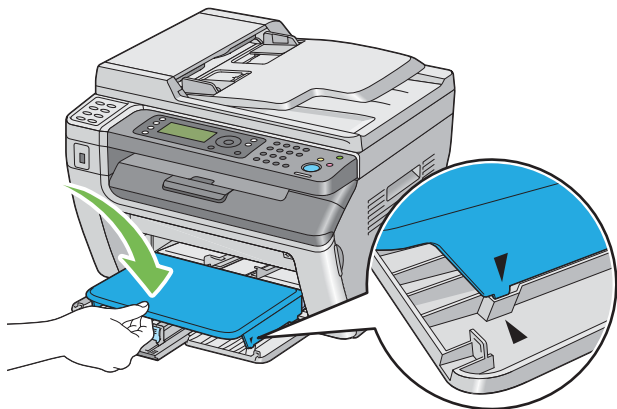
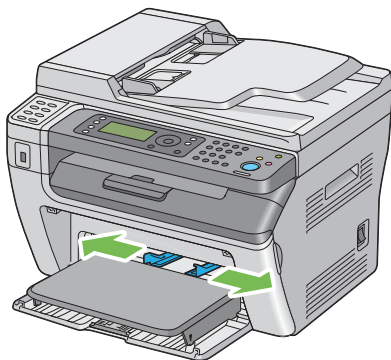
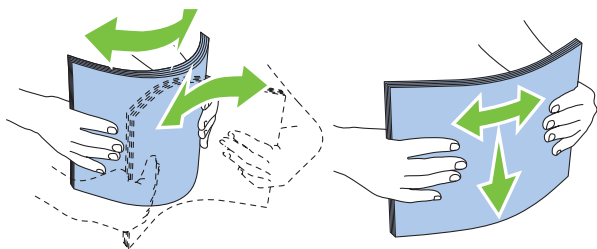
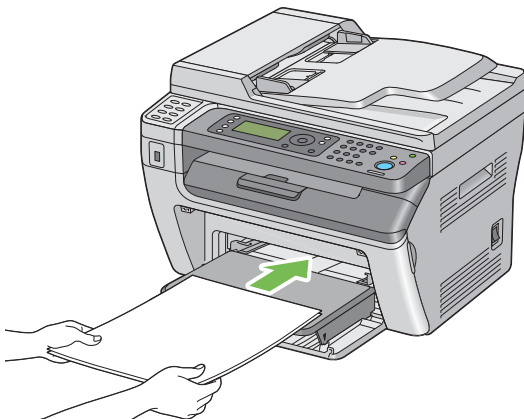
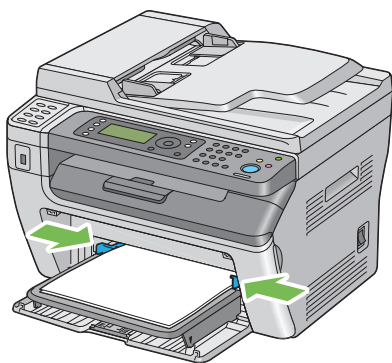
往復はがきをさばいてから、印刷面を上にして、左辺が先に入るように往復はがきをセットします。

往復はがきが下向きにカールしている場合は、平らになるように矯正し、セット枚数を 5 枚以下にしてください。

補足：

- はがきなどの正しい給紙方向を確認するには、プリンタードライバーの封筒 / 用紙セットナビを参照してください。

■用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする

補足：

- 紙づまり防止のため、印刷中には用紙カバーを取り外さないでください。
- 本機ではインクジェットプリント用紙は使用しないでください。

1 フロントカバーを開きます。

2 用紙トレイ (MPF) 上の印に合わせて、用紙カバーを本機にセットします。

3 最大幅に合わせて用紙ガイド（サイドガイド）を調整します。

4 用紙をセットする前に、用紙を前後にほぐし、よくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。

5 用紙は、推奨印刷面を上にした状態で上辺から先に用紙トレイ (PSI) にセットします。

6 用紙の辺にあわせて用紙ガイド（サイドガイド）が軽く当たるよう、調節します。

7 セットした用紙が普通紙ではない場合は、プリンタードライバーまたは操作パネルで用紙種類を選択します。ユーザー定義用紙を用紙トレイ (PSI) にセットした場合は、プリンタードライバーまたは操作パネルを使用して用紙サイズ設定を指定する必要があります。

補足：

- プリンタードライバーでの用紙サイズ、種類の設定の詳細についてはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

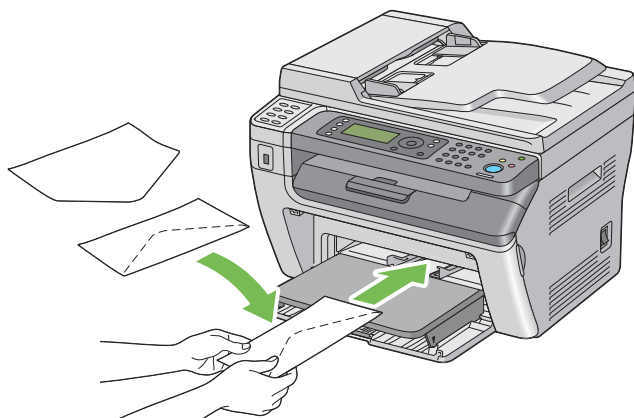
参照：

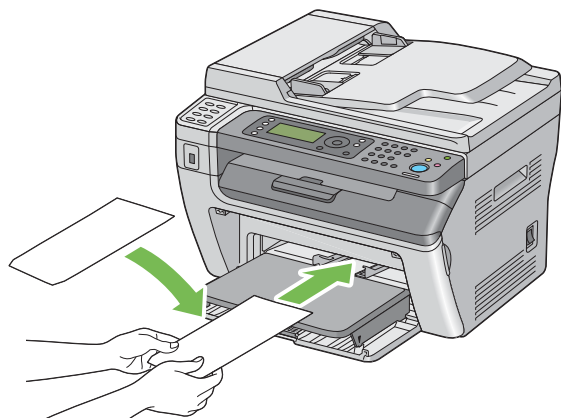
- 「用紙のサイズと種類を設定する」（170 ページ）
- 「ユーザー定義の用紙に印刷する」（182 ページ）

用紙トレイ (PSI) に封筒をセットする

補足：

- 封筒は奥まで挿入してください。奥まで挿入していない場合、用紙トレイ (MPF) にセットされている用紙が給紙されます。
- 封筒に印刷する場合は、必ずプリンタードライバーで封筒設定を指定してください。指定しないと、印刷画像が 180 度回転します。

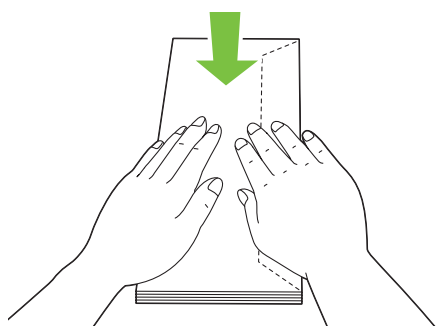
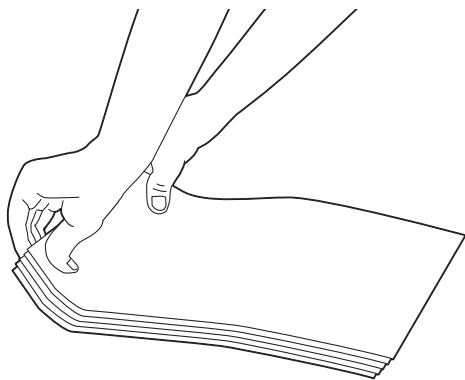
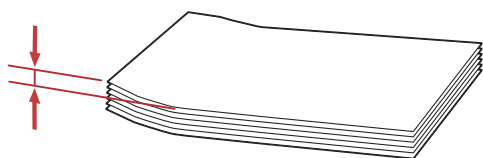
●封筒 #10、封筒 DL、封筒モナーク、封筒洋形 4/6 号、封筒洋長形 3 号をセットする場合

フラップを折り、印刷面が上、封筒のフラップ側が下を向き、フラップが右側になるよう封筒をセットします。

●封筒 C5、封筒長形 3/4 号、封筒角形 3 号をセットする場合

印刷面が上、フラップは開いた状態で手前を向くように封筒をセットします。

注記：

- 窓付きの封筒や裏地がコーティングされた封筒は使用しないでください。紙づまりや本機の損傷の原因となる恐れがあります。
- 糊つきの封筒は印刷面を上にし、フラップは閉じた状態で奥を向くようにセットします。

補足：

- 封筒をパッケージから取り出してすぐに用紙トレイ (PSI) にセットしないと、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙づまりを防止するため、用紙トレイ (PSI) にセットする際には、次のように封筒を平らにしてください。

- それでも封筒が正しく給紙されない場合は、下図のように封筒のフラップを少し曲げてみてください。曲げる量は 5mm（0.20 インチ）以内とします。

- 封筒などの正しい給紙方向を確認するには、プリンタードライバーの封筒 / 用紙セットナビを参照してください。

■手動両面印刷（Windows 版プリンタードライバーのみ）

ここには下記の項目を記載します：

- 「コンピューター上での操作」（164 ページ）
- 「用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする」（165 ページ）
- 「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」（167 ページ）

補足：

- 反っている（カールしている）用紙に印刷する場合は、用紙を平らにしてからトレイに挿入してください。
- ラベル紙、封筒は手動両面印刷に対応していません。

注記：

- 手動両面印刷を開始する際は指示ウィンドウが表示されます。このウィンドウは、一度閉じてしまうと再度開くことはできませんので、両面印刷が完了するまではこのウィンドウを閉じないでください。

コンピューター上での操作

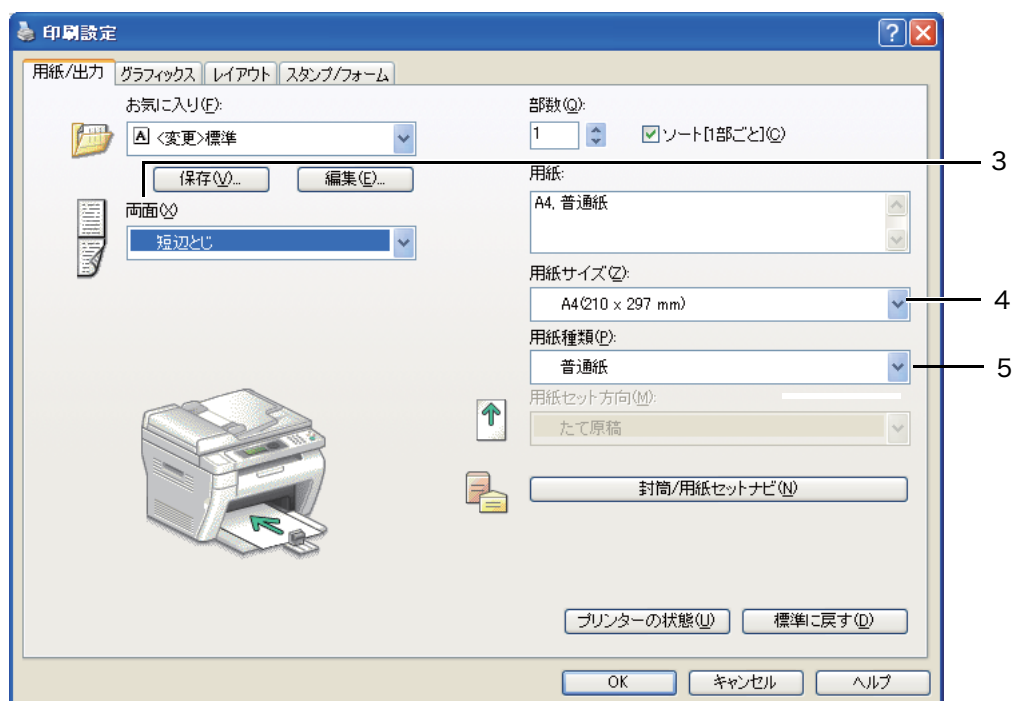
ここでは、Microsoft® Windows® XP のワードパッドを例に説明します。

補足：

- 本機の［**プロパティ**］/［**印刷設定**］ダイアログボックスを表示する方法は、アプリケーションソフトウエアによって異なります。対象アプリケーションソフトウエアのマニュアルを参照してください。

1 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 ［**プリンタの選択**］一覧ボックスから本機を選択し、［**詳細設定**］をクリックします。
［**印刷設定**］ダイアログボックスの［**用紙 / 出力**］タブが表示されます。

3 ［**両面**］から［**短辺とじ**］または［**長辺とじ**］のいずれかを選択して両面印刷ページの印刷方法を決定します。

4 ［**用紙サイズ**］から印刷する文書のサイズを選択します。

5 ［**用紙種類**］から、使用する用紙の種類を選択します。

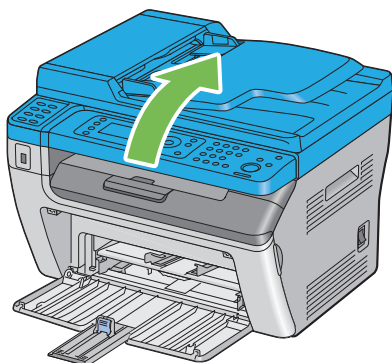
6 ［**OK**］をクリックして［**印刷設定**］ダイアログボックスを閉じます。

7 ［**印刷**］ダイアログボックスで［**印刷**］をクリックし、印刷を開始します。

注記：

- 手動両面印刷を開始する際は指示ウィンドウが表示されます。このウィンドウは、一度閉じてしまうと再度開くことはできませんので、両面印刷が完了するまではこのウィンドウを閉じないでください。

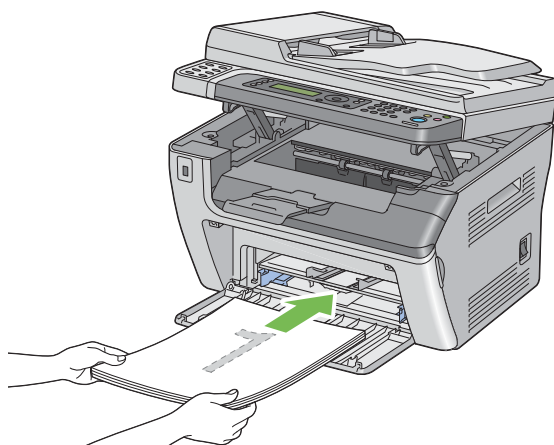
用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする

1. 原稿読み取り部を上げます。

2. 偶数ページ（うら面）から印刷します。

   6 ページの文書の場合、うら面は 6 ページ目、4 ページ目、2 ページ目の順番に印刷されます。

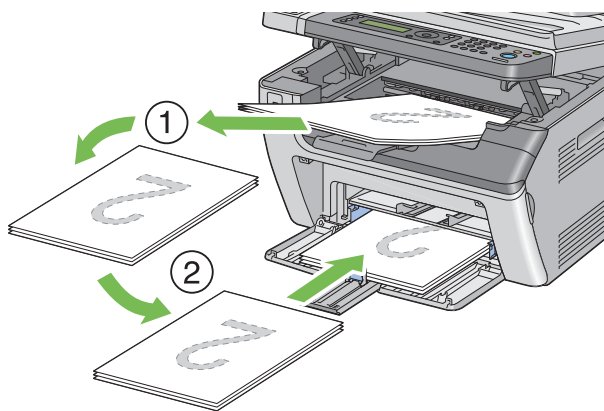
   うら面ページの印刷が完了すると、**データ** ランプが点滅し**片面のプリントが終わりました**というメッセージが LCD ディスプレイに表示されます。

3. うら面ページの印刷が終了したら、排出トレイから用紙を取り出します。

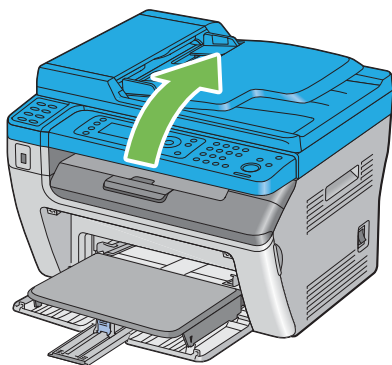
   補足：

   • 折れたり反ったりしている（カールしている）用紙は紙づまりの原因になります。用紙を整えてからセットしてください。

4. 印刷した用紙をそのまま重ねて（白紙の面が上になるように）用紙トレイ (MPF) にセットして、OK ボタンを押します。

   ページは、1 ページ目（2 ページ目のうら面）、3 ページ目（4 ページ目のうら面）、5 ページ目（6 ページ目のうら面）の順番で印刷されます。

補足：

- 異なる用紙サイズが混在している場合には両面印刷はできません。

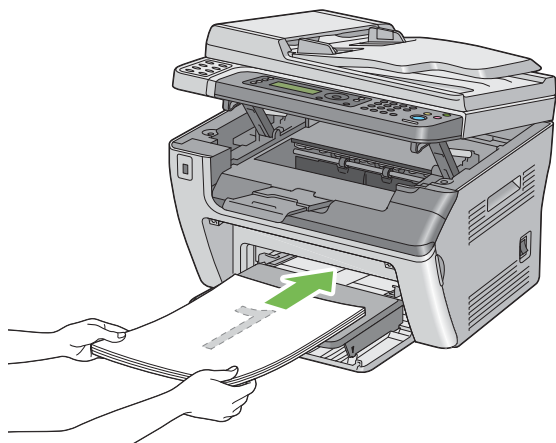
用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする

1 原稿読み取り部を上げます。

2 偶数ページ（うら面）から印刷します。

6 ページの文書の場合、うら面は 6 ページ目、4 ページ目、2 ページ目の順番に印刷されます。

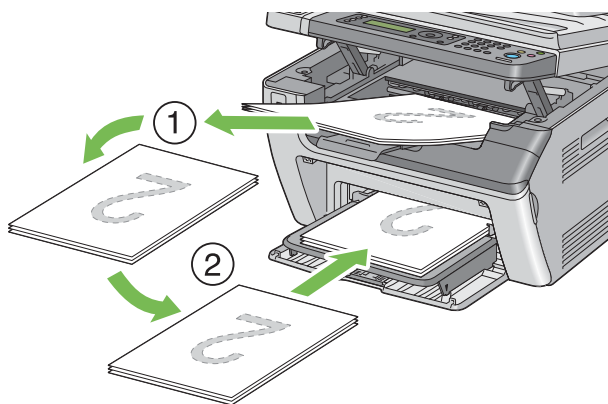
うら面ページの印刷が完了すると、**データ** ランプが点滅し**片面のプリントが終わりました**というメッセージが LCD ディスプレイに表示されます。

3 うら面ページの印刷が終了したら、排出トレイから用紙を取り出します。

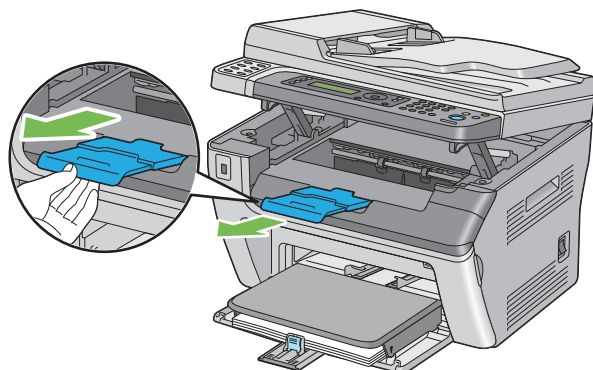
補足：

- 折れたり反ったりしている（カールしている）用紙は紙づまりの原因になります。用紙を整えてからセットしてください。

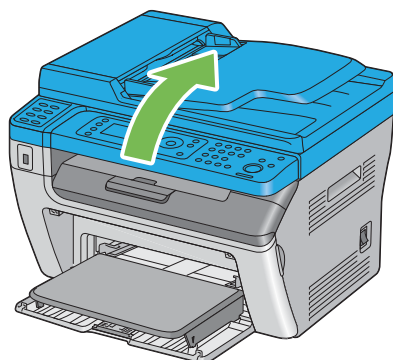
4 印刷した用紙をそのまま重ねて（白紙の面が上になるように）用紙トレイ (PSI) にセットして、OKボタンを押します。

ページは、1 ページ目（2 ページ目のうら面）、3 ページ目（4 ページ目のうら面）、5 ページ目（6 ページ目のうら面）の順番で印刷されます。

補足：

- 異なる用紙サイズが混在している場合には両面印刷はできません。

■排出延長トレイの使い方

排出延長トレイは、印刷の完了後に用紙が本機から落ちないように設計されています。
長い用紙を印刷する際は、事前に排出延長トレイが完全に伸ばされていることを確認してください。

補足：

- 排出トレイから封筒や小型用紙を引き抜く際は、原稿読み取り部を上げてください。

用紙のサイズと種類を設定する

用紙をセットする際は、印刷の前に操作パネルで用紙のサイズと種類を設定してください。
ここでは、操作パネルで用紙のサイズと種類を設定する方法を説明します。

参照：

- 「本機のメニューについて」（312 ページ）

ここには下記の項目を記載します：

■用紙サイズを設定する

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **用紙トレイ設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 **用紙トレイ**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **用紙サイズ**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 セットした用紙に合った正しい用紙サイズを選択し、(OK)ボタンを押します。

■用紙種類を設定する

注記：

- 用紙種類の設定が実際にトレイにセットされている用紙の種類と一致していない場合、印刷品質の問題が発生するおそれがあります。

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **用紙トレイ設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **用紙トレイ**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **用紙種類**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. セットした用紙に合った正しい用紙種類を選択し、(OK)ボタンを押します。

印刷する

ここでは、コンピューターから文書を印刷する方法およびジョブを中止する方法を説明します。

ここには下記の項目を記載します：

■コンピューターから印刷する

アプリケーションから［**印刷**］を選択すると、プリンタードライバーのウィンドウが開きます。印刷するファイルに適した設定をします。ドライバーから選択した印刷設定は、操作パネルまたは設定管理ツールのデフォルト設定よりも優先されます。

［**印刷**］ダイアログボックスから［**プロパティ**］/［**詳細設定**］をクリックすると、印刷設定を変更することができます。プリンタードライバーウィンドウの使い方がわからない場合は、ヘルプを参照してください。

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

アプリケーションから印刷ジョブを実行するには：

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ダイアログボックスで本機が選択されているか確認します。必要に応じて印刷設定を変更してください（印刷対象ページや部数など）。
4. ［**用紙サイズ**］、［**用紙種類**］、［**用紙セット方向**］など、最初の画面では変更できない印刷設定を変更する場合は、［**詳細設定**］をクリックします。

   ［**印刷設定**］ダイアログボックスが表示されます。
5. 印刷設定を行います。詳細については［**ヘルプ**］をクリックしてください。
6. ［**OK**］をクリックして［**印刷設定**］ダイアログボックスを閉じます。
7. ［**印刷**］をクリックして、本機にジョブを送信します。

■印刷ジョブを中止する

印刷ジョブの中止にはいくつかの方法があります。

ここには下記の項目を記載します：

- 「操作パネルから中止する」（175 ページ）
- 「コンピューターからジョブを中止する（Windows）」（175 ページ）

操作パネルから中止する

印刷開始後にジョブを中止するには：

1 ⊘（**ストップ**）ボタンを押します。

補足：

- 印刷が中止されるのは現在印刷しているジョブのみです。後続のジョブは引き続きすべて印刷されます。

コンピューターからジョブを中止する（Windows）

●タスクバーからジョブを中止する

印刷ジョブを送信すると、小さなプリンターアイコンがタスクバーの右端に表示されます。

1 プリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷ジョブの一覧がプリンターウィンドウに表示されます。

2 中止するジョブを選択します。

3 **Delete** キーを押します。

4 ［**プリンタ**］ダイアログボックスで［**はい**］をクリックし、印刷ジョブを中止します。

●デスクトップからジョブを中止する

1 プログラムをすべて最小化してデスクトップを表示します。

［**スタート**］→［**プリンタと FAX**］（Windows XP の場合）をクリックします。

［**スタート**］→［**プリンタと FAX**］（Windows Server® 2003 の場合）をクリックします。

［**スタート**］→［**デバイスとプリンター**］（Windows 7 および Windows Server 2008 R2 の場合）をクリックします。

［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**プリンタ**］（Windows Vista® および Windows Server 2008 の場合）をクリックします。

利用可能なプリンターの一覧が表示されます。

2 本機をダブルクリックします。

印刷ジョブの一覧がプリンターウィンドウに表示されます。

3 中止するジョブを選択します。

4 **Delete** キーを押します。

5 ［**プリンタ**］ダイアログボックスで［**はい**］をクリックし、印刷ジョブを中止します。

■印刷オプションを選択する

ここには下記の項目を記載します：

- 「印刷設定を選択する (Windows)」（177 ページ）
- 「個別ジョブにオプションを選択する (Windows)」（178 ページ）
- 「個別ジョブにオプションを選択する (Mac OS X)」（180 ページ）

印刷設定を選択する (Windows)

印刷設定を変更することで印刷オプションのデフォルト設定を変更できます。例えば、ほとんどのジョブで両面印刷を行う場合は、このオプションを印刷設定で選択することにより、効率よく印刷することができます。

印刷設定を選択するには：

1 ［**スタート**］→［**プリンタと FAX**］（Windows XP の場合）をクリックします。

［**スタート**］→［**プリンタと FAX**］（Windows Server 2003 の場合）をクリックします。

［**スタート**］→［**デバイスとプリンター**］（Windows 7 および Windows Server 2008 R2 の場合）をクリックします。

［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**プリンタ**］（Windows Vista および Windows Server 2008 の場合）をクリックします。

利用可能なプリンターの一覧が表示されます。

2 本機のアイコンを右クリックして［**印刷設定**］を選択します。

本機の［**印刷設定**］画面が表示されます。

3 ドライバーのタブで選択を行い、［**OK**］をクリックして変更を保存します。

補足：

- Windows 版プリンタードライバーのオプションの詳細については、プリンタードライバーの各タブで［**ヘルプ**］をクリックしてヘルプを確認してください。

個別ジョブにオプションを選択する (Windows)

個別のジョブに対して特定の印刷オプションを使用する場合は、本機にジョブを送信する前にドライバー設定を変更してください。例えば、高画質で印刷したい場合、ジョブを実行する前にドライバーでこの設定を選択します。

1. アプリケーションで任意の文書または画像を開いている状態で、［**印刷**］ダイアログボックスを開きます。
2. 本機を選択して［**詳細設定**］をクリックし、プリンタードライバーを開きます。
3. ドライバーのタブで選択を行います。

   補足：

   - Windows では、現在の印刷オプションに名前をつけて保存し、他の印刷ジョブに適用することができます。［**用紙 / 出力**］、［**グラフィックス**］、［**レイアウト**］、［**スタンプ / フォーム**］タブで選択を行い、［**用紙 / 出力**］タブの［**お気に入り**］で［**保存**］をクリックしてください。詳細については［**ヘルプ**］をクリックしてください。

4. ［**OK**］をクリックして選択を保存します。
5. 印刷します。

個々の印刷オプションについては次の表を参照してください。

Windows の印刷オプション

OS	ドライバータブ	印刷オプション
Windows XP Windows XP x 64bit Windows Server 2003 Windows Server 2003 x 64bit Windows Vista Windows Vista x 64bit Windows Server 2008 Windows Server 2008 x 64bit Windows Server 2008 R2 Windows 7 Windows 7 x 64bit	［**用紙 / 出力**］タブ	• お気に入り • 両面 • 部数 • ソート [1 部ごと] • 用紙 • 用紙サイズ • 用紙種類 • 用紙セット方向 • 封筒 / 用紙セットナビ • プリンターの状態 • 標準に戻す
	［**グラフィックス**］タブ	• 印刷モード • スクリーン • トナー節約 • イメージエンハンスメント • バーコードモード • 画質調整 - 原稿全体を設定する - 原稿要素ごとに設定する - 明度 - コントラスト • 標準に戻す
	［**レイアウト**］タブ	• 原稿の向き • まとめて 1 枚 • ポスター / 混在原稿 • 出力用紙サイズ • 倍率を指定する • とじしろ / プリント位置 • 標準に戻す
Windows XP Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008 Windows 7	［**スタンプ / フォーム**］タブ	• スタンプ - 新規文字列 - 新規ビットマップ - 編集 - 削除 - 最初のページのみ • フォーム - 使用しない - フォーム作成 / 登録 - オーバーレイ印字 • ヘッダー / フッター印刷 • 標準に戻す

個別ジョブにオプションを選択する (Mac OS X)

個別のジョブに対して印刷設定を選択するには、本機にジョブを送信する前にドライバー設定を変更してください。

1 アプリケーションで文書を開いている状態で［**ファイル**］をクリックして、次に［**プリント**］をクリックします。

2 ［**プリンタ**］から本機を選択します。

3 表示されたメニューおよびドロップダウンリストから任意の印刷オプションを選択します。

補足：

- Mac OS® X では、［**プリセット**］メニュー画面から［**別名で保存**］をクリックして現在の印刷オプションを保存できます。複数のプリセットを作成してそれぞれに名前と印刷オプションを設定して保存できます。特定の印刷オプションを使用して印刷するには、［**プリセット**］メニュー画面から任意の保存済みプリセットをクリックしてください。

4 ［**プリント**］をクリックして印刷します。

Mac OS X 版プリンタードライバーの印刷オプション：

次の表では、Mac OS X 10.6 テキストエディットを例として使用しています。

Mac OS X の印刷オプション

項目	印刷オプション
	• 部数 • 丁合い • ページ • 用紙サイズ • 方向
レイアウト	• ページ数／枚 • レイアウト方向 • 境界線 • ページの方向を反転 • 左右反転
カラー・マッチング	• ColorSync • 製造元のマッチング • プロファイル
用紙処理	• プリントするページ • ページの順序 • 用紙サイズに合わせる • 出力用紙サイズ • 縮小のみ
表紙	• 表紙をプリント • 表紙のタイプ • 課金情報
スケジューラ	• 書類をプリント • 優先順位

項目	印刷オプション
プリンタの機能	• 1. 詳細設定 - 画質 - 原稿 180 ° 回転 - トナー節約 - バーコードモード - イメージエンハンスメント • 2. カラーバランス - 低濃度 (K) - 中濃度 (K) - 高濃度 (K) • 3. 出力の設定 - 用紙種類 • 4. その他の設定 - 白紙節約
一覧	

■ユーザー定義の用紙に印刷する

ここでは、プリンタードライバーからユーザー定義用紙に印刷する方法を説明します。

ユーザー定義用紙をセットする方法は、標準紙をセットする方法と同じです。

参照：

- 「用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする」（151 ページ）
- 「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」（158 ページ）
- 「用紙のサイズと種類を設定する」（170 ページ）

補足：

- ユーザー定義用紙は幅 76.2 ～ 215.9mm（3 ～ 8.5 インチ）、長さ 148.5 ～ 355.6mm（5.85 ～ 14 インチ）の範囲で指定できます。

ユーザー定義サイズを設定する

印刷する前に、プリンタードライバーでユーザー定義サイズを設定します。

補足：

- プリンタードライバーおよび操作パネルで用紙サイズを設定する際は、必ず実際に使用する用紙と同じサイズを指定してください。異なるサイズを設定した場合、装置破損の原因になることがあります。幅の小さい用紙を使用する場合にサイズを大きく設定した場合は、特に装置破損の危険が大きくなります。

●Windows 版プリンタードライバーの場合

Windows 版プリンタードライバーでは、［**ユーザー定義用紙**］ダイアログボックスからユーザー定義サイズを設定します。ここでは、Windows XP を例にこの手順を説明します。

Windows XP 以降の OS では、管理者パスワードが必要となるため、管理者権限を持ったユーザーのみが設定を変更できます。管理者権限のないユーザーは内容の閲覧のみ許可されます。

1. ［**スタート**］→［**プリンタと FAX**］をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックして［**プロパティ**］を選択します。
3. ［**初期設定**］タブを選択します。
4. ［**ユーザー定義用紙**］をクリックします。
5. ［**設定一覧**］からユーザー定義する設定項目を選択します。
6. ［**設定の変更**］で短辺、長辺の長さを指定します。直接入力または上下矢印ボタンで値を指定できます。短辺の長さは、指定範囲内であっても長辺の長さを超えることはできません。長辺の長さは、指定範囲内であっても短辺の長さを下回ることはできません。
7. 用紙に名前を付ける場合は、［**用紙名をつける**］チェックボックスを選択して［**用紙名**］に名前を入力します。用紙名は半角 14 文字または全角 7 文字まで使用できます。
8. 別のユーザー定義を行う場合は、手順 5 ～ 7 を繰り返します。
9. ［**OK**］を二回クリックします。

ユーザー定義の用紙に印刷する

Windows または Mac OS X のプリンタードライバーを使用して印刷する場合は次の手順を実行してください。

●Windows 版プリンタードライバーの場合

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に手順を説明します。

補足：

- 本機の［**プロパティ**］/［**印刷設定**］ダイアログボックスを表示する方法は、アプリケーションソフトウエアによって異なります。対象アプリケーションソフトウエアのマニュアルを参照してください。

1 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 本機を選択し、［**詳細設定**］をクリックします。

3 ［**用紙 / 出力**］タブを選択します。

4 ［**用紙サイズ**］から印刷する文書のサイズを選択します。

5 ［**用紙種類**］から使用する用紙の種類を選択します。

6 ［**レイアウト**］タブをクリックします。

7 ［**出力用紙サイズ**］から定義したサイズを選択します。手順 4 で［**用紙サイズ**］から定義したサイズを選択した場合は、［**原稿サイズと同じ**］を選択してください。

8 ［**OK**］をクリックします。

9 ［**印刷**］ダイアログボックスで［**印刷**］をクリックし、印刷を開始します。

●Mac OS X 版プリンタードライバーの場合

ここでは、Mac OS X 10.6 のテキストエディットを例に手順を説明します。

1 ［**ファイル**］メニューから［**ページ設定**］を選択します。

2 ［**対象プリンタ**］から本機を選択します。

3 ［**用紙サイズ**］から［**カスタムサイズを管理**］を選択します。

4 ［**カスタム用紙サイズ**］ウィンドウで［**+**］をクリックします。
新しく作成した設定「名称未設定」が一覧に表示されます。

5 「名称未設定」をダブルクリックして設定の名前を入力します。

6 ［**用紙サイズ**］の［**幅**］および［**高さ**］のボックスに印刷する文書のサイズを入力します。

7 必要に応じて［**プリントされない領域**］を指定します。

8 ［**OK**］をクリックします。

9 新しく作成した用紙サイズが［**用紙サイズ**］で選択されていることを確認し、［**OK**］をクリックします。

10 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

11 ［**プリント**］をクリックして印刷を開始します。

■印刷ジョブの状態を確認する

ここには下記の項目を記載します：

- 「状態を確認する（Windows のみ）」（184 ページ）
- 「CentreWare Internet Services で状態を確認する（Windows および Mac OS X）」（184 ページ）

状態を確認する（Windows のみ）

SimpleMonitor で本機の状態を確認することができます。画面右下のタスクバーで SimpleMonitor アイコンをダブルクリックしてください。［**プリンター選択**］ウィンドウが表示され、プリンター名、接続ポート、ステータス、機種名が表示されます。［**ステータス**］欄で本機の現在の状態を確認できます。

［**設定**］ボタン：［**設定**］ウィンドウを表示し、SimpleMonitor 設定を変更することができます。

［**プリンター選択**］ウィンドウの一覧から任意のプリンター名をクリックしてください。［**プリンターの状態**］ウィンドウが表示されます。本機の状態および印刷ジョブの状態を確認することができます。

SimpleMonitor の詳細についてはヘルプを参照してください。ここでは、Windows XP を例に説明します。

1 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］をクリックします。

2 ［**Fuji Xerox**］を選択します。

3 ［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］を選択します。

4 ご使用の機種を選択します。

5 ［**SimpleMonitor for Japan**］を選択します。
［**プリンター選択**］ウィンドウが表示されます。

6 一覧から任意のプリンター名をクリックしてください。
［**プリンターの状態**］ウィンドウが表示されます。

7 ［**ヘルプ**］をクリックします。

参照：

- 「SimpleMonitor（Windows のみ）」（60 ページ）

CentreWare Internet Services で状態を確認する（Windows および Mac OS X）

本機に送信した印刷ジョブの状態は CentreWare Internet Services の［**ジョブ**］タブで確認できます。

参照：

- 「本機の管理ソフトウエア」（53 ページ）

■レポートを印刷する

様々なレポートおよびリストを印刷することができます。各レポートおよびリストの詳細については「レポート / リスト」（313 ページ）を参照してください。

ここでは、システム設定リストを例にレポートを印刷するための 2 つの方法について説明します。

システム設定リストを印刷する

詳細な本機の設定を確認するには、システム設定リストを印刷してください。

操作パネル

補足：

- レポート / リストは、英語で印刷されます。

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **レポート / リスト**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 **システム設定リスト**を選択し、(OK)ボタンを押します。
   システム設定リストが印刷されます。

設定管理ツール

ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足：

- レポート / リストは、英語で印刷されます。

1 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ ご使用の機種 →［**設定管理ツール**］をクリックします。

   補足：

   - 複数のプリンタードライバーがコンピューターにインストールされている場合は、プリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合、［**プリンター名**］に一覧表示されているプリンターから任意の名称をクリックしてください。

   設定管理ツールが表示されます。

2 ［**設定 / レポート**］タブをクリックします。

3 ページ左側の一覧から［**レポート / リスト**］を選択します。
   ［**レポート / リスト**］ページが表示されます。

4 ［**システム設定リスト**］をクリックします。
   システム設定リストが印刷されます。

■ 本機の設定

ここには下記の項目を記載します：

- 「操作パネルから本機の設定を変更する」（186 ページ）
- 「設定管理ツールから本機の設定を変更する」（187 ページ）
- 「表示言語の設定を変更する」（187 ページ）

操作パネルから本機の設定を変更する

操作パネルからメニュー項目と設定値を選択できます。

最初に操作パネルからメニューに入ると、メニュー項目の一覧が表示されます。各メニュー項目の右に表示されている値はデフォルト設定を示すものです。これらの値が工場設定値です。

新しい設定値をデフォルトメニュー設定として選択するには：

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. 任意のメニューを選択し、(OK)ボタンを押します。
3. 任意のメニューまたはメニュー項目を選択し、(OK)ボタンを押します。
   - メニューを選択した場合はそのメニューが開き、メニュー項目の一覧が表示されます。
   - メニュー項目を選択した場合は、そのメニュー項目のデフォルト設定値がハイライト表示されます。

   各メニュー項目には、メニュー項目の値一覧があります。値は以下となります。

   - 設定名称
   - 変更可能な数値
   - オン・オフ設定
4. 任意の値を選択します。
5. (OK)ボタンを押して設定値を有効化します。

   前の画面のメニュー項目の右に有効化した設定値が表示され、現在のユーザーデフォルトのメニュー設定であることが示されます。
6. その他の項目の設定を行う場合は任意のメニューを選択します。⮌(**戻る**)または◀ボタンを押して前のメニューに戻ります。

   設定を終了する場合は**仕様設定**ボタンを押してから⮌（**戻る**）または◀ボタンを押して**機能を選択してください**画面に戻ってください。

これらの設定は、新しい設定値を選択するか、工場設定を復元するまで有効となります。ドライバーの設定は操作パネルの設定よりも優先されます。

設定管理ツールから本機の設定を変更する

設定管理ツールから、メニュー項目および設定値を選択できます。

ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足：

- これらの設定は、新しい設定を選択するか工場設定を復元するまで有効となります。

新しい設定値を選択するには：

1. ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ ご使用の機種 →［**設定管理ツール**］をクリックします。

   補足：

   - 複数のプリンタードライバーがコンピューターにインストールされている場合は、プリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合、［**プリンター名**］に一覧表示されているプリンターから任意の名称をクリックしてください。

   設定管理ツールが表示されます。

2. ［**メンテナンス**］タブをクリックします。

3. 任意のメニュー項目を選択します。

   各メニュー項目には、メニュー項目の値一覧があります。値は以下となります。

   - 設定名称
   - 変更可能な数値
   - オン・オフ設定

4. 任意の値を選択して、［**新しい設定を適用**］または［**新しい設定を適用して本体を再起動**］ボタンをクリックします。

   ドライバーで行った設定はその前に行った変更よりも優先され、設定管理ツールのデフォルト値の変更が必要になる場合があります。

表示言語の設定を変更する

操作パネルで異なる言語を表示するには：

●操作パネル

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **パネル表示言語**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. 任意の言語を選択し、(OK)ボタンを押します。

●設定管理ツール

ここでは、Windows XP を例に説明します。

1 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ ご使用の機種 →［**設定管理ツール**］をクリックします。

補足：

- 複数のプリンタードライバーがコンピューターにインストールされている場合は、プリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合、［**プリンター名**］に一覧表示されているプリンターから任意の名称をクリックしてください。

設定管理ツールが表示されます。

2 ［**メンテナンス**］タブをクリックします。

3 ページ左側の一覧から［**システム設定**］を選択します。

［**システム設定**］ページが表示されます。

4 ［**パネル表示言語**］から任意の言語を選択し、［**新しい設定を適用**］ボタンをクリックします。

Web Services on Devices (WSD) で印刷する

ここでは、WSD によるネットワーク印刷に関する詳細を説明します。WSD とは、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows 7 における Microsoft の新しいプロトコルです。

ここには下記の項目を記載します：

- 「印刷サービスの役割を追加する」（190 ページ）
- 「本機のセットアップ」（191 ページ）

■印刷サービスの役割を追加する

Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 をご使用の場合は、印刷サービスの役割を Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 クライアントに追加する必要があります。

●Windows Server 2008 の場合：

1 ［**スタート**］→［**管理ツール**］→［**サーバー マネージャー**］をクリックします。

2 ［**操作**］メニューから［**役割の追加**］を選択します。

3 ［**役割の追加ウィザード**］の［**サーバーの役割**］ウィンドウで［**印刷サービス**］チェックボックスを選択してから、［**次へ**］をクリックします。

4 ［**次へ**］をクリックします。

5 ［**プリント サーバー**］チェックボックスを選択し、［**次へ**］をクリックします。

6 ［**インストール**］をクリックします。

●Windows Server 2008 R2 の場合：

1 ［**スタート**］→［**管理ツール**］→［**サーバー マネージャー**］をクリックします。

2 ［**操作**］メニューから［**役割の追加**］を選択します。

3 ［**役割の追加ウィザード**］の［**サーバーの役割**］ウィンドウで［**印刷とドキュメントサービス**］チェックボックスを選択してから、［**次へ**］をクリックします。

4 ［**次へ**］をクリックします。

5 ［**プリント サーバー**］チェックボックスを選択し、［**次へ**］をクリックします。

6 ［**インストール**］をクリックします。

■本機のセットアップ

本機に付属しているソフトウエアパック CD-ROM または［**プリンタの追加**］ウィザードを使用して、ネットワーク上に本機をインストールすることができます。

ここでは、Windows Vista を例に説明します。

［プリンタの追加］ウィザードを使用してプリンタードライバーをインストールする

1. ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**プリンタ**］（Windows Server 2008 R2 および Windows 7 の場合は［**スタート**］→［**デバイスとプリンター**］）をクリックします。
2. ［**プリンタのインストール**］をクリックして［**プリンタの追加**］ウィザードを起動します。
3. ［**ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します**］を選択します。
4. プリンターの一覧から、本機を選択して［**次へ**］をクリックします。

   補足：
   - プリンターの一覧では、WSD プリンターは［**http://IP アドレス /ws/**］と表示されます。
   - 一覧にWSDプリンターが表示されない場合は、手動で本機のIPアドレスを入力してWSDプリンターを作成してください。本機の IP アドレスの手動入力を行う場合は次の手順に従ってください。
     Windows Server 2008 R2 の場合、WSD プリンターを作成するには管理者グループのメンバーとしてログオンする必要があります。
     1. ［**探しているプリンタはこの一覧にはありません**］をクリックします。
     2. ［**TCP/IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンタを追加する**］を選択して［**次へ**］をクリックします。
     3. ［**デバイスの種類**］から［**Web サービス デバイス**］を選択します。
     4. ［**ホスト名または IP アドレス**］テキストボックスに本機の IP アドレスを入力して［**次へ**］をクリックします。
   - Windows Server 2008 R2 または Windows 7 で［**プリンタの追加**］ウィザードからドライバーをインストールする際は、事前に下記のいずれかを行ってください。
     - Windows Update がコンピューターをスキャンできるようにインターネット接続を確立する。
     - 事前にコンピューターにプリンタードライバーを追加する。

5. プリンタードライバーのインストールを求める画面が表示された場合は、プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。管理者のパスワードまたは確認を求める画面が表示された場合は、パスワードを入力するか確認を行ってください。
6. ウィザードでその他の手順を行ってから、［**完了**］をクリックします。
7. テストページを印刷して本機のインストールを検証します。
   a. ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**プリンタ**］（Windows Server 2008 R2 および Windows 7 の場合は［**スタート**］→［**デバイスとプリンター**］）をクリックします。
   b. 本機を右クリックし、［**プロパティ**］をクリックします（Windows Server 2008 R2 および Windows 7 の場合は［**プリンターのプロパティ**］）。
   c. ［**全般**］タブで［**テスト ページの印刷**］をクリックします。テストページが問題なく印刷されていればインストールは完了です。

6

コピーする

本章には下記の項目を記載します：

コピー用の用紙をセットする

印刷、ファクス、コピーのいずれの場合も用紙をセットする方法は同じです。

参照：

- 「使用できる用紙」（144 ページ）
- 「用紙のセットのしかた」（148 ページ）
- 「用紙のサイズと種類を設定する」（170 ページ）

原稿を用意する

コピー、スキャン、またはファクス送信する原稿を原稿ガラスまたは自動原稿送り装置にセットします。自動原稿送り装置の場合はひとつのジョブにつき 64g/m^2 の原稿を最大 15 枚までセットでき、原稿ガラスを使用する場合は一度に 1 枚ずつセットします。

注記：

- 148.0×210.0mm（5.83×8.27 インチ）未満、または 215.9×355.6mm（8.5×14 インチ）を超える原稿、複数の異なるサイズの原稿、冊子、パンフレット、透明紙など特殊な性質を持つ原稿は自動原稿送り装置にセットしないでください。
- カーボン紙、裏カーボン紙、コート紙、薄質半透明紙、薄紙、折り目、カールのある紙、巻紙、破れた紙は自動原稿送り装置では使用できません。
- ホチキス、クリップのついた紙、糊、インク、修正液など粘着性物質、溶剤などのついた紙は自動原稿送り装置で使用しないでください。

補足：

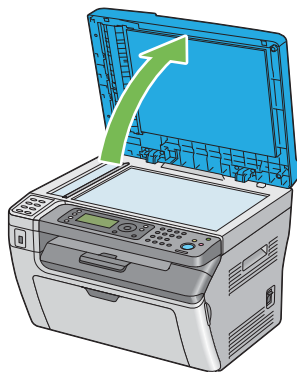
- 特にカラーまたはグレースケールの画像の場合、最適なスキャン品質を得るには自動原稿送り装置ではなく原稿ガラスを使用してください。

原稿ガラスからコピーを行う

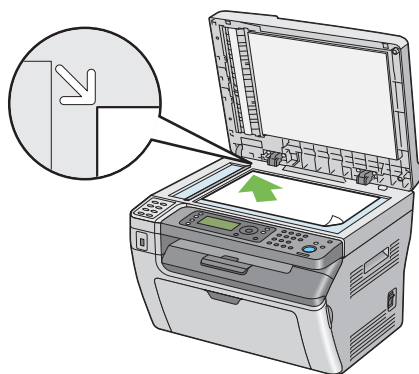
補足：

- コピーの場合はコンピューターとの接続は必要ありません。
- 自動原稿送り装置に原稿がセットされていないことを確認してください。自動原稿送り装置に原稿が検出されると、原稿ガラスの原稿よりも優先されてしまいます。
- 原稿ガラスに汚れがあると、コピーした用紙に黒い点が写ることがあります。最適な結果を得るには、使用前に原稿ガラスを清掃してください。詳細については「原稿読み取り部の清掃」（415 ページ）を参照してください。

原稿ガラスからコピーを行うには：

1 原稿カバーを開きます。

2 原稿ガラス上に原稿を下向きにセットし、原稿ガラスの左上隅にある調整ガイドに合わせます。

 注意：

- **書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。**

3 原稿カバーを閉じます。

注記：

- コピー中に原稿カバーを開いたままにしておくと、コピー品質が悪くなったりトナー消費量が上昇することがあります。

補足：

- 本や雑誌のページをコピーする場合は、ヒンジがストッパーにおさまるまで原稿カバーを持ち上げて、

原稿カバーを閉じます。厚みが 20mm を超える本や雑誌の場合は、原稿カバーを開いた状態でコピーしてください。

4 **コピー**ボタンを押します。

5 部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

設定をクリアするには、**リセット**ボタンを使用します。

6 (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

補足：

- 原稿のスキャン中に（**ストップ**）ボタンを押せばいつでもコピージョブを中止できます。

自動原稿送り装置からコピーを行う

注記：

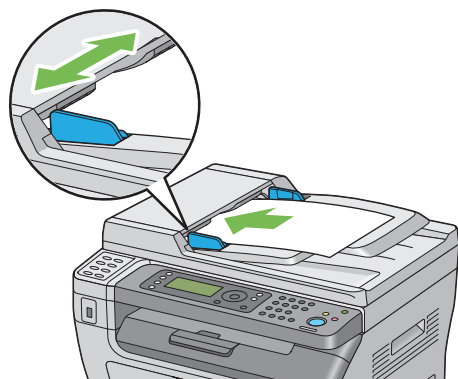
- 自動原稿送り装置に用紙を 15 枚より多くセットしたり、原稿受けに 15 枚より多く排紙しないでください。15 枚を超える前に原稿受けから用紙を取り出してください。原稿が損傷することがあります。

補足：

- 特にカラーまたはグレースケールの画像の場合、最適なスキャン品質を得るには自動原稿送り装置ではなく原稿ガラスを使用してください。
- コピーの場合はコンピューターとの接続は必要ありません。
- 自動原稿送り装置には下記のような原稿はセットできません。これらは必ず原稿ガラスにセットしてください。

	カールした紙		穴のあいた紙
	厚紙		折り目、折れ、破けのある紙
	切り貼りした紙		カーボン紙

自動原稿送り装置からコピーを行うには：

1 64g/m^2 の原稿を最大で 15 枚まで、上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットします。その後、正しい原稿サイズに合わせて原稿ガイドを調整します。

補足：

- リーガルサイズの原稿をコピーする場合は必ず原稿ガイドを使用してください。

2 **コピー**ボタンを押します。

3 部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

設定をクリアするには、**リセット**ボタンを使用します。

4 (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

補足：

- 原稿のスキャン中に（**ストップ**）ボタンを押せばいつでもコピージョブを中止できます。

コピーオプションを設定する

（**スタート**）ボタンを押してコピーを行う前に、現在のコピージョブに下記のオプションを設定してください。

補足：

- コピージョブの完了後は、画面が**機能を選択してください**に戻るか（オートリセットまたは（**戻る**）ボタンを押す)、**リセット**ボタンを押すか、**コピー**ボタンを再度押すまで、コピーオプションは保持されます。

ここには下記の項目を記載します：

■部数

部数は 1 部から 99 部までの範囲で指定できます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 テンキーで部数を入力します。

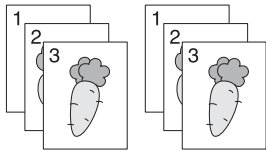
4 必要に応じてコピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

5 ◇ (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

■ソート / スタック

コピー出力をソートすることができます。例えば、3 ページの原稿を 2 部コピーする場合、3 ページの原稿が 1 部印刷されたあとに 2 部目が印刷されます。

補足：

- 大量の文書をコピーすると、メモリーの容量を使い切ってしまう場合があります。メモリー不足が発生した場合は、操作パネルで**ソート (1 部毎)** を**スタック (ページ毎)** にしてソートを中止してください。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **ソート / スタック**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 任意の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

スタック (ページ毎)*	コピージョブをソートしません。
ソート (1 部毎)	コピージョブをソートします。
自動	コピージョブに合わせて自動でソートします。

5 必要に応じて部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇ **(スタート)** ボタンを押してコピーを開始します。

■倍率選択

コピーした画像のサイズは 25% から 400% の範囲で拡大・縮小できます。

補足：

- 縮小コピーを行うと、コピー原稿の下部に黒線がでることがあります。
- この項目は、**2 アップ**が**オフ**または**手動**に設定されている場合にのみ利用可能となります。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **倍率選択**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 任意の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

●mm 系列

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

200%
141% A5→A4
122% A5→B5
100%*
81% B5→A5
70% A4→A5
50%

●インチ系列

200%
154% 5.5x8.5"→ リーガル
129% 5.5x8.5"→ レター
100%*
78% リーガル → レター
64% 11x17"→ レター
50%

補足：

- テンキーを使用して25%から400%の間で任意のズーム比率を入力したり、▶ボタンと◀ボタンで1%きざみにズーム比を上下させることも可能です。ズーム比の詳細については次の表を参照してください。

コピー原稿 原稿	A5	B5	A4
A5	100%	122%	141%
B5	81%	100%	115%
A4	70%	86%	100%

用紙をセットする方法は用紙のサイズと方向によって異なります。詳細については「用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする」（151 ページ）または「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」（158 ページ）を参照してください。

セット可能な用紙については「使用できる用紙」（144 ページ）を参照してください。

5 必要に応じて部数、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇ **(スタート)** ボタンを押してコピーを開始します。

■原稿のサイズ

デフォルトの原稿サイズを指定できます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **原稿のサイズ**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 任意の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

A4 (210 × 297mm)*
A5 (148 × 210mm)
B5 (182 × 257mm)
8.5×11"(レター)
8.5×13"
8.5×14"(リーガル)
7.25×10.5"

5 必要に応じて部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇ (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

■ 原稿の種類

コピー画質を選択できます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **原稿の種類**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 任意の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

文字	テキストを含む原稿に適しています。
文字 / 写真 *	テキストと写真 / グレー階調の両方を含む原稿に適しています。
写真	写真を含む原稿に適しています。

5 必要に応じて部数、コピーサイズなどのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇ (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

■濃度

コピー濃度レベルを調整すれば、原稿よりも薄いコピーや、原稿よりも濃いコピーを作ることができます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **濃度**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 任意の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

うすく 2	コピーを原稿よりも薄くします。濃い原稿に適しています。
うすく 1	
ふつう *	標準的な活字や印刷された文書に適しています。
こく 1	コピーを原稿よりも濃くします。薄い原稿や淡い鉛筆の書き込みに適しています。
こく 2	

5 必要に応じて部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇ (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

■ シャープネス

シャープネスを調整すれば原稿よりもシャープなコピーや、原稿よりもソフトなコピーを作ることができます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **シャープネス**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 任意の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

つよく 2	コピーを原稿よりもシャープにします。
つよく 1	
中 *	原稿と同じシャープネスでコピーを行います。
よわく 1	コピーを原稿よりもソフトにします。
よわく 2	

5 必要に応じて部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇ (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

■地色除去

原稿の背景を抑えてコピー原稿のテキストを強調することができます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **地色除去**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **オン**を選択し、(OK)ボタンを押します。

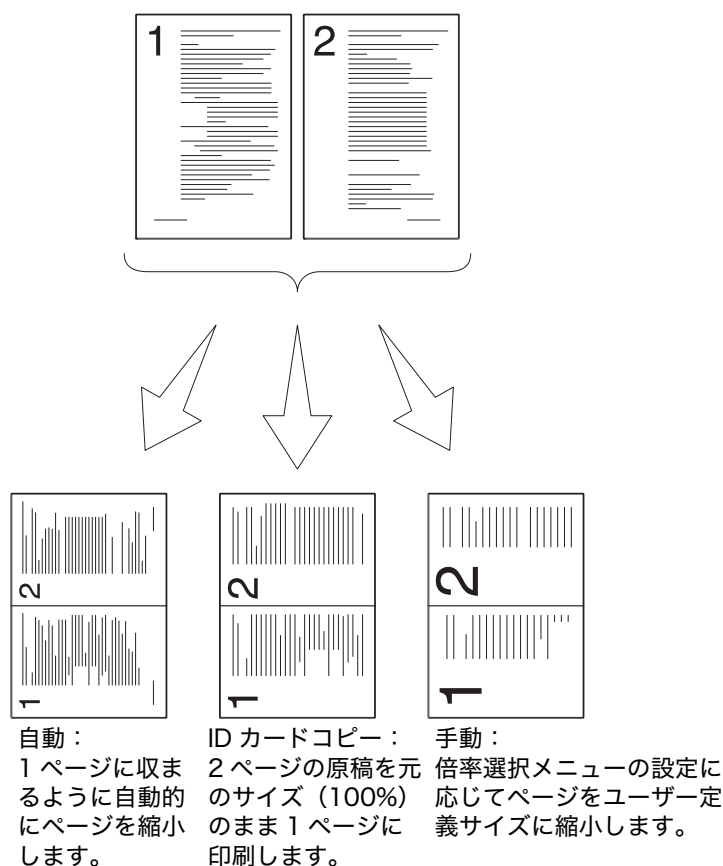
5 必要に応じて部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇ **(スタート)** ボタンを押してコピーを開始します。

■2 アップ

2 つの元画像を 1 枚の用紙に合わせて印刷することができます。

自動：
1 ページに収まるように自動的にページを縮小します。

ID カードコピー：
2 ページの原稿を元のサイズ（100%）のまま 1 ページに印刷します。

手動：
倍率選択メニューの設定に応じてページをユーザー定義サイズに縮小します。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **2 アップ**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 任意の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

オフ *	2 アップ印刷をしません。
自動	2 ページの原稿を 1 枚の用紙に合わせて自動的に縮小して印刷します。
ID カードコピー	2 ページの原稿を元のサイズで 1 枚に印刷します。
手動	2 ページの原稿を**倍率選択**で指定したサイズで 1 枚に印刷します。

5 必要に応じて部数、コピーサイズ（**オフ**または**手動**の場合のみ）、コントラスト、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

原稿ガラス使用時に **2 アップ**が**自動**、**ID カードコピー**、**手動**のいずれかに設定されている場合、LCD ディスプレイに次の原稿があるかどうかを確認するメッセージが表示されます。**はい**または**いいえ**を選択し、ボタンを押します。

はいを選択した場合は、次のページを原稿ガラスにセットして**続ける**を選択し、ボタンを押してください。

■上下枠消し量

コピー原稿の読み取り方向に対して、前後の余白を指定できます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **上下枠消し量**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 ▲または▼ボタンを押すかテンキーで任意の値を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

4mm*/0.2 inch*	1mm/0.1 インチきざみの値を指定します。
0-50mm/0.0-2.0 inch	

5 必要に応じて部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇(**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

■左右枠消し量

コピー原稿の読み取り方向に対して、左右の余白を指定できます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **左右枠消し量**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 ▲または▼ボタンを押すかテンキーで任意の値を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

4mm*/0.2 inch*	1mm/0.1 インチきざみの値を指定します。
0-50mm/0.0-2.0 inch	

5 必要に応じて部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇ (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

■中消し量

コピー原稿の読み取り方向に対して、中間部分に垂直方向の余白を指定できます。冊子または見開き原稿などの中央部の影を消してコピーすることができます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **コピー**ボタンを押します。

3 **中消し量**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 ▲または▼ボタンを押すかテンキーで任意の値を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

0mm*/0.0 inch*	1mm/0.1 インチきざみの値を指定します。
0-50mm/0.0-2.0 inch	

5 必要に応じて部数、コピーサイズ、画質などのコピー設定をカスタマイズします。

参照：

- 「コピーオプションを設定する」（199 ページ）

6 ◇ (**スタート**) ボタンを押してコピーを開始します。

デフォルト設定を変更する

画質などのコピーメニューのオプションは、最も頻繁に使用するモードに設定できます。
自分のデフォルト設定を作成するには：

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **コピーの初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. 任意のメニュー項目を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. 任意の設定を選択するかテンキーで値を入力し、(OK)ボタンを押します。
6. 必要に応じて手順 4 と手順 5 を繰り返します。
7. 前の画面に戻るには、(**戻る**) ボタンを押します。

7

スキャンする

本章には下記の項目を記載します：

スキャンの概要

本機を使用すれば、写真やテキストをコンピューター上で編集可能な画像に変換することができます。

スキャンに使用する解像度の設定は、スキャンする原稿の種類や、コンピューターへのスキャン後の画像または文書の使用方法によって異なります。最適な結果を得るには、推奨設定を使用してください。

種類	解像度
文書	300 dpi 白黒または 200 dpi グレースケールまたはカラー
低品質の文書または文字の小さい文書	400 dpi 白黒または 300 dpi グレースケール
写真および画像	100 ～ 200 dpi カラーまたは 200 dpi グレースケール
インクジェットプリンターの画像	150 ～ 300dpi
高解像度プリンターの画像	300 ～ 600dpi

上の表の推奨解像度を超えたスキャンを行うとアプリケーションの容量を超えてしまう可能性があります。上の表の推奨解像度を超えた解像度が必要な場合は、画像をスキャンする前にプレビューとトリミングを行って画像のサイズを縮小してください。

USB で接続したコンピューターへのスキャンを行う

ここには下記の項目を記載します：

■操作パネルからスキャンを行う

ここでは、Microsoft® Windows® XP を例に説明します。

補足 :

- USB ケーブルで本機がコンピューターに接続されていることを確認してください。
- コンピューター上のスキャンボタンマネージャーを使用してスキャンした画像ファイルの出力先を設定する必要があります。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照 :

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」(198 ページ)
- 「原稿ガラスからコピーを行う」(196 ページ)

2 **スキャナー**ボタンを押します。

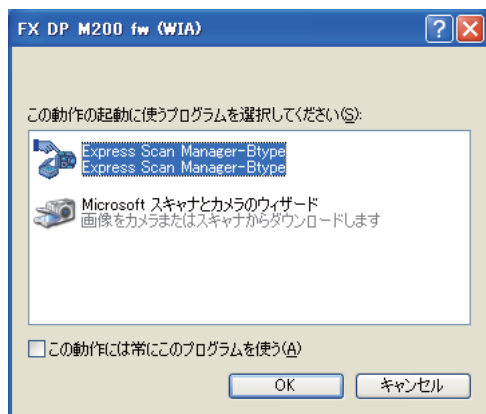
3 **スキャナー (PC 保存)** を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 必要に応じてスキャン設定を設定します。

5 ◇ **(スタート)** ボタンを押します。
スキャンした画像ファイルが生成されます。

補足 :

- コンピューターの画面に以下のダイアログボックスが表示された場合は、[**Express Scan Manager-Btype**] を選択して [**OK**] をクリックしてください。[**Express Scan Manager-Btype**] を選択する際に [**この動作には常にこのプログラムを使う**] チェックボックスを選択すると、以後はプログラム選択ウィンドウが表示されずに選択したアプリケーションが自動的に使用されるようになります。

参照 :

- 「スキャンボタンマネージャー」(62 ページ)

■TWAIN ドライバーを使用してスキャンを行う

本機は画像スキャンのための TWAIN (Tool Without An Interesting Name) ドライバーに対応しています。TWAIN とは Windows XP、Windows Server® 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Vista®、Windows 7、Mac OS® X 10.4/10.5/10.6 が提供する標準コンポーネントのひとつで、さまざまなスキャナーで使用できます。ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足：

- USB ケーブルで本機がコンピューターに接続されていることを確認してください。
- 本機をネットワーク上で使用する場合は、USB ケーブルの代わりにネットワークプロトコルを使用して原稿をスキャンすることも可能です。

ここでは、画像スキャンの方法を Microsoft クリップ オーガナイザーを例に説明します。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」(198 ページ)
- 「原稿ガラスからコピーを行う」(196 ページ)

2 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Microsoft Office**］→［**Microsoft Office 2010 ツール**］→［**Microsoft クリップ オーガナイザー**］をクリックします。

3 ［**ファイル**］→［**オーガナイザーにクリップを追加**］→［**スキャナーまたはカメラから**］をクリックします。

4 ［**スキャナーまたはカメラから図を挿入**］ダイアログボックスの［**デバイス**］から TWAIN デバイスを選択します。

5 ［**カスタム挿入**］をクリックします。

6 スキャン設定を選択して［**プレビュー**］をクリックし、プレビューイメージを表示します。

補足：

- ［**読み取り方法**］で［**原稿送り装置**］を選択すると［**プレビュー**］はグレー表示され無効となります。
- 画面はご使用の OS によって異なる場合があります。

7 ［**画質調整**］および［**画像編集**］タブから任意のプロパティを選択します。

8 ［**スキャン**］をクリックしてスキャンを開始します。
スキャンした画像ファイルが生成されます。

■WIA ドライバーを使用してスキャンを行う

本機は、画像スキャンのための Windows Image Acquisition (WIA) ドライバーにも対応しています。WIA とは、Windows XP 以降の OS が提供する標準コンポーネントのひとつで、デジタルカメラやスキャナーで使用できます。TWAIN ドライバーとは異なり、WIA ドライバーでは画像をスキャンした後に追加ソフトウエアを使用することなく簡単に画像を処理することができます。

ここでは、Windows XP を例に説明します。

補足：

- USB ケーブルで本機がコンピューターに接続されていることを確認してください。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 Windows のペイントなどの描画ソフトウエアを起動します。

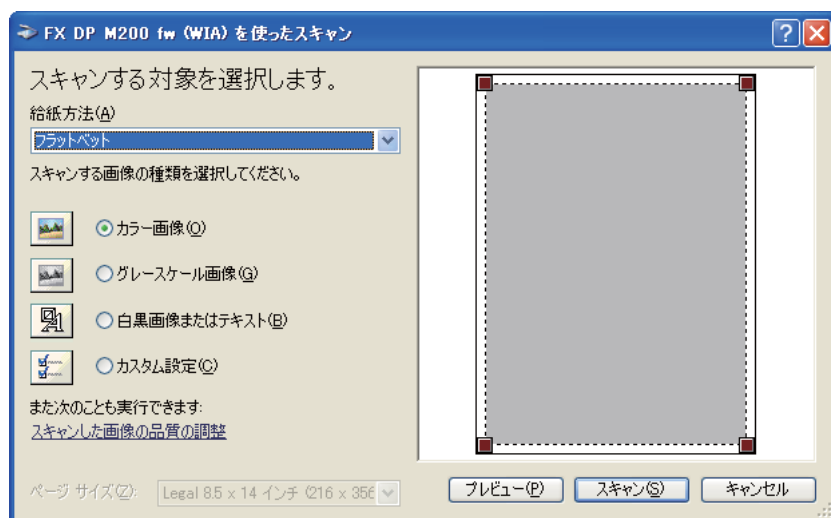
補足：

- Windows Vista を使用している場合は、ペイントではなく Windows Photo Gallery を使用してください。

3 ［**ファイル**］→［**カメラまたはスキャナから取り込み**］（Windows Server 2008 R2 および Windows 7 の場合は［**ペイント**］ボタン →［**カメラまたはスキャナーから取り込み**］）をクリックします。

WIA ウィンドウが表示されます。

補足：

- 画面はご使用の OS によって異なる場合があります。

4 スキャン設定を選択して［**スキャンした画像の品質の調整**］をクリックし、［**詳細プロパティ**］ダイアログボックスを表示します。

5 明るさやコントラストなど任意のプロパティを選択して、［**OK**］をクリックします。

6 ［**スキャン**］をクリックしてスキャンを開始します。

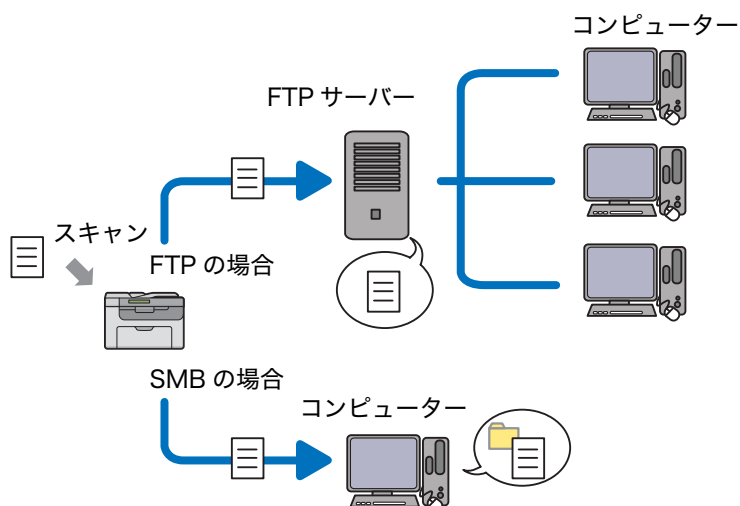
7 ［**ファイル**］メニューから［**名前を付けて保存**］をクリックします。

8 画像の名前を入力し、ファイル形式と画像の保存先を選択します。

ネットワーク上のスキャナーの使い方

ここには下記の項目を記載します：

■概要

ネットワークスキャン（PC/ サーバー）機能を使用すれば、文書をスキャンして FTP または SMB プロトコルからネットワークコンピューターに送信することができます。

CentreWare Internet Services または宛先表ツールを使用して、サーバーの種類とスキャンした文書の保存先を選択できます。

ネットワークスキャン（PC/ サーバー）機能を使用するには下記の項目が必須となります。

- SMB の場合

  SMB 経由でデータを転送するには、コンピューターにフォルダー共有機能のある下記のオペレーティングシステムのいずれかが搭載されている必要があります。

  Mac OS X の場合、Mac OS X に共有ユーザーアカウントが必要です。

  - Windows Server 2003
  - Windows Server 2008
  - Windows Server 2008 R2
  - Windows XP
  - Windows Vista
  - Windows 7
  - Mac OS X 10.4/10.5/10.6
- FTP の場合

  FTP 経由でデータを転送するには、下記のいずれかの FTP サーバーと FTP サーバーへのアカウント（ログイン名とパスワード）が必要です。

  - Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Vista または Windows 7

    Microsoft Internet Information Services 6.0 の FTP サービス
  - Windows XP

    Microsoft Internet Information Server 3.0/4.0 または Internet Information Services 5.0/5.1 の FTP サービス
  - Mac OS X

    Mac OS X 10.4.2/10.4.4/10.4.8/10.4.9/10.4.10/10.4.11/10.5/10.6 の FTP サービス

FTP サービスの設定方法については、システム管理者に問い合わせてください。

ネットワークスキャン（PC/ サーバー）機能を使用するには下記の手順に従ってください。

「ログイン名とパスワードを確認する」(226 ページ)

▼

「文書の保存先を指定する」(228 ページ)

▼

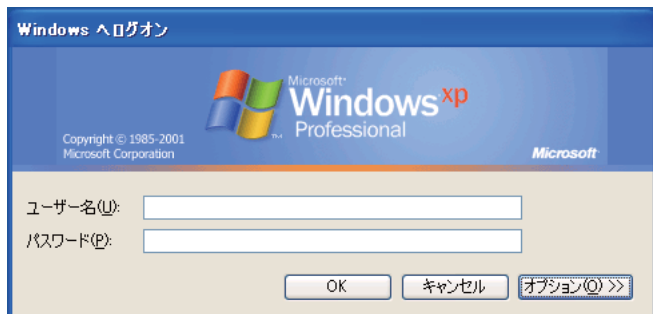
「本機の設定を行う」(240 ページ)

▼

「ネットワークにスキャンファイルを送信する」(247 ページ)

■ログイン名とパスワードを確認する

SMB を使用する場合

ネットワークスキャン（PC/ サーバー）機能には、有効な認証パスワードが設定されたユーザーログインアカウントが必要です。ログインユーザー名とパスワードを確認してください。

ユーザーログインにパスワードを使用していない場合は、下記の手順でユーザーログインアカウントのパスワードを作成する必要があります。

●Windows XP の場合：

1 ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］→［**ユーザーアカウント**］をクリックします。

2 ［**アカウントを変更する**］をクリックします。

3 アカウントを選択します。

4 ［**パスワードを作成する**］をクリックしてユーザーログインアカウントのパスワードを設定します。

●Windows Server 2003 の場合：

1 ［**スタート**］→［**管理ツール**］→［**コンピュータの管理**］をクリックします。

2 ［**ローカル ユーザーとグループ**］をクリックします。

3 ［**ユーザー**］をダブルクリックします。

4 アカウントを右クリックしてから［**パスワードの設定**］を選択します。

補足：

- アラートメッセージが表示されたら、メッセージを確認して［**続行**］をクリックします。

5 ユーザーログインアカウントのパスワードを設定します。

●Windows Vista および Windows 7 の場合：

1 ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］をクリックします。

2 ［**ユーザー アカウントと家族のための安全設定**］をクリックします。

3 ［**ユーザー アカウント**］をクリックします。

4 アカウントの［**アカウントのパスワードの作成**］をクリックしてユーザーログインアカウントのパスワードを設定します。

●Windows Server 2008 および Windows Server 2008 R2 の場合：

1 ［**スタート**］→［**コントロール パネル**］をクリックします。

2 ［**ユーザー アカウント**］をクリックします。

3 ［**ユーザー アカウント**］をクリックします。

4 アカウントの［**アカウントのパスワードの作成**］をクリックしてユーザーログインアカウントのパスワードを設定します。

●Mac OS X 10.4/10.5/10.6 の場合

1 ［**システム環境設定**］→［**アカウント**］をクリックします。

2 アカウントを選択します。

3 ［**パスワードを変更**］を選択します。

4 ［**新しいパスワード**］にユーザーログインアカウントのパスワードを入力します。

5 ［**確認**］にパスワードを再入力します。

6 ［**パスワードを変更**］をクリックします。

ログインユーザー名とパスワードを確認したら「文書の保存先を指定する」（228 ページ）に進んでください。

FTP を使用する場合

ネットワークスキャン（PC/ サーバー）機能には、ユーザー名とパスワードが必要です。ユーザー名とパスワードについては、システム管理者に問い合わせてください。

■文書の保存先を指定する

SMB を使用する場合

下記の手順により、スキャンした文書を保存するフォルダーを共有してください。

●Windows XP Home Edition の場合：

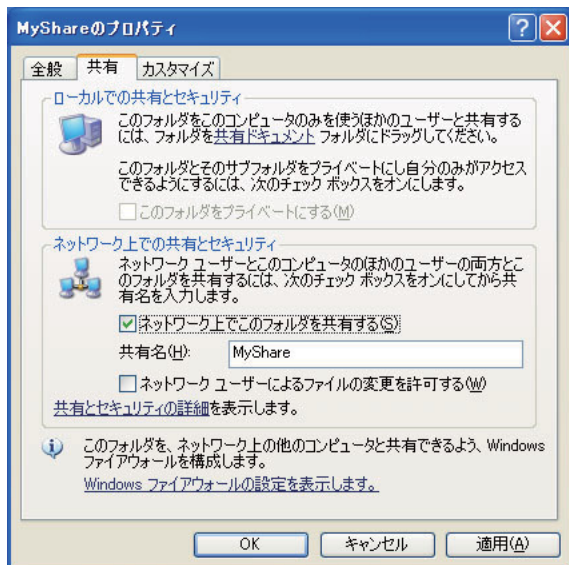
1 コンピューター上の任意のディレクトリーにフォルダーを作成します（フォルダー名の例：MyShare)。

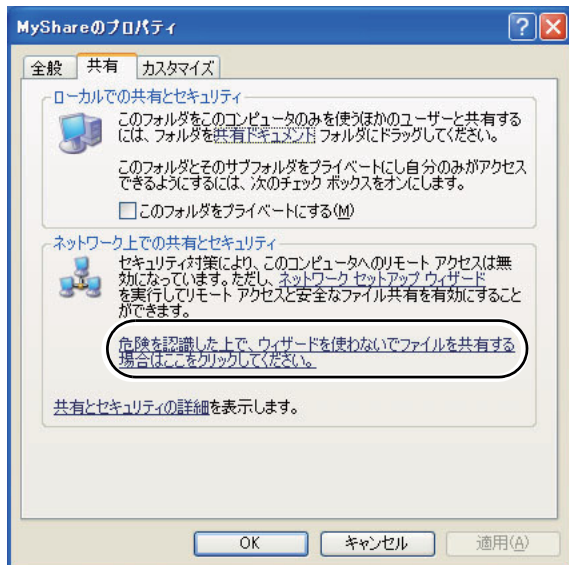
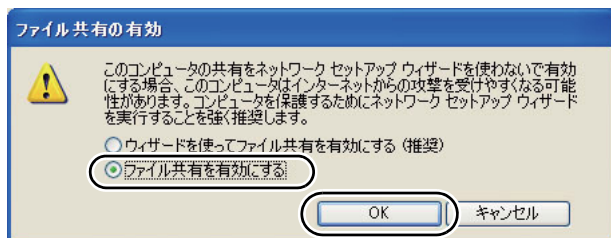
2 フォルダーを右クリックしてから［**プロパティ**］を選択します。

3 ［**共有**］タブをクリックして、［**ネットワーク上でこのフォルダを共有する**］を選択します。

4 ［**共有名**］ボックスに共有名を入力します。

補足：

- 設定手順で使用するため、共有名をメモしておいてください。

補足：

- 下記の画面が表示されたら［**危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。**］をクリックして［**ファイル共有を有効にする**］を選択し、［**OK**］をクリックします。

5［**ネットワーク ユーザーによるファイルの変更を許可する**］を選択します。

6［**適用**］をクリックしてから、［**OK**］をクリックします。

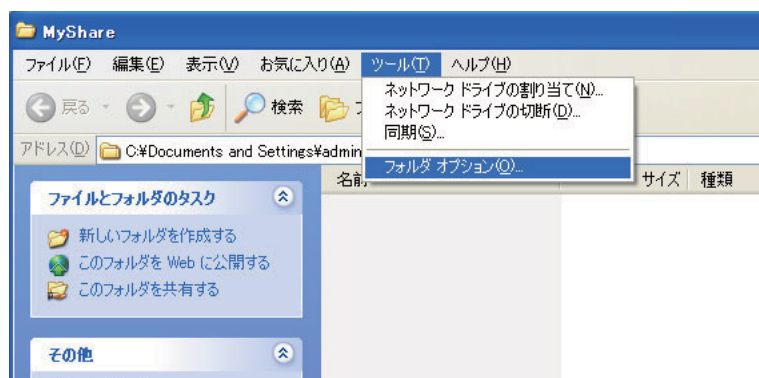
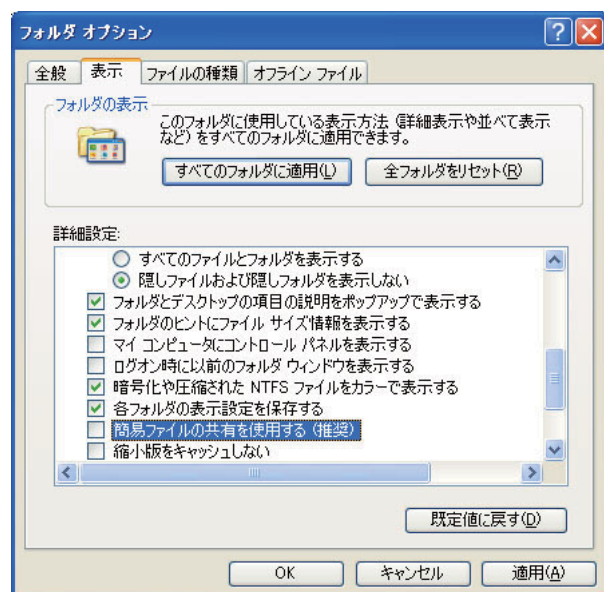
補足：

- サブフォルダーを追加する場合は、作成した共有フォルダーに新規フォルダーを作成してください。
  例：フォルダー名：**MyShare**、第二階層フォルダー名：**MyPic**、第三階層フォルダー名：**John**
  ディレクトリーは **MyShare\MyPic\John** と表示されます。

フォルダーを作成したら「本機の設定を行う」（240 ページ）に進んでください。

●Windows XP Professional Edition の場合：

1 コンピューター上の任意のディレクトリーにフォルダーを作成（フォルダー名の例：MyShare）し、フォルダーをダブルクリックします。

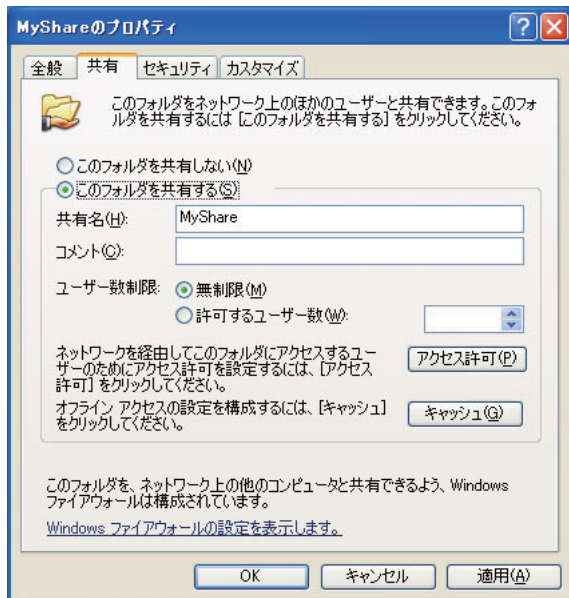
2 ［**ツール**］から［**フォルダ オプション**］を選択します。

3 ［**表示**］タブをクリックして、［**簡易ファイルの共有を使用する（推奨）**］チェックボックスの選択を解除します。

4 ［**OK**］をクリックしてウィンドウを閉じます。

5 フォルダーを右クリックしてから［**プロパティ**］を選択します。

6 ［**共有**］タブを選択して、［**このフォルダを共有する**］を選択します。

7 ［**共有名**］ボックスに共有名を入力します。

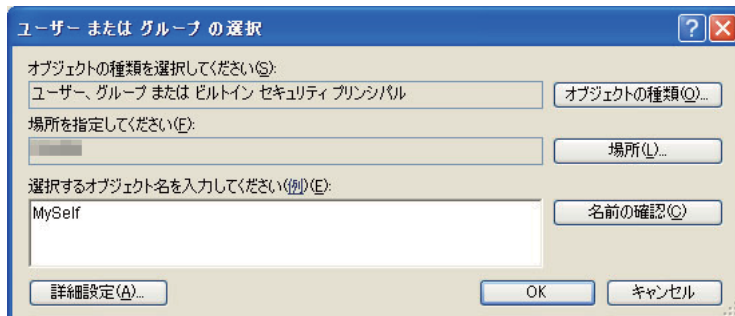
補足：

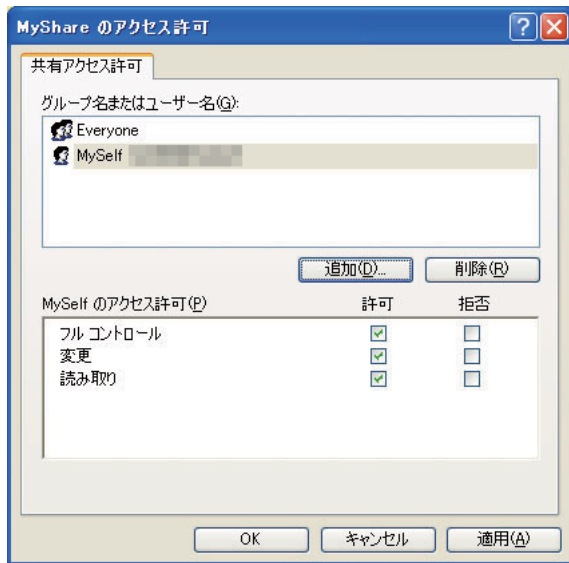
- 設定手順で使用するため、共有名をメモしておいてください。

8 ［**アクセス許可**］をクリックしてフォルダーの書き込み権限を作成します。

9 ［**追加**］をクリックします。

10 ［**詳細設定**］をクリックしてユーザーログイン名を検索するか、［**選択するオブジェクト名を入力してください**］ボックスにユーザーログイン名を入力して［**名前の確認**］をクリックして確認します（ユーザーログイン名の例：**MySelf**）。

補足：

- ユーザーログイン名を「**Everyone**」にしないでください。

11 ［**OK**］をクリックします。

12 入力したユーザーログイン名をクリックします。［**フル コントロール**］チェックボックスを選択してください。これにより、このフォルダーに文書を送信する権限が付与されます。

13 ［**OK**］をクリックします。

14 ［**適用**］をクリックしてから、［**OK**］をクリックします。

補足：

- サブフォルダーを追加する場合は、作成した共有フォルダーに新規フォルダーを作成してください。
  例：フォルダー名：**MyShare**、第二階層フォルダー名：**MyPic**、第三階層フォルダー名：**John**
  ディレクトリーは **MyShare\MyPic\John** と表示されます。

フォルダーを作成したら「本機の設定を行う」（240 ページ）に進んでください。

●Windows Server 2003 の場合

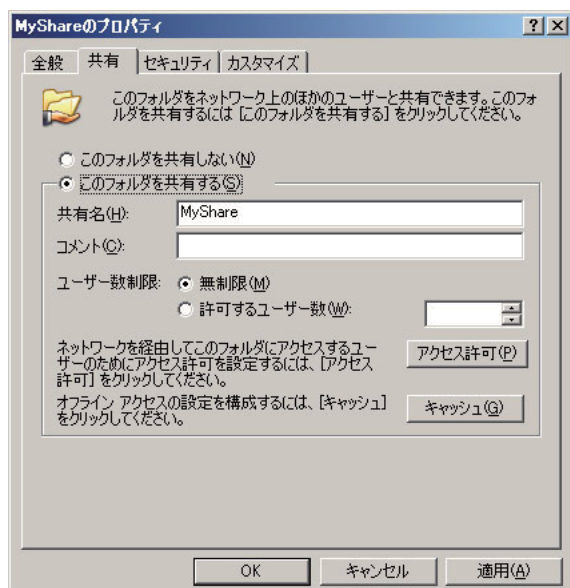
1 コンピューター上の任意のディレクトリーにフォルダーを作成します（フォルダー名の例：MyShare)。

2 フォルダーを右クリックしてから［**プロパティ**］を選択します。

3 ［**共有**］タブをクリックして、［**このフォルダを共有する**］を選択します。

4 ［**共有名**］ボックスに共有名を入力します。

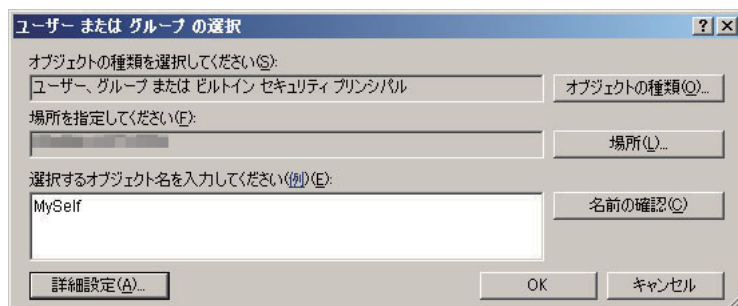
補足：

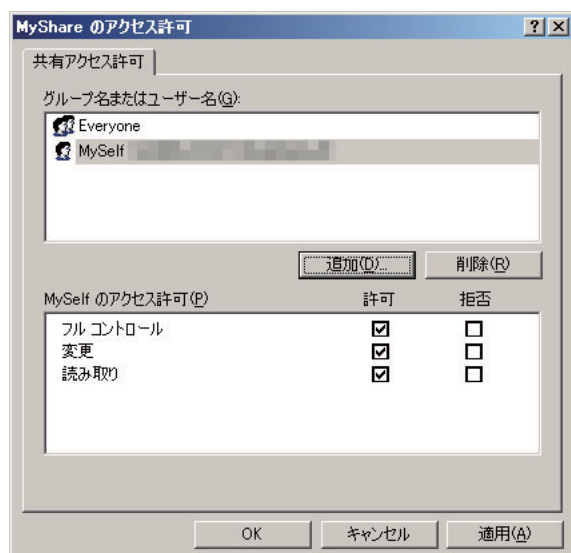
- 次の設定手順で使用するため、共有名をメモしておいてください。

5 ［**アクセス許可**］をクリックしてフォルダーの書き込み権限を付与します。

6 ［**追加**］をクリックします。

7 ［**詳細設定**］をクリックしてユーザーログイン名を検索するか、［**選択するオブジェクト名を入力してください**］ボックスにユーザーログイン名を入力して［**名前の確認**］をクリックして確認します（ユーザーログイン名の例：MySelf)。

補足：

- ユーザーログイン名を「Everyone」にしないでください。

8 ［**OK**］をクリックします。

9 入力したユーザーログイン名をクリックします。[**フル コントロール**] チェックボックスを選択してください。これにより、このフォルダーに文書を送信する権限が付与されます。

10 [**OK**] をクリックします。

11 必要に応じてその他の設定を行い、[**適用**]、[**OK**] をクリックします。

補足：

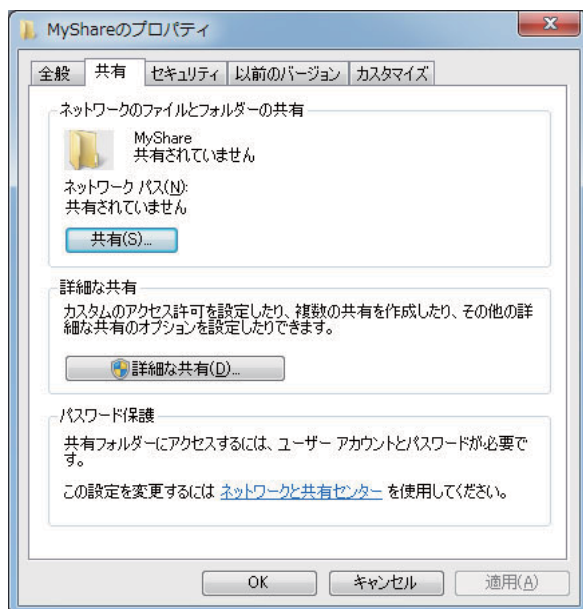
- サブフォルダーを追加する場合は、作成した共有フォルダーに新規フォルダーを作成してください。
例：フォルダー名：**MyShare**、第二階層フォルダー名：**MyPic**、第三階層フォルダー名：**John**
ディレクトリーは **MyShare\MyPic\John** と表示されます。

フォルダーを作成したら「本機の設定を行う」（240 ページ）に進んでください。

●Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 の場合

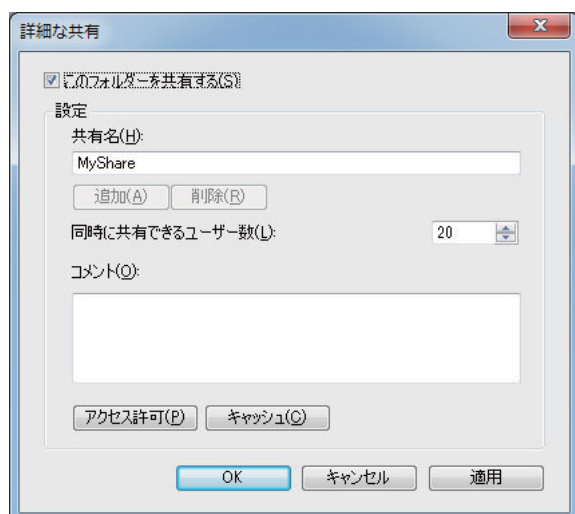
1 コンピューター上の任意のディレクトリーにフォルダーを作成します（フォルダー名の例：MyShare）。

2 フォルダーを右クリックしてから［**プロパティ**］を選択します。

3 ［**共有**］タブをクリックして、［**詳細な共有**］を選択します。
Windows Vista の場合、［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログボックスが表示されたら［**続行**］をクリックします。

4 ［**このフォルダを共有する**］（Windows 7 および Windows Server 2008 R2 の場合は［**このフォルダーを共有する**］）チェックボックスを選択します。

5 ［**共有名**］ボックスに共有名を入力します。

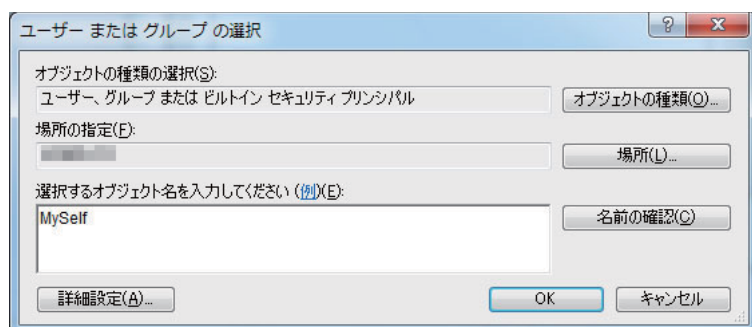
補足：

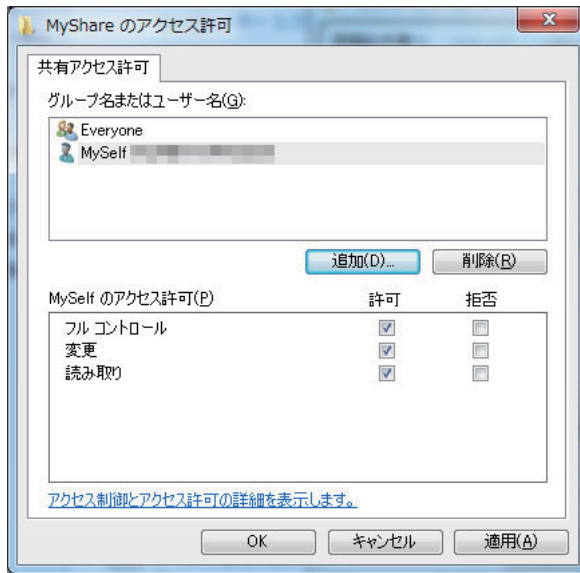
- 次の設定手順で使用するため、共有名をメモしておいてください。

6 ［**アクセス許可**］をクリックしてフォルダーの書き込み権限を付与します。

7 ［**追加**］をクリックします。

8 ［**詳細設定**］をクリックしてユーザーログイン名を検索するか、［**選択するオブジェクト名を入力してください**］ボックスにユーザーログイン名を入力して［**名前の確認**］をクリックして確認します（ユーザーログイン名の例：**MySelf**）。

補足：

- ユーザーログイン名を「**Everyone**」にしないでください。

9 ［**OK**］をクリックします。

10 入力したユーザーログイン名をクリックします。［**フル コントロール**］チェックボックスを選択してください。これにより、このフォルダーに文書を送信する権限が付与されます。

11 ［OK］をクリックします。

12 ［OK］をクリックして［**詳細な共有**］ダイアログボックスを編集します。

13 ［**閉じる**］をクリックします。

補足：

- サブフォルダーを追加する場合は、作成した共有フォルダーに新規フォルダーを作成してください。例：フォルダー名：MyShare、第二階層フォルダー名：MyPic、第三階層フォルダー名：John ディレクトリーは MyShare\MyPic\John と表示されます。

フォルダーを作成したら「本機の設定を行う」（240 ページ）に進んでください。

●Mac OS X 10.4 の場合

1 ［**移動**］メニューから［**ホーム**］を選択します。

2 ［**パブリック**］をダブルクリックします。

3 フォルダーを作成します（フォルダー名の例：MyShare）。

補足：

- 次の設定手順で使用するため、フォルダー名をメモしておいてください。

4 ［**システム環境設定**］を開いて［**共有**］をクリックします。

5 ［**パーソナルファイル共有**］チェックボックスを選択し、［Windows 共有］チェックボックスをクリックします。

●Mac OS X 10.5/10.6 の場合：

1 コンピューター上の任意のディレクトリーにフォルダーを作成します（フォルダー名の例：MyShare)。

補足：

- 次の設定手順で使用するため、フォルダー名をメモしておいてください。

2 作成したフォルダーを選択し、［**ファイル**］から［**情報を見る**］を選択します。

3 ［**共有フォルダ**］チェックボックスを選択します。

4 ［**共有とアクセス権**］を開きます。

5 プラス (+) サインをクリックします。

6 共有するアカウントを指定し、［**選択**］をクリックします。

7 アカウントの［**アクセス権**］を［**読み / 書き**］に設定します。

8 必要に応じて手順 5 ～ 7 を繰り返して、ウィンドウを閉じます。

9 ［**システム環境設定**］を開いて［**共有**］をクリックします。

10 ［**ファイル共有**］チェックボックスを選択し、［**オプション**］をクリックします。

11 ［**SMB を使用してファイルやフォルダを共有**］（Mac OS X 10.6 の場合は［**SMB（Windows）を使用してファイルやフォルダを共有**］）チェックボックスおよびアカウント名を選択します。

12 アカウントのパスワードを入力してから、［**OK**］をクリックします。

13 ［**完了**］をクリックします。

FTP を使用する場合

文書の保存先については、システム管理者に問い合わせてください。

■本機の設定を行う

CentreWare Internet Services または宛先表ツールを使用して、ネットワークスキャン（PC/サーバー）機能を使用するよう本機を設定できます。

ここでは、Windows XP を例に説明します。

CentreWare Internet Services から

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。
本機のウェブページが表示されます。

補足：

- 本機の IP アドレス確認方法については「IP 設定を検証する」（76 ページ）を参照してください。

3 ［**アドレス帳**］タブをクリックします。
ユーザー名とパスワードが必要な場合は、正しいユーザー名とパスワードを入力してください。

4 ［**ネットワークスキャン (PC/ サーバー)**］で［**PC/ サーバー宛先表**］をクリックします。

5 未登録の行にある［**新規登録**］をクリックします。

［**PC/ サーバー宛先表を登録**］ページが表示されます。

	番号	02
1	名称(プリンターに表示されます)	
2	ネットワーク種類	* SMB
3	IPアドレス(またはDNS名)	
4	ポート番号	FTP(21, 5000 - 65535), SMB(139, 5000 - 65535)
5	ログイン名	
6	パスワード	
7	パスワードの確認	
8	共有名	例: SMB(共有フォルダー)
9	サブディレクトリパス(任意)	

フィールドへの記入の際は下記のように情報を入力してください。

1	**名称 (プリンターに表示されます)**	宛先表に表示する名前を入力します。
2	**ネットワーク種類**	FTP サーバーを使用する場合は［**FTP サーバー**］を選択してください。 コンピューターの共有フォルダーに文書を保存する場合は［**SMB**］を選択してください。
3	**IP アドレス (または DNS 名)**	共有しているコンピューターまたは FTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力してください。 下記は一例です。 • ［**FTP サーバー**］の場合： サーバー名：myhost.example.com (myhost: ホスト名、example.com: ドメイン名) IP アドレス：192.168.1.100 • ［**SMB**］の場合： サーバー名：myhost IP アドレス：192.168.1.100
4	**ポート番号**	サーバーポート番号を入力してください。分からない場合は、FTP には「21」、SMB には「139」のデフォルト値を入力してください。
5	**ログイン名**	コンピューターの共有フォルダーまたは FTP サーバーへのアクセス権のあるユーザーアカウント名を入力してください。
6	**パスワード**	上記のログイン名のパスワードを入力してください。 **補足：** • ネットワークスキャン（PC/ サーバー）機能を使用するには有効なパスワードが設定されている必要があります。使用するユーザーログインアカウントに有効なパスワードが設定されていることを確認してください。(ユーザーログインアカウントへのパスワード設定方法については、「ログイン名とパスワードを確認する」（226 ページ）を参照してください。)
7	**パスワードの確認**	確認のためパスワードを再入力してください。

8	**共有名**	［**SMB**］の場合のみ。 Windows オペレーティングシステムの場合は、受信側コンピューター上でスキャン文書を保存するフォルダーの共有名を入力してください。 Mac OS の場合は、受信側コンピューター上でスキャン文書を保存するフォルダー名を入力してください。
9	**サブディレクトリパス (任意)**	［**SMB**］の場合 サブフォルダーを作成せずに直接共有フォルダーにスキャン文書を保存する場合は、空白にしてください。 共有フォルダー下に作成したフォルダーにスキャン文書を保存する場合は、下記のようにパスを入力してください。 例：共有フォルダー名：**MyShare**、第二階層フォルダー名：**MyPic**、第三階層フォルダー名：**John** ディレクトリーは **MyShare\MyPic\John** と表示されます。 MyShare（共有フォルダー） └ MyPic └ John この例の場合、下記のように入力します。 サーバーパス：**\MyPic\John** ［**FTP サーバー**］の場合 スキャン文書を保存するサーバーパスを入力してください。 **補足：** • ［**ネットワーク種類**］で［**SMB**］を選択した場合のみ、日本語入力が可能です。

補足：

- ［**ログイン名**］には日本語を使用できません。

設定を行ったら「ネットワークにスキャンファイルを送信する」（247 ページ）に進んでください。

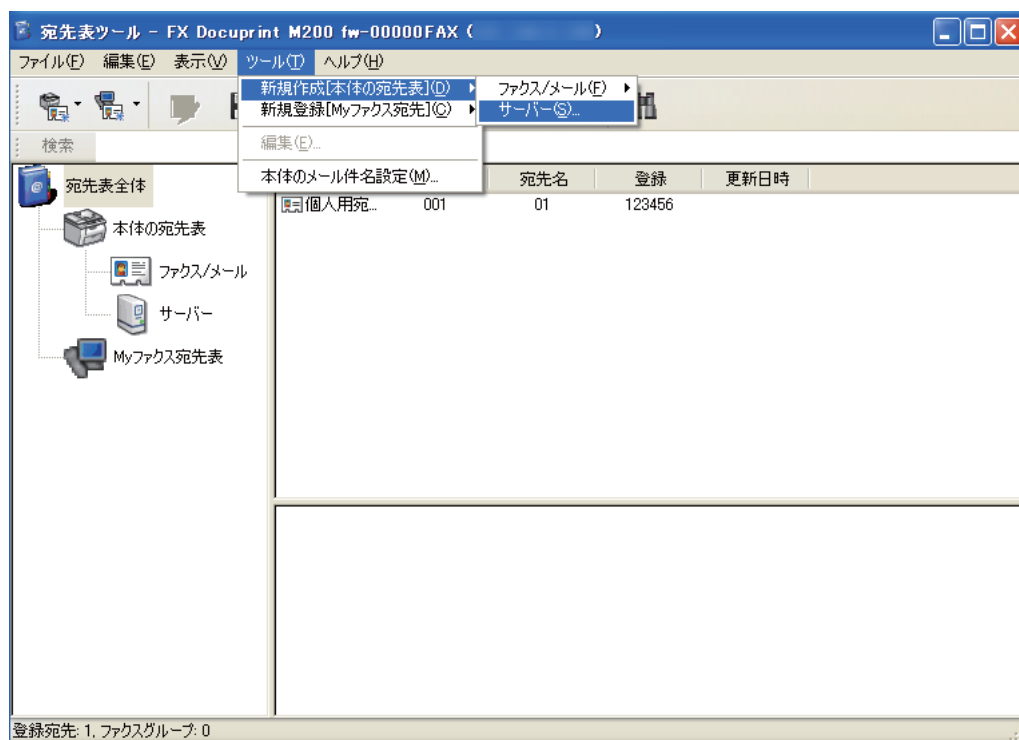
宛先表ツールから

1 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ ご使用の機種 →［**宛先表ツール**］をクリックします。

補足：

- 複数のファクスドライバーがコンピューターにインストールされている場合は、機器の名称を選択するウィンドウが表示されます。この場合、［**機器の名称**］に一覧表示されている機器の名称から任意の名称をクリックしてください。
- **操作制限設定**を**有効**に設定している場合は［**パスワードの確認**］ウィンドウが表示されます。この場合は、指定したパスワードを入力して［**OK**］をクリックしてください。

2 ［データの取得に成功しました。］画面で［**OK**］をクリックします。

3 ［**ツール**］→［**新規作成［本体の宛先表］**］→［**サーバー**］をクリックします。

［**サーバーアドレス**］ダイアログボックスが表示されます。

フィールドへの記入の際は下記のように情報を入力してください。

1	**宛先名**	宛先表に表示する名前を入力します。
2	**転送プロトコル**	コンピューターの共有フォルダーに文書を保存する場合は［**コンピューター**］を選択してください。 FTP サーバーを使用する場合は［**サーバー**］を選択してください。
3	**コンピューター設定ウィザード**	［**コンピューター**］の場合のみ。 このボタンをクリックすると、いくつかの手順を導くウィザード画面が開きます。 ウィザードの手順を完了したら、［**サーバーアドレス**］の設定が自動的に行われます。詳細については、［**ヘルプ**］ボタンをクリックしてください。
4	**サーバー /IP アドレス**	共有しているコンピューターまたは FTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力してください。 下記は一例です。 • ［**コンピューター**］の場合： サーバー名：myhost IP アドレス：192.168.1.100 • ［**サーバー**］の場合： サーバー名：myhost.example.com （myhost: ホスト名、example.com: ドメイン名） IP アドレス：192.168.1.100
5	**共有名**	［**コンピューター**］の場合のみ。 受信側コンピューターの共有フォルダー名を入力してください。

6	**保存場所**	［**コンピューター**］の場合 サブフォルダーを作成せずに直接共有フォルダーにスキャン文書を保存する場合は、空白にしてください。 共有フォルダー下に作成したフォルダーにスキャン文書を保存する場合は、下記のようにパスを入力してください。 例：共有フォルダー名：**MyShare**、第二階層フォルダー名：**MyPic**、第三階層フォルダー名：**John** ディレクトリーは **MyShare\MyPic\John** と表示されます。 MyShare（共有フォルダー） └ MyPic 　└ John この例の場合、下記のように入力します。 保存場所：**\MyPic\John** ［**サーバー**］の場合 スキャン文書を保存するパスを入力してください。 **補足：** • ［**転送プロトコル**］で［**コンピューター**］を選択した場合のみ、日本語入力が可能です。
7	**ユーザー名**	コンピューターの共有フォルダーまたは FTP サーバーへのアクセス権のあるユーザーアカウント名を入力してください。
8	**ログインパスワード**	上記のログイン名のパスワードを入力してください。 **補足：** • ネットワークスキャン（PC/ サーバー）機能を使用するには有効なパスワードが設定されている必要があります。使用するユーザーログインアカウントに有効なパスワードが設定されていることを確認してください。（ユーザーログインアカウントへのパスワード設定方法については、「ログイン名とパスワードを確認する」（226 ページ）を参照してください。）
9	**ログインパスワードの確認**	確認のためパスワードを再入力してください。
10	**ポート番号**	ポート番号を入力してください。分からない場合は、SMB には「139」、FTP は「21」のデフォルト値を入力してください。

補足：

- ［**ユーザー名**］には日本語を使用できません。

設定を行ったら「ネットワークにスキャンファイルを送信する」（247 ページ）に進んでください。

■ネットワークにスキャンファイルを送信する

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置 にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットします。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **スキャナー**ボタンを押します。

3 **スキャナー (ネットワーク)** を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **スキャン保存先**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 **PC(ネットワーク)** または**サーバー (FTP)**、あるいは**宛先表を検索**を選択して(OK)ボタンを押します。

PC(ネットワーク): SMB プロトコルを使用してコンピューター上にスキャン画像を保存します。

サーバー (FTP): FTP プロトコルを使用してサーバー上にスキャン画像を保存します。

宛先表を検索 : 宛先表に登録されているサーバーアドレスを選択します。

6 スキャンファイルの保存先を選択し、(OK)ボタンを押します。

7 必要に応じてスキャンオプションを選択します。

8 ◇ **(スタート)** ボタンを押してスキャンファイルを送信します。

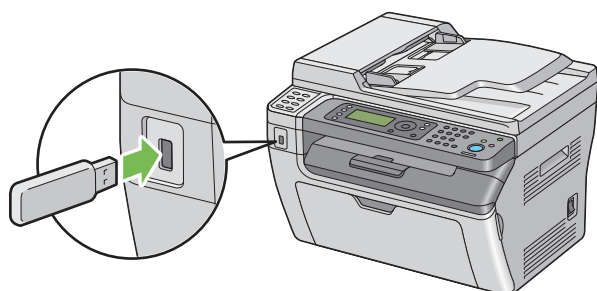
USB 記憶デバイスにスキャンする

スキャナー（USB メモリー保存）機能を使用すれば、スキャンした文書のデータを USB 記憶デバイスに保存することができます。文書をスキャンして保存するには下記の手順に従ってください。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 USB 記憶デバイスを本機の USB 差込口に挿入します。

USB メモリーが表示されます。

3 **スキャン保存先**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **ルートフォルダ**またはファイル保存先フォルダーを選択し、(OK)ボタンを押します。

5 必要に応じてスキャンオプションを選択します。

6 ◇ **(スタート)** ボタンを押します。

原稿ガラスを使用する場合は、LCD ディスプレイに次の原稿があるかどうかを確認するメッセージが表示されます。**はい**または**いいえ**を選択し、(OK)ボタンを押します。

はいを選択した場合は、次の原稿を原稿ガラスにセットして、**続ける**を選択し、(OK)ボタンを押してください。

スキャン画像を添付した電子メールを送信する

本機でスキャンした画像を添付した電子メールを送信するには、下記の手順に従ってください。

- CentreWare Internet Services から電子メールの宛先表を設定します。詳細については「ファクス／電子メールの宛先表を設定する」（250 ページ）を参照してください。

■ファクス／電子メールの宛先表を設定する

ここでは、Windows XP を例に説明します。

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。
本機のウェブページが表示されます。

補足：

- 本機の IP アドレス確認方法については「IP 設定を検証する」（76 ページ）を参照してください。

3 ［**アドレス帳**］タブをクリックします。
ユーザー名とパスワードが必要な場合は、正しいユーザー名とパスワードを入力してください。

4 ［**ファクス / メール**］で［**アドレス**］をクリックします。

5 未登録の行にある［**新規登録**］をクリックします。

［**個人アドレスを登録**］ページが表示されます。

6 ［**名称**］、［**電話番号**］、［**メールアドレス**］フィールドに名前、ファクス番号、電子メールアドレスを入力します。

7 ［**新しい設定を適用**］ボタンをクリックします。

■スキャンファイルを添付した電子メールを送信する

補足：

- スキャナー（メール送信）機能を使用するには、まず SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) サーバー情報を設定する必要があります。SMTP とは、電子メール送信のためのプロトコルです。詳細についてはセットアップガイドを参照してください。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置 にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットします。

参照：

- 「自動原稿送り装置からコピーを行う」（198 ページ）
- 「原稿ガラスからコピーを行う」（196 ページ）

2 **スキャナー**ボタンを押します。

3 **スキャナー (メール送信)** を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **メールアドレス**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 下記の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

キー入力 : 直接電子メールアドレスを入力し、(OK)ボタンを押します。

宛先表 : 電子メールの宛先表に登録されている電子メールアドレスを選択し、(OK)ボタンを押します。

メールグループ : 電子メールグループに登録されている電子メールグループを選択し、(OK)ボタンを押します。

宛先表を検索 : 電子メールの宛先表から検索するテキストを入力し、(OK)ボタンを押します。一覧から電子メールアドレスを選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- 操作パネルで**宛先表**を選択するにはあらかじめ登録を行っておく必要があります。

6 必要に応じてスキャンオプションを選択します。

7 **(スタート)** ボタンを押して電子メールを送信します。

スキャンオプションを設定する

ここには下記の項目を記載します：

■デフォルト設定を変更する

ここには下記の項目を記載します：

- 「スキャンした画像のファイル形式を設定する」（254 ページ）
- 「カラーモードを設定する」（254 ページ）
- 「スキャン解像度を設定する」（255 ページ）
- 「元原稿のサイズを設定する」（255 ページ）
- 「原稿の背景色を除去する」（255 ページ）

すべての出荷時設定の一覧については、「初期値設定」（335 ページ）を参照してください。

スキャンした画像のファイル形式を設定する

スキャンした画像のファイル形式を指定するには：

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 **スキャナーの初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **ファイル形式**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 ファイル形式を選択し、(OK)ボタンを押します。
利用可能なファイル形式：
- **PDF**（工場出荷時の設定）
- **TIFF**
- **JPEG**

カラーモードを設定する

画像はカラーまたは白黒のいずれかでスキャンできます。白黒を選択すると、スキャン画像のファイルサイズが大幅に抑えられます。カラーでスキャンした画像のファイルサイズは、白黒でスキャンした同じ画像のファイルサイズよりも大きくなります。

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 **スキャナーの初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **カラーモード**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 以下のオプションのいずれかを選択して、(OK)ボタンを押します。
- **白黒**：白黒モードでスキャンします。**ファイル形式**が **PDF** または **TIFF** に設定されている場合にのみ利用可能です。
- **グレースケール**：グレースケールモードでスキャンします。
- **カラー**：カラーモードでスキャンします。（工場出荷時の設定）
- **カラー (写真)**：カラーモードでスキャンします。写真の画像に適しています。

スキャン解像度を設定する

スキャン画像の用途に応じてスキャン解像度を変更することができます。スキャン解像度は、スキャン画像ファイルのサイズと画質の両方に影響を及ぼします。スキャン解像度が高いほど、ファイルサイズは大きくなります。

スキャン解像度を選択するには：

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **スキャナーの初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **解像度**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. 以下のオプションのいずれかを選択して、(OK)ボタンを押します。
   - **200 × 200dpi**：最低解像度、最小ファイルサイズのファイルを生成します。（工場出荷時の設定）
   - **300 × 300dpi**：中程度の解像度、中程度のファイルサイズのファイルを生成します。
   - **400 × 400dpi**：高い解像度、大きいファイルサイズのファイルを生成します。
   - **600 × 600dpi**：最高解像度、最大ファイルサイズのファイルを生成します。

元原稿のサイズを設定する

元原稿のサイズを指定するには：

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **スキャナーの初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **原稿のサイズ**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. 用紙サイズを選択してスキャン範囲を決定し、(OK)ボタンを押します。
   工場出荷時設定は **A4 (210 × 297 mm)** です。

原稿の背景色を除去する

新聞など背景が暗い原稿のスキャンを行う際、本機は自動的に背景を検出して画像出力時に背景を白くすることができます。

自動抑制をオン／オフするには：

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **スキャナーの初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **地色除去**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. **オン**または**オフ**を選択し、(OK)ボタンを押します。
   工場出荷時設定は**オン**です。

■ 個別ジョブのスキャン設定を変更する

コンピューターへのスキャンを行う

コンピューターへのスキャンを行う際に一時的にスキャン設定を変更するには：

1. **スキャナー**ボタンを押します。
2. スキャンデータの保存先を選択して OK ボタンを押します。
3. 任意のメニュー項目を選択し、OK ボタンを押します。
4. 任意の設定を選択するかテンキーで値を入力し、OK ボタンを押します。
5. 必要に応じて手順 3 と手順 4 を繰り返します。
6. ◇ (**スタート**) ボタンを押してスキャンを開始します。

スキャン画像を電子メールで送信する

スキャン画像を電子メール送信する際に一時的にスキャン設定を変更するには：

1. **スキャナー**ボタンを押します。
2. **スキャナー (メール送信)** を選択し、OK ボタンを押します。
3. 電子メールの宛先を選択し、OK ボタンを押します。
4. 任意のメニュー項目を選択し、OK ボタンを押します。
5. 任意の設定を選択するかテンキーで値を入力し、OK ボタンを押します。
6. 必要に応じて手順 4 と手順 5 を繰り返します。
7. ◇ (**スタート**) ボタンを押してスキャンを開始します。

8

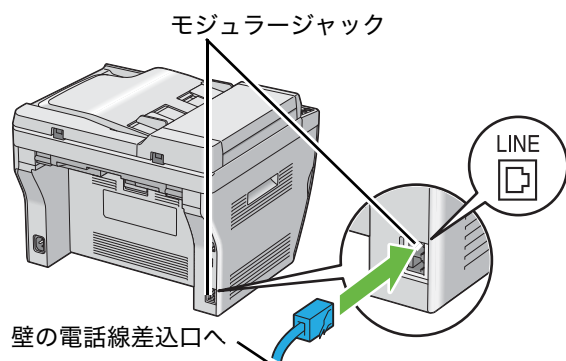
ファクスを使用する

本章には下記の項目を記載します：

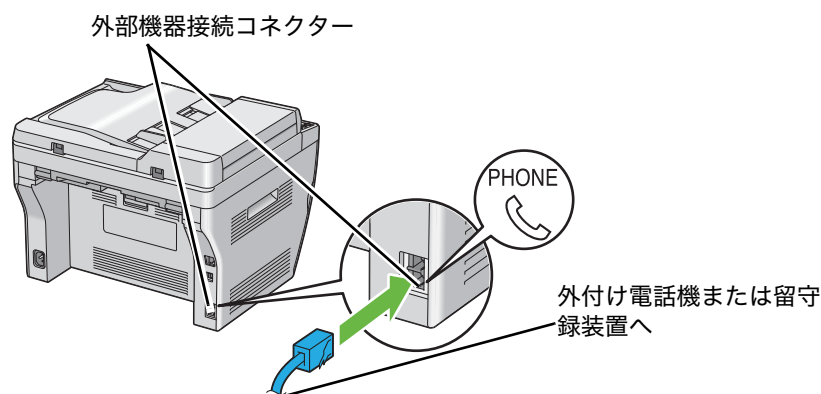
電話回線を接続する

補足：

- 本機を DSL（デジタル加入者回線）に直接接続しないでください。本機が損傷する可能性があります。DSL を使用する場合は、適切な DSL フィルターを使用する必要があります。DSL フィルターについてはサービスプロバイダーにお問い合わせください。

1 電話線をモジュラージャックと壁の電話線差込口に接続します。

補足：

- 電話線は 4 芯のものを使用してください。プリンター付属の電話線は 4 芯です。接続先の電話線差込口も 4 芯対応であることを推奨します。

2 電話機や留守録装置を本機に接続し、電話線を外部機器接続コネクター（PHONE）に接続します。

ファクスの初期設定を行う

ここには下記の項目を記載します：

- 「発信元情報を設定する」（260 ページ）
- 「日時を設定する」（261 ページ）
- 「時間表示形式を変更する」（262 ページ）

■発信元情報を設定する

送信先にこちらのファクス番号を表示することが求められる場合があります。本機から送信した各ページの上部にはファクス番号、送信者名、会社名を含む発信元情報が表示されます。

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **ファクス設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **発信元ファクス番号**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. テンキーでファクス番号を入力します。

   補足：

   - 入力する番号を間違えた場合は、**C**（**クリア**）ボタンを押して最後に入力した番号を消去できます。

6. LCD ディスプレイに表示されている番号が正しければ(OK)ボタンを押します。
7. **発信元名**を選択し、(OK)ボタンを押します。
8. テンキーで個人名または会社名を入力します。

   テンキーを使用して半角英数字を入力します。「1」、「*」、「#」ボタンを使用して特殊記号も入力できます。

   テンキーを使用して半角英数字を入力する方法については、「テンキーの使い方」（354 ページ）を参照してください。

9. LCD ディスプレイに表示されている名前が正しければ(OK)ボタンを押します。
10. 前の画面に戻るには、（**戻る**）ボタンを押します。

■日時を設定する

補足：

- 本機への電源喪失があった場合には再度正しい日時を設定しなければならない場合があります。

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **システム設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **時刻設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. **日付設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
6. テンキーを使用して正しい日付を入力するか、正しい日付を選択します。

   補足：

   - 入力する番号を間違えた場合は、◀ボタンを押してやり直してください。

7. LCD ディスプレイに表示されている日付が正しければ(OK)ボタンを押します。
8. **時刻設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
9. テンキーを使用して正しい時刻を入力するか、正しい時刻を選択します。
10. LCD ディスプレイに表示されている時刻が正しければ(OK)ボタンを押します。
11. 前の画面に戻るには、↩(**戻る**)ボタンを押します。

■時間表示形式を変更する

12 時間形式または 24 時間形式のいずれかで現在時刻を設定できます。

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **システム設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **時刻設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. **時刻書式**を選択し、(OK)ボタンを押します。
6. 任意の形式を選択し、(OK)ボタンを押します。
7. 前の画面に戻るには、(**戻る**) ボタンを押します。

ファクスを送信する

本機からデータをファクス送信することができます。

ここには下記の項目を記載します：

■自動原稿送り装置に原稿をセットする

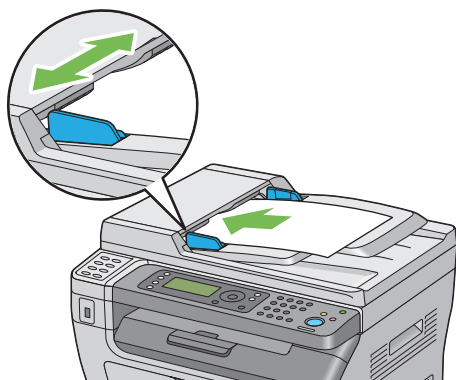
注記：

- 自動原稿送り装置に用紙を 15 枚より多くセットしたり、原稿受けに 15 枚より多く排紙しないでください。15 枚を超える前に原稿受けから用紙を取り出してください。原稿が損傷することがあります。

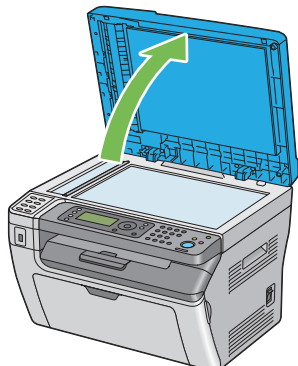
補足：

- 特にグレースケールの画像の場合、最適なスキャン品質を得るには自動原稿送り装置ではなく原稿ガラスを使用してください。
- 自動原稿送り装置には下記のような原稿はセットできません。これらは必ず原稿ガラスにセットしてください。

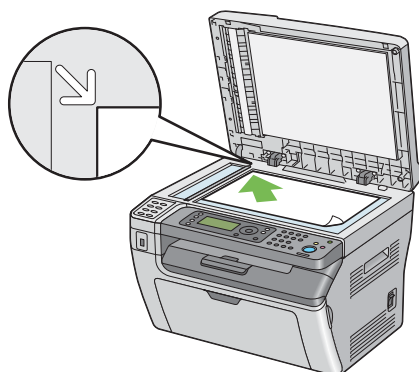
	カールした紙		穴のあいた紙
	厚紙		折り目、折れ、破けのある紙
	切り貼りした紙		カーボン紙

1 原稿の上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置にセットしてください。その後、正しい原稿サイズに合わせて原稿ガイドを調整します。

2 「解像度」（266 ページ）を参照して解像度を調整します。

■原稿ガラスに原稿をセットする

1 原稿カバーを開きます。

2 原稿ガラス上に原稿を下向きにセットし、原稿ガラスの左上隅にある調整ガイドに合わせます。

 注意：

- **書籍などの厚手の原稿をスキャンするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。**

3 「解像度」（266 ページ）を参照して解像度を調整します。

4 原稿カバーを閉じます。

補足：

- 自動原稿送り装置に原稿がセットされていないことを確認してください。自動原稿送り装置に原稿が検出されると、原稿ガラスの原稿よりも優先されてしまいます。
- 本や雑誌のページをファクス送信する場合は、ヒンジがストッパーにおさまるまで原稿カバーを持ち上げて、原稿カバーを閉じます。厚みが 20mm を超える本や雑誌の場合は、原稿カバーを開いた状態でファクス送信してください。

■解像度

ファクス送信に使用する解像度を指定するには：

1. **ファクス**ボタンを押します。
2. **解像度**を選択し、OKボタンを押します。
3. 任意のメニュー項目を選択し、OKボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

標準 *	通常サイズの文字を含む原稿に適しています。
高画質	小さい文字や微細な線の入った原稿やドットマトリックスプリンターで印刷した原稿に適しています。
超高画質 (203x392dpi)	精緻なディテールを含む原稿に適しています。**超高画質**モードは、受信側の機械も超高画質の解像度に対応している場合にのみ有効です。
超高画質 (406x392dpi)	

■原稿の種類

現在のファクスジョブの原稿種類を選択するには：

1 **ファクス**ボタンを押します。

2 **原稿の種類**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 任意の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

文字 *	テキスト原稿に適しています。
写真	写真を含む原稿に適しています。

■濃度

コントラストを調整してファクス送信データを原稿よりも薄くしたり濃くしたりするには：

1 **ファクス**ボタンを押します。

2 **濃度**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 任意の設定を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

うすく 2	ファクス送信データを原稿よりも薄くします。濃い原稿に適しています。
うすく 1	
ふつう *	標準的な活字や印刷された文書に適しています。
こく 1	ファクス送信データを原稿よりも濃くします。薄い原稿や淡い鉛筆の書き込みに適しています。
こく 2	

■ポーズを入れる

電話機によっては、アクセスコードをダイヤルして発信音がするまで待たなければならない場合があります。アクセスコードを使用するためにはポーズを入れる必要があります。例えば、アクセスコード「9」を入力して、ファクス番号を入力する前に**リダイアル／ポーズ**ボタンを押します。ポーズが入ると、LCD ディスプレイに「-」が表示されます。

■ファクスを自動送信する

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置 にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置に原稿をセットする」（264 ページ）
- 「原稿ガラスに原稿をセットする」（265 ページ）

2 **ファクス**ボタンを押します。

3 原稿に応じたファクス設定を行います。

参照：

- 「解像度」（266 ページ）
- 「濃度」（268 ページ）

4 下記のいずれかの方法でファクス番号を指定できます。

- **宛先**を選択し、(OK)ボタンを押します。**キー入力**を選択し、(OK)ボタンを押します。テンキーで送信先のファクス機のファクス番号を入力し、(OK)ボタンを押します。
- ワンタッチボタンを押してから(OK)ボタンを押します。
- **宛先表**ボタンを押して、▼ボタンで**すべての宛先**、**ファクスグループ**、**検索**のいずれかを選択し(OK)ボタンを押します。

すべての宛先	登録されているファクス番号の一覧が表示されます。▶ボタンを押して送信先を選択し、(OK)ボタンを押します。
ファクスグループ	▶ボタンを押して送信先を選択し、(OK)ボタンを押します。
検索	宛先表からファクス番号を検索します。検索するテキストを入力して(OK)ボタンを押します。▶ボタンを押して送信先を選択し、(OK)ボタンを押します。

- リダイヤルする際は**リダイアル／ポーズ**ボタンを押し、(OK)ボタンを押します。
- **短縮**ボタンを押します。テンキーで 01 〜 99 の短縮宛先番号を入力し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- ワンタッチボタンを使用するには、01 〜 08 の短縮宛先番号を登録しておく必要があります。番号を登録する方法の詳細については、「短縮宛先の番号を登録する」（292 ページ）を参照してください。

5 ◇ **(スタート)** ボタンを押します。

原稿ガラスを使用する場合は、LCD ディスプレイに次の原稿があるかどうか確認するメッセージが表示されます。**はい**または**いいえ**を選択し、(OK)ボタンを押します。

はいを選択した場合は、次の原稿を原稿ガラスにセットして**続ける**を選択し、(OK)ボタンを押してください。

6 番号がダイヤルされ、送信先ファクス機が受信可能な状態であれば本機がファクス送信を開始します。

補足：

- ファクス送信中に◎（**ストップ**）ボタンを押すとファクスジョブを中止できます。

■手動でファクスを送信する

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置 にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置に原稿をセットする」（264 ページ）
- 「原稿ガラスに原稿をセットする」（265 ページ）

2 **ファクス**ボタンを押します。

3 原稿に応じたファクス設定を行います。

参照：

- 「解像度」（266 ページ）
- 「濃度」（268 ページ）

4 **オンフック**を選択し、OKボタンを押します。

5 **オン**を選択し、OKボタンを押します。

6 テンキーで送信先のファクス機のファクス番号を入力します。

- 自動原稿送り装置に原稿をセットした場合は（**スタート**）ボタンを押します。
- 自動原稿送り装置に原稿をセットしていない場合は（**スタート**）ボタンを押し、任意の設定を選択してOKボタンを押します。

補足：

- ファクス送信中に（**ストップ**）ボタンを押すとファクスジョブを中止できます。

■送信を確認する

最後のページの送信が正常に完了すると、本機からビープ音が鳴り待機モードに戻ります。

ファクス送信中に問題があった場合は LCD ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示されたら OK ボタンを押してメッセージをクリアし、再度原稿を送信してみてください。

ファクス送信後に毎回自動的に確認レポートを印刷するように本機を設定することができます。

参照：

- 「送信レポート」（325 ページ）
- 「ファクス同報レポート」（326 ページ）

■自動リダイヤル

ダイヤルした番号が話し中または応答がない場合、本機はリダイヤル設定で指定された時間ごとに自動的にリダイヤルを行います。

ダイヤル間隔およびダイヤル回数を変更する場合は、「リダイヤル間隔」（322 ページ）および「リダイヤル回数」（322 ページ）を参照してください。

補足：

- 手動で番号を入力して話し中だった場合は、自動リダイヤルは行われません。

ファクスを時刻指定送信する

時刻指定送信モードを使用すれば、スキャンした文書を保存して指定時間に送信することができます。

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置 にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

   参照：

   • 「自動原稿送り装置に原稿をセットする」（264 ページ）
   • 「原稿ガラスに原稿をセットする」（265 ページ）

2 **ファクス**ボタンを押します。

3 原稿に応じたファクス設定を行います。

   参照：

   • 「解像度」（266 ページ）
   • 「濃度」（268 ページ）

4 **時刻指定送信**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 **オン**を選択し、(OK)ボタンを押します。

6 テンキーを使用して開始時刻を入力するか、▲または▼ボタンを押して開始時刻を選択し(OK)ボタンを押します。

7 **宛先**を選択し、(OK)ボタンを押します。

8 **キー入力**を選択し、(OK)ボタンを押します。

9 テンキーで送信先のファクス機の番号を入力し、(OK)ボタンを押します。
   短縮宛先やファクスグループも使用できます。

   参照：

   • 「自動ダイヤル」（290 ページ）

10 ◇ (**スタート**) ボタンを押します。

時刻指定送信モードを有効化すると、ファクス送信する文書はすべてメモリーに保存され指定時間に送信されます。時刻指定送信モードでファクス送信が完了すると、メモリー内のデータは消去されます。

ドライバーからファクス送信する（ダイレクトファクス）

ファクスドライバーを使用すれば Microsoft® Windows® オペレーティングシステムまたは Mac OS® X を搭載したコンピューターから直接ファクス送信が可能です。

補足：

- ダイレクトファクスで送信できるのは白黒データのみです。

ここには下記の項目を記載します：

- 「Windows の場合」（276 ページ）
- 「Mac OS X の場合」（279 ページ）

■Windows の場合

補足：

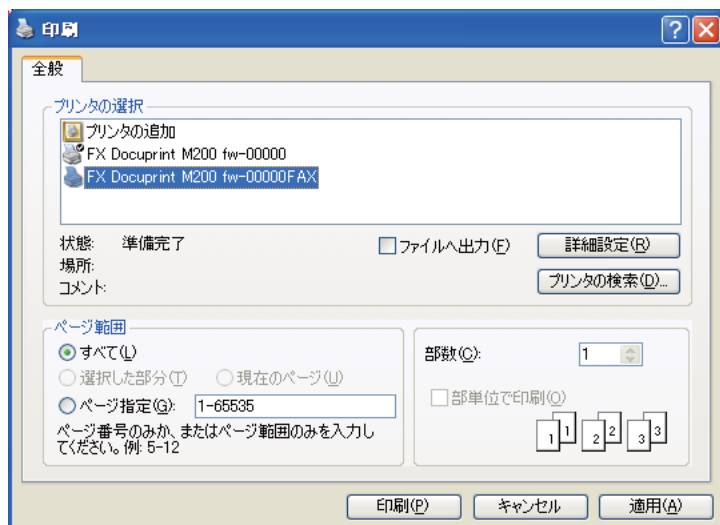
- ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。ウィンドウ名およびボタン名は、ご使用の OS およびアプリケーションによって下記手順の記載とは異なる場合があります。
- この機能を使用するには、ファクスドライバーをインストールする必要があります。

参照：

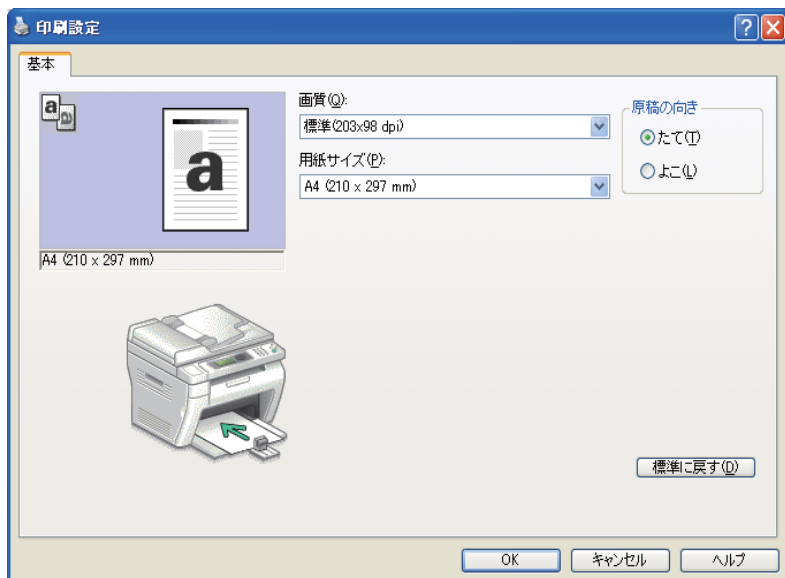
- 「プリンタードライバーをインストールする（Windows)」（79 ページ）

1 ファクスで送信するファイルを開きます。

2 アプリケーションから印刷ダイアログボックスを開き、ファクスドライバーを選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ファクス設定を行います。詳細についてはドライバーの［**ヘルプ**］をクリックしてください。

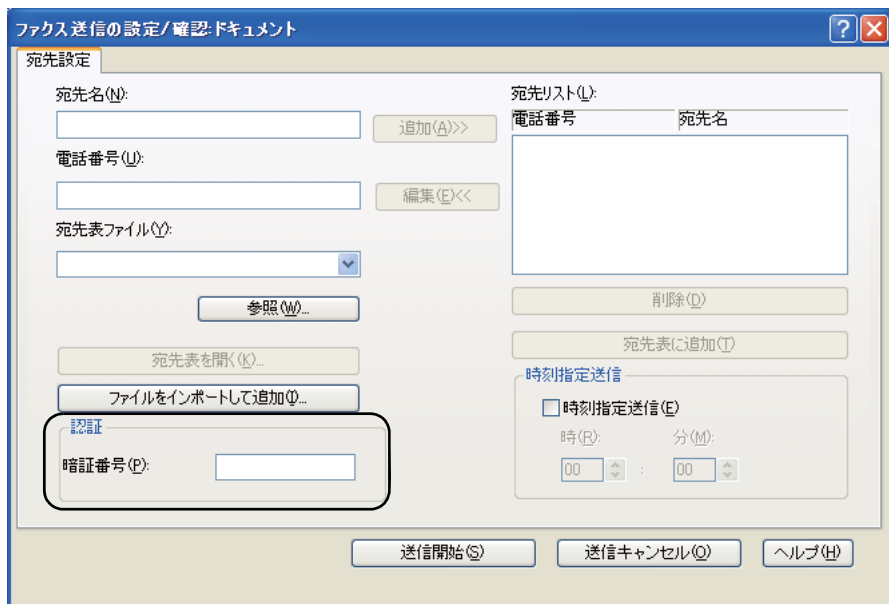
補足：

- ここで行った設定は当該ファクスジョブにのみ適用されます

5 ［**OK**］をクリックして［**印刷設定**］ダイアログボックスを閉じます。

6 ［**印刷**］をクリックします。
［**ファクス送信の設定 / 確認**］ダイアログボックスが表示されます。

7 以下のいずれかの方法で送信先を指定します。
- 名前とファクス番号を直接入力する。
- My ファクス宛先表または本体の宛先表から宛先を選択する。
- My ファクス宛先表または本体の宛先表以外のデータベースから宛先を選択する。

宛先の指定方法の詳細については、[**ヘルプ**] をクリックしてファクスドライバーのヘルプを参照してください。

補足：
- ファクスサービスがパスワードでロックされている場合は、ファクス送信前に［**認証**］の［**暗証番号**］

フィールドにパスワードを入力します。

8 ［**送信開始**］をクリックします。

■Mac OS X の場合

補足：

- ここでは、Mac OS X 10.6 のテキストエディットを例に説明します。ウィンドウ名およびボタン名は、ご使用の OS およびアプリケーションによって下記手順の記載とは異なる場合があります。
- Mac OS X 10.4.11 で USB 接続を使用する場合、CUPS (Common Unix Printing System) ソフトウエアをバージョン 1.2.12 以降にアップグレードしてください。CUPS ウェブサイトからダウンロード可能です。
- この機能を使用するには、ファクスドライバーをインストールする必要があります。

参照：

- 「プリンタードライバーをインストールする（Mac OS X)」（126 ページ）

1 ファクスで送信するファイルを開きます。

2 アプリケーションから印刷ダイアログボックスを開き、ファクスドライバーを選択します。

3 ファクス設定を行います。

補足：

- ここで行った設定は当該ファクスジョブにのみ適用されます。

4 ［**プリント**］をクリックします。

［**宛先**］ダイアログボックスが表示されます。

5 以下のいずれかの方法で送信先を指定します。

- 送信先を直接指定します。

a 名前とファクス番号を直接入力します。

b ［**宛先リストに追加**］をクリックします。

または

- コンピューターに保存された宛先表から宛先を選択します。

a ［**宛先表を開く**］をクリックします。

［**宛先表**］ダイアログボックスが表示されます。

b　宛先を選択して［**宛先リストに追加**］をクリックします。

c　［**閉じる**］をクリックします。

補足：

- ファクスサービスがパスワードでロックされている場合は、ファクス送信前に［**認証**］の［**暗証番号**］フィールドにパスワードを入力します。

6　［**OK**］をクリックします。

ファクスを受信する

ここには下記の項目を記載します：

■受信モードについて

受信モードには、**ファクス専用**モード、**電話**モード、**電話 / ファクス切替**モード、**留守番電話接続**モードの 4 つがあります。

補足：

- **電話 / ファクス切替**モードまたは**留守番電話接続**モードを使用するには、本機背面の外部機器接続コネクター（PHONE）に外付け電話機または留守録装置を接続してください。
- メモリーの空き容量がないとファクスを受信できません。不要なジョブを削除するには、**ジョブ確認**ボタンを押してジョブを選択し、（**ストップ**）ボタンを押してください。

参照：

- 「ファクス専用モードでファクスを自動受信する」（284 ページ）
- 「電話モードで手動でファクスを受信する」（285 ページ）
- 「電話 / ファクス切替モードまたは留守番電話接続モードでファクスを自動受信する」（286 ページ）
- 「留守録装置の使い方」（300 ページ）

■ファクス受信用の用紙をセットする

用紙トレイ (PSI) または用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする方法は、印刷、ファクス、コピーいずれの場合でも同じです。ただし、ファクス受信時に使用できる用紙はレター、A4、リーガルサイズのみです。

- 「用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする」（151 ページ）
- 「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」（158 ページ）
- 「用紙のサイズと種類を設定する」（170 ページ）

■ファクス専用モードでファクスを自動受信する

本機は工場設定では**ファクス専用**モードになっています。

着信すると、指定時間経過後に本機が自動的にファクス受信動作に入り、ファクスを受信します。

着信後に本機がファクス受信動作に入るまでの間隔を変更する場合は、「ファクスモード呼出時間」（321 ページ）を参照してください。

■電話モードで手動でファクスを受信する

外付け電話機の受話器を上げて◇（**スタート**）ボタンを押せばファクスを受信できます。
本機はファクス受信を開始し、受信が完了すると待機モードに戻ります。

■ 電話 / ファクス切替モードまたは留守番電話接続モードでファクスを自動受信する

電話 / ファクス切替モードまたは**留守番電話接続**モードを使用するには、本機背面の外部機器接続コネクター（PHONE）に外付け電話機を接続してください。

電話 / ファクス切替モードでは、本機に着信があると、**電話 / ファクス呼出時間**で指定された時間、外付け電話機が鳴り、その後自動的にファクスが受信されます。

留守番電話接続モードでは、発信者がメッセージを残すと、留守録装置に通常どおりメッセージが保存されます。本機がファクストーンを検出した場合は自動的にファクスの受信が開始されます。

補足：

- **ファクスモード呼出時間**を設定している状態で留守録装置をオフにした場合、または本機に留守録装置が接続されていない場合は、本機は所定の時間が経過すると自動的にファクス受信動作に入ります。

参照：

- 「留守録装置の使い方」（300 ページ）

■外付け電話機を使用して手動でファクスを受信する

この機能は、外付け電話機を本機背面の外部機器接続コネクター（PHONE）に接続して使用している場合に実行すると便利です。本機を操作することなく、外付け電話機で通話中の相手からファクスを受信することができます。

外付け電話機で電話を受け、ファクストーンが聞こえた場合、外付け電話機で 2 桁のキーを押すか**オンフック**を**オフ**にして（**スタート**）ボタンを押してください。

本機が文書を受信します。

2 桁のキーを押す場合は、ゆっくりと順番にボタンを押してください。それでも送信元からファクストーンが聞こえる場合は、もう一度 2 桁のキーを押してみてください。

工場設定では**リモート受信**は**オフ**となっています。2 桁の数字は任意の数字に変更できます。コード変更の詳細については「リモート受信トーン」（323 ページ）を参照してください。

補足：

- 外付け電話機のダイヤル方式は DTMF に設定してください。

■メモリーにファクスを受信する

本機はマルチタスキングデバイスですので、コピーや印刷をしながらファクス受信が可能です。コピー中、または印刷中であったり、用紙・トナー切れのときにファクスを受信すると、ファクスデータはメモリーに保存されます。コピー、印刷が完了またはトナーカートリッジを交換すると、自動的にファクスの印刷が開始されます。

■ポーリング受信

好きなときに送信元ファクス機からファクスを受信できます。

1. **ファクス**ボタンを押します。
2. **ポーリング受信**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **オン**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. 送信元のファクス番号を入力し、(OK)ボタンを押します。

   補足：

   - 送信元ファクス番号の入力方法については、「ファクスを自動送信する」（270 ページ）を参照してください。

5. ◇ (**スタート**) ボタンを押します。

自動ダイヤル

ここには下記の項目を記載します：

■短縮宛先

最大で 99 件の短縮宛先を保存できます（01 ～ 99）。

■短縮宛先の番号を登録する

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 **宛先表**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **短縮宛先**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 01 ～ 99 の任意の短縮宛先番号を選択し、(OK)ボタンを押します。

6 **宛先名**を選択し、(OK)ボタンを押します。

7 名前を入力し、(OK)ボタンを押します。

8 **電話番号**を選択し、(OK)ボタンを押します。

9 テンキーで登録する番号を入力し、(OK)ボタンを押します。

   番号の間にポーズを入れるには、**リダイアル／ポーズ**ボタンを押します。LCD ディスプレイに「-」が表示されます。

10 **設定を適用**を選択し、(OK)ボタンを押します。

11 **実行しますか？**と表示されていることを確認し、**はい**を選択して(OK)ボタンを押します。

12 続けてファクス番号を登録する場合は手順 5 ～ 11 を繰り返してください。

13 前の画面に戻るには、 (**戻る**) ボタンを押します。

補足：

- 操作パネルから**短縮宛先**を登録・編集する際は、**宛先名**には半角英数字のみ入力できます。**宛先名**に日本語を入力したい場合は、CentreWare Internet Services または宛先表ツールから編集してください。

■短縮宛先を使用してファクスを送信する

1 原稿を上側が先に入るように上向きに自動原稿送り装置 にセットするか、1 枚の原稿を原稿ガラスに下向きにセットして原稿カバーを閉じます。

参照：

- 「自動原稿送り装置に原稿をセットする」（264 ページ）
- 「原稿ガラスに原稿をセットする」（265 ページ）

2 短縮宛先番号を入力するには、**ファクス**ボタンを押してから下記のいずれかを行ってください。

- **宛先**を選択し、OKボタンを押します。**短縮宛先**を選択し、OKボタンを押します。
- **短縮**ボタンを押します。

3 テンキーで 01 ～ 99 の短縮宛先番号を入力します。

LCD ディスプレイに対応する番号の登録名が一時的に表示されます。

4 OKボタンを押します。

5 原稿に応じたファクス設定を行います。

参照：

- 「解像度」（266 ページ）
- 「濃度」（268 ページ）

6 ◇ **(スタート)** ボタンを押します。

7 メモリーに文書がスキャンされます。

原稿ガラスを使用する場合は、LCD ディスプレイに次の原稿があるかどうか確認するメッセージが表示されます。**はい**または**いいえ**を選択し、OKボタンを押します。

はいを選択した場合は、次の原稿を原稿ガラスにセットして**続ける**を選択し、OKボタンを押してください。

8 短縮宛先に登録されたファクス番号が自動的にダイヤルされます。受信側ファクス機が応答すると原稿が送信されます。

補足：

- 1 桁目にアスタリスク (*) を使用すれば複数の宛先に原稿を送信できます。例えば、「0*」と入力すると 01 ～ 09 に登録された宛先に送信できます。

■ファクスグループ

複数の宛先に同じ原稿を送信することが多い場合は、宛先グループを作成できます。最大 6 つのグループが作成可能です。これにより、ファクスグループを使用して同じ原稿をグループ内の宛先すべてに送信することができます。

補足：

- ファクスグループを別のファクスグループに含めることはできません。

■ファクスグループを設定する

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **仕様設定**を選択し、OKボタンを押します。

3 **宛先表**を選択し、OKボタンを押します。

4 **ファクスグループ**を選択し、OKボタンを押します。

5 01 〜 06 の任意のファクスグループ番号を選択し、OKボタンを押します。

6 **グループ名**を選択し、OKボタンを押します。

7 名前を入力し、OKボタンを押します。

8 **短縮番号**を選択し、OKボタンを押します。

9 短縮宛先番号を選択し、OKボタンを押します。

10 **設定を適用**を選択し、OKボタンを押します。

11 **実行しますか？**と表示されていることを確認し、**はい**を選択してOKボタンを押します。

12 続けてファクスグループを登録する場合は手順 5 〜 11 を繰り返してください。

13 前の画面に戻るには、**(戻る)** ボタンを押します。

補足：

- 操作パネルから**ファクスグループ**を登録・編集する際は、**グループ名**には半角英数字のみ入力できます。**グループ名**に日本語を入力したい場合は、CentreWare Internet Services または宛先表ツールから編集してください。

■ファクスグループを編集する

選択したグループから特定の短縮宛先を削除したり新しい短縮宛先を追加することができます。

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。

3 **宛先表**を選択し、(OK)ボタンを押します。

4 **ファクスグループ**を選択し、(OK)ボタンを押します。

5 編集するファクスグループを選択し、(OK)ボタンを押します。

6 グループの名前を変更するには：
   a **グループ名**を選択し、(OK)ボタンを押します。
   b 新しい名前を入力し、(OK)ボタンを押します。
   c **設定を適用**を選択し、(OK)ボタンを押します。
   d **実行しますか？**と表示されていることを確認し、**はい**を選択して(OK)ボタンを押します。

7 グループ内の短縮宛先番号を変更するには：
   a **短縮番号**を選択し、(OK)ボタンを押します。
   b 任意の短縮宛先を選択または選択を解除し、(OK)ボタンを押します。
   c **設定を適用**を選択し、(OK)ボタンを押します。
   d **実行しますか？**と表示されていることを確認し、**はい**を選択して(OK)ボタンを押します。

   補足：
   - グループ内の短縮宛先をすべて削除してもグループ自体は削除されません。

8 グループを削除するには：
   a **C（クリア）**ボタンを押します。
   b **実行しますか？**と表示されていることを確認し、**はい**を選択して(OK)ボタンを押します。

9 他のグループの編集または新規グループの登録を行う場合は手順 5 ～ 8 を繰り返します。

10 前の画面に戻るには、↩ (**戻る**) ボタンを押します。

■ ファクスグループを使用してファクスを送信する（マルチアドレス送信）

複数宛先への送信や時刻指定送信にファクスグループを使用できます。

希望の操作の手順に従ってください（時刻指定送信については「ファクスを時刻指定送信する」（274 ページ）を参照してください）。

ひとつの操作で複数のファクスグループを使用できます。ファクスグループを選択して任意の操作手順を行ってください。

本機が自動原稿送り装置または原稿ガラスにセットされた原稿を自動でスキャンし、グループに含まれている番号をダイヤルします。

その他のファクス使用方法

ここには下記の項目を記載します：

■親展受信の使い方

部外者に受信ファクスを閲覧されたくない場合は、**親展受信**を使用して親展受信をオンにすればユーザー不在時の受信データ印刷を制限することができます。親展受信では、すべての受信ファクスはメモリーに保存されます。親展受信をオフにすると保存されたファクスデータが印刷されます。

補足：
- 操作を行う前に、**操作制限設定**が**有効**に設定されていることを確認してください。

親展受信をオンにするには：

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **仕様設定**を選択し、OKボタンを押します。

3 **パネル操作制限**で指定したパスワードを入力し、OKボタンを押します。

4 **セキュリティー**を選択し、OKボタンを押します。

5 **親展受信**を選択し、OKボタンを押します。

6 **親展受信設定**を選択し、OKボタンを押します。

7 **有効**を選択し、OKボタンを押します。

8 待機モードに戻るには、**仕様設定**ボタンを押します。

親展受信でファクスを受信すると、データがメモリーに保存され**ジョブ確認**画面の**親展受信**表示でファクス受信が通知されます。

補足：
- **親展受信設定**が**有効**に設定されている状態でパスワードを変更する場合は、手順 1 から手順 5 までを実施してください。**パスワード設定**を選択し、OKボタンを押します。新しいパスワードを入力し、OKボタンを押します。

受信した文書を印刷するには：

1 **ジョブ確認**ボタンを押します。

2 **親展受信**を選択し、OKボタンを押します。

3 パスワードを入力し、OKボタンを押します。

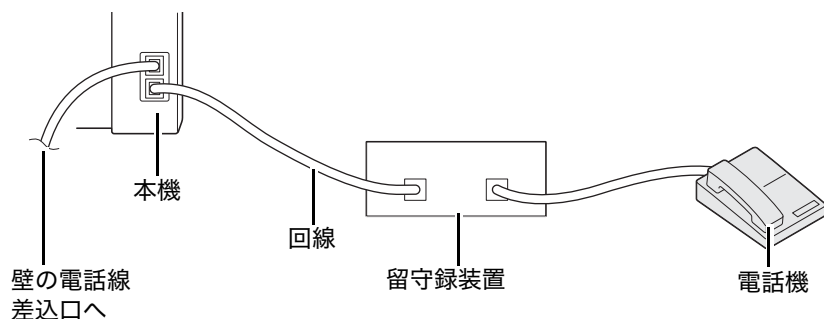
メモリーに保存されたファクスデータが印刷されます。

親展受信モードをオフにするには：

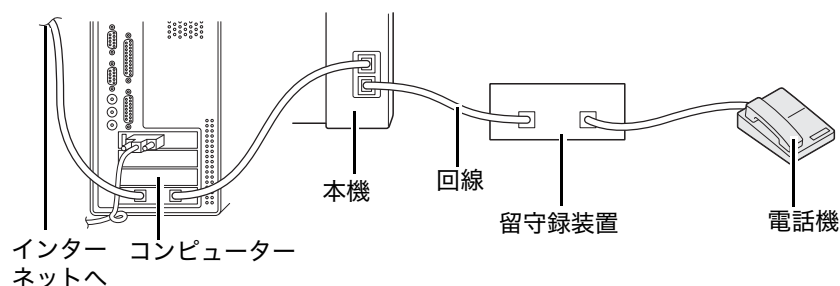
1 「親展受信をオンにするには：」(299 ページ) の手順 1 〜 6 に従って**親展受信設定**メニューを表示します。

2 **無効**を選択し、OKボタンを押します。

3 前の画面に戻るには、(**戻る**) ボタンを押します。

■留守録装置の使い方

上の図のように留守録装置は直接本機の背面に接続できます。

- 本機を**留守番電話接続**モードに設定し**留守番電話呼出時間**設定で留守録装置が応答するまでの時間を指定してください。
- 留守録装置が応答すると、ファクストーンが検出された場合に本機が回線を取りファクス受信を開始します。
- 留守録装置がオフの場合、指定時間呼び出し音が鳴ったあとに本機が自動的にファクス受信動作に入りファクスを受信します。
- 受話器を上げてファクストーンが聞こえた場合、下記を行うと本機がファクスを受信します。
  - **オンフック**を**オン**に設定し（送信側から声またはファクストーンが聞こえます）、（**スタート**）ボタンを押して受話器を置く。
  - 2 桁のリモート受信コードを押して受話器を置く。

■コンピューターのモデムの使い方

ファクスまたはダイヤルアップインターネット接続にコンピューターのモデムを使用する場合は、上の図のようにコンピューターのモデムを直接留守録装置のついた本機背面に接続してください。

- 本機を**留守番電話接続**モードに設定し**留守番電話呼出時間**設定で留守録装置が応答するまでの時間を指定してください。
- コンピューターのモデムのファクス受信機能をオフにしてください。
- 本機がファクスの送受信を行っている場合はコンピューターのモデムを使用しないでください。
- コンピューターのモデムからファクス送信する際はモデムとファクスアプリケーションの指示にしたがってください。

音の設定を行う

ここには下記の項目を記載します：

- 「スピーカーの音量」（303 ページ）
- 「呼び出し音の音量」（304 ページ）

■スピーカーの音量

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、OKボタンを押します。
3. **ファクス設定**を選択し、OKボタンを押します。
4. **ラインモニター音**を選択し、OKボタンを押します。
5. 任意の音量を選択し、OKボタンを押します。
6. 電源スイッチを入れ直して再起動します。

■呼び出し音の音量

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **ファクス設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **電話呼出音**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. 任意の音量を選択し、(OK)ボタンを押します。
6. 電源スイッチを入れ直して再起動します。

ファクス設定を行う

ここには下記の項目を記載します：

■ファクスオプションを変更する

1 **仕様設定**ボタンを押します。
2 **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3 **ファクス設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4 任意のメニュー項目を選択し、(OK)ボタンを押します。
5 任意の設定を選択するかテンキーで値を入力します。
6 (OK)ボタンを押して設定を確定します。
7 必要に応じて、手順４～６を繰り返します。
8 前の画面に戻るには、↩(**戻る**) ボタンを押します。

利用可能なメニュー項目の詳細については「利用可能なファクスオプション」（307 ページ）を参照してください。

■利用可能なファクスオプション

ファクスのシステム設定には下記の設定オプションが使用できます。

オプション		内容
受信モード	**電話**	自動ファクス受信がオフになります。外付け電話機の受話器を上げてリモート受信コードを押し、（**スタート**）ボタンを押せばファクスを受信できます。
	ファクス専用 *	自動的にファクスを受信します。
	電話 / ファクス切替	本機に着信があると、**電話 / ファクス呼出時間**で指定された時間、外付け電話機が鳴り、その後自動的にファクスが受信されます。着信がファクスではない場合は、内部スピーカーから着信が電話着信であることを示すビープ音が鳴ります。
	留守番電話接続	本機は留守録装置と電話回線を共有できます。このモードでは、本機はファクス信号を監視し、ファクストーンが検出された場合に回線を取得します。
ファクスモード呼出時間		着信後に本機がファクス受信動作に入るまでの間隔を設定します。
電話 / ファクス呼出時間		外付け電話機への着信後に本機がファクス受信動作に入るまでの間隔を設定します。
留守番電話呼出時間		留守録装置への着信後に本機がファクス受信動作に入るまでの間隔を設定します。
ラインモニター音		接続が行われるまで内部スピーカーからの音声で送信状況を監視するラインモニターの音量を設定します。
電話呼出音		**受信モード**が**電話 / ファクス切替**に設定されているときに内部スピーカーから電話着信を知らせる呼び出し音の音量を設定します。
回線種別		回線種別を設定します。
ダイヤル種別		発信方法を設定します。
再送信間隔		送信試行の間隔を指定します。
リダイヤル回数		送信先ファクス番号が話し中の場合のリダイヤル試行回数を指定します。「0」を入力すると、リダイヤルは行われません。
リダイヤル間隔		リダイヤル試行の間隔を指定します。
受信フィルター		宛先表に登録されているファクス番号からのファクスのみを受信してその他の番号からのファクスを拒否するかどうかを設定します。
リモート受信		受話器を取ってから外付け電話機でリモート受信コードを押してファクスを受信するかどうかを設定します。
リモート受信トーン		リモート受信を開始するための 2 桁のリモート受信コードを指定します。
発信元記録		ファクスのヘッダーに発信元情報を印刷するかどうかを設定します。
発信元名		ファクスのヘッダーに印刷される発信元名を設定します。30 文字までの半角英数字が使用できます。
発信元ファクス番号		ファクスのヘッダーに印刷される本機のファクス番号を設定します。
送信シート		ファクスにカバーページを添付するかどうかを設定します。
プレフィックス利用		局番ダイヤル番号を設定するかどうかを指定します。
プレフィックス番号		最長 5 桁の局番ダイヤル番号を設定します。すべての自動ダイヤル番号の前にこの番号がダイヤルされます。構内自動交換機（PABX）にアクセスする場合に便利です。

オプション	内容
用紙節約	ページ全体が出力用紙におさまらない場合にページ下部のテキストまたは画像を切り捨てるかどうかを設定します。**自動縮小する**を選択すると、出力用紙におさまるようファクスページが自動的に縮小されページ下部の画像やテキストは切り捨てられません。
ECM	ECM を有効化するかどうかを設定します。ECM を使用するには、必ず受信側の機械も ECM に対応している必要があります。
フック検出レベル調整	外付け電話機のフック検出レベルを選択できます。
モデムスピード	ファクス送信または受信エラーが発生した場合にファクスモデム速度を指定します。
通信管理レポート	ファクス送受信 50 件ごとに通信管理レポートを自動で印刷するかどうかを設定します。
送信レポート	ファクス送信ごと、またはエラー発生時に送信レポートを印刷するかどうかを設定します。
ファクス同報レポート	複数の宛先へのファクス送信ごと、またはエラー発生時にファクス同報レポートを印刷するかどうかを設定します。

●プレフィックス利用

補足：

- **プレフィックス利用**は、外部回線番号にファクス送信する環境のみをサポートします。**プレフィックス利用**を使用するには、操作パネルから下記のことを行う必要があります。

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、OK ボタンを押します。
3. **ファクス設定**を選択し、OK ボタンを押します。
4. **回線種別**を選択し、OK ボタンを押します。
5. **内線**を選択し、OK ボタンを押します。
6. (**戻る**) ボタンを押して前のメニューに戻ります。
7. **プレフィックス利用**を選択し、OK ボタンを押します。
8. **オン**を選択し、OK ボタンを押します。
9. (**戻る**) ボタンを押して前のメニューに戻ります。
10. **プレフィックス番号**を選択し、OK ボタンを押します。
11. 0 ～ 9 までの数字、「*」、「#」で局番を 5 桁以内で入力します。
12. LCD ディスプレイに表示されている局番ダイヤル番号が正しければ OK ボタンを押します。
13. 電源スイッチを入れ直して再起動します。

デフォルト設定を変更する

ファクス設定のオプションは、最も頻繁に使用する値をデフォルトとして設定できます。
お好みのデフォルト設定を作成するには：

1 **仕様設定**ボタンを押します。
2 **初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3 **ファクスの初期値設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4 任意のメニュー項目を選択し、(OK)ボタンを押します。
5 任意の設定を選択するかテンキーで値を入力し、(OK)ボタンを押します。
6 必要に応じて手順 4 と手順 5 を繰り返します。
7 前の画面に戻るには、 **(戻る)** ボタンを押します。

レポートを印刷する

以下のレポートはファクスを使用する際に役立ちます：

- 通信管理レポート

  このレポートには、最近 50 件のファクス送受信情報が記載されます。
- プロトコルモニター

  このレポートには、最後にファクス送信したときのプロトコルの状態が記載されます。
- 送信レポート

  このレポートには、ファクスジョブの詳細が記載されます。
- ファクス同報レポート

  このレポートには、ファクスを複数宛先に送信した際の全宛先と各宛先の送信結果が記載されます。

補足：

- レポート / リストは、英語で印刷されます。

レポートまたはリストを印刷するには：

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **レポート / リスト**を選択し、OK ボタンを押します。
3. 印刷するレポートまたはリストを選択して OK ボタンを押します。

   選択したレポートまたはリストが印刷されます。

補足：

- 送信レポート、ファクス同報レポートは上記の手順で手動印刷することはできません。これらはファクスジョブ完了後に設定に従って印刷されます。これらの印刷設定の詳細については、「送信レポート」（325 ページ）または「ファクス同報レポート」（326 ページ）を参照してください。

9

操作パネルメニューとテンキーの使い方

本章には下記の項目を記載します：

本機のメニューについて

管理者ではないユーザーは、**仕様設定**メニューへのアクセスが制限されることがあります。これにより、権限のないユーザーが不注意で操作パネルを使用して管理者が設定したデフォルトのメニュー設定を変更してしまうという事態が防止されます。ただし、プリンタードライバーを使用して個別の印刷ジョブの設定を変更することは可能です。プリンタードライバーから選択した印刷設定は、操作パネルから選択したデフォルトのメニュー設定よりも優先されます。

■ レポート / リスト

レポート / リストから様々なレポートおよびリストを印刷できます。

補足：

- **操作制限設定**が**有効**に設定されている場合、**レポート / リスト**メニューに入る際にパスワードが求められます。この場合は、指定したパスワードを入力して(OK)ボタンを押してください。
- レポート / リストは、英語で印刷されます。

システム設定リスト

目的：

本機の名称、シリアル番号、印刷枚数、ネットワーク設定などの情報の一覧を印刷する。

パネル設定リスト

目的：

操作パネルメニューのすべての設定の詳細な一覧を印刷する。

ジョブ履歴レポート

目的：

処理されたジョブの詳細な一覧を印刷する。一覧には最新の 50 件のジョブが記載されます。

エラー履歴レポート

目的：

紙づまりや重大なエラーの詳細な一覧を印刷する。

プロトコルモニター

目的：

モニターされたプロトコルの詳細な一覧を印刷する。

通信管理レポート

目的：

最近送受信したファクスのレポートを印刷する。

■メーター確認

印刷したページ数の合計を確認するには、**メーター確認**を使用します。

値：

メーター 1	総印刷枚数を表示します。
メーター 2	使用されません。
メーター 3	使用されません。

■仕様設定

本機の各種機能の設定には**仕様設定**を使用します。

補足：

- **操作制限設定**が**有効**に設定されている場合、**仕様設定**メニューに入る際にパスワードが求められます。この場合は、指定したパスワードを入力して(OK)ボタンを押してください。

宛先表

宛先表メニューを使用して短縮宛先およびファクスグループの設定を行います。

●短縮宛先

目的：

最大で 99 件の短縮宛先を保存する。

補足：

- 最初の 8 件の宛先が操作パネルのワンタッチボタンに割り当てられます。

参照：

- 「短縮宛先の番号を登録する」（292 ページ）

●ファクスグループ

目的：

ファクス送信先のグループを作成し 2 桁のグループ番号に登録する。最大 6 つのファクスグループが登録可能です。

参照：

- 「ファクスグループを設定する」（295 ページ）

ネットワーク設定

ネットワークから本機に送信したジョブに関わる本機の設定の変更は、**ネットワーク設定**メニューから行います。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●Ethernet 設定

目的：

イーサネットの通信速度および二重設定を指定する。この変更は本機の再起動後に有効になります。

値：

自動 *	自動的にイーサネット設定を検出します。
10BASE-T 半二重	10BASE-T 半二重を使用します。
10BASE-T 全二重	10BASE-T 全二重を使用します。
100BASE-TX 半二重	100BASE-TX 半二重を使用します。
100BASE-TX 全二重	100BASE-TX 全二重を使用します。

補足：

- この項目は、本機が有線ネットワークに接続されている場合にのみ表示されます。

●無線状態

目的：

ワイヤレス信号強度についての情報を表示する。ワイヤレス接続の状態を改善するための変更を操作パネルで行うことはできません。

値：

通信可能 (強)	信号強度が良好であることを示します。
通信可能 (中)	信号強度が良好ではありませんが、通信が確立できる状態であることを示します。
通信可能 (弱)	最低限の信号強度があることを示します。
通信不能	信号が受信されていないことを示します。

補足：

- この項目は、本機がワイヤレスネットワークに接続されている場合にのみ表示されます。

●無線 LAN 設定

目的：

ワイヤレスネットワークインターフェイスを設定する。

値：

手動設定	**SSID**	ワイヤレスネットワークを識別する名前を指定します。32 文字までの半角英数字が使用できます。		
	Infrastructure	ワイヤレスルーターなどのアクセスポイントからワイヤレス設定を行う際に選択します。		
		使用しない	**使用しない**は、WEP、WPA-PSK-TKIP、WPA-PSK-AES、WPA2-PSK-AES からセキュリティ方法を選択せずにワイヤレス設定を行う際に指定します。	
		WEP(64Bit)	ワイヤレスネットワークから使用する WEP 64bit キーを指定します。10 文字の 16 進数を入力してください。	
			Transmit キー	**WEP Key 1**、**WEP Key 2**、**WEP Key 3**、**WEP Key 4** から送信キーを指定します。
		WEP(128Bit)	ワイヤレスネットワークから使用する WEP 128bit キーを指定します。26 文字の 16 進数を入力してください。	
			Transmit キー	**WEP Key 1**、**WEP Key 2**、**WEP Key 3**、**WEP Key 4** から送信キーを指定します。
		WPA-PSK-TKIP	WPA-PSK-TKIP のセキュリティ方法を使用してワイヤレス設定を行う際に選択します。	
			パスフレーズの入力	**暗号化方式**に WPA-PSK-TKIP が選択されている場合のみ、8 文字から 63 文字の半角英数字のパスフレーズを指定します。
		WPA-PSK-AES	WPA-PSK-AES のセキュリティ方法を使用してワイヤレス設定を行う際に選択します。	
			パスフレーズの入力	**暗号化方式**に WPA-PSK-AES が選択されている場合のみ、8 文字から 63 文字の半角英数字のパスフレーズを指定します。
		WPA2-PSK-AES	WPA2-PSK-AES のセキュリティ方法を使用してワイヤレス設定を行う際に選択します。	
			パスフレーズの入力	**暗号化方式**に WPA2-PSK-AES が選択されている場合のみ、8 文字から 63 文字の半角英数字のパスフレーズを指定します。

手動設定 (続き)	**Ad-hoc**	ワイヤレスルーターなどのアクセスポイントを使用せずにワイヤレス設定を行う際に選択します。		
		使用しない	**使用しない**は、WEP からセキュリティ方法を選択せずにワイヤレス設定を行う際に指定します。	
		WEP(64Bit)	ワイヤレスネットワークから使用する WEP 64bit キーを指定します。10 文字の 16 進数を入力してください。	
			Transmit キー	**WEP Key 1**、**WEP Key 2**、**WEP Key 3**、**WEP Key 4** から送信キーを指定します。
		WEP(128Bit)	ワイヤレスネットワークから使用する WEP 128bit キーを指定します。26 文字の 16 進数を入力してください。	
			Transmit キー	**WEP Key 1**、**WEP Key 2**、**WEP Key 3**、**WEP Key 4** から送信キーを指定します。
WPS 設定	**プッシュボタン**	**プッシュボタン設定開始**	**いいえ** *	WPS-PBC のセキュリティ方法を無効化します。
			はい	WPS-PBC のセキュリティ方法を使用してワイヤレス設定を行います。
	PIN コード	**PIN コード設定開始**	自動的に本機に割り当てられた PIN コードを使用してワイヤレス設定を行います。	
		PIN コードプリント	PIN コードを印刷します。コンピューターに PIN コードを入力するときに確認してください。	

補足 :

- この項目は、本機がワイヤレスネットワークに接続されている場合にのみ表示されます。

●無線 LAN 設定リセット

目的 :

ワイヤレスネットワーク設定を初期化する。この機能を実行して本機を再起動すると、すべてのワイヤレスネットワーク設定が工場設定にリセットされます。

値 :

いいえ *	ワイヤレス設定をリセットしません。
はい	ワイヤレス設定をリセットします。

補足 :

- この項目は、本機がワイヤレスネットワークに接続されている場合にのみ表示されます。

●TCP/IP

目的：

TCP/IP 設定を行う。この変更は本機の再起動後に有効になります。

値：

IP 動作モード	**デュアルスタック ＊**		IPv4 と IPv6 の両方を使用して IP アドレスを設定します。
	IPv4		IPv4 を使用して IP アドレスを設定します。
IPv4	**アドレス取得方法**	**DHCP/Auto IP***	自動的に IP アドレスを設定します。
		BOOTP	BOOTP を使用して IP アドレスを設定します。
		RARP	RARP を使用して IP アドレスを設定します。
		DHCP	DHCP を使用して IP アドレスを設定します。
		パネル	操作パネルで入力した IP アドレスを有効化します。
	IP アドレス		本機に割り当てられる IP アドレスを手動で設定します。
	サブネットマスク		手動でサブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイアドレス		手動でゲートウェイアドレスを設定します。

補足：

- IPv6 設定を行うには、CentreWare Internet Services を使用してください。

●プロトコル

目的：

各プロトコルを有効化または無効化する。この変更は本機の再起動後に有効になります。

値：

LPD	無効	Line Printer Daemon (LPD) ポートを無効化します。
	有効 *	LPD ポートを有効化します。
Port 9100	無効	Port 9100 ポートを無効化します。
	有効 *	Port 9100 ポートを有効化します。
WSD	無効	WSD ポートを無効化します。
	有効 *	WSD ポートを有効化します。
SNMP	無効	簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) UDP ポートを無効化します。
	有効 *	SNMP UDP ポートを有効化します。
エラーメール通知	無効	エラーメール通知機能を無効化します。
	有効 *	エラーメール通知機能を有効化します。
Internet Services	無効	本機内蔵の CentreWare Internet Services へのアクセスを無効化します。
	有効 *	本機内蔵の CentreWare Internet Services へのアクセスを有効化します。
LLTD	無効	LLTD を無効化します。
	有効 *	LLTD を有効化します。
Bonjour (mDNS)	無効	Bonjour (mDNS) を無効化します。
	有効 *	Bonjour (mDNS) を有効化します。

補足：

- WSD は、Web Services on Devices の略称です。

●NV メモリー初期化

目的：

不揮発性メモリー (NVM) に保存されている有線ネットワークデータを初期化する。この機能を実行して本機を再起動すると、すべての有線ネットワーク設定が工場設定にリセットされます。

値：

はい	NVM に保存されている有線ネットワークデータを初期化します。
いいえ *	NVM に保存されている有線ネットワークデータを初期化しません。

ファクス設定

基本ファクス機能の設定には**ファクス設定**メニューを使用します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●受信モード

目的：

デフォルトのファクス受信モードを選択する。

値：

電話	自動ファクス受信がオフになります。外付け電話機の受話器を上げてリモート受信コードを押し、（**スタート**）ボタンを押せばファクスを受信できます。
ファクス専用 *	自動的にファクスを受信します。
電話 / ファクス切替	本機に着信があると、**電話 / ファクス呼出時間**で指定された時間外付け電話機が鳴り、その後自動的にファクスが受信されます。着信がファクスではない場合は、内部スピーカーから着信が電話着信であることを示すビープ音が鳴ります。
留守番電話接続	本機は留守録装置と電話回線を共有できます。このモードでは、本機はファクス信号を監視し、ファクストーンが検出された場合に回線を取得します。

●ファクスモード呼出時間

目的：

着信後に本機がファクス受信動作に入るまでの間隔を設定する。この間隔は 0 ～ 255 秒の範囲で指定できます。デフォルト設定は 0 秒です。

●電話 / ファクス呼出時間

目的：

外付け電話機への着信後に本機がファクス受信動作に入るまでの間隔を設定する。この間隔は 0 ～ 255 秒の範囲で指定できます。デフォルト設定は 6 秒です。

●留守番電話呼出時間

目的：

留守録装置への着信後に本機がファクス受信動作に入るまでの間隔を設定する。この間隔は 0 ～ 255 秒の範囲で指定できます。デフォルト設定は 21 秒です。

●ラインモニター音

目的：

接続が行われるまで内部スピーカーからの音声で送信状況を監視するラインモニターの音量を設定する。

値：

オフ	ラインモニターの音量をオフにします。
小	ラインモニターの音量を設定します。
中 *	
大	

●電話呼出音

目的：

受信モードが**電話 / ファクス切替**に設定されているときに内部スピーカーから電話着信を知らせる呼び出し音の音量を設定する。

値：

オフ	呼び出し音の音量をオフにします。
小	呼び出し音の音量を設定します。
中	
大 *	

●回線種別

目的：

回線種別を設定する。

値：

公衆回線 *	回線種別を公衆回線に設定します。
内線	回線種別を内線に設定します。

●ダイヤル種別

目的：

発信方法を設定する。

値：

プッシュ *	発信方法を**プッシュ**に設定します。
DP (10PPS)	発信方法をダイヤルポーズ（1 秒当たり 10 パルス）に設定します。
DP (20PPS)	発信方法をダイヤルポーズ（1 秒当たり 20 パルス）に設定します。

●再送信間隔

目的：

送信試行の間隔を 3 ～ 255 秒の範囲で指定する。デフォルト設定は 8 秒です。

●リダイヤル回数

目的：

送信先ファクス番号が話し中の場合のリダイヤル試行回数を 0 ～ 9 の範囲で指定する。「**0**」を入力すると、リダイヤルは行われません。デフォルト設定は「3」です。

●リダイヤル間隔

目的：

リダイヤル試行の間隔を 1 ～ 15 分の範囲で指定する。デフォルト設定は 1 分です。

●受信フィルター

目的：

宛先表に登録されているファクス番号からのファクスのみを受信してその他の番号からのファクスを拒否する。

値：

オフ *	不明な番号からのファクスを拒否しません。
オン	不明な番号からのファクスを拒否します。

補足：

- **受信フィルター**を使用する前に、必ず宛先表に受信するファクス番号を登録してください。

●リモート受信

目的：

受話器を取ってから外付け電話機でリモート受信コードを押してファクスを受信する。

値：

オフ *	外付け電話機でリモート受信コードを押してファクスを受信しません。
オン	外付け電話機でリモート受信コードを押してファクスを受信します。

●リモート受信トーン

目的：

リモート受信を開始するための 2 桁のリモート受信コードを指定する。

●発信元記録

目的：

ファクスのヘッダーに発信元情報を印刷する。

値：

オフ	ファクスのヘッダーに発信元情報を印刷しません。
オン *	ファクスのヘッダーに発信元情報を印刷します。

●発信元名

目的：

ファクスのヘッダーに印刷される発信元名を設定する。30 文字までの半角英数字が使用できます。

●発信元ファクス番号

目的：

ファクスのヘッダーに印刷される本機のファクス番号を設定する。

●送信シート

目的：

ファクスにカバーページを添付するかどうかを設定する。

値：

オフ *	ファクスにカバーページを添付しません。
オン	ファクスにカバーページを添付します。

●プレフィックス利用

目的：

局番ダイヤル番号を設定するかどうかを選択する。

値：

オフ *	局番ダイヤル番号を設定しません。
オン	局番ダイヤル番号を設定します。

●プレフィックス番号

目的：

最長 5 桁の局番ダイヤル番号を設定する。すべての自動ダイヤル番号の前にこの番号がダイヤルされます。構内自動交換機（PABX）にアクセスする場合に便利です。

●用紙節約

目的：

ページ全体が出力用紙におさまらない場合にページ下部のテキストまたは画像を切り捨てるかどうかを設定する。

値：

オフ	ページ下部の余剰部分を切り捨てずに印刷します。
オン	ページ下部の余剰部分を切り捨てます。
自動縮小する *	出力用紙におさまるようページを自動縮小します。

●ECM

目的：

エラー補正モード (ECM) を有効化するかどうかを設定する。ECM を使用するには、必ず受信側の機械も ECM に対応している必要があります。

値：

オフ	ECM を無効化します。
オン *	ECM を有効化します。

●フック検出レベル調整

目的：

外付け電話機のフック検出レベルを選択する。

値：

低	外付け電話機のフック検出レベルを低くします。
中 *	外付け電話機のフック検出レベルを中程度にします。
高	外付け電話機のフック検出レベルを高くします。

●モデムスピード

目的：

ファクス送信または受信エラー発生時のファクスモデム速度を指定する。

値：

2.4 Kbps
4.8 Kbps
9.6 Kbps
14.4 Kbps
33.6 Kbps*

●通信管理レポート

目的：

ファクス送受信 50 件ごとに通信管理レポートを自動で印刷するかどうかを設定する。

値：

自動プリント *	ファクス送受信 50 件ごとに通信管理レポートを自動で印刷します。
プリントしない	通信管理レポートを自動で印刷しません。

●送信レポート

目的：

ファクス送信ごと、またはエラー発生時に送信レポートを印刷するかどうかを設定する。

値：

常にプリント	ファクス送信後に毎回送信レポートを印刷します。
エラー時にプリント *	エラー発生時にのみ送信レポートを印刷します。
プリントしない	ファクス送信後に送信レポートを印刷しません。

●ファクス同報レポート

目的：

複数の宛先へのファクス送信ごと、またはエラー発生時にファクス同報レポートを印刷するかどうかを設定する。

値：

常にプリント *	ファクス送信後に毎回ファクス同報レポートを印刷します。
エラー時にプリント	エラー発生時にのみファクス同報レポートを印刷します。
プリントしない	複数の宛先へのファクス送信後にファクス同報レポートを印刷しません。

システム設定

本機の各種機能の設定には**システム設定**メニューを使用します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●節電移行時間

目的：

節電モードへ移行する時間を指定する。

値：

低電力タイマー	**1 分** *	ジョブ完了後に本機が低電力モードに入るまでの時間を指定します。
	1–30 分	
スリープタイマー	**10 分** *	低電力モードに入ってからスリープモードに入るまでの時間を指定します。
	6–11 分	

ジョブ完了の 1 分後に本機を低電力モードにするには、**低電力タイマー**に **1** を入力します。これにより電力消費は少なくなりますが、本機のウォームアップ時間は長くなります。本機が部屋の照明と電源回路を共有しており、照明のちらつきがある場合は **1** を入力してください。

常時本機を使用する場合は大きな値を選択してください。これにより、ほとんどの場合、最小のウォームアップ時間で本機を利用できます。節電とウォームアップ時間のバランスを取りたい場合は、低電力モードの値を 1 ～ 30 の間に設定してください。

コンピューターからデータを受信すると、本機は自動的に節電モードから待機モードに戻ります。低電力モードでは、操作パネルのどのボタンを押した場合にも本機は待機モードに戻ります。スリープモードでは、**節電**ボタンを押せば本機は待機モードに戻ります。

●オートリセット

目的：

指定した期間に設定を指定しなかった場合にコピー、スキャン、またはファクスの設定を自動的にデフォルト設定にリセットし待機モードに戻る。

値：

45 秒 *
1 分
2 分

3 分
4 分

●エラータイムアウト

目的：

異常停止したジョブが中止されるまでの時間を指定する。タイムアウトすると本機はジョブを中止します。

値：

オフ		エラータイムアウトを無効化します。
オン	60 秒 *	異常停止したジョブが中止されるまでの時間を指定します。
	3–300 秒	

●ジョブタイムアウト

目的：

コンピューターからデータを受信するまで本機が待機する時間を指定する。タイムアウトすると本機はジョブを中止します。

値：

オフ		ジョブタイムアウトを無効化します。
オン	30 秒 *	コンピューターからデータを受信するまで本機が待機する時間を指定します。
	5–300 秒	

●時刻設定

目的：

本機の日時、タイムゾーンを設定する。

値：

日付設定	現在の日付を指定します。	
時刻設定	現在の時刻を指定します。	
日付書式	yy/mm/dd*	日付表示形式を指定します。
	mm/dd/yy	
	dd/mm/yy	
時刻書式	12H*	時刻表示形式を指定します。
	24H	
タイムゾーン	タイムゾーンを指定します。	

●報知音

目的：

稼動時または警告メッセージが表示されたときに本機から発される報知音の設定を行う。

値：

パネル操作音	**オフ** *	操作パネルの入力が正しいと報知音を発しません。
	小	操作パネルの入力が正しいと指定されたボリュームで報知音を発します。
	中	
	大	
パネル警告音	**オフ** *	操作パネルの入力を誤っている場合でも報知音を発しません。
	小	操作パネルの入力が誤っていると指定されたボリュームで報知音を発します。
	中	
	大	
オートリセット通知音	**オフ** *	本機がオートクリアを実行する前に報知音を発しません。
	小	本機がオートクリアを実行する前に指定されたボリュームで 5 秒間報知音を発します。
	中	
	大	
ジョブ終了音	**オフ**	ジョブ完了時に報知音を発しません。
	小	ジョブが完了すると指定されたボリュームで報知音を発します。
	中 *	
	大	
異常警告音	**オフ**	問題が発生した場合でも報知音を発しません。
	小	問題が発生すると指定されたボリュームで報知音を発します。
	中 *	
	大	
用紙切れ警告音	**オフ**	本機が用紙切れの場合でも報知音を発しません。
	小	本機が用紙切れになると指定されたボリュームで報知音を発します。
	中 *	
	大	
すべての音	**オフ**	すべての報知音を無効化します。
	小	すべての報知音のボリュームを一度に設定します。
	中	
	大	

●mm / inch

目的：

操作パネルに表示される数値の単位を指定する。

値：

ミリ (mm)*	デフォルトの単位を指定します。
インチ (")	

●トナー残少警告メッセージ

目的：

トナー残量が少なくなったときに警告メッセージを表示するかどうかを指定する。

値：

オフ	トナー残量が少なくなったときに警告メッセージを表示しません。
オン *	トナー残量が少なくなったときに警告メッセージを表示します。

メンテナンス

不揮発性メモリー (NVM) の初期化、用紙種類の調整、セキュリティー設定には**メンテナンス**メニューを使用します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●ファームウェア ver

目的：

コントローラーのバージョンを表示する。

●BTR 電圧調整

目的：

転写ロール (BTR) の最適な印刷電圧設定を指定する。電圧を下げるにはマイナスの値を、上げるにはプラスの値を設定します。

工場設定は必ずしもすべての用紙種類について最適な出力結果を生みません。出力した印刷に斑紋が見られた場合は電圧を上げ、白点がある場合は電圧を下げてみてください。

補足：

- 印刷品質はここで選択した値によって変化します。

値：

普通紙	**0***
	-3 – +3
厚紙	**0***
	-3 – +3
ラベル紙	**0***
	-3 – +3
封筒	**0***
	-3 – +3
再生紙	**0***
	-3 – +3
郵便はがき	**0***
	-3 – +3

●定着温度調整

目的：

定着装置の最適な印刷温度設定を指定する。温度を下げるにはマイナスの値を、上げるにはプラスの値を設定します。

工場設定は必ずしもすべての用紙種類について最適な出力結果を生みません。印刷した紙がカールしている場合は温度を下げ、紙に正しくトナーが定着していない場合は温度を上げてください。

補足：

- 印刷品質はここで選択した値によって変化します。

値：

普通紙	**0***
	-3 – +3
厚紙	**0***
	-3 – +3
ラベル紙	**0***
	-3 – +3
封筒	**0***
	-3 – +3
再生紙	**0***
	-3 – +3
郵便はがき	**0***
	-3 – +3

●濃度調整

目的：

印刷濃度レベルを -3 ～ +3 の範囲で調整する。工場出荷時のメニュー設定は 0 です。

●現像器クリーニング

目的：

画像の背景の汚れを改善する。モーターを回転させ、現像器のトナーを攪拌します。この汚れは、本機を高温、高湿の場所にしばらく放置した場合に発生します。

値：

はい	現像器のトナーを攪拌します。
いいえ *	現像器のトナーを攪拌しません。

●トナー帯電除去

目的：

印刷時に発生した斜めの縞模様を改善する。

値：

ブラック (K)	**はい**	現像器のトナーを攪拌します。
	いいえ *	現像器のトナーを攪拌しません。

●NV メモリー初期化

目的：

システム設定の NVM、ファクスの宛先表データを初期化する。この機能を実行して本機を再起動すると、ネットワークの設定を除くすべてのメニュー設定またはデータが工場設定にリセットされます。

参照：

- 「工場設定にリセットする」（353 ページ）

値：

ユーザー情報 (ファクス)	**はい**	宛先表のファクス番号エントリーを初期化します。
	いいえ *	宛先表のファクス番号エントリーを初期化しません。
システムパラメータ	**はい**	システム設定を初期化します。
	いいえ *	システム設定を初期化しません。

●カスタムモード

目的：

非純正トナーカートリッジを使用する場合に設定する。（品質を保証するものではありません。）

補足：

- 非純正のトナーカートリッジを使用すると、一部の本機の機能が使用できなくなり、印刷品質、本機の信頼性が低下する可能性があります。弊社は本機に新品の弊社製トナーカートリッジのみを使用することを推奨します。弊社は、非純正のトナーカートリッジを使用した結果生じたいかなる問題に対しても保証を行いません。
- 非純正トナーカートリッジをご使用になる前には、必ず本機を再起動してください。

値：

トナー	**オフ ***	非純正トナーカートリッジを使用しない場合に選択します。
	オン	非純正トナーカートリッジを使用する場合に選択します。

●高度補正

目的：

本機の設置場所の高度を指定する。

感光体帯電の際の放電現象は気圧によって異なります。本機の使用場所の高度を指定することによって調整が行われます。

補足：

- 誤った高度補正を行うと、印刷品質の低下やトナー残量表示異常の原因となります。

値：

0m*	本機設置場所の高度を指定します。
1000m	
2000m	
3000m	

セキュリティー

パスワードを設定してメニューへのアクセスを制限するには**セキュリティー**を使用します。これにより、不注意による設定変更が防止されます。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●パネル操作制限

目的：

パスワードによって**仕様設定**および**レポート / リスト**へのアクセスを制限する。

参照：

- 「パネル操作制限機能」（348 ページ）

補足：

- **サービス制限**のすべての項目を**使用許可**に、**親展受信設定**を**無効**に設定している場合**操作制限設定**に**無効**を選択できます。

値：

操作制限設定	**無効** *	パスワードによって**仕様設定**および**レポート / リスト**へのアクセスを制限しません。
	有効	パスワードによって**仕様設定**および**レポート / リスト**へのアクセスを制限します。
パスワード設定	**0000–9999**	**仕様設定**および**レポート / リスト**にアクセスするためのパスワードを設定または変更します。

●サービス制限

目的：

本機の各サービスを有効化するか、サービスの使用にパスワードを要求するかを指定し、パスワードを設定または変更する。

参照：

- 「本機の操作を制限する」（351 ページ）

補足：

- **サービス制限**の項目には、**操作制限設定**が**有効**に設定されている場合にしかアクセスできません。

値：

コピー	**使用許可** *	コピーサービスを有効化します。
	使用禁止	コピーサービスを無効化します。
	パスワード	コピーサービスを有効化しますが、パスワードは要求します。
ファクス	**使用許可** *	ファクスサービスを有効化します。
	使用禁止	ファクスサービスを無効化します（本機はファクスを送受信しません）。
	パスワード	ファクスサービスを有効化しますが、ファクス送信にパスワードを要求します（ファクス受信にはパスワード不要）。

スキャナー	使用許可 *	スキャナーサービスを有効化します。
	使用禁止	スキャナーサービスを無効化します。
	パスワード	スキャナーサービスを有効化しますが、パスワードは要求します。
パスワード設定	0000–9999	コピー、ファクス、スキャナーのサービスを使用するのに必要なパスワードを設定または変更します。

●親展受信

目的：

受信ファクスの印刷にパスワードを要求するかどうかを設定し、パスワードを設定または変更する。**親展受信設定**を**有効**に設定している場合、受信したファクスは保存され操作パネルで正しいパスワードが入力されると印刷されます。

補足：

- **親展受信**の項目には、**操作制限設定**が**有効**に設定されている場合にしかアクセスできません。

値：

親展受信設定	無効 *	受信ファクスの印刷にパスワードを要求しません。
	有効	受信ファクスの印刷にパスワードを要求します。
パスワード設定	0000–9999	受信ファクスを印刷するためのパスワードを設定または変更します。

スキャナー (メール送信)

スキャナー (メール送信) メニューを使用して送信元を編集します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●送信元編集

目的：

送信元の編集を有効化または無効化する。

値：

無効	送信元の編集を無効化します。
有効 *	送信元の編集を有効化します。

USB 設定

USB 差込口に関わる本機の設定を変更するには、**USB 設定**を使用します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●ポート起動

目的：

USB インターフェイスを有効化または無効化する。

値：

無効	USB インターフェイスを無効化します。
有効 *	USB インターフェイスを有効化します。

■初期値設定

初期値設定メニューを使用して本機のデフォルトのコピー、スキャナー、ファクス設定を行います。

コピーの初期値設定

コピーの初期値設定メニューを使用してさまざまなコピー機能を設定します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●ソート / スタック

目的：

コピージョブをソートする。

値：

スタック (ページ毎)*	コピージョブをソートしません。
ソート (1 部毎)	コピージョブをソートします。
自動	コピージョブに合わせて自動でソートします。

●倍率選択

目的：

デフォルトのコピー拡大／縮小比率を設定する。

値：

mm 系列

200%
141% A5→A4
122% A5→B5
100%*
81% B5→A5
70% A4→A5
50%

インチ系列

200%
154% 5.5x8.5"→ リーガル
129% 5.5x8.5"→ レター
100%*
78% リーガル → レター
64% 11x17"→ レター
50%

補足：

- テンキーを使用して 25% から 400% の間で任意のズーム比率を入力したり、▶ボタンと◀ボタンで 1% きざみにズーム比を上下させることも可能です。
- この項目は、**2 アップ**が**オフ**または**手動**に設定されている場合にのみ利用可能となります。

●原稿のサイズ

目的：

デフォルトの原稿サイズを指定する。

値：

A4 (210 × 297mm)*
A5 (148 × 210mm)
B5 (182 × 257mm)
8.5×11"(レター)
8.5×13"
8.5×14"(リーガル)
7.25×10.5"

●原稿の種類

目的：

コピー画質を選択する。

値：

文字	テキストを含む原稿に適しています。
文字 / 写真 *	テキストと写真 / グレー階調の両方を含む原稿に適しています。
写真	写真を含む原稿に適しています。

●濃度

目的：

デフォルトのコピー濃度レベルを設定する。

値：

うすく 2	コピーを原稿よりも薄くします。濃い原稿に適しています。
うすく 1	
ふつう *	標準的な活字や印刷された文書に適しています。
こく 1	コピーを原稿よりも濃くします。薄い原稿や淡い鉛筆の書き込みに適しています。
こく 2	

●シャープネス

目的：

デフォルトのシャープネスレベルを設定する。

値：

つよく 2	コピーを原稿よりもシャープにします。
つよく 1	
中 *	原稿と同じシャープネスでコピーを行います。
よわく 1	コピーを原稿よりもソフトにします。
よわく 2	

●地色除去

目的：

原稿の背景を抑えてコピー原稿のテキストを強調する。

値：

オフ	背景を抑制しません。
オン *	原稿の背景を抑えてコピー原稿のテキストを強調します。

●グレーバランス

目的：

デフォルトのグレーバランスレベルを -2 から +2 の範囲で指定する。工場出荷時のメニュー設定は 0 です。

●2 アップ

目的：

2 ページの原稿を 1 枚の用紙に合わせて印刷する。

値：

オフ *	2 アップ印刷をしません。
自動	2 ページの原稿を 1 枚の用紙に合わせて自動的に縮小して印刷することができます。
ID カードコピー	2 ページの原稿を元のサイズで 1 枚に印刷します。
手動	2 ページの原稿を**倍率選択**で指定したサイズで 1 枚に印刷します。

●上下枠消し量

目的：

上下の余白の値を指定する。

値：

4mm*/0.2 inch*	1mm/0.1 インチきざみの値を指定します。
0-50mm/0.0-2.0 inch	

●左右枠消し量

目的：

左右の余白の値を指定する。

値：

4mm*/0.2 inch*	1mm/0.1 インチきざみの値を指定します。
0-50mm/0.0-2.0 inch	

●中消し量

目的：

中間の余白の値を指定する。

値：

0mm*/0.0 inch*	1mm/0.1 インチきざみの値を指定します。
0-50mm/0.0-2.0 inch	

スキャナーの初期値設定

スキャナーの初期値設定メニューを使用してさまざまなスキャナー機能を設定します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●スキャナー (ネットワーク)

目的：

ネットワークサーバーまたはコンピューターにスキャンした画像を保存する。

値：

PC(ネットワーク)*	SMB(Server Message Block) プロトコルを使用してコンピューターにスキャンした画像を保存します。
サーバー (FTP)	FTP プロトコルを使用してサーバー上にスキャン画像を保存します。

●ファイル形式

目的：

スキャンした画像のファイル形式を指定する。

値：

PDF*
TIFF
JPEG

●カラーモード

目的：

カラーモードを設定する。

値：

白黒	白黒モードでスキャンします。**ファイル形式**が **PDF** または **TIFF** に設定されている場合にのみ利用可能です。
グレースケール	グレースケールモードでスキャンします。
カラー *	カラーモードでスキャンします。
カラー (写真)	カラーモードでスキャンします。写真の画像に適しています。

●解像度

目的：

デフォルトのスキャン解像度を指定する。

値：

200 × 200dpi*
300 × 300dpi
400 × 400dpi
600 × 600dpi

●原稿のサイズ

目的：

デフォルトの原稿サイズを指定する。

値：

値
A4 (210 × 297mm)*
A5 (148 × 210mm)
B5 (182 × 257mm)
8.5×11"(レター)
8.5×13"
8.5×14"(リーガル)
7.25×10.5"

●濃度

目的：

デフォルトのスキャン濃度レベルを設定する。

値：

値	説明
うすく 2	スキャン画像を原稿よりも薄くします。濃い原稿に適しています。
うすく 1	
ふつう *	標準的な活字や印刷された文書に適しています。
こく 1	スキャン画像を原稿よりも濃くします。薄い原稿や淡い鉛筆の書き込みに適しています。
こく 2	

●シャープネス

目的：

デフォルトのシャープネスレベルを設定する。

値：

値	説明
つよく 2	スキャン画像を原稿よりもシャープにします。
つよく 1	
中 *	原稿と同じシャープネスでスキャンを行います。
よわく 1	スキャン画像を原稿よりもソフトにします。
よわく 2	

●地色除去

目的：

原稿の背景を抑えてスキャン画像のテキストを強調する。

値：

値	説明
オフ	背景を抑制しません。
オン *	原稿の背景を抑えてスキャン画像のテキストを強調します。

●上下枠消し量

目的：

上下の余白の値を指定する。

値：

2mm*/0.1 inch*	1mm/0.1 インチきざみの値を指定します。
0-50mm/0.0-2.0 inch	

●左右枠消し量

目的：

左右の余白の値を指定する。

値：

2mm*/0.1 inch*	1mm/0.1 インチきざみの値を指定します。
0-50mm/0.0-2.0 inch	

●中消し量

目的：

中間の余白の値を指定する。

値：

0mm*/0.0 inch*	1mm/0.1 インチきざみの値を指定します。
0-50mm/0.0-2.0 inch	

●TIFF 形式

目的：

TIFF ファイル形式を指定する。

値：

TIFF V6*
TTN2

●画像圧縮率

目的：

画像圧縮レベルを指定する。

値：

高	画像圧縮レベルを**高**に設定します。
中*	画像圧縮レベルを**中**に設定します。
低	画像圧縮レベルを**低**に設定します。

●メールサイズ制限

目的：

送信可能な最大電子メールサイズを 50 ～ 16384 キロバイトの範囲で指定する。デフォルト設定は 2048 キロバイトです。

ファクスの初期値設定

ファクスの初期値設定メニューを使用してさまざまなファクス機能を設定します。

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

●解像度

目的：

ファクス送信に使用する解像度レベルを指定する。

値：

標準 *	通常サイズの文字を含む原稿に適しています。
高画質	小さい文字や微細な線の入った原稿やドットマトリックスプリンターで印刷した原稿に適しています。
超高画質 (203x392dpi)	精緻なディテールを含む原稿に適しています。超高画質モードは、受信側の機械も超高画質の解像度に対応している場合にのみ有効です。
超高画質 (406x392dpi)	

●原稿の種類

目的：

デフォルトの原稿種類を指定する。

値：

文字 *	テキストを含む原稿に適しています。
写真	写真を含む原稿に適しています。

●濃度

目的：

デフォルトのファクス濃度レベルを設定する。

値：

うすく 2	ファクス送信データを原稿よりも薄くします。濃い原稿に適しています。
うすく 1	
ふつう *	標準的な活字や印刷された文書に適しています。
こく 1	ファクス送信データを原稿よりも濃くします。薄い原稿や淡い鉛筆の書き込みに適しています。
こく 2	

●時刻指定送信

目的：

この機能を使用すれば、ファクス送信を開始する時間を設定できます。時刻指定送信モードを有効化すると、ファクス送信する文書はすべてメモリーに保存され指定時間に送信されます。時刻指定送信モードでファクス送信が完了すると、メモリー内のデータは消去されます。

値：

21:00*/PM9:00*	指定時間にファクスを送信する場合はファクス送信開始時間を指定します。
0:00 - 23:59 / AM/PM1:00 - 12:59	

■用紙トレイ設定

用紙トレイ設定メニューを使用して、用紙トレイにセットされている用紙のサイズと種類を設定します。

参照：

・「用紙のサイズと種類を設定する」（170 ページ）

用紙トレイ

補足：

- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

目的：

用紙トレイにセットした用紙を指定する。

値：

用紙サイズ	A4 (210×297mm)*			
	A5 (148×210mm)			
	B5 (182×257mm)			
	8.5×11"(レター)			
	7.25×10.5"			
	8.5×13"			
	8.5×14"(リーガル)			
	5.5×8.5"			
	封筒 #10(4.1×9.5")			
	封筒モナーク (3.9×7.5")			
	封筒モナークよこ			
	封筒 C5			
	封筒 DL			
	封筒 DL よこ			
	はがき (100×148mm)			
	往復はがき (148×200mm)			
	封筒洋形 2 号 (114×162mm)			
	封筒洋形 2 号よこ			
	封筒洋形 3 号 (98×148mm)			
	封筒洋形 3 号よこ			
	封筒洋形 4 号 (105×235mm)			
	封筒洋形 6 号 (98×198mm)			
	封筒洋長形 3 号 (120×235mm)			
	封筒長形 3 号 (120×235mm)			
	封筒長形 4 号 (90×205mm)			
	封筒角形 3 号 (216×277mm)			
	ユーザー定義サイズ	たて (Y)	297mm*/11.7inch*	ユーザー定義サイズの用紙の長さを指定します。
			148 - 355mm/5.8-14.0inch	
		よこ (X)	210mm*/8.3inch*	ユーザー定義サイズの用紙の幅を指定します。
			77 - 215mm/3.0-8.5inch	

用紙種類	普通紙 *
	厚紙
	ラベル紙
	封筒
	再生紙
	郵便はがき

補足：

- 対応する用紙サイズについての詳細は、「使用できる用紙」（144 ページ）を参照してください。

■パネル表示言語

補足：

- English に設定した場合、プリンタードライバーや弊社ソフトウエアは英語版を使用してください。なお、英語版のプリンタードライバーは、「製品情報の入手方法」（409 ページ）を参照して弊社のホームページからダウンロードしてください。
- アスタリスク (*) の付いた値は工場設定値です。

目的：

操作パネルで使用する言語を設定する。

参照：

- 「表示言語の設定を変更する」（187 ページ）

値：

English
日本語 *

パネル操作制限機能

この機能は、権限のないユーザーが操作パネルメニューの管理者設定を変更できないようにするものです。ただし、プリンタードライバーを使用して個別の印刷ジョブの設定を選択することは可能です。

ここには下記の項目を記載します：

- 「パネル操作制限を有効化する」（349 ページ）
- 「パネル操作制限を無効化する」（350 ページ）

■パネル操作制限を有効化する

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **セキュリティー**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **パネル操作制限**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. **操作制限設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
6. **有効**を選択し、(OK)ボタンを押します。
7. 必要に応じて**パスワード設定**を選択し、テンキーでパスワードを変更してから(OK)ボタンを押します。

補足：

- パスワードは忘れないでください。パスワードのリセットには下記の手順を行ってください。ただし、宛先表の設定が消去されます。
  1. 本機の電源を切ります。
  2. **仕様設定**ボタンを押しながら本機の電源を入れます。
- **操作制限設定**が**有効**の状態でパスワードを変更する場合は手順 1 ～ 2 を実行し、現在のパスワードを入力して(OK)ボタンを押してください。そして手順 3 から 4 を実行し、**パスワード設定**を選択して(OK)ボタンを押します。新しいパスワードを入力して(OK)ボタンを押します。これでパスワードが変更されます。

■パネル操作制限を無効化する

補足：

- **サービス制限**のすべての項目を**使用許可**に、**親展受信設定**を**無効**に設定している場合**操作制限設定**に**無効**を選択できます。

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. パスワードを入力し、(OK)ボタンを押します。
4. **セキュリティー**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. **パネル操作制限**を選択し、(OK)ボタンを押します。
6. **操作制限設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
7. **無効**を選択し、(OK)ボタンを押します。

本機の操作を制限する

コピーロック、ファクスロック、スキャナーロックのオプションを有効化すると、コピー、ファクス、スキャンの操作が制限されます。

コピーロックを例に、以下にオプションの有効化・無効化の方法について説明します。ファクスロック、スキャナーロックにも同じ手順を行います。

1 **仕様設定**ボタンを押します。

2 **仕様設定**を選択し、OKボタンを押します。

3 **セキュリティー**を選択し、OKボタンを押します。

4 **パネル操作制限**を選択し、OKボタンを押します。

5 **操作制限設定**を選択し、OKボタンを押します。

6 **有効**を選択し、OKボタンを押します。

7 必要に応じて**パスワード設定**を選択し、テンキーでパスワードを変更してからOKボタンを押します。

8 (**戻る**) ボタンを押します。

9 **サービス制限**を選択し、OKボタンを押します。

10 **コピー**を選択し、OKボタンを押します。

11 以下のオプションのいずれかを選択して、OKボタンを押します。

- **使用許可**
- **使用禁止**
- **パスワード**

節電モードの移行時間を設定する

本機の節電移行時間を設定することができます。本機は指定時間後に節電モードに切り替わります。

1 **仕様設定**ボタンを押します。
2 **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3 **システム設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4 **節電移行時間**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5 **低電力タイマー**または**スリープタイマー**を選択し、(OK)ボタンを押します。
6 ▼または▲ボタンを押すかテンキーで任意の値を選択し、(OK)ボタンを押します。
   低電力タイマーは 1 ～ 30 分、**スリープタイマー**は 6 ～ 11 分の範囲で選択できます。
7 前の画面に戻るには、(**戻る**) ボタンを押します。

工場設定にリセットする

NV メモリー初期化を実行して本機を再起動すると、メニュー設定値やデータが工場設定にリセットされます。

補足：

- 下記の手順ではネットワーク設定は初期化されません。
  - 有線ネットワークを初期化するには、「NV メモリー初期化」（320 ページ）を参照してください。
  - ワイヤレスネットワークを初期化するには、「無線 LAN 設定リセット」（318 ページ）を参照してください。

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **メンテナンス**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **NV メモリー初期化**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. メニュー設定値を初期化する場合は、**システムパラメーター**を選択し、(OK)ボタンを押します。

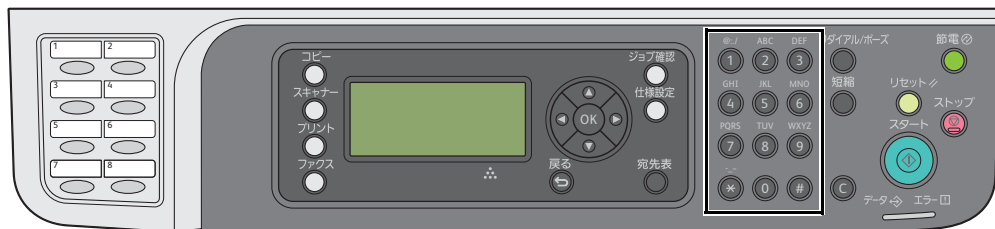
   補足：

   - ファクスの宛先表データを初期化する場合は、**ユーザー情報 (ファクス)** を選択し、(OK)ボタンを押します。
6. **はい**を選択し、(OK)ボタンを押します。

   本機が自動的に再起動して設定が適用されます。

テンキーの使い方

本機の使用中に、数値の入力が必要な場合があります。例えば、パスワードを入力する際は 4 桁の数値を入力します。

名前の登録が必要な場合もあります。例えば、本機の設定を行う際は個人名や会社名 を入力します。短縮宛先やファクスグループを保存する場合にも、名前の登録が必要です。

■文字を入力する

文字の入力を求められたら、LCD ディスプレイに正しい文字が表示されるまでボタンを押します。

例えば、「O」を入力する場合は **6** を押します。

- **6** を押すたびに、LCD ディスプレイに表示される文字が **m**、**n**、**o**、**M**、**N**、**O**、**6** と変わります。
- 文字の入力を続けるには最初の手順を繰り返してください。
- 終了したら OK ボタンを押してください。

<table>
<tr><th>キー</th><th>割り当てられている数字、文字、記号</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1 @ . _ - (空白) \ & ( ) !" # $ % ' ~ ^ | ` ; : ? , + * / = [ ] { }< ></td></tr>
<tr><td>2</td><td>a b c A B C 2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>d e f D E F 3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>g h i G H I 4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>j k l J K L 5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>m n o M N O 6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>p q r s P Q R S 7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>t u v T U V 8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>w x y z W X Y Z 9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>*</td><td>- _ ~</td></tr>
<tr><td>#</td><td>(空白) & ( )</td></tr>
</table>

■数値または名前を変更する

数値または名前の入力を間違えた場合には **C**（**クリア**）ボタンを押して最後の桁・文字を消去してから、正しい数値または文字を入力してください。

10

困ったときには

本章には下記の項目を記載します：

紙づまりの処理

ここには下記の項目を記載します：

紙づまりは、適切な用紙を使用し正しくセットすることによって防止できます。

参照：

- 「用紙について」（138 ページ）
- 「対応用紙」（143 ページ）

補足：

- 大量の用紙を購入する前にサンプルを試してみることをお勧めします。

■紙づまりを防ぐために

- 推奨紙をご使用ください。
- 正しい用紙セットの方法については「用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする」（151 ページ）および「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」（158 ページ）を参照してください。
- 用紙をセットしすぎないようにしてください。用紙は用紙ガイド（サイドガイド）の用紙上限線を超えないようにしてください。
- しわや折れ、湿り、カールのある用紙はセットしないでください。
- セットする前に用紙をほぐし、よくさばいて平坦にしてください。用紙がつまるような場合は、用紙トレイ (MPF) または用紙トレイ (PSI) から 1 枚ずつ用紙を給紙してください。
- カット、トリミングした用紙は使用しないでください。
- 異なる用紙サイズ、質量、種類の用紙を混ぜて使用しないでください。
- 用紙は推奨印刷面が上を向くように挿入してください。
- 用紙は保管に適した環境に保管してください。
- 印刷中に用紙カバーを取り外さないでください。
- 本機のケーブルがすべて正しく接続されていることを確認してください。
- 用紙ガイドを締め付けすぎると紙づまりの原因となる場合があります。

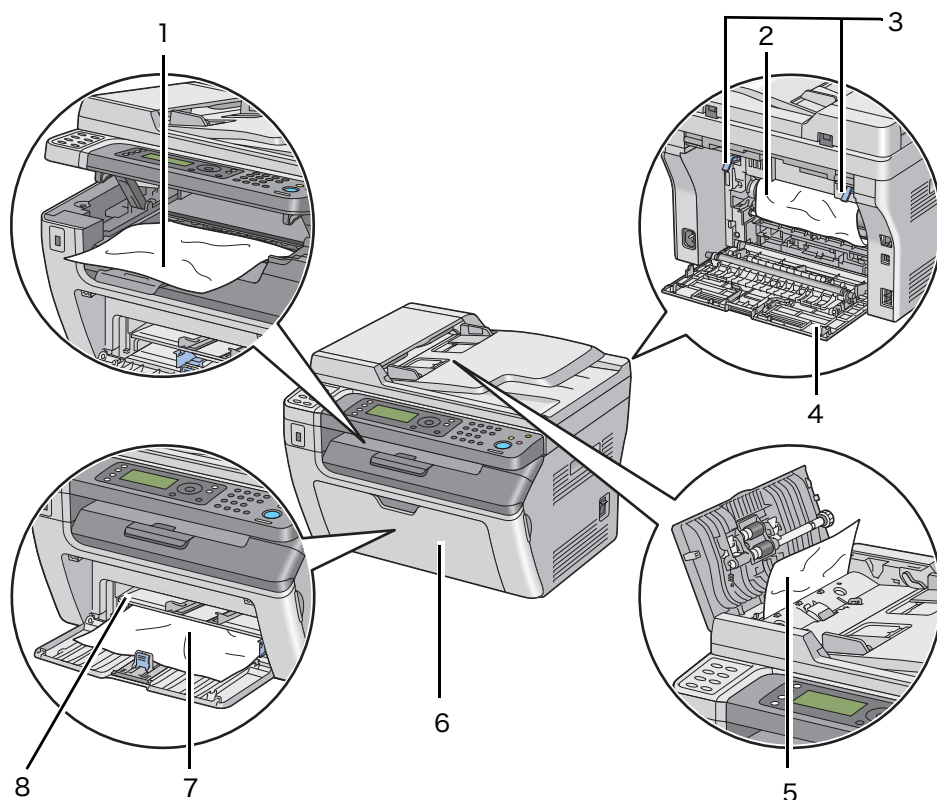
参照：

- 「用紙について」（138 ページ）
- 「対応用紙」（143 ページ）
- 「用紙の保管ガイドライン」（141 ページ）

紙づまりの発生箇所を特定する

> **注意：**
> - **機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着装置やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。**

注記：
- 工具や器具を使用して詰まった紙を取り出さないでください。本機が損傷する可能性があります。

次の図に、紙づまりが発生しやすい場所を示します。

1	排出トレイ
2	転写ドラム
3	レバー
4	背面カバー
5	トップカバー
6	フロントカバー
7	用紙トレイ (MPF)
8	用紙トレイ (PSI)

■自動原稿送り装置の紙づまり

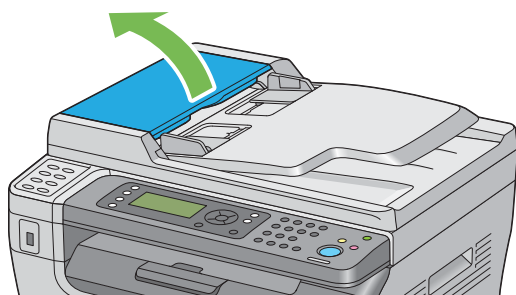
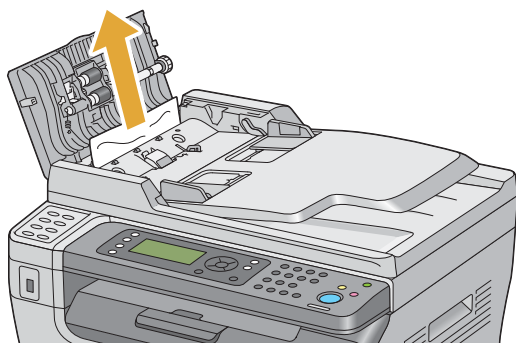
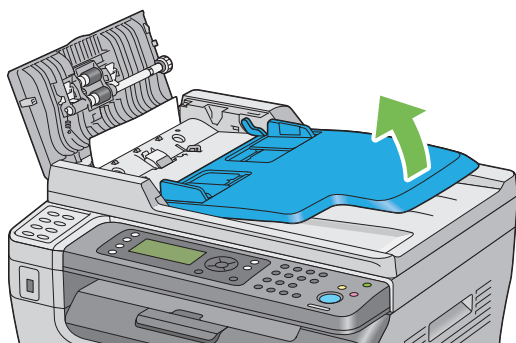
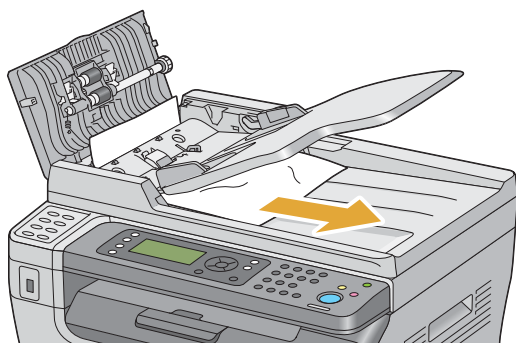
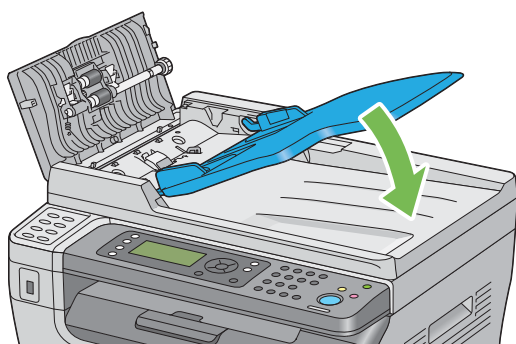
自動原稿送り装置を使用して紙づまりが発生した場合、下記の手順でつまりを除去してください。

注記：

- 感電防止のため、メンテナンス実施前に必ず本機の電源を切って電源コンセントから電源コードを抜いてください。
- やけど防止のため、印刷直後には詰まった紙を取り除かないでください。使用後は定着装置が非常に高温になっています。

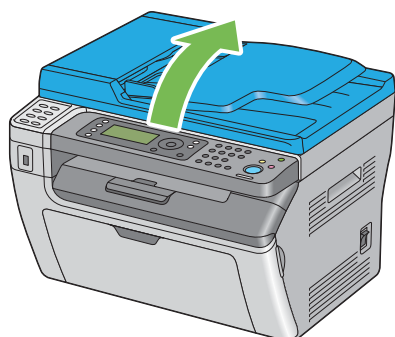
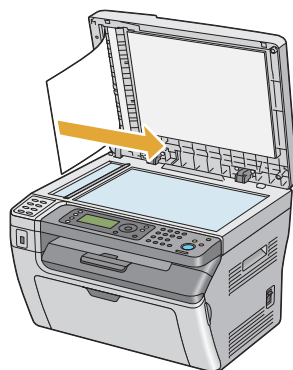
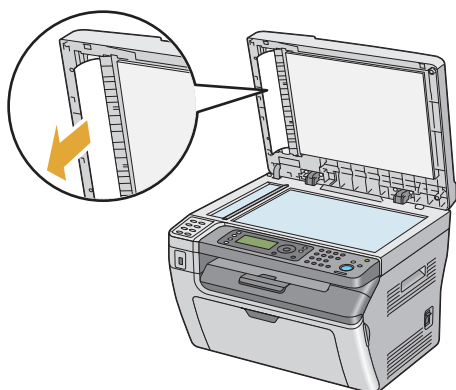
補足：

- LCD ディスプレイに表示されたエラーを解決するには、紙づまりをすべて取り除く必要があります。

1 トップカバーを開きます。

2 詰まった紙は、下図に示す矢印の方向に慎重に引き抜いて除去してください。

3 紙を引っ張りにくい場合は原稿送りトレイを開きます。

4 原稿受けから詰まった紙を除去します。

5 原稿送りトレイを閉じます。

6 トップカバーを閉じ、原稿を自動原稿送り装置にセットしなおします。

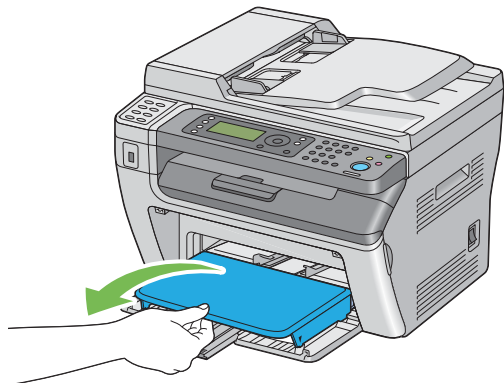
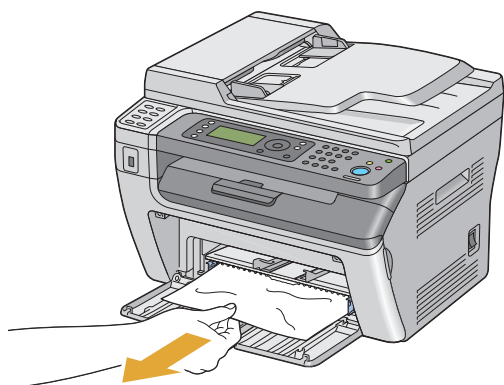
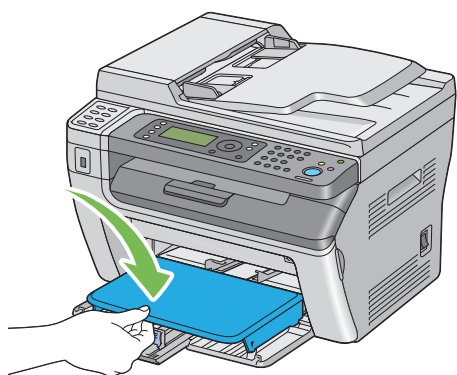
補足：

- リーガルサイズの原稿を印刷する場合は必ず原稿ガイドを調整してください。

7 原稿受けから詰まった紙を除去できない、または詰まった紙が確認できない場合は、原稿カバーを開きます。

8 下図に示す矢印の方向に慎重に引き抜いて、原稿送りローラーまたは給紙部分から紙を除去します。

■本機前面の紙づまり

補足：

- LCD ディスプレイに表示されたエラーを解決するには、紙づまりをすべて取り除く必要があります。

1. 用紙カバーを取り外します。

2. 本機の前面から詰まった紙を取り除きます。

3. 本機に用紙カバーを再セットします。

4. 本機を復帰するには、［**プリンターの状態**］ウィンドウの指示に従って操作パネル上のボタンを押してください。

注記：

- 用紙カバーに力をかけすぎないでください。本機または本機内部が損傷する可能性があります。

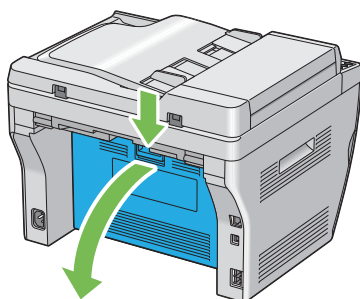
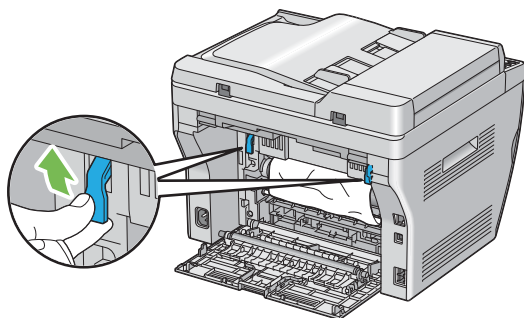
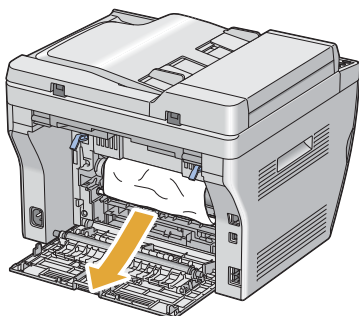
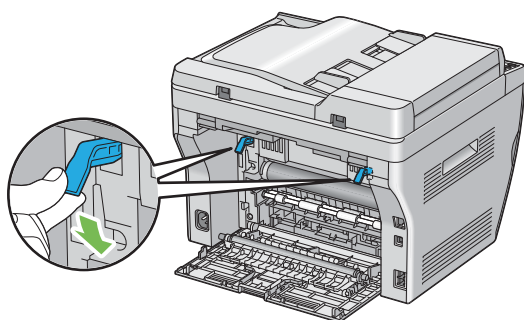
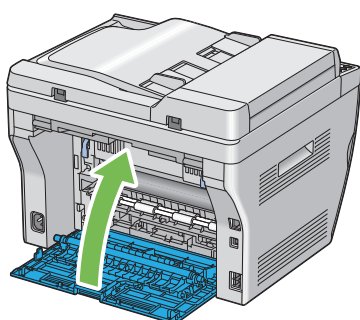
■本機背面の紙づまり

注記：

- 感電防止のため、メンテナンス実施前に必ず本機の電源を切って電源コンセントから電源コードを抜いてください。
- やけど防止のため、印刷直後には詰まった紙を取り除かないでください。使用後は定着装置が非常に高温になっています。

補足：

- LCD ディスプレイに表示されたエラーを解決するには、紙づまりをすべて取り除く必要があります。

1 背面カバーのハンドルを押して背面カバーを開きます。

2 レバーを上げます。

3 本機の背面から詰まった紙を取り除きます。

4 レバーを元の位置まで下げます。

5 背面カバーを閉じます。

エラーが解決しない場合は本機内部に用紙の一部が残っている可能性があります。紙づまりを取り除くために次の手順を実行してください。

6 用紙がセットされていない場合は、用紙トレイ (MPF) または用紙トレイ (PSI) に用紙をセットします。

7 操作パネルの**リセット**ボタンを 3 秒間押します。

用紙が送り出され、紙づまりしていた用紙が押し出されます。

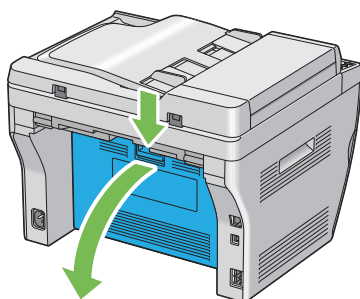
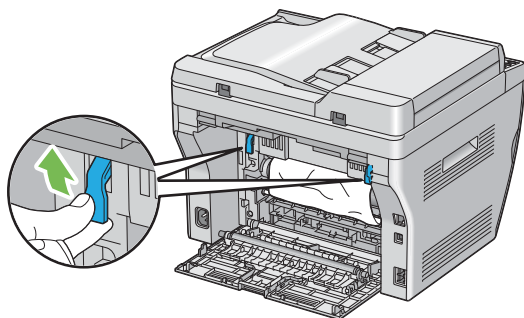
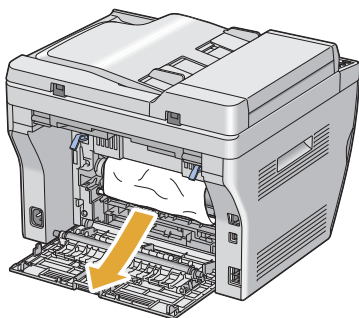
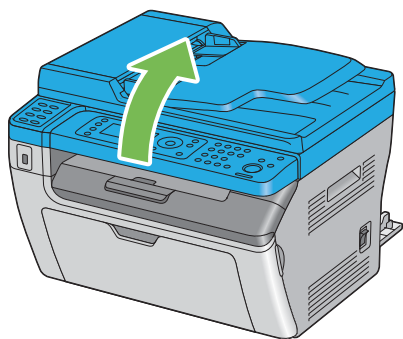
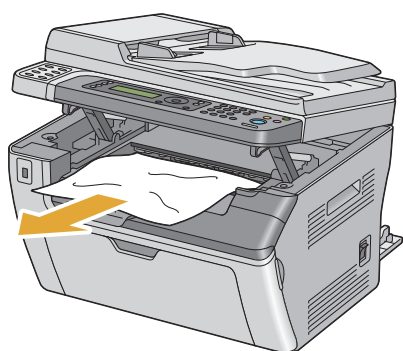
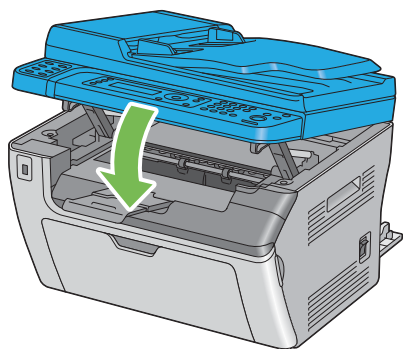
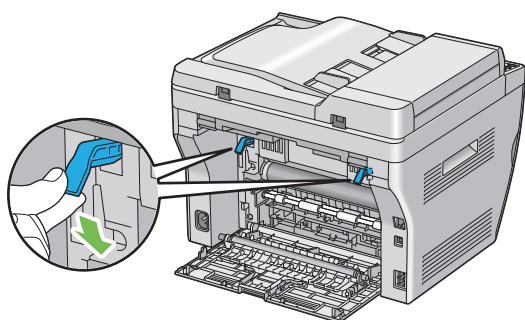
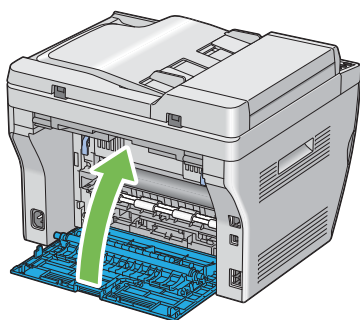
■排出トレイ付近の紙づまり

注記：

- 感電防止のため、メンテナンス実施前に必ず本機の電源を切って電源コンセントから電源コードを抜いてください。
- やけど防止のため、印刷直後には詰まった紙を取り除かないでください。使用後は定着装置が非常に高温になっています。

補足：

- LCD ディスプレイに表示されたエラーを解決するには、紙づまりをすべて取り除く必要があります。

1 背面カバーのハンドルを押して背面カバーを開きます。

2 レバーを上げます。

3 本機の背面から詰まった紙を取り除きます。背面に詰まった紙がない場合は、本機を正面から見て排出トレイを確認します。

4　原稿読み取り部を持ち上げて開きます。

5　排出トレイから詰まった紙を取り除きます。

6　原稿読み取り部を下げて閉じます。

7　レバーを元の位置まで下げます。

8 背面カバーを閉じます。

エラーが解決しない場合は本機内部に用紙の一部が残っている可能性があります。紙づまりを取り除くために次の手順を実行してください。

9 用紙がセットされていない場合は、用紙トレイ (MPF) または用紙トレイ (PSI) に用紙をセットします。

10 操作パネルの**リセット**ボタンを 3 秒間押します。

用紙が送り出され、紙づまりしていた用紙が押し出されます。

■用紙トレイ、原稿トレイ付近の紙づまり

ここには下記の項目を記載します：

- 「用紙送り失敗による紙づまり」(370 ページ)
- 「用紙重なりによる紙づまり」(370 ページ)

用紙送り失敗による紙づまり

問題	処置
用紙トレイからの用紙送りが失敗する。	用紙トレイ (PSI) から用紙を取り出し、用紙トレイ (MPF) に正しく用紙が挿入されていることを確認してください。
	ご使用の用紙に応じて下記の処置のいずれかを実施してください。 • 厚紙の場合は 163 g/m^2 以下のものを使用します。 • はがきの場合は 190 g/m^2 以下のものを使用します。 • 薄紙の場合は 60 g/m^2 以上のものを使用します。 • 封筒の場合は「用紙トレイ (MPF) に封筒をセットする」(154 ページ) または「用紙トレイ (PSI) に封筒をセットする」(160 ページ) で指示されているとおりに正しく用紙トレイ (MPF) または用紙トレイ (PSI) に挿入されているか確認します。
	封筒が変形している場合は、変形をなおすか別の封筒を使用してください。
	手動両面印刷を行う場合、用紙がカールしていないか確認してください。
	用紙をよくさばいてください。
	紙が湿っている場合は湿っていない用紙を使用してください。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

用紙重なりによる紙づまり

問題	処置
用紙トレイから、用紙が重なって給紙される。	用紙トレイ (PSI) から用紙を取り出し、用紙トレイ (MPF) に正しく用紙が挿入されていることを確認してください。
	用紙が湿っている場合は湿っていない用紙を使用してください。
	用紙をよくさばいてください。
複数の原稿のスキャン実行中にスキャンを中止すると、自動原稿送り装置に紙づまりが発生する。	詰まりを除去してください。 **参照：** • 「自動原稿送り装置の紙づまり」(361 ページ)

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

機械本体に関する基本的な問題

機械本体の問題には簡単に解決できるものもあります。本機に問題が発生した場合は下記を確認してください。

- 電源コードが本機に接続されており、正しく電源コンセントにつながれている。
- 本機の電源が入っている。
- 電源コンセントのブレーカーがオンで電気が通っている。
- コンセントにつながれているその他の電気機器が作動している。
- 本機をワイヤレス接続でコンピューターに接続している場合、本機とネットワーク間にイーサネットケーブルが接続されていない。

上記をすべてチェックしても問題が解決しない場合は、本機の電源を切って 10 秒間待ってから再度電源を入れてください。多くの場合はこれで問題が解決します。

表示に関する問題

問題	処置
本機の電源を入れても LCD ディスプレイに何も表示されず、ずっと富士ゼロックスのロゴが表示される、またはバックライトが点灯しない。	本機の電源を切り、10 秒待ってから電源を入れなおしてください。LCD ディスプレイにセルフテストメッセージが表示されます。テストが完了したら**機能を選択してください**画面が表示されます。
操作パネルから変更したメニュー設定が反映されない。	プリンタードライバー、ユーティリティからの設定は操作パネルで行った設定よりも優先します。 操作パネルではなくプリンタードライバー、ユーティリティのメニュー設定を変更してみてください。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

印刷に関する問題

問題	処置
印刷ジョブの実行中に本機が停止する。	LCD ディスプレイまたは SimpleMonitor の［**プリンターの状態**］ウィンドウにメッセージが表示されていないか確認してください。 ［本体が冷えるまでそのままお待ちください］というメッセージが表示されている場合は、本機の温度が高くなりすぎているために冷却運転をしていますので、数分待機してください。 本機の冷却が終われば印刷が再開されます。
ジョブが印刷されない、または誤った文字が印刷される。	ジョブを送信する前に LCD ディスプレイに**機能を選択してください**画面が表示されていることを確認してください。
	本機に用紙がセットされているか確認してください。
	正しいプリンタードライバーを使用していることを確認してください。
	正しいイーサネットケーブルまたは USB ケーブルが本機にしっかりと接続されていることを確認してください。
	正しい用紙サイズが選択されていることを確認してください。
	プリントスプーラーを使用している場合は、スプーラーが停止していないか確認してください。
	仕様設定から本機のインターフェイスを確認してください。 使用するホストインターフェイスを決定してください。システム設定リストを印刷して現在のインターフェイス設定が正しいことを確認します。システム設定リストを印刷する方法については「システム設定リストを印刷する」（185 ページ）を参照してください。
用紙送りが失敗する、または用紙が重なって給紙される。	ご使用の用紙が本機の仕様に適合していることを確認してください。 **参照：** • 「使用できる用紙」（144 ページ）
	セットする前に用紙をよくさばいてください。
	用紙が正しくセットされているか確認してください。
	用紙ガイド（サイドガイド）と用紙ガイド（エンドガイド）が正しく調整されているか確認してください。
	用紙をセットしすぎないようにしてください。
	用紙をセットする際、用紙トレイ (PSI) または用紙トレイ (MPF) に無理に押し込まないようにしてください。斜めになったり曲がったりする可能性があります。
	用紙が反っていない（カールしていない）か確認してください。
	ご使用の用紙の推奨印刷面を正しくセットしてください。 **参照：** • 「用紙のセットのしかた」（148 ページ）
	用紙を裏返したり方向を変えたりして、給紙が改善されるか確認してください。
	異なる用紙種類を混ぜ合わせないでください。
	異なる用紙サイズを混ぜ合わせないでください。
	用紙をセットする前に、用紙束の一番上と一番下の反った（カールした）紙を取り除いてください。
	用紙は必ず空になってからセットしてください。

問題	処置
印刷後、封筒が折れている。	「用紙トレイ (MPF) に封筒をセットする」（154 ページ）または「用紙トレイ (PSI) に封筒をセットする」（160 ページ）の指示に従って、封筒が正しくセットされているか確認してください。
予期しない場所で改ページされている。	設定管理ツールの［**メンテナンス**］タブにある［**システム設定**］メニューで、［**エラータイムアウト**］の値を上げてください。
	CentreWare Internet Services の［**プロトコル設定**］メニューでタイムアウト値を上げてください。
用紙が排出トレイにきちんと排出されない。	用紙トレイ (PSI)、用紙トレイ (MPF) の用紙を裏返してください。
本機が両面印刷をしない。	プリンタードライバーの［**用紙 / 出力**］タブの［**両面**］から［**短辺とじ**］または［**長辺とじ**］を選択してください。
印刷速度が遅くなる。	本機の内部温度が上昇したため、印刷速度を落として印刷しています。本機の内部温度が下がると、通常の速度で印刷を再開しますのでしばらくしてから印刷を再開してください。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

印刷品質に関する問題

ここには下記の項目を記載します：

補足：

- ここで説明する手順には、設定管理ツールまたは SimpleMonitor を使用するものがあります。設定管理ツールを使用する手順は、操作パネルからも実行可能です。

参照：

- 「本機のメニューについて」（312 ページ）
- 「設定管理ツール（Windows のみ）」（59 ページ）
- 「SimpleMonitor（Windows のみ）」（60 ページ）

■印刷がうすい

問題	処置
印刷がうすい。	トナーカートリッジの残量が少ないか、交換の必要があることが考えられます。トナーカートリッジのトナー残量を確認してください。 1 SimpleMonitor の［**プリンターの状態**］ウィンドウで［**消耗品**］タブからトナー残量を確認します。 2 必要に応じてトナーカートリッジを交換します。
	用紙に湿気がないこと、正しい用紙が使用されていることを確認してください。 そうでない場合は、本機の推奨用紙を使用してください。 **参照：** • 「使用できる用紙」（144 ページ）
	プリンタードライバーで［**用紙種類**］の設定を変更してみてください。 1 プリンタードライバーの［**印刷設定**］の［**用紙 / 出力**］タブで、［**用紙種類**］設定を変更します。
	プリンタードライバーの［**トナー節約**］を無効化してください。 1 プリンタードライバーの［**印刷設定**］の［**グラフィックス**］タブで、［**トナー節約**］チェックボックスの選択が外れていることを確認します。

補足：

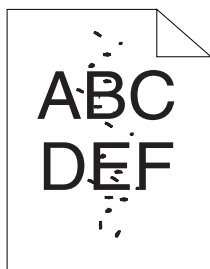
- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■トナー汚れまたは印刷はがれがある／うら面にしみがでる

問題	処置
トナー汚れまたは印刷はがれがある。 印刷のうら面に汚れがある。	用紙表面にムラがある可能性があります。プリンタードライバーで［**用紙種類**］の設定を変更してみてください。例えば、普通紙を厚紙に変更します。 1 プリンタードライバーの［**印刷設定**］の［**用紙 / 出力**］タブで、［**用紙種類**］設定を変更します。
	正しい用紙が使用されていることを確認してください。 そうでない場合は、本機の推奨用紙を使用してください。 **参照：** • 「使用できる用紙」（144 ページ）
	定着装置の温度を調節してください。 1 設定管理ツールを起動し、［**メンテナンス**］タブの［**定着温度調整**］をクリックします。 2 ご使用の用紙に合わせて値を選択し、固定温度を調節します。印刷した紙がカールしている場合は温度を下げ、紙に正しくトナーが定着していない場合は温度を上げます。 3［**新しい設定を適用**］ボタンをクリックします。

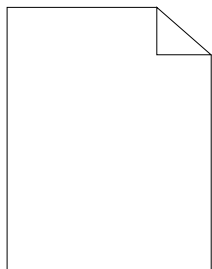
補足：

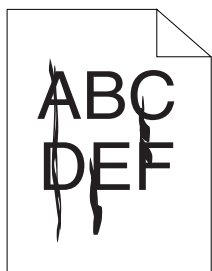
- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■まばらな点／画像のぼやけがある

問題	処置
印刷にまばらな点やボケがある。	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 **参照：** • 「トナーカートリッジを取り付ける」（422 ページ）
	非純正品のトナーカートリッジをご使用の場合は、純正品のトナーカートリッジをセットしてください。
	定着装置を清掃してください。 1 用紙トレイに用紙を 1 枚セットして、紙全体にベタ画像を印刷します。 2 印刷した用紙を印刷面を下にしてセットし、白紙の紙を印刷します。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■何も印刷されない

この問題については、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■筋がでる

この問題については、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■斑紋がある

<table>
<tr><th>問題</th><th>処置</th></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷に斑紋がある。</td><td>転写ロール電圧を調節してください。
1 設定管理ツールを起動し、［メンテナンス］タブの［BTR 電圧調整］をクリックします。
2 ご使用の用紙種類に合わせて設定します。斑紋がある場合は電圧を上げ、白点があるときは電圧を下げます。
3［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>非推奨用紙を使用している場合は、本機に推奨されている用紙を使用してください。</td></tr>
</table>

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■ゴーストがある

<table>
<tr><th>問題</th><th>処置</th></tr>
<tr><td rowspan="3">印刷にゴーストがある。</td><td>用紙表面にムラがある可能性があります。プリンタードライバーで［用紙種類］の設定を変更してみてください。例えば、普通紙を厚紙に変更します。
1 プリンタードライバーの［印刷設定］の［用紙 / 出力］タブで、［用紙種類］設定を変更します。</td></tr>
<tr><td>定着装置の温度を調節してください。
1 設定管理ツールを起動し、［メンテナンス］タブの［定着温度調整］をクリックします。
2 ご使用の用紙に合わせて値を設定し、固定温度を調節します。印刷した紙がカールしている場合は温度を下げ、紙に正しくトナーが定着していない場合は温度を上げます。
3［新しい設定を適用］ボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>非推奨用紙を使用している場合は、本機に推奨されている用紙を使用してください。</td></tr>
</table>

補足：

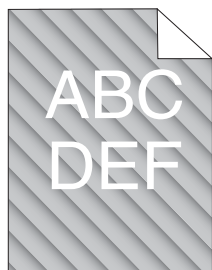
- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■キャリア現象 (BCO) がある

問題	処置
キャリア現象 (BCO) が発生している。	本機を高地に設置する場合は、設置場所の高度を設定してください。 1 設定管理ツールを起動し、[**メンテナンス**] タブの [**高度補正**] をクリックします。 2 本機設置場所の高度に近い値を選択します。 3 [**新しい設定を適用**] ボタンをクリックします。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■斜線が入る

問題	処置
印刷に斜線が入っている。	トナーカートリッジの残量が少ないか、交換の必要があることが考えられます。トナーカートリッジのトナー残量を確認してください。 1 SimpleMonitor の［**プリンターの状態**］ウィンドウで［**消耗品**］タブからトナー残量を確認します。 2 必要に応じてトナーカートリッジを交換します。
	［**リフレッシュモード**］を実行します。 1 設定管理ツールを起動し、［**診断**］タブの［**リフレッシュモード**］をクリックします。 2［**トナー帯電除去 (ブラック)**］ボタンをクリックします。

補足：

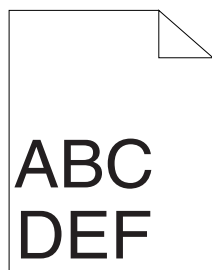
- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■紙が折れている／しみがある

<table>
<tr><th>問題</th><th>処置</th></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷した用紙が折れている。
印刷した用紙にしみがある。</td><td>正しい用紙が使用されていることを確認してください。
そうでない場合は、本機の推奨用紙を使用してください。
折れ、紙しわが過度に発生する場合は、新しいパッケージから用紙を取り出し、使用してください。
参照：
• 「使用できる用紙」（144 ページ）
• 「用紙について」（138 ページ）</td></tr>
<tr><td>封筒の場合、折れが封筒の四辺から 30mm の範囲内かどうか確認してください。
折れが封筒の四辺から 30mm の範囲内であれば正常な状態であり、本機に異常はありません。
そうでない場合は次の処置を行ってください。
• 220mm 以上の長さがあり長辺にフラップがついた封筒 #10 の封筒の場合は、別のサイズの封筒を使用してください。
• 220mm 以上の長さがあり短辺にフラップがついた封筒 C5 の封筒の場合は、フラップが開いた状態で上向きに用紙トレイ (MPF) にセットしてください。
• 220mm 未満の長さの封筒モナークまたは封筒 DL の封筒の場合は、フラップが開いた状態で上向きに用紙トレイ (MPF) に長辺送り（よこ）方向でセットしてください。
問題が解決しない場合は別のサイズの封筒を使用してください。</td></tr>
</table>

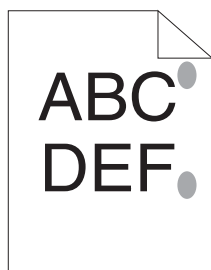
補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

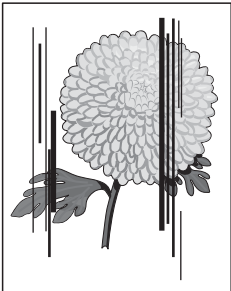
■ 上部の余白が間違っている

問題	処置
上部の余白が間違っている。	ご使用のアプリケーションで余白が正しく設定されているか確認してください。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

■紙に突出／凹凸がある

問題	処置
印刷面に突出／凹凸ができた。	定着装置を清掃してください。 1 用紙トレイに用紙を 1 枚セットして、紙全体にベタ画像を印刷します。 2 印刷した用紙を印刷面を下にしてセットし、白紙の紙を印刷します。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

コピーに関する問題

問題	処置
自動原稿送り装置にセットした原稿をコピーできない。	トップカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

コピー品質に関する問題

問題	処置
自動原稿送り装置から取ったコピーに線や筋が入る。	原稿読み取りガラスに異物がついていると、スキャンする際に自動原稿送り装置から送られる紙が異物の上を通るため画像に線や筋ができます。 糸くずのでない布で原稿読み取りガラスを清掃してください。 **参照：** • 「原稿読み取り部の清掃」（415 ページ）
原稿ガラスから取ったコピーに点がある。	原稿ガラスに異物がついていると、スキャンする際に異物によって画像に点ができます。 糸くずのでない布で原稿ガラスを清掃してください。 **参照：** • 「原稿読み取り部の清掃」（415 ページ）
原稿のうら面がコピーに映り込む。	**コピー**メニューで**地色除去**を有効化してください。 **地色除去**のオン・オフの詳細については、「地色除去」（208 ページ）を参照してください。
明るい色が消えている、またはコピー原稿が白い。	**コピー**メニューで**地色除去**を無効化してください。 **地色除去**のオン・オフの詳細については、「地色除去」（208 ページ）を参照してください。
画像が薄すぎる／濃すぎる。	**コピー**メニューの**濃度**のオプションを使用してください。 画像を薄くする、または濃くする方法の詳細については「濃度」（206 ページ）を参照してください。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

ファクスの問題

問題	処置
本機が作動しない。LCD ディスプレイに何も表示されない。ボタンが作動しない。	電源コードを接続しなおしてください。
	電源コンセントに電力が通っているか確認してください。
ダイヤルトーンが鳴らない。	電話線が正しく接続されているか確認してください。 **参照：** • 「電話回線を接続する」（258 ページ）
	別の電話機をつないでみて壁の電話線ソケットが作動しているか確認してください。
メモリーに保存されている番号が正しくダイヤルされない。	番号がメモリーに正しく登録されているか確認してください。
本機に原稿が送られない。	原稿が折れていないか、正しくセットされているか確認してください。原稿が正しいサイズのものであり薄すぎず厚すぎないことを確認してください。
	トップカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。
ファクスが自動で受信されない。	**受信モード**に**ファクス専用**を選択してください。
	用紙トレイ (PSI) または用紙トレイ (MPF) に用紙があることを確認してください。
	LCD ディスプレイに**ﾒﾓﾘｰに空きがありません**と表示されていないか確認してください。
本機からファクスが送信できない。	送信先のファクス機がファクスを受信できる状態か確認してください。
受信ファクスに空白がある、または画質が悪い。	送信元のファクス機の不具合である可能性があります。送信元に問題の解決と再送信を依頼してください。
	電話線のノイズによる回線エラーである可能性があります。送信元に再送信を依頼してください。
	コピーを取って本機に問題がないか確認してください。
	トナーカートリッジの残量が空になっている可能性があります。トナーカートリッジを交換してください。 **参照：** • 「トナーカートリッジを交換する」（418 ページ）
着信ファクスの文字の一部が伸びている。	送信元のファクス機に一時的な紙づまりが発生していた可能性があります。送信元に紙づまりの除去と再送信を依頼してください。
送信した文書に線が入る。	原稿読み取りガラスに汚れがないか確認し、清掃してください。 **参照：** • 「原稿読み取り部の清掃」（415 ページ）
本機が番号をダイヤルするが相手ファクス機との接続に失敗する。	相手ファクス機の電源がオフ、用紙切れ、受信不可になっている場合があります。送信元に問題の解決を依頼し、再送信してください。
文書がメモリーに保存されない。	メモリーに文書を保存するための空き容量がなくなっている可能性があります。LCD ディスプレイに**ﾒﾓﾘｰに空きがありません**と表示されている場合はメモリーから不要な文書をすべて削除してから文書を保存するか、現在進行中のジョブ（ファクスの送受信など）が完了するのを待ってください。

問題	処置
ページ下部に空白があり、ページ上部に少量のテキストが印字されている。	間違った用紙設定をしている可能性があります。用紙設定を修正してください。 **参照：** • 「用紙トレイ設定」（344 ページ）
本機がファクスの送受信をしない。	電話線が正しく接続されているか確認してください。 **参照：** • 「電話回線を接続する」（258 ページ）
ファクス送受信中に頻繁にエラーが発生する。	モデム速度を低下させてください。 1 **仕様設定**ボタンを押します。 2 **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。 3 **ファクス設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。 4 **モデムスピード**を選択し、(OK)ボタンを押します。 5 任意のメニュー項目を選択し、(OK)ボタンを押します。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

スキャンの問題

問題	処置
スキャナーが作動しない。	スキャンする原稿を原稿ガラスに下向きに、または自動原稿送り装置に上向きにセットしているか確認してください。
	スキャンする原稿を保持するのに十分なメモリーがない可能性があります。[プレビュー] 機能で状態を確認して、スキャン解像度を下げてみてください。
	正しいイーサネットケーブルまたは USB ケーブルが本機にしっかりと接続されていることを確認してください。
	イーサネットケーブルまたは USB ケーブルに問題がないか確認してください。問題のないケーブルと入れ替えてみて、必要であればケーブルを交換してください。
	スキャナーが正しく設定されていることを確認してください。使用するアプリケーションを確認して、スキャンジョブが正しいポートに送られていることを確認してください。
本機のスキャン速度が非常に遅い。	スキャナー (メール送信) またはスキャナー (ネットワーク) 機能使用時はグラフィックのスキャンはテキストよりも時間がかかります。
	スキャン画像の分析と生成に大量のメモリーが消費されるため、スキャンモードでは通信速度が低下します。
	高解像度で画像をスキャンすると、低解像度でのスキャンよりも時間がかかります。
自動原稿送り装置で用紙送りが失敗する、または用紙が重なって給紙される。	原稿の用紙種類が本機の仕様に適合していることを確認してください。 **参照：** • 「原稿を用意する」(195 ページ) • 「自動原稿送り装置からコピーを行う」(198 ページ)
	自動原稿送り装置に用紙が正しくセットされているか確認してください。
	原稿ガイドの調整が正しく行われているか確認してください。
	原稿枚数が自動原稿送り装置の最大容量を超えていないか確認してください。
	用紙が反っていない（カールしていない）か確認してください。
	自動原稿送り装置にセットする前に用紙をよくさばいてください。
自動原稿送り装置を使用してスキャンすると出力された用紙に縦じまが入る。	原稿読み取りガラスを清掃してください。 **参照：** • 「原稿読み取り部の清掃」(415 ページ)
原稿ガラスでスキャンするとスキャンされたデータに汚れができる。	原稿ガラスを清掃してください。 **参照：** • 「原稿読み取り部の清掃」(415 ページ)
画像が曲がっている。	原稿が自動原稿送り装置または原稿ガラスにまっすぐセットされていることを確認してください。
自動原稿送り装置を使用してスキャンすると斜線がギザギザになる。	原稿が厚紙である場合は原稿ガラスからスキャンしなおしてください。

<table>
<tr><th>問題</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>スキャナー (メール送信) または スキャナー (ネットワーク) 機能を使用すると、スキャンデータが指定出力先に正しく送られない。</td><td>CentreWare Internet Services で、下記の設定が正しく行われているか確認してください。

スキャナー (メール送信)
［アドレス帳］→［アドレス］で下記の設定を確認してください。
• メールアドレス

スキャナー (ネットワーク)
［アドレス帳］→［PC/ サーバー宛先表］で下記の設定を確認してください。
• 名称（プリンターに表示されます）
• ネットワーク種類
• IP アドレス（または DNS 名）
• ポート番号
• ログイン名
• パスワード
• 共有名
• サブディレクトリパス（任意）</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 コンピューター上で WIA を使用してスキャンできない。</td><td>コンピューター上で WIA を有効化してください。
WIA を有効化するには：
1 ［スタート］をクリックし、［管理ツール］にポインタを合わせて［サービス］をクリックします。
2 ［Windows Image Acquisition (WIA)］を右クリックし、［プロパティ］をクリックして［スタートアップの種類］が［手動］または［自動］に設定されていることを確認します。
3 ［OK］をクリックします。
4 ［Windows Image Acquisition (WIA)］をクリックして、［開始］をクリックします。</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 コンピューター上で TWAIN または WIA を使用してスキャンできない。</td><td>コンピューターにデスクトップ エクスペリエンス機能をインストールしてください。
デスクトップ エクスペリエンスをインストールするには：
1 ［スタート］をクリックし、［管理ツール］にポインタを合わせて［サーバーマネージャ］をクリックします。
2 ［機能］で［機能の追加］をクリックします。
3 ［デスクトップ エクスペリエンス］チェックボックスを選択してください。
4 ウィンドウが表示されたら、画面に表示される指示に従います。
5 ［次へ］をクリックし、［インストール］をクリックします。
6 コンピューターを再起動します。</td></tr>
</table>

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

スキャナードライバー／ユーティリティの問題

問題	処置
宛先表データを本機から宛先表ツールに読み込めない。	USB ケーブルまたはイーサネットケーブルでコンピューターと本機が正しく接続されていることを確認してください。
	本機の電源が入っていることを確認してください。
	プリンタードライバーがコンピューターにインストールされていることを確認してください。（宛先表ツールはプリンタードライバーから宛先表を読み込みます。）
TWAIN ドライバーが本機に接続できない。	正しいイーサネットケーブルまたは USB ケーブルが本機にしっかりと接続されていることを確認してください。
	本機の電源が入っているか確認してください。電源が入っている場合は、電源スイッチを入れ直して再起動してください。
	スキャナーアプリケーションが実行中の場合はアプリケーションをいったん終了して再起動し、再度スキャンを実行してみてください。
スキャナードライバーがコンピューター上に登録されておらず、スキャンボタンマネージャーからアクセスできない。	スキャナードライバーをインストールしてください。ドライバーがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてから再インストールしてください。
スキャンボタンマネージャーから本機で原稿をスキャンできない。	USB ケーブルでコンピューターと本機が正しく接続されていることを確認してください。
	本機の電源が入っているか確認してください。電源が入っている場合は、電源スイッチを入れ直して再起動してください。
	スキャナーアプリケーションが実行中の場合はアプリケーションをいったん終了して再起動し、再度スキャンを実行してみてください。
スキャンボタンマネージャーから画像ファイルを作成できない。	十分なハードディスク容量があるか確認してください。
	コンピューターからスキャンボタンマネージャーをアンインストールして再インストールしてください。
スキャンボタンマネージャーを初期化できない。	コンピューターからスキャンボタンマネージャーをアンインストールして再インストールしてください。
スキャンボタンマネージャーを実行できない。	コンピューターからスキャンボタンマネージャーをアンインストールして再インストールしてください。
スキャンボタンマネージャーで予期しないエラーが発生した。	コンピューターからスキャンボタンマネージャーをアンインストールして再インストールしてください。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

その他の問題

問題	処置
本機内部で結露が発生した。	これは通常、冬に部屋を暖めた数時間後に起こります。また、相対湿度が 85% 以上の場所で本機を使用した場合にも起こります。湿度を調節するか、適切な環境に本機を移動してください。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

エラーコードについて

本機の LCD ディスプレイには、本機の現在の状態を示すメッセージが表示されます。また、解決する必要がある本機の問題も表示されます。ここでは、メッセージに含まれるエラーコードとその意味、メッセージをクリアする方法について説明します。

注記：

- エラーメッセージが表示された場合、本機に残っている出力データや本機のメモリーに蓄積されている情報は安全ではありません。

エラーコード	対処方法
005-121	トップカバーを開きます。詰まった紙を除去してトップカバーを閉じます。 **参照：** • 「自動原稿送り装置の紙づまり」（361 ページ）
005-301	トップカバーを閉じてください。
010-397 016-315 016-317 016-372 016-501 016-502	本機の電源を入れなおしてください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」（442 ページ）
016-503	OKボタンを押してメッセージをクリアします。サーバー管理者に問い合わせて、SMTP サーバー設定が正しいか確認してください。
016-504	OKボタンを押してメッセージをクリアします。サーバー管理者に問い合わせて、POP3 サーバーのユーザー名およびパスワードが正しく設定されているか確認してください。
016-506	OKボタンを押してメッセージをクリアします。SMTP サーバーアドレスおよび電子メールの宛先が正しく設定されているか確認してください。
016-507	OKボタンを押してメッセージをクリアします。サーバー管理者に問い合わせて、SMTP サーバーに使用するユーザー名およびパスワードが正しく設定されているか確認してください。
016-718	OKボタンを押してメッセージをクリアします。本機がジョブを実行していないときに再試行してください。
016-719 016-720	OKボタンを押して現在のジョブを中止してください。本機がジョブを実行していないときに再試行してください。
016-744 016-745	OKボタンを押してメッセージをクリアします。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」（442 ページ）
016-749	OKボタンを押して現在のジョブを中止してください。本機がジョブを実行していないときに再試行してください。
016-764	OKボタンを押してメッセージをクリアします。イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも解決しない場合は、SMTP サーバー管理者に問い合わせてください。
016-766	OKボタンを押してメッセージをクリアします。SMTP サーバーの IP アドレスの接続を確認し、サーバーが利用可能かどうか確認してください。それでも解決しない場合は、SMTP サーバー管理者に問い合わせてください。

エラーコード	対処方法
016-767	(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。受信アドレスが正しいか確認してスキャンを再試行してください。
016-791	USB 記憶デバイスを挿入し(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。
016-795	(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。USB 記憶デバイス内のデータのファイル形式がサポートされているものであるか確認してください。
016-797	(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。USB 記憶デバイスで選択したファイルが有効なファイルかどうか確認してください。
016-920	(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。アクセスポイントおよび本機のワイヤレス設定を確認してください。
016-930 016-931	USB 差込口からデバイスを取り外し、(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。
016-981	(OK)ボタンを押して現在のジョブを中止してください。原稿を少なくして再度コピーしてみてください。
016-985	添付ファイルのサイズが設定よりも大きくなっています。(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。下記を試してみてください。 • **メールサイズ制限**を拡大する。 • 解像度設定を下げる。 • スキャンした画像のファイル形式を変更する。
017-970	メモリーがいっぱいであると思われます。(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。下記を試してみてください。 • メモリーに保存されているデータを削除する。 • 解像度設定を下げる。 • 印刷枚数を少なくする。
017-980 017-981	(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。本機がジョブを実行していないときに再試行してください。
017-988	(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。インターフェイスケーブルがしっかりと接続されていること、またはコンピューターに問題がないかを確認してください。
018-338	本機の電源を入れなおしてください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」(442 ページ)
024-340 024-360 024-371	本機の電源を入れなおしてください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」(442 ページ)
024-958	指定用紙をセットし、(OK)ボタンを押してメッセージをクリアします。 **参照：** • 「用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする」(151 ページ) • 「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」(158 ページ)
024-963	(OK)ボタンを押してメッセージをクリアし指定用紙をセットします。画面に指示が表示された場合は指示に従います。 **参照：** • 「用紙トレイ (MPF) に用紙をセットする」(151 ページ) • 「用紙トレイ (PSI) に用紙をセットする」(158 ページ)

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>026-720</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。USB 記憶デバイスに十分な容量があることを確認してください。</td></tr>
<tr><td>026-721</td><td rowspan="2">OKボタンを押してメッセージをクリアします。USB 記憶デバイスに書込禁止の設定がされていないか、ディスクに問題がないかを確認してください。</td></tr>
<tr><td>026-722</td></tr>
<tr><td>026-723</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。データを保存するパスやファイル名が長すぎないか確認してください。</td></tr>
<tr><td>026-750</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。インターフェイスケーブルがしっかりと接続されていることを確認し、ご使用のアプリケーションを再起動してください。</td></tr>
<tr><td>026-751</td><td rowspan="2">OKボタンを押してメッセージをクリアします。インターフェイスケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>026-752</td></tr>
<tr><td>031-521</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。サーバー管理者に問い合わせて、SMB サーバーへのアクセス設定が正しいか確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-526</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。SMB サーバーのドメイン名が正しいか確認してください。DNS 接続を確認するか、転送先サーバーの名前が DNS に登録されているかどうかを確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-529</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。イーサネットケーブルが正しく接続されているか、SMB サーバーのパスワードが正しいかを確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-530</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。SMB サーバーのパス設定が正しいか確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-533</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。下記を確認してください。
• 指定したファイル名が他のユーザーによって使用されていないか。
• 指定したファイルまたはフォルダーの名前がすでに存在するものと同じではないか。
• SMB サーバーに書込禁止やディスクの問題がないか。</td></tr>
<tr><td>031-534</td><td rowspan="3">OKボタンを押してメッセージをクリアします。SMB サーバーに書込禁止やディスクの問題がないかを確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-535</td></tr>
<tr><td>031-536</td></tr>
<tr><td>031-537</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。保存場所に空き容量があることを確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-555</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。ネットワークが正しく接続されているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-556</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。SMB サーバーに書込禁止やディスクの問題がないかを確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-557</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。下記を確認してください。
• 指定したファイル名が他のユーザーによって使用されていないか。
• 指定したファイルまたはフォルダーの名前がすでに存在するものと同じではないか。</td></tr>
<tr><td>031-558</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。サーバー管理者に問い合わせて、SMB サーバーへのアクセス設定が正しいか確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-571</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-574</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。FTP サーバーのドメイン名が正しいか確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-575</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。FTP サーバーのホスト名設定が正しいか確認してください。</td></tr>
<tr><td>031-576</td><td>OKボタンを押してメッセージをクリアします。FTP サーバーに書込禁止やディスクの問題がないかを確認してください。</td></tr>
</table>

エラーコード	対処方法
031-578	OKボタンを押してメッセージをクリアします。イーサネットケーブルが正しく接続されているか、FTP サーバーのログイン名（ユーザー名）とパスワードが正しいかを確認してください。
031-579	OKボタンを押してメッセージをクリアします。FTP サーバーのパス設定が正しいか確認してください。
031-582	OKボタンを押してメッセージをクリアします。FTP サーバーに書込禁止やディスクの問題がないかを確認してください。
031-584	OKボタンを押してメッセージをクリアします。下記を確認してください。 • 指定したファイル名が他のユーザーによって使用されていないか。 • 指定したファイルまたはフォルダーの名前がすでに存在するものと同じではないか。 • FTP サーバーに書込禁止やディスクの問題がないか。
031-585 031-587	OKボタンを押してメッセージをクリアします。FTP サーバーに削除／書込禁止やディスクの問題がないかを確認してください。
031-588	OKボタンを押してメッセージをクリアします。FTP サーバーに書込禁止やディスクの問題がないかを確認してください。
031-589	OKボタンを押してメッセージをクリアします。保存場所に空き容量があることを確認してください。
031-594	OKボタンを押してメッセージをクリアします。サーバー管理者に問い合わせて、FTP サーバーへの保存されているスキャンファイルの設定が誤っていないか確認してください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」（442 ページ）
031-598	OKボタンを押してメッセージをクリアします。FTP サーバーに書込禁止やディスクの問題がないかを確認してください。
033-503 033-513	OKボタンを押してメッセージをクリアします。レポートを確認して、メモリーに保存されている不要なデータを削除してください。
033-517	OKボタンを押してメッセージをクリアします。ファクスロックのパスワードが正しいか確認してください。
033-518	OKボタンを押してメッセージをクリアします。正しく国設定が行われているか確認してください。
033-519	ファクスサービスがロックされています。続行するにはOKボタンを押してファクスロックを解除してください。 **参照：** • 「本機の操作を制限する」（351 ページ）
033-787	OKボタンを押してメッセージをクリアします。ジョブは中止されます。
033-788	OKボタンを押してメッセージをクリアします。受信したファクスを削除するか、ファクス送信が完了するまでしばらく待機してください。

エラーコード	対処方法
034-700 034-701 034-702	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合は下記を行ってみてください。 • 電話線が正しく接続されているか確認する。 • 宛先の番号が正しいか確認する。 • **リダイヤル回数**を最大値に設定する。 • **再送信間隔**または**リダイヤル間隔**を長く設定する。 **参照：** • 「電話回線を接続する」（258 ページ）
034-703 034-704 034-705 034-706	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合は下記を行ってみてください。 • 電話線が正しく接続されているか確認する。 • 宛先の番号が利用可能で正しものであるか確認する。 • **リダイヤル回数**を最大値に設定する。 • **再送信間隔**または**リダイヤル間隔**を長く設定する。 **参照：** • 「電話回線を接続する」（258 ページ）
034-707	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合は下記を行ってみてください。 • **リダイヤル回数**を最大値に設定する。 • **再送信間隔**または**リダイヤル間隔**を長く設定する。 • **モデムスピード**を下げる。
034-708	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合は下記を行ってみてください。 • **リダイヤル回数**を最大値に設定する。 • **再送信間隔**または**リダイヤル間隔**を長く設定する。 • **モデムスピード**を下げる。 • 宛先の番号が利用可能か確認する。
034-709 034-710	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合は下記を行ってみてください。 • **リダイヤル回数**を最大値に設定する。 • **再送信間隔**または**リダイヤル間隔**を長く設定する。
034-711 034-712 034-713	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合は下記を行ってみてください。 • **リダイヤル回数**を最大値に設定する。 • **再送信間隔**または**リダイヤル間隔**を長く設定する。 • **モデムスピード**を下げる。
034-714	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合は下記を行ってみてください。 • **リダイヤル回数**を最大値に設定する。 • **再送信間隔**または**リダイヤル間隔**を長く設定する。 • 宛先の番号が利用可能か確認する。
034-715	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合は下記を行ってみてください。 • **リダイヤル回数**を最大値に設定する。 • **再送信間隔**または**リダイヤル間隔**を長く設定する。 • **モデムスピード**を下げる。

エラーコード	対処方法
034-716	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合はジョブは中止されます。ファクス送信を再試行する場合は**モデムスピード** を下げてください。
034-717	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合はジョブは中止されます。ファクス送信を再試行してください。
034-718 034-719	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合はジョブは中止されます。ファクス送信を再試行する場合は**モデムスピード** を下げてください。
034-720	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合はジョブは中止されます。ファクス送信を再試行する場合は下記を行ってみてください。 • **モデムスピード**を下げる。 • **ECM** を有効化する。
034-721 034-722 034-723 034-724 034-725 034-726	OKボタンを押してメッセージをクリアします。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合はジョブは中止されます。ファクス送信を再試行する場合は**モデムスピード** を下げてください。
034-727	OKボタンを押してメッセージをクリアします。宛先の番号が利用可能か確認してください。指定された回数、再ダイヤルが行われた後にもエラーが表示される場合はジョブは中止されます。
034-750	OKボタンを押してメッセージをクリアします。電話線が正しく接続されているか確認してください。 **参照：** • 「電話回線を接続する」（258 ページ）
034-751	OKボタンを押してメッセージをクリアします。送信先の機械がファクスを迷惑ファクスとしてブロックしていないか確認してください。ブロックされている場合は、送信先に設定を無効化するよう依頼してください。
034-752 034-753	OKボタンを押してメッセージをクリアします。電話線が正しく接続されているか確認してください。 **参照：** • 「電話回線を接続する」（258 ページ）
034-754 034-755 034-756 034-757	OKボタンを押してメッセージをクリアします。**モデムスピード**を下げてください。
034-758	OKボタンを押してメッセージをクリアします。電話線が正しく接続されているか確認してください。または、**モデムスピード**を下げてください。 **参照：** • 「電話回線を接続する」（258 ページ）
034-759 034-760	OKボタンを押してメッセージをクリアします。**モデムスピード**を下げてください。

エラーコード	対処方法
034-761	OKボタンを押してメッセージをクリアします。電話線が正しく接続されているか確認してください。 **参照：** • 「電話回線を接続する」（258 ページ）
034-762	OKボタンを押してメッセージをクリアします。下記を試してみてください。 • **モデムスピード**を下げる。 • **ECM** を有効化する。
034-763 034-764 034-765 034-766	OKボタンを押してメッセージをクリアします。**モデムスピード**を下げてください。
034-767	OKボタンを押してメッセージをクリアします。電話線が正しく接続されているか確認してください。 **参照：** • 「電話回線を接続する」（258 ページ）
034-768	OKボタンを押してメッセージをクリアします。**モデムスピード**を下げてください。
041-340 042-358 061-370 062-321	本機の電源を入れなおしてください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」（442 ページ）
062-790	OKボタンを押してメッセージをクリアします。スキャンしたデータは削除されますので、文書のスキャンを再試行してください。
075-100	用紙経路を確認してきれいにし、用紙をセットしてからOKボタンを押してメッセージをクリアしてください。 **参照：** • 「本機前面の紙づまり」（364 ページ）
075-921	うら面（奇数）ページをセットし、OKボタンを押してください。 **参照：** • 「手動両面印刷（Windows 版プリンタードライバーのみ）」（163 ページ）
077-100 077-104 077-106 077-108 077-109	背面カバーを開き、詰まった紙を除去してください。 **参照：** • 「本機背面の紙づまり」（365 ページ）
077-304	背面カバーを閉じてください。
077-900	背面カバーを開き、詰まった紙を除去してください。 **参照：** • 「排出トレイ付近の紙づまり」（367 ページ）
077-901	背面カバーを開き、詰まった紙を除去してください。 **参照：** • 「本機背面の紙づまり」（365 ページ）

エラーコード	対処方法
091-402 092-651 092-661	本機の電源を入れなおしてください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」（442 ページ）
093-426	すぐに指定トナーカートリッジを交換してください。 **参照：** • 「トナーカートリッジを交換する」（418 ページ）
093-926	本機推奨の指定トナーカートリッジを交換してください。 **参照：** • 「トナーカートリッジを交換する」（418 ページ）
093-933	指定されたトナーカートリッジを取り外して新品を取り付けてください。トナーカートリッジを交換しない場合は印刷品質に問題が発生する可能性があります。 **参照：** • 「トナーカートリッジを交換する」（418 ページ）
093-974	本機の電源を切り、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認し、電源を入れてください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」（442 ページ）
116-210 116-314 116-323 116-325 116-326 116-335 116-355 116-395 117-331 117-332 117-333 117-334 117-340 117-342 117-343 117-344 117-346	本機の電源を入れなおしてください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」（442 ページ）
117-348	再試行してレポートを確認してください。本機の電源を入れなおしてください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」（442 ページ）

エラーコード	対処方法
117-349 117-350 117-351 117-366 124-333 134-211 191-310	本機の電源を入れなおしてください。それでも解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。 **参照：** • 「オンラインサービス」（442 ページ）

補足：

- エラーコードを含まない下記のメッセージについては、下の表に記載している対処方法を参照してください。

エラーメッセージ	対処方法
USB メモリーエラー **ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑを認識できません** **USB ﾎﾟｰﾄから外してください**	USB 記憶デバイスを取り外し、使用可能かどうか確認してください。OKボタンを押してメッセージをクリアします。

補足：

- 上記の推奨処置を行っても問題が解決しない場合は、弊社プリンターサポートデスク、または販売店にご相談ください。

サポートデスクへのご相談

本機の修理点検についてお問い合わせの際は、発生している問題、または LCD ディスプレイ上のエラーメッセージをお伝えください。

本機の機種名、シリアル番号をご用意いただく必要があります。本機の背面カバーのラベルをご確認ください。

注記：

- 本機を引き取り修理に出す際は、本体に保存された宛先表データはあらかじめコンピューター上にバックアップをとり、本体のデータは削除してください。修理時にデータが失われる場合があります。次の方法で、本体の宛先表データのバックアップ、削除が可能です。
  - 本体に保存された宛先表データは、宛先表ツールを使用してお使いのコンピューターにエクスポートすることができます。データのエクスポートについての詳細は宛先表ツールのヘルプを参照してください。
  - 本体に保存された宛先表データは､操作パネルの **NV メモリー初期化**メニューを使用して削除することができます。詳細については「工場設定にリセットする」（353 ページ）を参照してください。

情報を確認する

ここには下記の項目を記載します：

- 「LCD ディスプレイメッセージ」（407 ページ）
- 「SimpleMonitor からのアラート」（408 ページ）
- 「製品情報の入手方法」（409 ページ）

本機には、印刷品質の維持に役立ついくつかの自動診断ツールをご用意しています。

■LCD ディスプレイメッセージ

LCD ディスプレイには、各種情報や困ったときのヘルプが表示されます。エラーまたは警告状態が発生した場合、LCD ディスプレイに問題発生を知らせるメッセージが表示されます。

参照：

• 「エラーコードについて」(396 ページ)

■SimpleMonitor からのアラート

SimpleMonitor とはソフトウエアパック CD-ROM に収録されているツールで、印刷ジョブ送信時に自動で本機の状態をチェックします。本機が印刷ジョブを実行できない場合、SimpleMonitor は自動的にコンピューターの画面上にアラートを表示して本機に問題があることを知らせます。

■製品情報の入手方法

最新のプリンタードライバーについて

最新のプリンタードライバーは、弊社のホームページからダウンロードできます。

補足：

- 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

1 プリンタードライバーの［**プロパティ**］ダイアログボックスで［**初期設定**］タブから［**バージョン情報**］をクリックします。

2 ［**Fuji Xerox ホームページ**］をクリックします。

ウェブブラウザーが起動して、弊社ホームページが表示されます。

3 指示に従って、該当するプリンタードライバーをダウンロードします。

補足：

- 弊社のダウンロードサービスページのアドレス (URL) は、次のとおりです。
  http://www.fujixerox.co.jp/
- 最新のプリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

プリンターのファームウエアのバージョンアップについて

弊社では、機械本体に組み込まれたソフトウエア（以下、ファームウエアと呼びます）を、コンピューターからバージョンアップするツールを提供しています。

最新のファームウエアおよびバージョンアップ用ツールは、下記の弊社ホームページのアドレス (URL) からダウンロードできます。

表示されたページの指示に従って、該当するファームウエアをダウンロードしてください。

http://www.fujixerox.co.jp/

補足：

- 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

カスタムモード

トナーカートリッジのトナーが空になると、**ｶｰﾄﾘｯｼﾞ を交換してください**というメッセージが表示されます。

カスタムモードで本機を使用する場合は、カスタムモードを有効化し、対応したトナーカートリッジをご使用ください。

注記：

- カスタムモードで本機を使用すると、本機の本来の性能が保たれないことがあり、カスタムモードの使用によって生じる可能性のあるいかなる問題も弊社品質保証の範囲外となります。カスタムモードでの使用を続けると、本機が故障する原因となることがあります。この場合の修理は有償となりますのでご注意ください。

補足：

- カスタムモードを無効化するには、操作パネルの**カスタムモード**で**オフ**を設定するか、設定管理ツールの［**メンテナンス**］タブの［**カスタムモード**］ページで［**オン**］の横にあるチェックボックスの選択を解除してください。

ここには下記の項目を記載します：

■操作パネル

補足：

- 下記の操作を開始する前に、LCD ディスプレイに**機能を選択してください**画面が表示されていることを確認してください。

1. **仕様設定**ボタンを押します。
2. **仕様設定**を選択し、(OK)ボタンを押します。
3. **メンテナンス**を選択し、(OK)ボタンを押します。
4. **カスタムモード**を選択し、(OK)ボタンを押します。
5. **トナー**を選択し、(OK)ボタンを押します。
6. **オン**を選択し、(OK)ボタンを押します。
7. トップページが表示されるまで◀ボタンを押します。
   本機がカスタムモードに切り替わります。

■設定管理ツール

ここでは、Windows XP を例に説明します。

1. ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ ご使用の機種 →［**設定管理ツール**］をクリックします。

   補足：

   - 複数のプリンタードライバーがコンピューターにインストールされている場合は、プリンターを選択するウィンドウが表示されます。この場合、［**プリンター名**］に一覧表示されているプリンターから任意の名称をクリックしてください。

   設定管理ツールが開きます。

2. ［**メンテナンス**］タブをクリックします。

3. ページ左側の一覧から［**カスタムモード**］を選択します。

   ［**カスタムモード**］ページが表示されます。

4. ［**オン**］の横のチェックボックスを選択して、［**新しい設定を適用**］ボタンをクリックします。

11

日常管理

本章には下記の項目を記載します：

清掃について

ここでは、本機を良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるようにするため、本機の清掃方法について説明します。

 警告：

- **機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。**

 注意：

- **機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。**

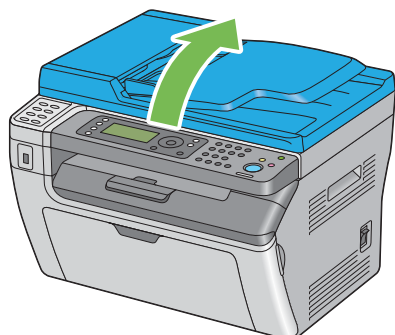
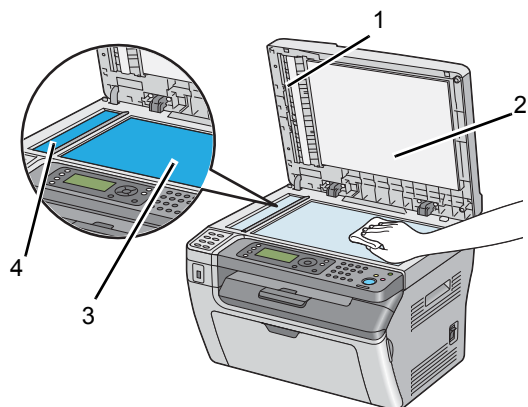
ここには下記の項目を記載します：

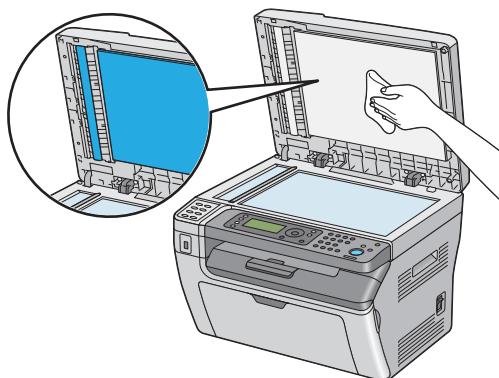
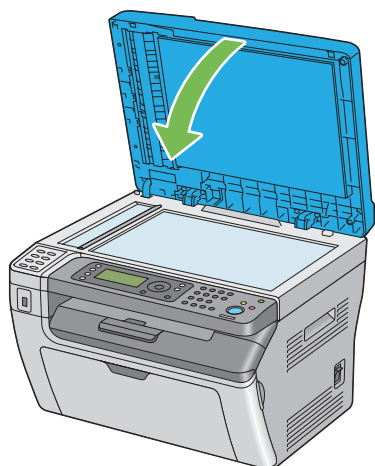
- 「原稿読み取り部の清掃」（415 ページ）
- 「原稿送りローラーの清掃」（417 ページ）

■原稿読み取り部の清掃

最適なコピー品質を確保するため、原稿読み取り部は常にきれいな状態に保ってください。毎日最初に原稿読み取り部を清掃し、必要に応じて日中にも清掃してください。

1 糸くずのでない布またはペーパータオルを水で少し湿らせます。

2 原稿カバーを開きます。

3 きれいで乾燥した状態になるまで原稿ガラスおよび原稿読み取りガラスの表面を拭きます。

1	フィルム
2	原稿ガラスカバー
3	原稿ガラス
4	原稿読み取りガラス

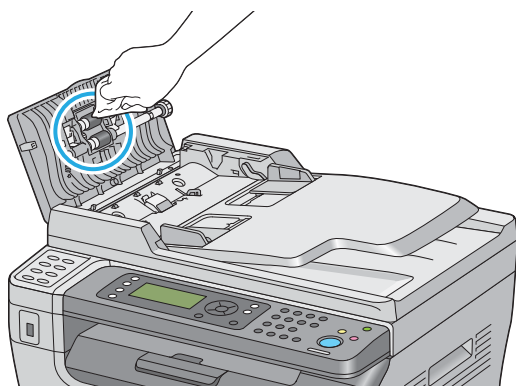
4 きれいで乾燥した状態になるまで原稿ガラスカバーおよびフィルムの下側を拭きます。

5 原稿カバーを閉じます。

■原稿送りローラーの清掃

最適なコピー品質を確保するため、原稿送りローラーは常にきれいな状態に保ってください。定期的に原稿送りローラーを清掃してください。

1 本機の電源を切ります。

2 トップカバーを開きます。

3 乾燥した糸くずのでない布またはペーパータオルで、きれいになるまで原稿送りローラーを拭きます。

原稿送りローラーがインクのシミで汚れていると、自動原稿送り装置から給紙された紙も汚れます。この場合は、糸くずのでない布またはペーパータオルを中性洗剤または水で少し湿らせて、きれいで乾燥した状態になるまで原稿送りローラーの汚れを取ります。

トナーカートリッジを交換する

純正トナーカートリッジは弊社のみが販売しています。

本機には純正のトナーカートリッジを使用することをお勧めします。弊社は、トナーカートリッジを使用した結果生じたいかなる問題に対しても保証を行いません。

警告：

- **こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。**
  本製品内およびトナーカートリッジ等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。
  床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。
  大量にこぼれた場合、弊社商品センター（回収受付：TEL0120-04-0692）にご連絡ください。
- **トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社商品センター（回収受付：TEL0120-04-0692）にて回収いたしますので、必ず弊社商品センター（回収受付：TEL0120-04-0692）にご連絡ください。**

注意：

- **トナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。**
- **トナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。**
- **次の事項に従って、応急処置をしてください。**
  - **トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。**
  - **トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。**
  - **トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。**
  - **トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。**

注記：

- トナーがこぼれる可能性がありますので使用済みトナーカートリッジを振らないでください。

ここには下記の項目を記載します：

■概要

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、LCD ディスプレイに下記のメッセージが表示されます。

メッセージ（例）	残り印刷可能枚数	処置
093-426 プリンター **トナーカートリッジ** **の予備をご用意ください** *1	約 200 枚 *2	トナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいカートリッジを用意してください。
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ を交換してください **093-933 プリンター** **トナーカートリッジ** **を交換してください**	—	トナーカートリッジが空になりました。本機が停止します。古いトナーカートリッジを新品と交換してください。

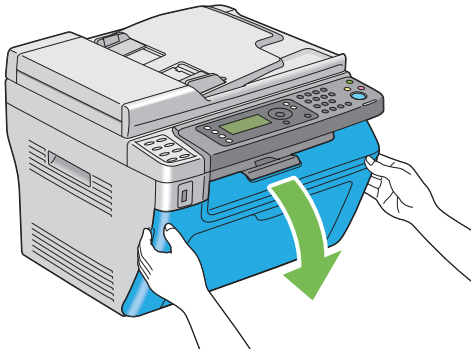
*1 この警告は弊社純正トナーカートリッジを使用している場合のみ表示されます（**カスタムモード**が**オフ**）。
*2 トナーカートリッジ Hi がセットされている場合は、残り印刷可能枚数は 400 ページです。

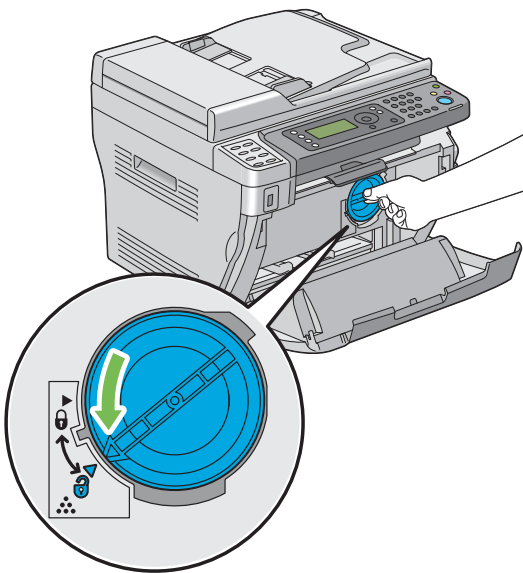
注記：

- 使用済みトナーカートリッジを床やテーブルに置く際は、トナーがこぼれる可能性がありますのでトナーカートリッジの下に紙を敷いてください。
- 本機から取り外した古いトナーカートリッジは再使用しないでください。印刷品質が損なわれます。
- 使用済みトナーカートリッジは振ったり衝撃を与えたりしないでください。残っているトナーがこぼれる可能性があります。
- トナーカートリッジはパッケージから取り出して 1 年以内に使い切ることをお勧めします。

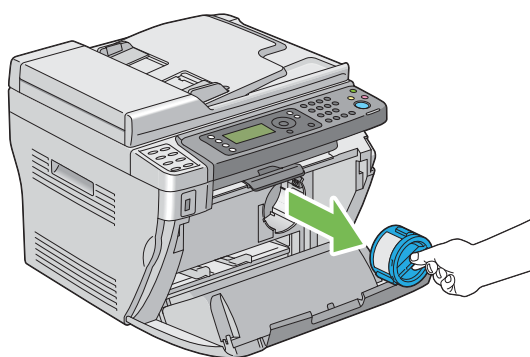
■トナーカートリッジを取り外す

1 本機の電源を切ります。

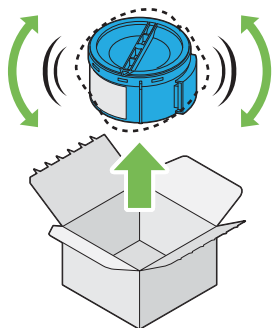
2 トナーカバーを開きます。

3 取り外したトナーカートリッジを置く床やテーブルに下敷きの紙を敷きます。

4 トナーカートリッジを反時計回りに回してロックを解除します。

5 トナーカートリッジを引き抜きます。

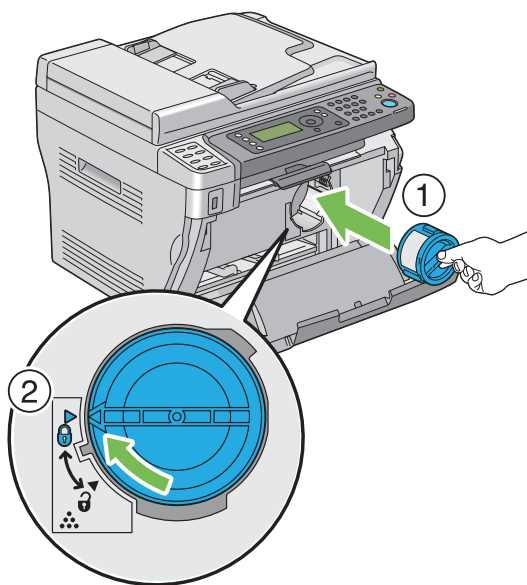
注記：

- 使用済みトナーカートリッジのシャッターには触らないでください。
- トナーをこぼさないよう、必ずトナーカートリッジはゆっくりと引き抜いてください。

6 手順 3 で敷いておいた紙の上にトナーカートリッジを置きます。

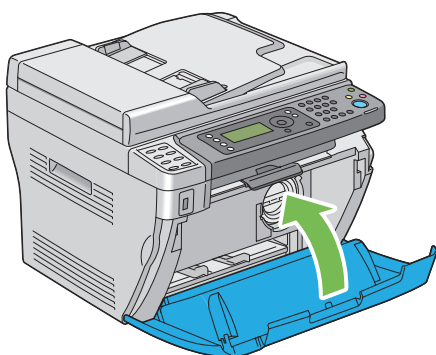
■トナーカートリッジを取り付ける

1 新しいトナーカートリッジを箱から取り出し、トナーが均等になるように 5 回振ります。

補足：

- トナーがこぼれる可能性がありますのでトナーカートリッジの取り扱いには注意してください。

2 トナーカートリッジをカートリッジホルダーに差し込み、時計回りに回してロックマークに合わせます。

注記：

- 印刷する前にトナーカートリッジがしっかりとセットされているか確認してください。不具合の原因となるおそれがあります。

3 トナーカバーを閉じます。

4 取り外したトナーカートリッジを、取り付けたトナーカートリッジが入っていた箱に入れます。

5 こぼれたトナーに触れないよう注意し、取り外したトナーカートリッジの下に敷いていた紙を処分します。

トナーカートリッジを注文する

ここには下記の項目を記載します：

- 「トナーカートリッジの種類」（425 ページ）
- 「トナーカートリッジを注文する時期」（426 ページ）
- 「使用済み消耗品の回収」（427 ページ）

トナーカートリッジは随時注文する必要があります。トナーカートリッジの箱には取り付けに関する指示がついています。

■トナーカートリッジの種類

注記：

- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをご使用ください。

製品名	商品コード	印刷可能枚数
トナーカートリッジ ST	CT201778	約 1000 枚
トナーカートリッジ Hi	CT201779	約 2200 枚

注記：

- A4 タテ（）、像密度 5% の印字比率で普通紙連続印刷した場合の参考値です。また、JIS X6931 (ISO/IEC 19752) 規格に基づく公表値を満足しています。実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴なう初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、参考値と大きく異なることがあります。

補足：

- 本機に付属しているスタータートナーカートリッジの印刷可能枚数は、約 1000 枚です。
- トナーカートリッジには箱に取り付けに関する指示がついています。

■トナーカートリッジを注文する時期

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、LCD ディスプレイに警告が表示されますので、交換するカートリッジを準備してください。印刷できない期間が発生しないよう、このメッセージが最初に表示されたときにトナーカートリッジを注文するようにしてください。トナーカートリッジの交換が必要になると LCD ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。トナーカートリッジの交換に関するエラーメッセージの詳細については、「トナーカートリッジを交換する」(418 ページ)を参照してください。

トナーカートリッジのご注文は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

注記：

- 本機は、純正消耗品を使用しているときに印刷品質や本機の性能がもっとも安定するように設計されています。純正品と異なる仕様の消耗品を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合や、本機が仕様外の消耗品が原因で故障したときに有償修理となる場合があります。純正品をご使用いただけますと、万一のトラブルのときも安心してサポートを受けることができます。本来の性能を得るためにも、純正品のご使用をお勧めします。

■使用済み消耗品の回収

- 回収したトナーカートリッジおよびドラム（感光体）は、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったトナーカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。

トナーカートリッジの保管について

トナーカートリッジは使用するときまで元の梱包材に入れて保管してください。下記環境でのトナーカートリッジの保管は避けてください。

- 40°C を超える温度
- 湿度または温度の変化が激しい場所
- 直射日光
- ほこりが多い場所
- 車内（長時間）
- 腐食性ガスのある場所
- 潮風の当たる場所

本機の管理について

ここには下記の項目を記載します：

■CentreWare Internet Services で本機の状態を確認・管理する

本機を TCP/IP 環境に設置する場合、ネットワークに接続したコンピューター上で Web ブラウザーを使用して本機の状態の確認や設定の変更ができます。また、CentreWare Internet Services を使用して本機にセットしたトナーカートリッジの残量を確認することも可能です。

補足：

- 本機をローカルプリンターとして使用する場合は CentreWare Internet Services は利用できません。ローカルプリンターの状態を確認する方法については「SimpleMonitor で本機の状態を確認する（Windows のみ）」（431 ページ）を参照してください。

CentreWare Internet Services を起動する

下記手順に従って CentreWare Internet Services を起動してください。

1 ウェブブラウザーを起動します。

2 本機の IP アドレスをアドレスバーに入力し、**Enter** キーを押します。
CentreWare Internet Services ページが表示されます。

●オンラインヘルプの使い方

各 CentreWare Internet Services 画面で設定できる項目の詳細については、［**ヘルプ**］ボタンをクリックしてオンラインヘルプを表示してください。

■SimpleMonitor で本機の状態を確認する（Windows のみ）

SimpleMonitor は、弊社のプリンタードライバーに搭載されているツールで、印刷ジョブ送信時に自動で本機の状態をチェックします。トナーカートリッジの残量も確認できます。

SimpleMonitor を起動する

タスクバーで SimpleMonitor アイコンをダブルクリックするか、アイコンを右クリックして［**プリンターの選択**］を選択してください。

SimpleMonitor アイコンがタスクバーに表示されていない場合は［**スタート**］メニューから SimpleMonitor を開いてください。

ここでは、Microsoft® Windows® XP を例に説明します。

1 ［**スタート**］→［**すべてのプログラム**］→［**Fuji Xerox**］→［**Fuji Xerox プリンターソフトウェア**］→ ご使用の機種 →［**SimpleMonitor for Japan**］をクリックします。

　［**プリンター選択**］ウィンドウが表示されます。

2 一覧から任意のプリンター名をクリックしてください。

　［**プリンターの状態**］ウィンドウが表示されます。

SimpleMonitor 機能の詳細については、SimpleMonitor のヘルプを参照してください。

参照：

• 「SimpleMonitor（Windows のみ）」（60 ページ）

■電子メールで本機の状態を確認する

電子メールの送受信が可能なネットワーク環境に接続すれば、本機は指定電子メールアドレスに下記の情報を記載した電子メールレポートを送信することができます。

- 本機に発生したエラー

電子メール環境を設定する

CentreWare Internet Services を起動し、［**プロパティ**］タブでご使用の電子メール環境に応じて下記の設定を行ってください。それぞれの画面で設定を完了したら、必ず［**新しい設定を適用**］をクリックして本機を再起動してください。各項目の詳細については、CentreWare Internet Services 上のヘルプを参照してください。

項目	設定項目	内容
［**一般設定**］>［**エラーメール通知**］	送信先メールアドレス	本機に発生したエラーについて通知する電子メールアドレスを設定してください。
	送信する通知項目	電子メールで送信する通知内容を設定してください。
［**ポート起動**］	エラーメール通知	［**有効**］を選択します。
［**プロトコル設定**］>［**E メール**］	SMTP サーバー設定 • 本体メールアドレス • SMTP サーバー アドレス • SMTP サーバー ポート番号 SMTP 送信の認証 • 送信時の認証方式 • SMTP AUTH ログイン名 • パスワード • パスワードの確認 POP3 サーバー設定 * • POP3 サーバー アドレス • POP3 サーバー ポート番号 • POP3 サーバー ログイン名 • パスワード • パスワードの確認	電子メール送信に関する設定をしてください。

* ［**送信時の認証方式**］に POP before SMTP 方式を選択した場合、SMTP サーバーと POP3 サーバーの両方の設定が必要になります。

トナーや用紙を節約する

プリンタードライバーで設定を変更してトナーカートリッジと用紙を節約することができます。

サプライ	設定	機能
トナーカートリッジ	プリンタードライバーの［**グラフィックス**］タブで［**トナー節約**］を有効化してください。	このチェックボックスでは、トナー消費量の少ないプリントモードを選択することができます。この機能を使用すると、通常よりも画質が低下します。
用紙	プリンタードライバーの［**レイアウト**］タブの［**まとめて 1 枚**］	1 枚の用紙に複数のページを印刷します。プリンタードライバーが 1 枚の用紙に印刷できるページ数は次のとおりです。 • Microsoft Windows 版プリンタードライバー：2、4、8、16 ページ • Mac OS® X 版プリンタードライバー：2、4、6、9、16 ページ 両面印刷設定と組み合わせれば、［**まとめて 1 枚**］で 1 枚に 32 ページを印刷することができます（おもてに 16 ページ、うらに 16 ページ）。

ページ数を確認する

システム設定リストを印刷すれば合計印刷枚数を確認できます。合計印刷枚数は Print Volume に用紙サイズごとに分類されて表示されます。

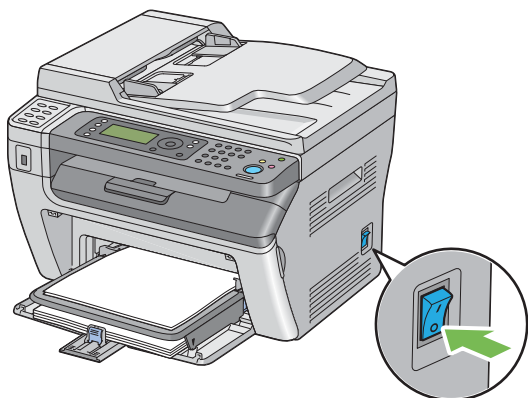
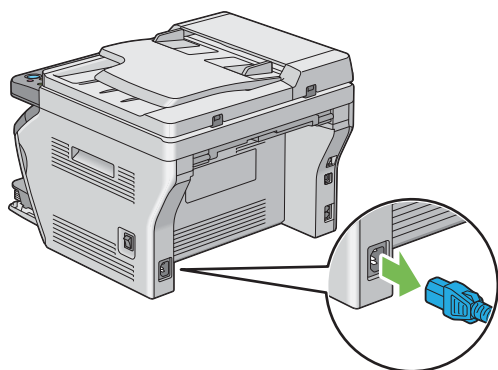
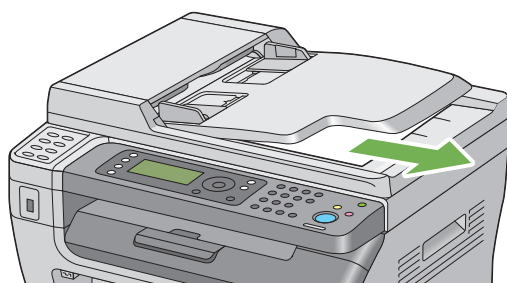
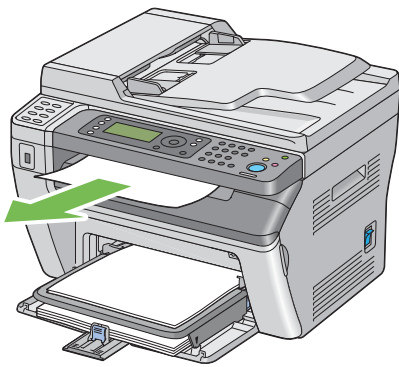
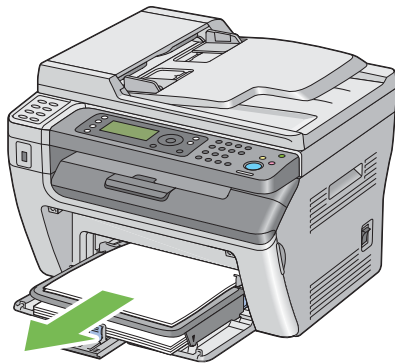
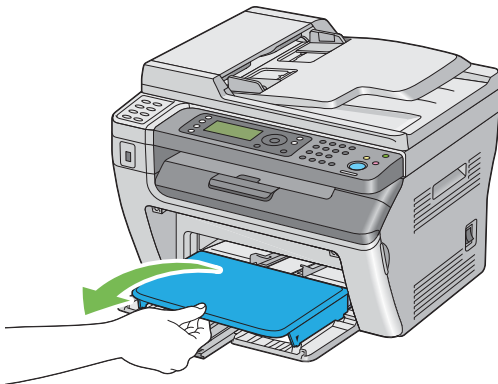
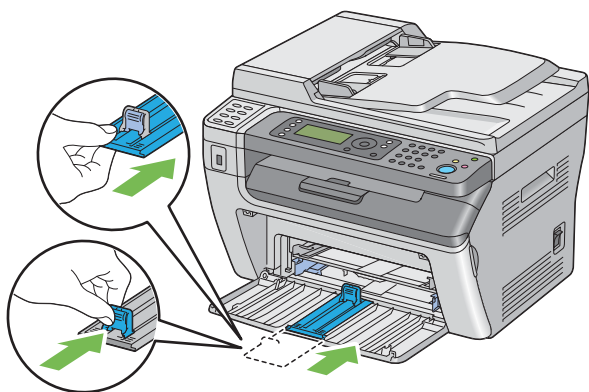
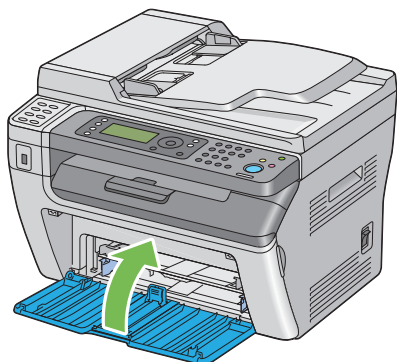
片面印刷（まとめて 1 枚を含む）は 1 つのジョブ、両面印刷 (まとめて 1 枚を含む) は 2 つのジョブとしてカウントされます。両面印刷時に片面が正常に印刷された後にエラーが発生した場合は 1 ページとしてカウントされます。

両面印刷を行う場合は、アプリケーションの設定に応じて自動的に空白ページが挿入されます。この場合、空白ページも 1 ページとしてカウントされます。ただし、奇数ページ数の両面印刷を行う場合には、最後の奇数ページの後に挿入される空白ページはカウントされません。

補足：

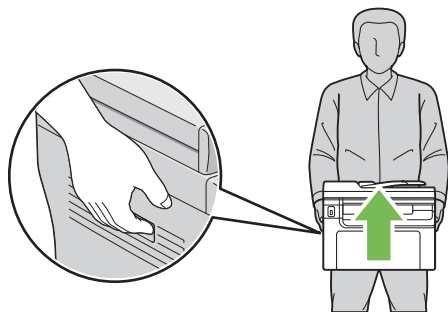
- システム設定リストを印刷する方法については「システム設定リストを印刷する」（185 ページ）を参照してください。

本機を移動するときは

1 本機の電源を切ります。

2 電源コード、インターフェイスケーブルなどすべてのケーブルを抜きます。

3 原稿受けから用紙を取り除きます。

4 排出トレイに紙がある場合は取り除きます。排出延長トレイが伸びている場合は閉じます。

5 用紙トレイ (PSI) または用紙トレイ (MPF) から用紙を取り除きます。用紙は包装して湿度が低くきれいな場所に保管してください。

6 用紙カバーを取り外します。

7 用紙セットバーと用紙ガイド（エンドガイド）を奥に最後までスライドさせます。

8 フロントカバーを閉じます。

9 本機を持ち上げてゆっくりと移動します。

補足：

- 長い距離を移動する場合は、トナーがこぼれないようトナーカートリッジを抜き、本機を箱に入れてください。

12

弊社へのお問い合わせ

本章には下記の項目を記載します：

テクニカルサポート

お客様におかれましては、まず製品に付属のサポート資料、製品診断、ホームページの情報、電子メールサポートをご利用いただくことをお勧めいたします。それでも問題が解決しない場合は、製品保証による修理点検を受けるため、保証期間内に弊社電話サポートまたは認定サービス担当者に欠陥について通知していただく必要があります。問題を解決するため、OS、ソフトウエアプログラム、ドライバーの規定構成・設定への復元、弊社供給製品の機能検証、顧客交換装置の交換、紙づまりの解消、装置の清掃、その他指示のあった作業や予防メンテナンスなどを含めたご協力をお願いいたします。

お客様の製品に弊社または認定サービス担当者による遠隔からの診断、問題修復が可能な機能が搭載されている場合は、製品へのリモートアクセスを許可していただくようお願いすることがあります。

商品寿命ページ数について

- ドラムユニットは交換不可な構造のため、ドラムユニットの感光体の寿命が商品寿命となります。
- 商品寿命ページ数（耐用枚数）は 30,000 ページです。耐用枚数に到達するとエラーメッセージが表示されます。耐用枚数を超えて使用した場合、印刷品質が低下するばかりでなく、トナー漏れなどの問題を生じることもありますので、寿命を超えてのご利用はお控えください。寿命を大きく超えてご利用になり、所定の印刷枚数に達すると、本商品は動作を停止し、以降一切の印刷ができなくなります。
- 耐用枚数 30,000 ページは、以下の条件の時のものです。使用する用紙サイズ、一度に印刷するページ数、電源の ON/OFF 頻度などの条件により大きく前後する場合があります。
  - A4 用紙を一度に 2 ページずつ間欠印刷した場合。

オンラインサービス

弊社 Web サイト (http://www.fujixerox.co.jp/support/index.html) で情報を登録すれば、オンラインで詳細な製品・消耗品の保証情報を確認し保証を有効化していただくことができます。

本機の問題を解決するために弊社オンラインサポートアシスタントが、指示およびトラブルシューティングのためのガイドを提供いたします。これは便利で検索もできるオンラインヘルプです。詳細についてはオンラインサポート
(http://www.fujixerox.co.jp/support/printer/docuprint_m200fw/index.html) をご覧ください。

商品のお問い合わせ先について

この商品の最新のサポート情報は、http://www.fujixerox.co.jp/support/index.html をご確認ください。

商品のお問い合わせは、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フジゼロックス

フリーダイヤル **0120-66-2209**　FAX : **0120-14-1046**

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日および弊社指定休業日を除く 9 時～ 17 時 30 分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHS および海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。

TEL: 0120-88-8641　FAX: 0120-22-6993

受付時間：9 時～ 12 時、13 時～ 17 時（土、日、祝日を除く）

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械 No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

索引

記号

英数字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

DocuPrint M200 fw ユーザーズガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社　　発行年月—2012 年 3 月 第 1 版

発行者 — 富士ゼロックス株式会社

(管理番号 : ME5312J1-2)